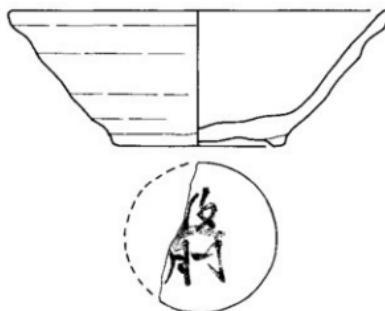


一般国道23号中勢道路(10工区)建設事業に伴う  
里前遺跡発掘調査報告



2002年3月

三重県埋蔵文化財センター



里前遺跡周辺から安濃津を遠望



墨書き土器

# 序

三重県を南北に細長く広がる伊勢平野は、東に伊勢湾を臨み西には鈴鹿・布引の山々をひかえ、温暖な気候のもと古来より人々が生活を営んできた場所です。中でも安濃郡は、安濃川が形成した肥沃な土壌の影響で、古来より高い文化を形成してきた地域であり、その河口部に位置する安濃津は福岡県の博多津、鹿児島県の坊津とともに、日本三津のひとつとして著名であります。

さて本書は、一般国道23号中勢道路建設に先立って調査されました里前遺跡の発掘調査報告です。遺跡は岩田川と三泗川の合流する地点に位置し、膨大な数量の陶器類が確認されました。これらの陶器類は現在の愛知県で生産されたものであり、中世の水上交通や物流を考える上で、貴重な資料を提供することになりました。調査の結果を三重県の財産としてどのように活用していくかが、今後の我々に課せられた重要な問題と考えております。

最後になりましたが、調査にあたってご協力いただきました関係諸機関および地元の皆様に心からお礼申し上げるとともに、今後とも県民の皆様の文化財保護への一層のご理解とご協力をお願い申し上げる次第です。

平成14年3月

三重県埋蔵文化財センター

所長 桂川 哲

# 例　　言

- 1 本書は、三重県津市野田字里前に所在する里前遺跡の報告書である。
- 2 調査は、三重県教育委員会が国土交通省中部地方整備局（平成13年度1月の省庁再編までは建設省中部地方建設局—以下略）の委託を受け、平成元年度と平成8年度に範囲確認調査を、平成10年度に本調査を実施した。また、平成12・13年度に整理・報告書作成業務を行った。現地調査ならびに報告書作成にかかる費用は全額国土交通省中部整備局の負担による。
- 3 発掘調査の体制は、以下の通りである。
  - ・調査主体 三重県教育委員会
  - ・調査担当 三重県埋蔵文化財センター
  - ・調査協力 津市教育委員会
  - ・現場作業 社団法人中部建設協会
- 4 現地調査は、平成元年度の範囲確認調査を浅生悦生が、平成8年度の範囲確認調査を宮田勝功が、平成10年度の本調査を西村美幸・山口格がそれぞれ担当した。
- 5 当報告書の作成業務は三重県埋蔵文化財センター調査二課第二係が行った。遺構写真は山口格・西村美幸が、遺物写真は山口格・川崎志乃が撮影した。報文の執筆、全体の編集は川崎志乃が担当した。
- 6 発掘調査ならびに報告書作成にあたっては、以下の各氏から有益な御教示等を得ました。記して、感謝の意を表します。（順不同・敬称略）

青木哲哉（立命館大学）、中村光司・藤田充子・米山浩之（津市教育委員会）、山中章（三重大学）、伊藤裕偉・櫻村寛之（蔚宮歴史博物館）
- 7 本遺跡については、すでに『一般国道23号中勢道路埋蔵文化財発掘調査概要XⅠ』で、その調査概要を報告しているが、本書をもって正式報告とする。
- 8 本書で報告した遺跡の位置は、国土座標第VI系に属している。挿図の方針は全て座標北で示している。なお、真北は座標北の西偏0° 16'、磁北は座標北の西偏6° 40'（平成10年）である。
- 9 本書での用語は以下のとおり統一した。

つき・・・「坏」があるが、「杯」を用いた。  
わん・・・「椀」「碗」「塊」があるが、「椀」を用いた。
- 10 本書での遺構は連番となっている。また、番号の頭には、見た目の性格によって、下記の略記号を付けた。

S D : 溝 S E : 井戸 S K : 土坑 Pit : 柱穴
- 11 本書で報告した記録および出土遺物は、三重県埋蔵文化財センターで保管している。
- 12 本書で使用した土層および遺物の色調は、小山・竹原編『新版標準土色帖』（22版1999）を用いた。
- 13 スキャニングによるデーター取り込みのため若干のひずみが生じています。  
各図の縮尺率は、スケールバーを参照ください。

# 本文目次

I	前言	1
1	調査に至る経緯	1
2	調査の体制	1
3	調査の経過	2
4	調査の方法	2
II	位置と環境	4
1	位置	4
2	歴史的環境	4
III	調査の成果－基本層序と遺構－	8
1	調査区の基本層序	8
2	遺構	8
IV	調査の成果－出土遺物－	21
1	土器等の遺物	21
2	木製品	25
V	自然科学分析	98
1	放射性炭素年代測定	(パリノ・サーヴェイ) 98
2	貝化石の同定	(パリノ・サーヴェイ) 99
3	珪藻分析	(パリノ・サーヴェイ) 100
4	花粉分析	(パリノ・サーヴェイ) 110
VI	考察	121
1	遺跡の動態	121
2	井戸にみられる地下水位の変動	121
3	陶器供膳具の計測分析	123
4	墨書き土器について	124
5	総括	126

## 挿図目次

第1図	試掘坑位置図	2
第2図	周辺遺跡位置図	5
第3図	調査区位置図	6
第4図	調査区平面図	9~10
第5図	調査区等高線図	9~10
第6図	調査区南半部南壁土層断面図	11
第7図	30列東西トレンド南壁土層断面図	11
第8図	調査区北半部南壁土層断面図	11
第9図	調査区南半部西壁土層断面図	12
第10図	調査区北半部西壁土層断面図	12
第11図	調査区南半部南壁土層断面図	12
第12図	調査区土層断面図作成地点位置図	12
第13図	S E 5 平面図・断面図	13
第14図	S E 17 平面図・断面図	13
第15図	S E 24・25 平面図・断面図	13
第16図	S E 3 平面図・断面図	13
第17図	S E 6 平面図・断面図	14
第18図	S E 16 平面図・断面図	14
第19図	S K14 平面図・断面図	14
第20図	S E 2 平面図・断面図	14
第21図	S D 7・S D 18 平面図・断面図	15
第22図	L 11・12 落ち込み平面図・断面図	15
第23図	L 11・12 落ち込み 杭列出土状況平面図 ・立面図	15
第24図	調査区南半部南端 杭列出土状況平面図 ・立面図	16
第25図	S E 11 平面図・断面図	17
第26図	S E 9 平面図・立面図	17
第27図	S E 19 平面図・立面図	17
第28図	S E 8 平面図・立面図	17
第29図	調査区南半部南端上層遺構平面図・断面図	18
第30図	足跡平面図・断面図	19
第31図	30列東西トレンド遺物出土状況平面図 ・断面図	19
第32図	N31グリッド遺物出土状況平面図・立面図	19
第33図	土師器皿類分類図	21
第34図	出土遺物実測図(1) S E 5 ほか	27
第35図	出土遺物実測図(2) S D 7 ほか	28
第36図	出土遺物実測図(3) S D 18 ほか	29
第37図	出土遺物実測図(4) S E 11 ほか	30
第38図	出土遺物実測図(5) L 11・12 落ち込み みほか	31
第39図	出土遺物実測図(6) K・L 19~20 落 ち込みほか	32
第40図	出土遺物実測図(7) K・L 19~20 落 ち込みほか	33
第41図	出土遺物実測図(8) 南半部南端 5 層	34
第42図	出土遺物実測図(9) 南半部南端 4・3 層	35
第43図	出土遺物実測図(10) 南半部南端 3・1 層	36
第44図	出土遺物実測図(11) 南半部南端 1 層(ほか)	37
第45図	出土遺物実測図(12) 南半部南端ほか	38
第46図	出土遺物実測図(13) 30・27列東西トレンド	39
第47図	出土遺物実測図(14) 27列東西トレンド	40
第48図	出土遺物実測図(15) 包含層 2 層	41
第49図	出土遺物実測図(16) 包含層 2 层	42
第50図	出土遺物実測図(17) 包含層	43
第51図	出土遺物実測図(18) 包含層	44
第52図	出土遺物実測図(19) 包含層	45
第53図	出土遺物実測図(20) 包含層	46
第54図	出土遺物実測図(21) 包含層	47
第55図	出土遺物実測図(22) 包含層	48
第56図	出土遺物実測図(23) 包含層	49
第57図	出土遺物実測図(24) 包含層	50
第58図	出土遺物実測図(25) 包含層	51
第59図	出土遺物実測図(26) 包含層	52
第60図	出土遺物実測図(27) 包含層	53
第61図	出土遺物実測図(28) 包含層	54
第62図	出土遺物実測図(29) 包含層	55
第63図	出土遺物実測図(30) 包含層	56

第64図	出土遺物実測図（31）包含層	57
第65図	出土遺物実測図（32）包含層	58
第66図	出土遺物実測図（33）包含層	59
第67図	出土遺物実測図（34）包含層	60
第68図	出土遺物実測図（35）包含層	61
第69図	出土木製品実測図（1） S E 8 側枠北部ほか	62 62
第70図	出土木製品実測図（2） S E 8 側枠北部ほか	63 63
第71図	出土木製品実測図（3） S E 8 側枠西部ほか	64 64
第72図	出土木製品実測図（4） S E 8 側枠西部ほか	65 65
第73図	出土木製品実測図（5） S E 8 側枠南部ほか	66 66
第74図	出土木製品実測図（6） S E 8 側枠南部ほか	67 67
第75図	出土木製品実測図（7） S E 8 側枠東部	68 68
第76図	出土木製品実測図（8）曲物ほか	69 69
第77図	出土木製品実測図（9）木箱ほか	70 70
第78図	遺構変遷図	122 122
第79図	井戸底標高グラフ	122 122
第80図	陶器供膳具產地別割合グラフ	123 123
第81図	陶器供膳具遺構別割合グラフ	123 123
第82図	陶器供膳具使用痕割合グラフ	124 124

## 表目次

第1表	遺構一覧表	20
第2表	出土土器觀察表（1）	73
第3表	出土土器觀察表（2）	74
第4表	出土土器觀察表（3）	75
第5表	出土土器觀察表（4）	76
第6表	出土土器觀察表（5）	77
第7表	出土土器觀察表（6）	78
第8表	出土土器觀察表（7）	79
第9図	出土土器觀察表（8）	80
第10表	出土土器觀察表（9）	81
第11表	出土土器觀察表（10）	82
第12表	出土土器觀察表（11）	83
第13表	出土土器觀察表（12）	84
第14表	出土土器觀察表（13）	85
第15表	出土土器觀察表（14）	86
第16表	出土土器觀察表（15）	87
第17表	出土土器觀察表（16）	88
第18表	出土土器觀察表（17）	89
第19表	出土土器觀察表（18）	90
第20表	出土土器觀察表（19）	91
第21表	出土土器觀察表（20）	92
第22表	出土土器觀察表（21）	93
第23表	出土土器觀察表（22）	94
第24表	出土土器觀察表（23）	95
第25表	出土木器觀察表（1）	96
第26表	出土木器觀察表（2）	97
第27表	出土石器觀察表（1）	97
第28表	井戸一覧表	121
第29表	陶器供膳具計測表	123
第30表	陶器供膳具產地別計測表	123
第31表	遺構別器種組成表	124
第32表	陶器供膳具使用痕計測表	124
第33表	墨書分類表	125

## 写真図版目次

図版1 里前遺跡周辺航空写真	図版14 足跡完掘状況
図版2 調査区全景	足跡検出状況
図版3 調査区全景	図版15 S E 8 価値
調査区北半部全景	図版16 S E 8 井桁
調査区南半部全景	L11・12落ち込み杭ほか
図版4 調査区南半部南端断面	図版17 木箱
調査区南半部南端下層断面	図版18 出土遺物（1）
図版5 S E 5 全景	図版19 出土遺物（2）
S K24・25全景	図版20 出土遺物（3）
図版6 S E 6 埋上断面	図版21 出土遺物（4）
S E 6 全景	図版22 出土遺物（5）
図版7 S E 3 全景	図版23 出土遺物（6）
S E 2 全景	図版24 出土遺物（7）
図版8 S E 19石組	図版25 出土遺物（8）
図版9 S E 8 桟	図版26 出土遺物（9）
図版10 S E 8 配石	図版27 出土遺物（10）
S E 8 下曲物出土状況	図版28 出土遺物（11）
図版11 30列東西トレーナー遺物出土状況	図版29 出土遺物（12）
N31グリッド木箱出土状況	図版30 出土遺物（13）
図版12 S D 7 遺物出土状況	図版31 出土遺物（14）
S D18 遺物出土状況	図版32 出土遺物（15）
K・L19落ち込み検出状況	図版33 出土遺物（16）
K・L19落ち込み遺物出土状況	図版34 出土遺物（17）
図版13 L 11・12落ち込み遺物出土状況	図版35 出土遺物（18）
調査区南半部南端杭列	図版36 出土遺物（19）

# I 前 言

## 1 調査に至る経緯

中勢バイパスは、三重県鈴鹿市玉垣町から同・志郡三雲町小津に至る延長33.8kmの一般国道23号のバイパスである。このバイパスは、鈴鹿市・河芸町・津市・久居市・猪野町・三雲町を通り、国道23号の交通集中緩和とバイパス周辺の適切な土地利用の誘導を図り、中勢地区の経済発展に寄与することを目的に計画されたものである。

この計画地内に所在する埋蔵文化財については、昭和58年度に計画路線内の分布調査を行い、建設省中部地方建設局と三重県教育委員会が埋蔵文化財の取り扱いについて協議を行った結果、現状保存が困難な遺跡については事前発掘調査を実施し、記録保存を図ることとなった。

調査は、国土交通省中部地方整備局から三重県が委託を受け、昭和63年度は三重県教育委員会文化課、平成元年度からは三重県埋蔵文化財センターが調査を担当している。調査にあたっては、「県教育委員会・市町村教育委員会職員人事交流要綱」に基づき、津市教育委員会から2名、鈴鹿市教育委員会から1名（平成7～9年度）の派遣職員を得ている。また、現地作業は調査の円滑化を期して、国土交通省中部地方整備局が社団法人中部建設協会に委託している。そして、調査事業の実施にあたっては、国土交通省中部地方整備局・三重県・中部建設協会の三者で「埋蔵文化財発掘調査協定書」を締結し、事業を推進している。

中勢バイパスの発掘調査は、昭和63年度に津市大里窪田町の主要地方道津閑線から津市納所町の主要地方道津芸濃大山田線までの9工区から開始した。途中、鈴鹿市内の6工区・河芸町から津市内の8工区が、工事計画の関係で急遽調査が実施されたが、平成8年度までに現地調査は完了した。

津市納所町の主要地方道津芸濃大山田線から津市神戸までの10工区の調査は、平成6年度に蔵田遺跡から開始され、平成10年度には若干の面積を残し、ほぼ完了した。

## 2 調査の体制

### 〔平成元年度〕

主幹兼調査第二課長 山澤義貴

第三係長 浅生悦生

（津市教育委員会から派遣）

主事 増田安生・森川幸雄

主事 村木一弥

（津市教育委員会から派遣）

臨時調査員 竹内英昭・油田秀紀

室内整理員 市川嘉子・畠ひろ子・小坂規美子・

福さや子・奥山晃代

### 〔平成8年度〕

主幹兼調査第二課長 山田猛

第三係長 本堂弘之

主事 宮田勝功・山本義浩

技師 水橋公恵

主事 池端清行・米山浩之

（津市教育委員会から派遣）

筒井昭仁

（鈴鹿市教育委員会から派遣）

調査補助員 井早智代・杉崎淳子・坂下真弓

田中美穂・池野香代・森崎豊・

下畑典正

室内整理員 市川嘉子・黒川敬子・太田浩子

森川綾代・鈴木妙・藤田やよい

新田智子

### 〔平成10年度〕

主幹兼調査第二課長 吉水康夫

主査兼第三係長 本堂弘之

主事 宮田勝功

技師 西村美幸

主事 村木一弥・山口格

（津市教育委員会から派遣）

調査補助員 池野香代・酒井巳紀子・西脇智広

室内整理員 市川嘉子・黒川敬子・太田浩子

森川綾代・鈴木妙・藤田やよい

新田智子

[平成12年度]

主幹兼調査第二課長 吉水康夫  
主幹 新田洋  
主査兼第三係長 森川常厚  
技師 川畠由紀子  
臨時技術補助員 川崎志乃・瀬野弥知世  
調査補助員 西脇智広・山田詩奈・北川祐貴  
室内整理員 黒川敬子・太田浩子・森川絹代  
藤田やよい・新田智子・倉田由起子

[平成13年度]

主幹兼調査第二課長 新田洋  
主査兼第三係長 本堂弘之  
主事 川合圭子・中川明・東敬義  
技師 川畠由紀子  
臨時技術補助員 川崎志乃・瀬野弥知世  
調査補助員 西脇智広  
室内整理員 黒川敬子・太田浩子・森川絹代  
藤田やよい・倉田由起子

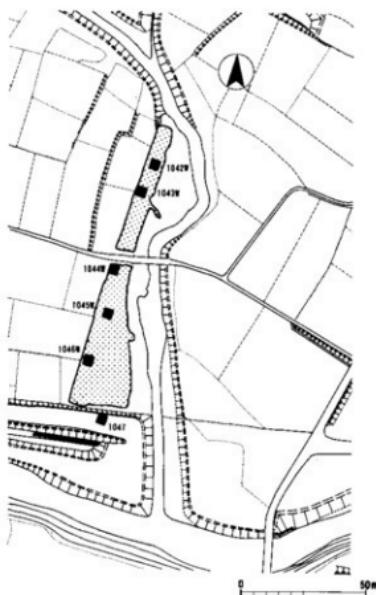
### 3 調査の経過

里前遺跡は、分布調査の結果を受けて平成元年度と平成8年度に範囲確認調査が行われた。合わせて6カ所の試掘坑のうち、南部の4カ所において溝や土坑等の遺構が確認された。また、遺物は全試掘坑において確認された。これらのことから、3000m<sup>2</sup>について本調査が必要との結果を得た。

本調査は平成10年5月25日に開始し、10月20日に終了した。三泗川に沿った調査区であり、川縁の調査の部分は予想外の土量のために、掘削は非常に手間取った。しかし、多量の墨書き器の出土や牛の足跡の検出等大変興味深い調査となった。8月26日に航空測量を実施後、下層調査に入り護岸の杭列を確認した。8月22日には、現地説明会を実施し120名の参加を得た。

なお、文化財保護法（以下、「法」等にかかる諸通知は、以下により文化庁長官にて行っている。

- ・法第57条の3第1項（文化庁長官あて）  
昭和63年1月14日付 建部第334号
- ・法第98条の2第1項（文化庁長官あて）  
平成8年8月1日付 教文第1801号



第1図 試掘坑位置図 (S = 1 : 2,000)

平成10年6月4日付 教生第381号

・遺失物法にかかる文化財発見・認定通知（津警察署長あて）

平成9年4月11日付 教文第6-58号

平成11年3月26日付 教生第8-58号

### 4 調査の方法

調査区内の小地区設定は、道路建設用のセンター杭（中勢バイパスの起点から20mピッチで設置）の任意点の2点を基準として、4m四方の小地区を東西方向を西からアルファベットで、南北方向を北からアラビア数字で表記した。

調査にあたっては、表土除去は基本的に重機（バックホー）で行った。

遺構カード (S=1/40) は、小地区ごとに作成し、略図・土質・切り合いなどを記入した。

遺構名はピットのみ小地区ごとの通し番号を与えたが、その他の遺構は調査区全体の中で通し番号を付した。

実測は遺構の平面図や断面図を適宜1/10あるいは1/20で作成した。遺跡全体の実測は、航空写真測量を実施し、1/50と1/100の遺構図・等高線図・平面図を作成した。

遺構写真是 $4 \times 5$ inch判・プローニー判（ウイスタ SP）・35mm（ニコン F401・F3）で撮影した。フィルムはモノクロネガとカラーリバーサルを用いた。遺物写真是プローニー判（同上・TOYO-VIEW）で撮影した。フィルムはモノクロネガを用いた。また、墨書き器については、赤色フィルター（ケンコー MC R1・LEE Filters 106Primary Red）も合わせて使用した。

## II 位置と環境

### 1 位置

安濃川は、伊勢平野の西に連なる鈴鹿山脈の南部に位置する錫丈ヶ岳付近に端を発する。中下流域では、鮮新世から洪積世にかけて形成された見当山丘陵と半田丘陵の間を流れて、下流部に南北幅約3kmの肥沃な沖積平野を形成している。また、半田丘陵の北裾には岩田川が東流している。この安濃川から岩田川へと流れを注ぐ川が三泗川である。三泗川は近世において水量調整のために改修が行われたという言い伝えがあり、大雨時に安濃川から岩田川へと水を流し、市城下中心部に被害が及ぶのを防いだという。<sup>5)</sup> 現在の三泗川は水量も乏しく、平面的にも繰り返し直交方向に進路を振ることから、人工的な改変が行われた可能性が考えられる。

里前遺跡（1）は岩田川と三泗川が合流する地点の上流部側に位置する。

### 2 歴史的環境

ここでは、里前遺跡の近隣の遺跡について概観するに留める。

**縄文時代** 沖積平野上においては、藏田遺跡（2）<sup>6)</sup>において後期の宮窓式の深鉢が出土している。松ノ木遺跡（3）<sup>7)</sup>では、晩期の竪穴住居や旧河道が確認されており、納所遺跡（4）<sup>8)</sup>でも、凸帯文土器が出土している。

**弥生時代** 納所遺跡は、前期から後期までのはば全時代を通じて安濃川流域では突出する遺物量を誇る遺跡であり、拠点集落として機能している可能性がある。その他、中期の集落は山籠遺跡（5）<sup>9)</sup>や長遺跡（6）<sup>10)</sup>など丘陵部に立地するだけでなく、替田遺跡（7）<sup>11)</sup>や武ノ坪遺跡（8）<sup>12)</sup>、藏田遺跡など沖積平野にも点在している。生産域は森山東遺跡（9）<sup>13)</sup>において、水田遺構が検出されている。前述の納所遺跡では木製品や石器類の未製品が確認されていることから、生産遺跡としての側面を併せ持つと見なすこともできよう。

また、里前遺跡の存在する野田地内では、江戸時代に突線紐式三連式銅鋸<sup>14)</sup>が出土している。

**古墳時代** 沖積平野上では、納所遺跡・替田遺跡・

藏田遺跡などの集落が点在する。

後期になると、殿村1号墳（10）<sup>15)</sup>や鎌切3号墳（11）<sup>16)</sup>などの全長30mクラスの前方後円墳が流域南西部の丘陵上に分散し展開する。また、初期須恵器が副葬されていたメクサ古墳群（12）<sup>17)</sup>や横穴式木芯室を主体部とする君ヶ口古墳（13）<sup>18)</sup>といった波来系文化の要素を色濃く反映する古墳も存在する。

**飛鳥・奈良・平安時代** 安濃郡内の律令期の遺跡は確認例が少ないが、市村駅を津市殿村付近に比定する説<sup>19)</sup>が有力であり、津市西部の安東地区から野田地区にかけての一帯は注目されてきた。藏田遺跡では「既史」と墨書きされた灰釉陶器が出土しており<sup>20)</sup>、付近に関連遺跡の存在が伺われる。また、位田遺跡（14）では奈良時代の、渠瀬遺跡（15）<sup>21)</sup>では平安時代の道路の可能性のある遺構が確認された。古代における土地区画である条里に関しては、「民部田所勘定状」<sup>22)</sup>の存在や酒場整備以前に広域にわたって条里地割が確認できたことから、早い段階から研究されてきた。<sup>23)</sup> 確実に条里遺構として指摘できる遺構としては、武ノ坪遺跡で平安時代前期において確認されている。

**鎌倉時代** 13世紀初頭に成立したとされる『神宮雜例集』<sup>24)</sup>には「野田御園」とみえ、14世紀後半に成立したとされる『神風鈔』<sup>25)</sup>には「野田御厨」とみえることから、近隣に神宮領莊園の存在を伺うことができる。周辺の遺跡としては、替田遺跡・藏田遺跡・宮ノ前遺跡<sup>26)</sup>などで集落が確認されている。

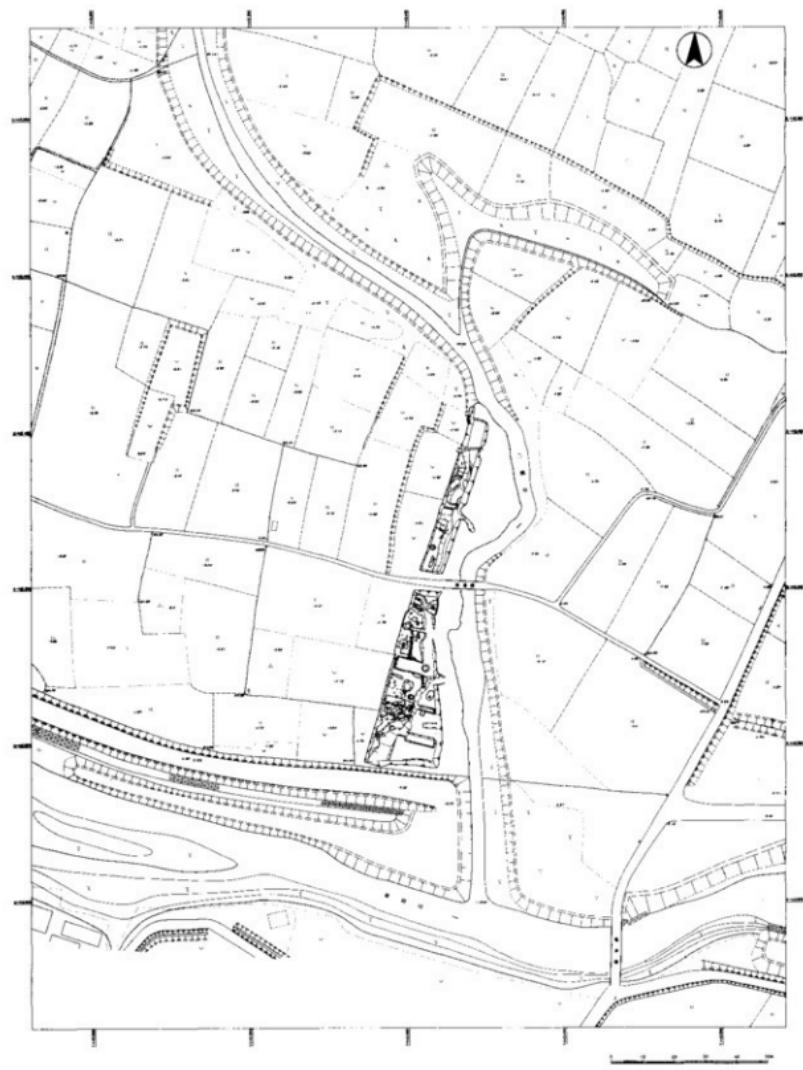
字浜垣内は野田の北部地域であるが、元龟3年（1572）以降現在の野田の高台上に村を移したと伝えられている<sup>27)</sup>。現在の大字野田の中心は岩田川右岸の段丘上にあり、岩田川北岸に位置する里前遺跡は現在の浜垣内集落の旧集落と関わっていた可能性もある。

なお、地元での聞き取りでは、いつの時代に由来するのか定かでないが、遺跡近くに「本屋敷」という地名が残っている。



第2図 周辺遺跡位置図 ( $S = 1 : 50,000$ )

(国土地理院発行 1 : 25,000『棕本』『白子』『津西部』『津東部』より作成)



第3図 調査区位置図 ( $S = 1 : 1,600$ )

## 註

- ①『津市史』および地元での聞き取りによる。
- ②米山浩之・宮田勝助「蔵田遺跡発掘調査報告」(三重県埋蔵文化財センター 1999年)
- ③竹内美昭「蛭ノ木遺跡」(『松ノ木遺跡・森山東遺跡・太田遺跡発掘調査報告』三重県埋蔵文化財センター 1993年)
- ④伊藤久嗣ほか『鈴木遺跡一遺構と遺物』(三重県教育委員会 1980年)
- ⑤中村光司・總植裕典「山瓶遺跡」(『大古曾遺跡・山瓶遺跡・宮ノ前遺跡発掘調査報告』三重県埋蔵文化財センター 1995年)
- ⑥池澤清行「長道跡発掘調査報告」(三重県埋蔵文化財センター 2000年)
- ⑦池澤清行・水橋公彦「皆田遺跡(第1次)」(『一般国道23号!!勢道路埋蔵文化財発掘調査報告』真・三重県埋蔵文化財センター 1997年)
- 水橋公彦・鶴井昭仁・西村美幸「皆田遺跡(第2次)」(『一般国道23号中勢道路埋蔵文化財発掘調査報告』X 三重県埋蔵文化財センター 1998年)
- ⑧池澤清行・米山浩之・宮田勝助「大ノ坪遺跡」(『一般国道23号中勢道路埋蔵文化財発掘調査報告』X 三重県埋蔵文化財センター 1998年)
- ⑨倉田直純ほか「森山東遺跡」(『松ノ木遺跡・森山東遺跡・太田遺跡発掘調査報告』三重県埋蔵文化財センター 1993年)
- ⑩堂堂康光「野州出土彌縫」(『津市の文化財』津市教育委員会 1989年)
- ⑪岐村古墳発掘調査は「殿村古墳群」(『三重県埋蔵文化財センター年報』2 三重県埋蔵文化財センター 1991年)
- ⑫津市教育委員会「絆縫・鍵切古墳群」(『三重県埋蔵文化財年報』15 三重県教育委員会 1985年)
- ⑬三重大学歴史研究会「メタサイ号墳発掘調査報告」(津市教育委員会 1972年)
- 青宮康光ほか「メタサイ3号墳発掘調査報告」(津市教育委員会 1991年)
- ⑭青宮康光「数ヶ口古墳発掘調査報告」(津市教育委員会 1994年)
- 羽崎田登「伊勢国市村駒所在考」(『皇學館論叢』第13巻第6号 1980年)
- 杉木山尚之「藏田遺跡」(『三重県埋蔵文化財センター埋蔵文化財調査報告』津市教育委員会 1993年)
- 鶴村木一郎・宮田勝助「梁瀬遺跡」(『一般国道23号中勢道路埋蔵文化財発掘調査報告』X 1 三重県埋蔵文化財センター 1999年)
- ⑯「内天王寺文書」(『平安遺文』980号)
- ⑰仲見秀雄「庵芸・安濃・一志郡の条里制」(『伊勢湾岸地域の古代条里制』東京堂出版 1979年)など
- ⑱「群書類証」巻第4
- ⑲「群書類証」巻第9
- ⑳「群書類証」巻第9
- ㉑倉田直純「宮ノ前遺跡」(『大古曾遺跡・山瓶遺跡・宮ノ前遺跡発掘調査報告』三重県埋蔵文化財センター 1995年)
- ㉒安濃郡埋蔵文化財センター『安濃郡史』1965年
- ㉓『三重県の地名』平凡社、1983年

### III 調査の成果－基本層序と遺構－

#### 1 調査区の基本層序

里前遺跡は、安濃川から分流した三瀬川と岩田川が合流する地点の上流部側に位置する。今回の調査区は三瀬川西岸の地形の変換点に相当し、現況は耕地の縁辺部と河川の境界部となっている。

調査区内では、各層位が三瀬川に向かって傾斜し、落ち込んでいる。しかし時を重ねるにつれ、河川岸に土砂が押し出されており、平坦な部分の面積が広がっていく。時期により地形が大きく異なることから、まず時期ごとの地形および層序を確認した。

調査区内全てが平坦な面であるのは、第6図32層より下層である。やや下方の35層の<sup>14</sup>C年代測定が6530年BP±130（V章参照）と測定されており、おおむね繩文時代前期に相当するとされる。次に調査区西部では、36層以下の堆積が進む。45層が3990年BP±80（V章参照）と測定されており、繩文後期に相当するとされる。ここまででは、いわゆる無遺物層である。22層以下は、出土遺物からおおむね古墳時代から中世の間に堆積したと考えられ、高橋学氏のいう完新世段丘Ⅱ面<sup>9</sup>に相当すると考えられる。21層より上層は中世以降の堆積層であり、現氾濫原<sup>10</sup>に相当すると考えられる。

なお今回の調査では、無遺物層を中心に<sup>14</sup>C年代測定および珪藻分析・花粉分析を行い、古環境復原を試みた。また、60層で確認された貝に関する同定も合わせて行った。分析結果はV章に掲載しているので、合わせて参考されたい。

#### 2 遺構

今回の調査で確認された遺構は、鎌倉時代から戦国時代初期（以下、「中世」として扱う）と近世以降の時期に所属するものに大きく区分される。

ここでは、主な遺構について記述する。また、検出遺構の概略に関しては、遺構一覧表（第1表）に示した。

##### a 中世前期の遺構

井戸S E 5（第13図・図版5） 調査区南半部のK

22グリッドで検出した遺構である。段丘に位置する。平面形態は直径3.0~3.4mのいびつな形状を呈する。直線的な部分も残存することから、当初は方形であった可能性がある。底付近において、石組みを1段確認した。内面を円形に描えている。

出土した土器は極少量であるが、藤澤良祐氏による山茶椀編年<sup>11</sup>（以下、山茶椀編年と省略）の5型式のものが見られる。

井戸S E 17（第14図） 調査区南半部のM26グリッドで検出した遺構である。段丘傾斜面に位置している。平面形態は、直径1.5~1.9mの梢円形を呈する。

出土した遺物は少量であるが陶器甕と土師器鍋がある。山茶椀編年の5型式、伊藤裕偉氏による南伊勢系鍋の編年<sup>12</sup>（以下、南伊勢系鍋編年と省略）1段階に相当することから、時期的に12世紀末から13世紀初頭頃のものと考えられる。

土坑S K 23（第17図） 下記のS E 6に南部を切り込まれている。

出土遺物は極少量であるが、山茶椀編年の5型式のものが出土している。

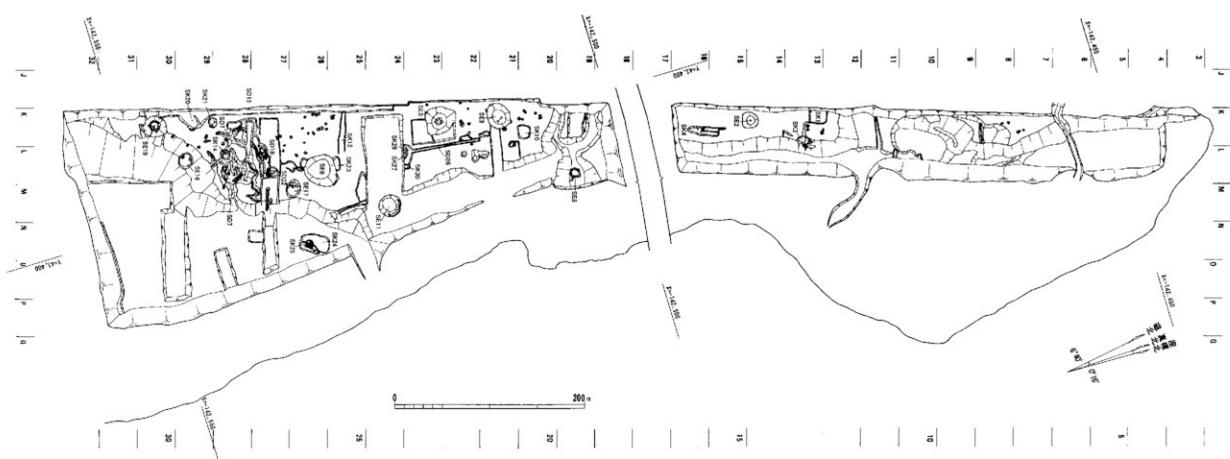
井戸S E 6（第17図・図版6） 調査区南半部のL26グリッドで検出した遺構である。段丘面に位置する。平面形態は直径3.3~3.7mのいびつな形状を呈する。

出土した遺物に山茶椀編年の5~6型式、南伊勢系鍋の編年1段階のものがみられることから、出土遺物からもSK 23よりも新しい遺構と考えられる。

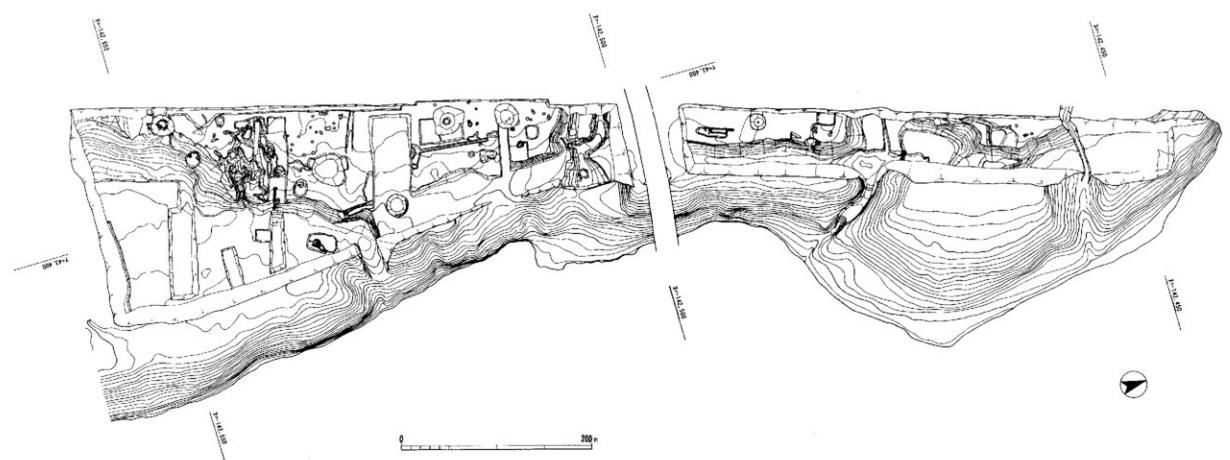
井戸S E 24（第15図・図版5） 調査区南半部のN25~26グリッドで検出した遺構である。現氾濫原面に位置する。平面形態は長辺3.0m短辺2.0mの不定形な形状を呈する。出土遺物は山茶椀編年の6~7型式のものが出土しており、13世紀初頭から後葉にかかる時期のものであろう。

井戸S E 25（第15図・図版5） 調査区南半部のN26グリッドで検出した遺構である。現氾濫原面に位置する。上記のS E 24の中央部南寄りに位置する。

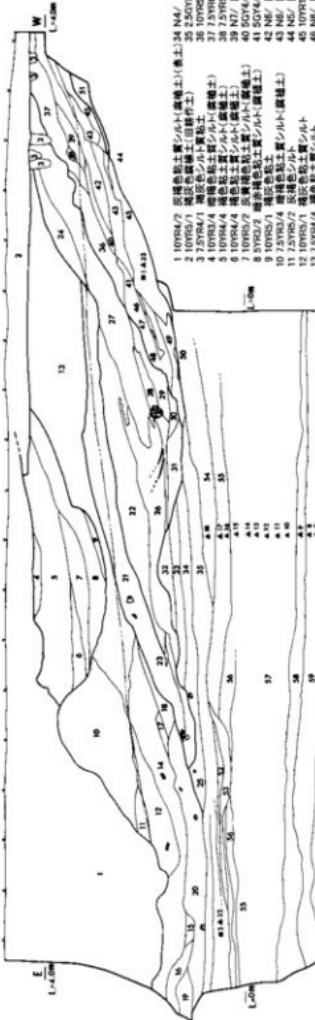
平面形態は、直径0.6mの円形を呈する。底部からやや浮いた部分に10cm弱の疊が敷き詰められて



第4図 調査区平面図 ( $S = 1 : 400$ )



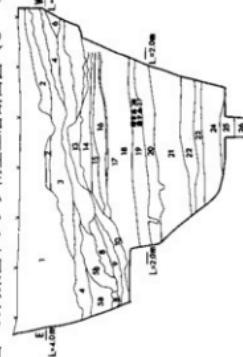
第5図 調査区等高線図 ( $S = 1 : 400$ )



第6図 調査区南半部南壁土層断面図 ( $S = 1 : 100$ ) ■は花粉・珪藻試料採取地点を示す



第7図 30列東西トレーンチ南壁土層断面図 ( $S = 1 : 100$ )

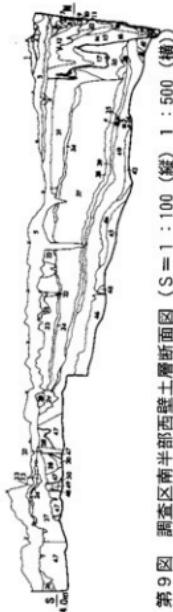


1	10P96/7	暗褐色粘土質シルト質粘土(礁土)	14	N4	灰色粘土
2	10P96/7	褐色粘土質シルト質粘土(礁土)	15	N4	褐色粘土
3	10P96/7	褐色粘土質シルト質粘土	16	N5	褐色粘土
4	10P96/4	褐色粘土質シルト質粘土	17	N5	褐色粘土質粘土
5	10P96/4	褐色粘土質シルト質粘土	18	N5	褐色粘土質粘土
6	10P96/4	褐色粘土質シルト質粘土	19	N7	灰白色粘土
7	10P96/7	褐色粘土質シルト質粘土	20	N7	灰白色粘土
8	10P96/7	褐色粘土質シルト質粘土	21	N7	灰白色粘土
9	10P96/7	褐色粘土質シルト質粘土	22	N7	灰白色粘土
10	10P96/4	褐色粘土質シルト質粘土	23	N7	灰白色粘土
11	10P96/2	褐色粘土質シルト質粘土	24	N7	灰白色粘土
12	10P96/2	褐色粘土質シルト質粘土	25	N7	灰白色粘土
13	10P96/4	褐色粘土質シルト質粘土	26	N7	灰白色粘土
14	10P96/4	褐色粘土質シルト質粘土	27	N7	灰白色粘土
15	10P96/4	褐色粘土質シルト質粘土	28	N7	灰白色粘土
16	10P96/4	褐色粘土質シルト質粘土	29	N7	灰白色粘土
17	10P96/4	褐色粘土質シルト質粘土	30	N7	灰白色粘土
18	10P96/4	褐色粘土質シルト質粘土	31	N7	灰白色粘土
19	10P96/4	褐色粘土質シルト質粘土	32	N7	灰白色粘土
20	10P96/4	褐色粘土質シルト質粘土	33	N7	灰白色粘土
21	10P96/4	褐色粘土質シルト質粘土	34	N7	灰白色粘土
22	10P96/4	褐色粘土質シルト質粘土	35	N7	灰白色粘土
23	10P96/3	褐色粘土質シルト質粘土	36	N7	灰白色粘土
24	10P96/3	褐色粘土質シルト質粘土	37	N7	灰白色粘土
25	10P96/3	褐色粘土質シルト質粘土	38	N7	灰白色粘土
26	10P96/3	褐色粘土質シルト質粘土	39	N7	灰白色粘土
27	10P96/3	褐色粘土質シルト質粘土	40	N7	灰白色粘土
28	10P96/3	褐色粘土質シルト質粘土	41	N7	灰白色粘土
29	NE	褐色粘土質シルト質粘土の互層	42	N7	灰白色粘土
30	NE	褐色粘土質シルト質粘土の互層	43	N7	灰白色粘土
31	10P96/4	褐色粘土質シルト質粘土の互層	44	N7	灰白色粘土
32	10P96/4	褐色粘土質シルト質粘土の互層	45	N7	灰白色粘土
33	NE	褐色粘土質シルト質粘土	46	N7	灰白色粘土

1	12.5Y6/2	暗褐色シルト	17	5Y96/2	オリーブ褐色
2	2.5Y7/2	褐色シルト質粘土(礁石)	18	5Y96/2	オリーブ褐色
3	2.5Y7/2	褐色シルト質粘土(礁石)	19	5Y96/2	オリーブ褐色
4	2.5Y9/3	にふいた褐色	20	5Y96/2	オリーブ褐色
5	7.5Y9/1	褐色粘土質シルト質粘土	21	7.5Y9/2	オリーブ褐色
6	7.5Y9/1	褐色粘土質シルト質粘土	22	7.5Y9/2	黒褐色シルト質粘土
7	10P96/3	褐色粘土質シルト質粘土	23	7.5Y9/2	黒褐色シルト質粘土
8	10P96/3	褐色粘土質シルト質粘土	24	7.5Y9/2	黒褐色シルト質粘土
9	10P96/3	褐色粘土質シルト質粘土	25	7.5Y9/1	オリーブ褐色
10	10P96/3	褐色粘土質シルト質粘土	26	10Y96/2	灰褐色
11	7.5Y9/2	褐色粘土質シルト質粘土	27	10Y96/2	灰褐色
12	5Y96/2	褐色粘土質シルト質粘土	28	10Y96/2	灰褐色
13	5Y96/2	褐色粘土質シルト質粘土	29	10Y96/4	にふいた褐色
14	5Y96/2	褐色粘土質シルト質粘土	30	10Y96/4	にふいた褐色
15	7.5Y9/2	褐色粘土質シルト質粘土	31	5Y96/1	褐色粘土
16	7.5Y9/2	褐色粘土質シルト質粘土	32	5Y96/1	褐色粘土
17	10Y96/2	褐色粘土質シルト質粘土	33	5Y96/1	褐色粘土

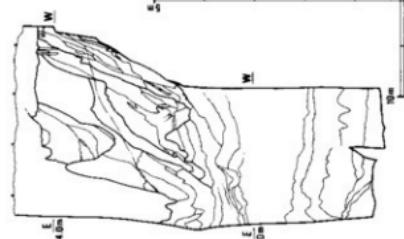
第8図 調査区北半部南壁土層断面図 ( $S = 1 : 100$ ) ■は花粉・珪藻試料採取地点を示す

1	10P96/7	褐色粘土質シルト質粘土(礁土)	14	N4	褐色粘土
2	10P96/7	褐色粘土質シルト質粘土(礁土)	15	N4	褐色粘土
3	10P96/7	褐色粘土質シルト質粘土	16	N5	褐色粘土
4	10P96/4	褐色粘土質シルト質粘土	17	N5	褐色粘土
5	10P96/4	褐色粘土質シルト質粘土	18	N5	褐色粘土
6	10P96/4	褐色粘土質シルト質粘土	19	N7	灰白色粘土
7	10P96/7	褐色粘土質シルト質粘土	20	N7	灰白色粘土
8	10P96/7	褐色粘土質シルト質粘土	21	N7	灰白色粘土
9	10P96/7	褐色粘土質シルト質粘土	22	N7	灰白色粘土
10	10P96/4	褐色粘土質シルト質粘土	23	N7	灰白色粘土
11	10P96/3	褐色粘土質シルト質粘土	24	N7	灰白色粘土
12	10P96/3	褐色粘土質シルト質粘土	25	N7	灰白色粘土
13	10P96/3	褐色粘土質シルト質粘土	26	N7	灰白色粘土
14	10P96/3	褐色粘土質シルト質粘土	27	N7	灰白色粘土
15	10P96/3	褐色粘土質シルト質粘土	28	N7	灰白色粘土
16	10P96/3	褐色粘土質シルト質粘土	29	N7	灰白色粘土
17	10P96/3	褐色粘土質シルト質粘土	30	N7	灰白色粘土



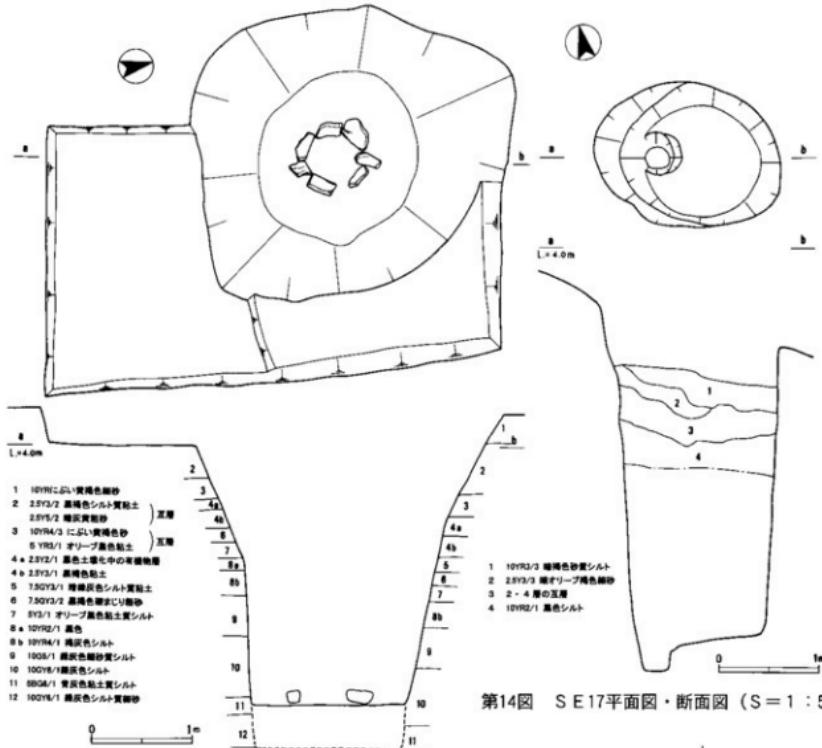
第10図 調査区北半部西壁土層断面図 (S = 1 : 100 (綴) 1 : 500 (継))

1 剥土	23 1.57m/0 岩質地盤シルト質粘土
2 岩土	24 1.97m/1 反対側地盤シルト質粘土
3 1.07m/2 反対側地盤シルト質粘土	25 5.98m/1 黄褐色地盤シルト土質
4 1.07m/4 にふくらむ褐色地盤シルト質粘土	26 1.07m/1 黄褐色地盤シルト土質
5 1.07m/3 にふくらむ褐色地盤シルト質粘土	27 1.07m/2 1.07m/4 反対側地盤シルト質粘土
6 1.07m/2 にふくらむ褐色地盤シルト質粘土	28 1.07m/4 反対側地盤シルト質粘土
7 1.07m/4 褐色シルト質粘土	29 2.95m/0 黄褐色地盤シルト質粘土
8 1.07m/3 にふくらむ褐色地盤シルト質粘土	30 1.57m/0 1.57m/1 黄褐色地盤シルト質粘土
9 1.07m/3 にふくらむ褐色地盤シルト質粘土	31 1.07m/2 1.57m/1 黄褐色地盤シルト質粘土
10 1.07m/3 にふくらむ褐色地盤シルト質粘土	32 1.07m/4 反対側地盤シルト質粘土
11 1.07m/4 にふくらむ褐色地盤シルト質粘土	33 1.07m/4 黄褐色地盤シルト質粘土
12 1.07m/3 にふくらむ褐色地盤シルト質粘土	34 1.07m/4 黄褐色地盤シルト質粘土
13 1.07m/4 反対側地盤シルト質粘土	35 1.07m/4 黄褐色地盤シルト質粘土
14 1.07m/4 棕褐色地盤シルト質粘土	36 1.07m/4 黄褐色地盤シルト質粘土
15 1.07m/3 にふくらむ褐色地盤シルト質粘土	37 1.57m/1 黄褐色地盤シルト質粘土
16 1.07m/3 にふくらむ褐色地盤シルト質粘土	38 1.07m/2 黄褐色地盤シルト質粘土
17 1.07m/3 にふくらむ褐色地盤シルト質粘土	39 1.57m/0 黄褐色地盤シルト質粘土
18 1.07m/3 にふくらむ褐色地盤シルト質粘土	40 1.25m/0 1.25m/1 黄褐色地盤シルト質粘土
19 1.07m/2 1.07m/3 にふくらむ褐色地盤シルト質粘土	41 1.07m/2 黄褐色地盤シルト質粘土
20 1.07m/3 にふくらむ褐色地盤シルト質粘土	42 1.57m/0 2.14m/1 黄褐色地盤シルト質粘土
21 1.07m/1 黄褐色地盤シルト質粘土	43 1.07m/1 黄褐色地盤シルト質粘土
22 1.07m/1 黄褐色地盤シルト質粘土	44 1.57m/2 1.57m/1 黄褐色地盤シルト質粘土
23 1.07m/1 黄褐色地盤シルト質粘土	45 1.07m/4 黄褐色地盤シルト質粘土
24 1.07m/1 黄褐色地盤シルト質粘土	46 1.07m/2 1.57m/1 黄褐色地盤シルト質粘土
25 1.07m/1 黄褐色地盤シルト質粘土	47 1.07m/3 黄褐色地盤シルト質粘土
26 1.07m/1 黄褐色地盤シルト質粘土	48 1.57m/2 黄褐色地盤シルト質粘土
27 1.07m/1 黄褐色地盤シルト質粘土	49 1.25m/0 黄褐色地盤シルト質粘土
28 1.07m/1 黄褐色地盤シルト質粘土	50 1.30m/2 1.30m/1 黄褐色地盤シルト質粘土
29 1.07m/1 黄褐色地盤シルト質粘土	51 1.25m/2 黄褐色地盤シルト質粘土
30 1.07m/1 黄褐色地盤シルト質粘土	52 1.25m/2 黄褐色地盤シルト質粘土
31 1.07m/1 黄褐色地盤シルト質粘土	53 不明
32 1.07m/1 黄褐色地盤シルト質粘土	54 不明
33 1.07m/1 黄褐色地盤シルト質粘土	55 不明

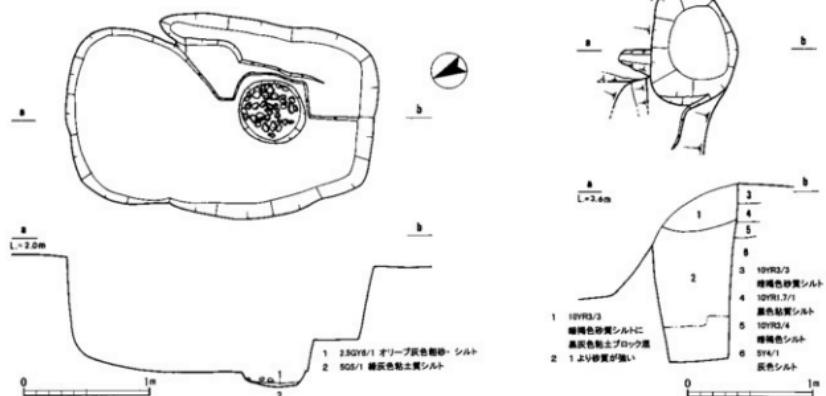


第12図 調査区土層断面図作成地点位置図 (S = 1 : 800)

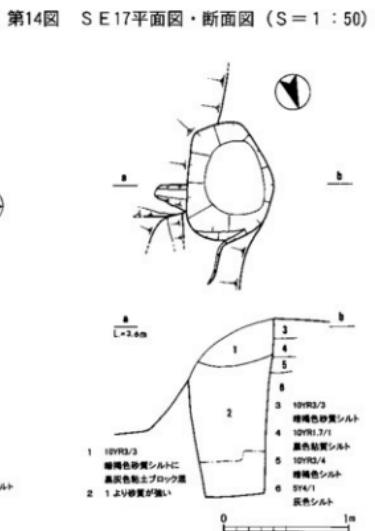




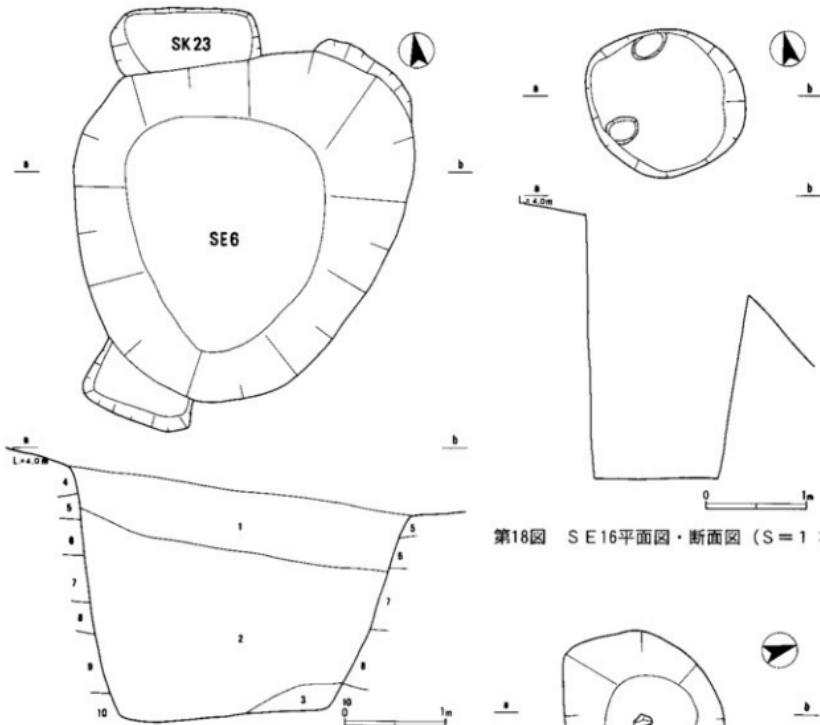
第13図 SE 5 平面図・断面図 (S = 1 : 50)



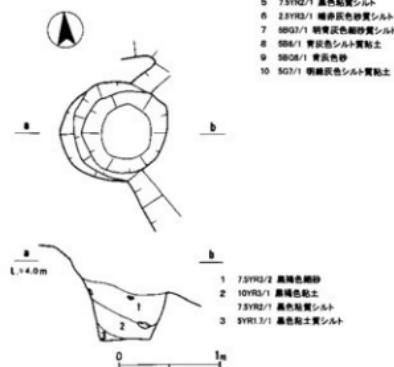
第15図 SE 24・25 平面図・断面図 (S = 1 : 50)



第14図 SE 17 平面図・断面図 (S = 1 : 50)

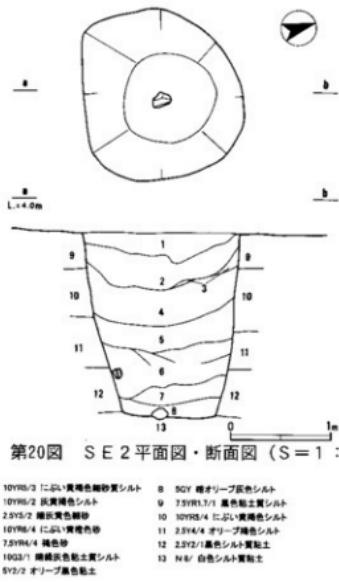


第17図 SE 6 平面図・断面図 ( $S = 1 : 50$ )



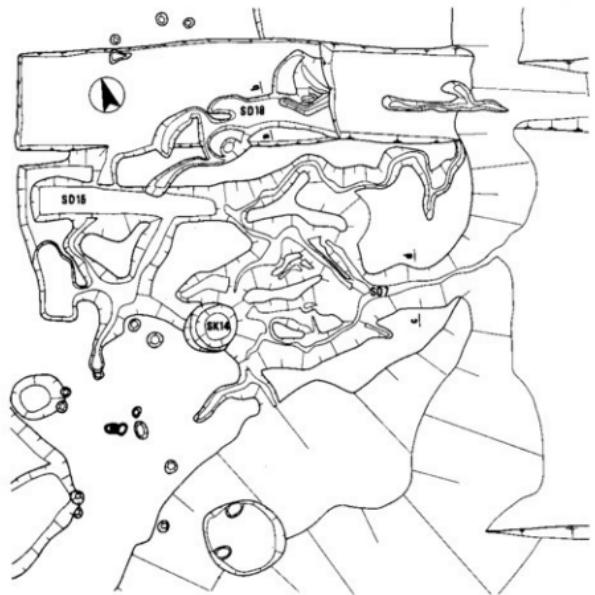
第18図 SE 16 平面図・断面図 ( $S = 1 : 50$ )

第18図 SE 16 平面図・断面図 ( $S = 1 : 50$ )

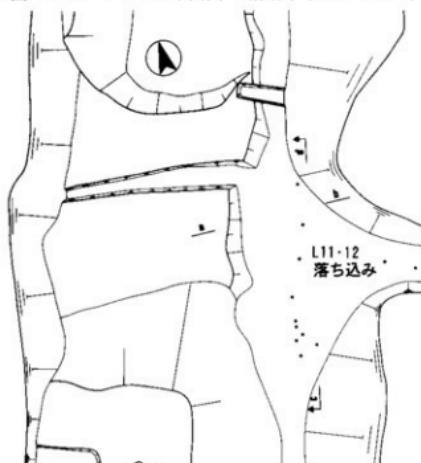


第19図 SK 14 平面図・断面図 ( $S = 1 : 50$ )

- 1 10YR5/3 「にじい黄褐色細粒砂質シルト
- 2 10YR5/2 黄褐色細粒シルト
- 3 10YR5/1 黄褐色粘土
- 4 SYR1.7/1 黄色粘土シルト
- 5 7SYR2/1 黄褐色細粒シルト
- 6 5G3/1 基礎灰色シルト質粘土
- 7 SY3/2 オリーブ無色粘土
- 8 SGY 緩オリーブ無色シルト
- 9 7SYR1.1/1 基礎灰色シルト
- 10 10YR5/4 「にじい黄褐色
- 11 2.5Y4/4 オリーブ褐色シルト
- 12 2.5Y2/1/無色シルト質粘土
- 13 NH/ 白色シルト質粘土



第21図 SD 7・SD 18平面図・断面図 ( $S = 1 : 100$ )



第22図 L 11・12落ち込み  
平面図・断面図 ( $S = 1 : 100$ )



第23図 L 11・12落ち込み 坑列出土状況  
平面図・立面図 ( $S = 1 : 50$ )

た。

出土遺物は山茶椀編年の7型式のものが出土しており、出土遺物によるSE24との時期差は認められない。

井戸S E 3 (第16図・図版7) 調査区北半部のK 13グリッドで検出した遺構である。段丘面に位置する。平面形態は長径1.2m短径0.9mの楕円形を呈する。

井戸S E 16 (第18図) 調査区南半部のL 29グリッドで検出した遺構である。段丘面に位置する。

出土した遺物には山茶椀編年の6~7型式のものがみられることから、13世紀初頭から後葉にかかる時期のものと考えられる。

井戸S E 8 (第28図・図版9~10) 調査区南半部のL 19グリッドで検出した遺構である。現氾濫原面に位置する。石組みを方形に1段組み、その上に内法0.7mの方形の井戸枠を組んでいる。側枠は板材を縦方向に二重に巡らせている。側枠内面には方形の井桁を組んでいる。側枠外面には約2cm幅の帯状の痕跡が残っていることから、タガが巡らされていった可能性がある。このことから、側枠は内外面から固定されていたと推定できよう。また、4隅に角材が立てられていたのは、これを補強したものとみられる。

ところで、石組みとほぼ同じ高さにおいて、曲物が出土している。井戸側の基礎である石組みが水溜に使われた可能性のある曲物を欠損させていることから、SE 8に先行する遺構に帰属する遺物の可能性がある。

出土遺物は極少量であるが、石組みの下から山茶椀編年の7型式頃のものが出土している。上記のよ

うに、先行遺構が存在する可能性があることから、出土遺物の山茶椀はSE 8の上限でしかなく、SE 8の所属時期は下る可能性が高い。

溝S D 7 (第21図・図版12) 調査区南半部のL~M28グリッドで検出した落ち込みである。不定形であり、人為的な掘削を伴うものとは考えにくい。

遺物は埋土に陶器椀などが多く含まれていた。陶器椀には山茶椀編年の5型式、土師器鍋には南伊勢系鍋の編年第1段階のものがみられることから、12世紀末から13世紀初頭頃のものと考えられる。地形および遺構の形状や出土遺物が類似することから、後述のSD 18と一連のものと考えられる。

溝S D 18 (第21図・図版12) 調査区南半部のL~M27グリッドで検出した落ち込みである。不定形であり、人為的な掘削を伴うものとは考えにくい。

上記のSD 7と同様に、遺物は埋土に陶器椀などが多く含まれていた。山茶椀編年の4~5型式のものがみられることから、時期的に12世紀後半から13世紀初頭頃のものと考えられる。SD 7と一連のものと考えられる。

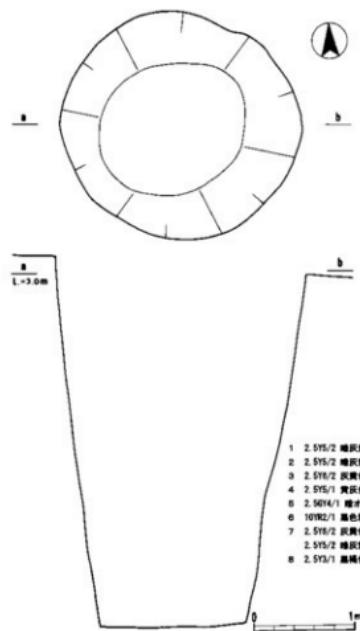
#### K・L 19~L 20落ち込み (第4・9図・図版12)

調査区南半部のK・L 19において検出した落ち込みである。掘り上がりの図である第4図では、東西方向の2条の溝が合流している。しかし図版12によると、2条の溝には前後関係があり、南側の溝はより南部へと直角に近い角度で折れ曲がっている。また第9図によると、断面形態が箱型を呈しており、人為的な掘削が行われていると考えられる。

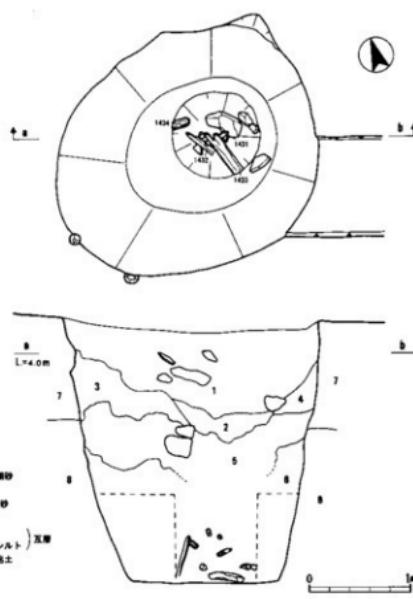
出土遺物は南側の溝の埋土に包含されており、東西方向から南側に統いて出土している。時期的には、山茶椀編年の5~7型式、南伊勢系鍋の編年第1段



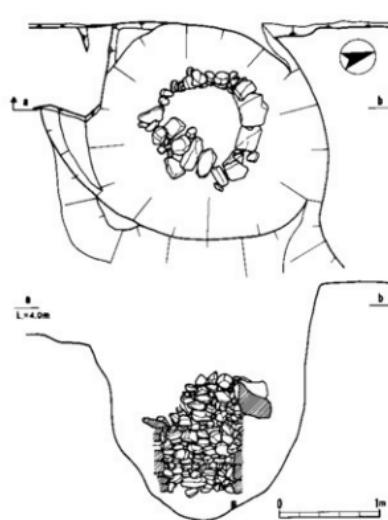
第24図 調査区南半部南端 坑列出土状況平面図・立面図 (S=1:50)



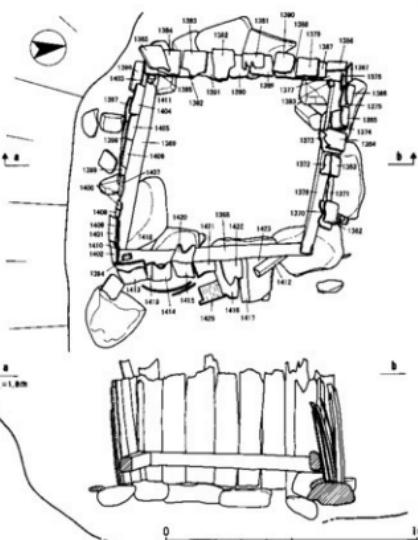
第25図 SE 11平面図・断面図 ( $S = 1 : 50$ )



第26図 SE 9 平面図・立面図 ( $S = 1 : 50$ )



第27図 SE 19平面図・立面図 ( $S = 1 : 50$ )



第28図 SE 8 平面図・立面図 ( $S = 1 : 20$ )

階のものがみられることから、時期的に12世紀末から13世紀中葉頃のものと考えられる。

L11・12落ち込み（第22・23図・図版13） 調査区  
北半部のL11・12において検出した落ち込みである。  
現氾濫原面において、三沢川と平行する方向に杭列  
が打ち込まれている。

時期的には、この周囲から出土している遺物が山茶椀縦年の5～6型式、南伊勢系鍋の縦年第1段階に相当することから、12世紀末から13世紀前半頃のもの可能性が考えられる。

調査区南半部南端 杭列（第24図・図版13） 調査区  
南半部南端4層として、調査を行った。調査区南半部南端4層には、陶器椀5～6型式を主体とする時期の遺物が含まれていることから、かかる時期の遺構である可能性がある。

#### b 中世後期の遺構

井戸S E 2（第20図・図版7） 調査区南半部の  
K14グリッドで検出した遺構である。段丘面に位置する。  
平面形態はいびつではあるが、一辺1.6～1.7

mの方形を意識したものである。

出土遺物は中北勢系の羽釜が出土しており、15世紀末頃<sup>6</sup>の遺構と考えられる。

土坑S K 14（第19図） 調査区南半部のL28グリッドで検出した遺構である。段丘面に位置する。平面形態は直径1mの円形を呈する。

時期的には、出土遺物から15世紀後半頃の遺構と考えられる。

井戸S E 11（第25図） 調査区南半部のM24グリッドで検出した遺構である。段丘傾斜面に位置する。  
平面形態は直徑2.3～2.4mの円形を呈する。

時期的には、出土遺物から15世紀後半頃の遺構と考えられる。

井戸S E 9（第26図） 調査区南半部のK21グリッドで検出した遺構である。段丘面に位置する。平面形態は直径2.5～2.75mの梢円形を呈する。埋土中には、高さ20cm程度の石が面を描いて一部残っており、井戸側の上部に石積みが使われていたと考えられる。また下方では、板材が内方に向かって倒れ掛けている。これは水溜の保護に用いられていたと考えられる。

時期的には、出土遺物から17世紀前半頃の遺構と考えられる。

井戸S E 19（第27図・図版8） 調査区南半部の  
K30グリッドで検出した遺構である。段丘面に位置する。南東の一部は崩れているが、一辺2.2～2.3mの方形の掘り方に、内法1.8mの石組みが方形に組まれていたと考えられる。

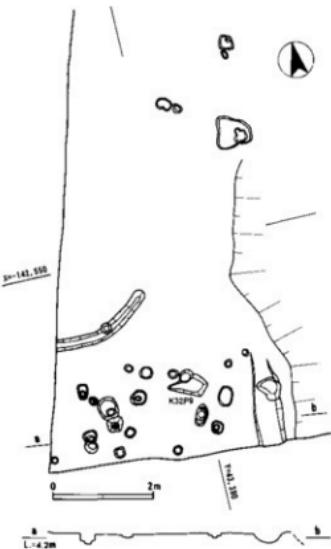
時期的には、出土遺物から16世紀後半頃の遺構と考えられる。

#### c 中世後期以降の遺構

調査区南半部南端上層遺構（第29図） 調査区の南端部付近で確認した。しかし、建物と考えられるまどまりは確認できなかった。Pit遺物から中世後期以降の遺構と考えられる。

#### d その他・時期不明遺構

足跡（第30図・図版14） 井戸などを検出した面の下層、黒灰色腐食質シルトの上面で、中に砂が入った状態で検出した。偶蹄形の動物の足跡と考えられる。三沢川に沿う形でやや平坦な部分が広がっており、そこを中心に確認した。関連する遺構や人の足



第29図 調査区南半部南端上層遺構  
平面図・断面図 (S = 1 : 100)

跡は確認できなかった。

#### e 包含層等

30列東西トレンチ遺物（第31図・図版11） 古墳時代中期を中心とする資料である。まとまって出土しているが、一括性は良好と言い難い。

N31グリッド遺物（第32図・図版11） 包含層2層として調査された一群の一部である。陶器棺は山茶楓瓶年の6～7型式のものがみられることから、木

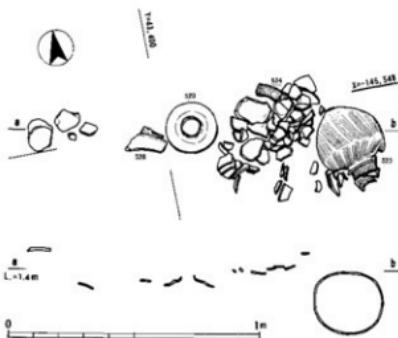
箱も時期的に13世紀初頭から後葉にかかる時期のもののが可能性が考えられる。

調査区内の小地区の27列および30列（第4図・第7図）にはトレンチを設け、適宜層序ごとに遺物の取り上げを行っている。同様に南部南端も1・3・4・5・6・7層として取り上げられている。しかし、両者とも具体的な位置および層序は明らかでない。おおむね、5層以下が古墳時代後期まで、3層以下が中世前期まで、1層が中世後期までの遺物を

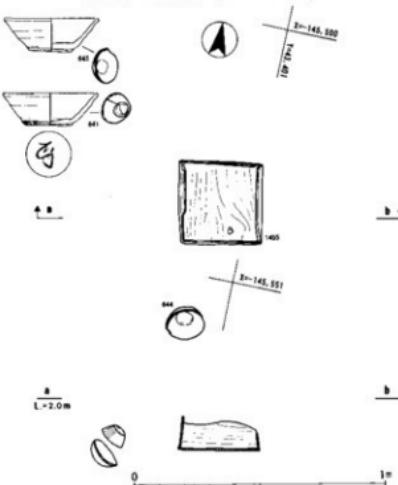


第30図 足跡

平面図(S=1:100)・断面図(S=1:40)



第31図 30列東西トレンチ遺物出土状況  
平面図・断面図 (S = 1 : 20)



第32図 N31グリッド遺物出土状況  
平面図・立面図 (S = 1 : 20)

包含する層序である。また、包含層2層とされる遺物は30列付近から出土しているが、30列東西トレンチとの関係も明らかでない。

## 註

- ①高橋学「古代木浜陣における臨海平野の地形環境と土地開発」(『歴史地理学』36-1 1994年)
- ②前掲①
- ③藤井良祐「横戸地方の北部系川茶碗窯」(『名品』横戸市教育委員会 1990年)ほか
- ④伊藤裕作「中後商伊勢系の上部器に関する一試験」(『Mehistory』1 1990年)
- ⑤伊藤裕作「伊勢の中世若狭用土器から東海を見る」(『諸と變そのデザイン』第4回東海考古学フォーラム1996年)

遺構番号	性格	時期	小地区	備考
SK1	土坑	近世	K12~13	
SE2	井戸	15世紀末	K14~15	
SE3	井戸	13世紀初頭~13世紀前葉	K13	遺物細片のみ
SK4	土坑	12世紀中葉?	K15~16	
SE5	井戸	12世紀末~13世紀初頭	K22	
SE6	井戸	12世紀末~13世紀前葉	L25~M26	S K23を切る
SD7	溝	12世紀末~13世紀初頭	L~M28	S D18と一連
SE8	井戸	前身遺構が13世紀後葉以前	L19	前身遺構あり
SE9	井戸	17世紀前半	K21	
SK10	土坑	12世紀末~13世紀初頭	K20~21	遺物細片のみ
SE11	井戸	15世紀後半	M24	
SK12	土坑	中世後期	K25	
13			K31	欠番
SK14	井戸	15世紀後半	L28	S D 7を切る
SD15	溝		K28	S D 7・18と一連か?
SE16	井戸	13世紀初頭~13世紀後葉にかかる時期	L29	
SE17	井戸	12世紀末~13世紀初頭	M26	
SD18	溝	12世紀中葉~13世紀初頭	L~M27	S D 7と一連
SE19	井戸	16世紀後半	K30	
SK20	土坑		K29	
SK21	土坑		K28~29	
SD22	溝		L26~27	S D 7・18と一連か?
SK23	土坑	12世紀末~13世紀初頭	L25	S E 6に切られる
SE24	井戸	13世紀初頭~13世紀後葉にかかる時期	N25~26	S E25の堀方? 現場調査時はSKとした
SE25	井戸	13世紀中葉~13世紀後葉にかかる時期	N25~26	S E24の井筒 現場調査時はSKとした
SD26	溝		L22~23	
SK27	土坑		L23	
28			M25	欠番
SK29	土坑		L23	
SK30	土坑		L23	

第1表 遺構一覧表

## IV 調査成果－出土遺物－

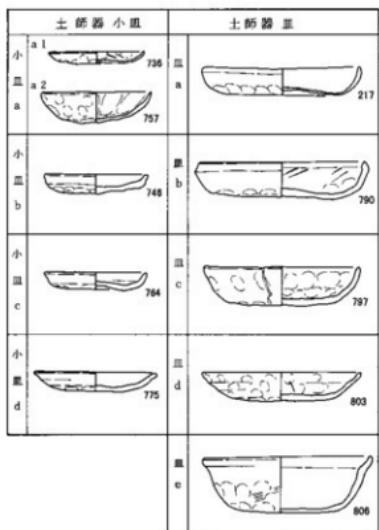
今回の調査で確認された遺物は、鎌倉時代から戦国時代初期（以下、中世とする）の遺構に伴うものといわゆる包含層遺物に大きく区分される。出土量としては、コンテナに換算して、403箱分の出土があった。以下、出土遺構ごとに概略を記述する。

中世の土器供膳具に関しては、下記の分類表に基づき記述する。当遺跡の資料は一括性の高い遺構資料が乏しいため、時期的な検討には適しない。従って、法量と調査の手法により分類を試みた。容量によりおむね、口径9cm前後の小皿と15cm前後の皿の2種類が認められる。

**小皿 a** 口縁端部を軽くナデで収める（a手法）。器壁が薄く、指押さえ痕が多く残る。器高の低いa1と器高の高いa2がある（南伊勢系）。

**小皿 b** 口縁端部を強いナデで仕上げる（b手法）ために、面をもつ。

**小皿 c** 底部外面を強く指押さえによって押すために凹む。



第33図 土器供膳具分類図（1:4）

**皿 d** 口縁部を2段のナデで仕上げる（京都系）。

**皿 a** 口縁部内面を強くヨコナデするため、外面が肥厚する。口縁端部を軽くナデで収める（a手法）。器壁が薄く、指押さえ痕が多く残る（南伊勢系）。

**皿 b** 口縁端部を強いナデで仕上げる（b手法）ために面をもつ。

**皿 c** 底部外面を強く指押さえによって押すために凹む。口縁部に切れ込みがあり、貼り合わせている個体もみられる。

**皿 d** 口縁部を2段のナデで仕上げることから、立ち上がり部内面に凌をもつ（京都系）。

**皿 e** 口縁部内面に面をもつ。

### 1 土器等の遺物

井戸S E 5出土遺物（1～2） 陶器碗（1）と丸瓦（2）がある。

井戸S E 17出土土器（3～7） 青磁碗（3）・陶器碗（5・6）・土器器鍋（7）などがある。

土坑S K 23出土土器（8） 陶器碗（8）がある。

井戸S E 6出土土器（9～37） 9～10・12は土器供膳具小皿である。土器供膳具小皿には、小皿c（10）や小皿d（12）がみられる。13・14は土器供膳具皿である。13は皿aに相当する。11・15～19は陶器供膳具・20～34は陶器碗である。これらの陶器供膳具には、底部外面に墨書分類（第33表参照）E類（15・31）やC類（30）などの墨書きがみられる。35～37は南伊勢系の土器器鍋（以下、南伊勢系器鍋とする）である。

井戸S E 3出土土器（38） 陶器小皿（38）である。

井戸S E 24出土土器（39～46） 39は土器供膳具小皿、40は陶器小皿、41～44は陶器碗、45は南伊勢系器鍋、46は壺である。

井戸S E 25出土土器（47～50） 47は土器供膳具a1に相当する。48～50は陶器碗である。48の底部には墨書きE13が記されており、268・1161と筆跡が類似する。

井戸S E 16出土土器（51・52） 陶器碗（51・52）がある。

井戸S E 8出土土器（53） 陶器碗（53）がある。

土坑 S K 20 出土土器 (54) 陶器碗 (54) がある。満 S D 7 出土土器 (55~84) 55~56は土師器小皿、57は土師器皿、58~60~63は陶器小皿、64は土師器高杯、65~66は灰釉陶器碗、67~77は陶器碗、78は陶器片口鉢、79~81は土師器鍋、82は土師器羽釜、83は陶器壺、84は円形加工品である。この中で、64~66は9~11世紀頃の遺物であり、82は15世紀後半頃の遺物であることから、ともに混入品と考えられる。その他の遺物は時期幅が見られないことから比較的まとまりのよい資料である。

土師器小皿・皿はaを中心に見られる(第31表)。陶器小皿・碗は渥美産が1/3を占める。墨書はC 1・G 3がある。南伊勢系鍋(79)は体部外面にハケ調整が見られる。

満 S D 18 出土遺物 (85~126) 86~89は土師器小皿、90~91は土師器皿、92~98は陶器小皿、99~120は陶器碗、121~122は陶器片口鉢、123~124は土師器鍋、85・125は陶器壺、126は砥石である。

土師器小皿・皿は圧倒的にaが多い。陶器小皿・碗は渥美産が1/2近くを占めている。また、図化を行った個体の内2点を除くと全てに内面に磨耗痕が確認でき、とりわけ使用痕の見られる土器の比率が高い。これらの底部外面にはC 1・K 7などの墨書きが見られる。煮沸具は全て南伊勢系鍋である。

満 S D 22 出土土器 (127~131) 127は土師器小皿、128~130は陶器碗、131は陶器片口鉢である。

満 S D 15 出土土器 (132~135) 132~133は土師器小皿、134は土師器皿、135は陶器碗である。

土師器小皿はa 1 (133) と c (132) に、皿はbに相当する。

土坑 S K 14 出土土器 (136~141) 136~137は土師器小皿、138~140は陶器碗、141は瓦質火鉢である。

土師器小皿はa 2 に相当する。

井戸 S E 2 出土土器 (142~143) 142~143は中北勢系の土師器羽釜(以下、中北勢系羽釜とする)である。

土坑 S K 12 出土土器 (144) 144は中北勢系羽釜である。

井戸 S E 11 出土土器 (145~152) 145~146は陶器小皿、147~149は陶器碗、150~151は陶器捏鉢、152は砥石である。

陶器捏鉢 (151) の底部は焼成後に穿孔され、円形に整えられている。

井戸 S E 19 出土遺物 (153~157) 153~154は瀬戸産の陶器皿、155~156は常滑産の陶器壺である。157は、五輪塔の地輪に相当すると考えられる。砂岩が加工されている。

井戸 S E 9 出土土器 (158~161) 158は陶器小皿、159は陶器皿、160は陶器碗、161は陶器捏鉢である。いずれも瀬戸産と考えられる。159の底部外面には、D 5の墨書きが見られる。

土坑 S K 1 出土土器 (162~163) 162は灰釉陶器であり、混入と考えられる。163は陶器皿である。

土坑 S K 29 出土土器 (164) 164は常滑産の鉢である。

L 11・12 落ち込み 粗砂下出土土器 (165~187)

165は土師器小皿、167~168は土師器皿、166は陶器小皿、169~184は陶器碗、185は南伊勢系鍋、186は中北勢系羽釜、187は陶器壺である。

土師器皿・小皿はb・cが見られる。陶器小皿では渥美産が2割強、碗では4割弱を占める。墨書きはK 2・G 7などが見られる。

L 11・12 落ち込み 粗砂出土土器 (188~197) 188~190は土師器小皿、191~194は土師器皿、195~196は陶器碗、197は南伊勢系鍋である。

L 11・12 落ち込み 粗砂上出土土器 (198~201)

198は土師器小皿、199は陶器小皿、200~201は陶器碗である。陶器碗の底部には、墨書きK 1・K 2が見られる。同一の記号の可能性があるが、筆跡の方向から天地を推定した。

L 11・12 落ち込み出土土器 (202~206) 202は土師器皿、203~204は陶器小皿、205~206は陶器碗である。土師器皿はaに相当する。

K・L 19~20 落ち込み出土遺物 (207~314) 207~209は土師質土器の皿・高台付皿である。208は灰釉陶器皿である。この3点は時期的にやや古く、混入の可能性がある。

210~216は土師器小皿、217~222は土師器皿、223~227・229~248は陶器小皿、249は青磁碗、250~252は白磁碗、253~309は陶器碗、310~311は南伊勢系鍋、312は陶器鉢、313は円形加工品、314は土師質の上鍤である。この中では、312が近世の遺物で

あり、混入の可能性がある。陶器小皿および椀底部には、墨書「寺」のほかC類やE類などを見られる。また、墨書は筆跡の類似する個体がSE25や包含層から出土している。

K32P9出土遺物（315～317）315は丸瓦、316は土師器皿、317は南伊勢系鍋である。317は南伊勢系鍋の発年の第4段階b型式に相当することから、15世紀末から16世紀初頭にかけてのものと考えられる。

南半部南端7層出土土器（318～324）縄文時代から古墳時代の遺物、中世の遺物がある。縄文時代の遺物は318が中期の深鉢、弥生時代の遺物は319が前期末の壺、320が後期の壺、古墳時代の遺物は321～323が須恵器蓋杯、中世の遺物は324が陶器小皿である。

南半部南端6層出土土器（325～336）縄文時代の遺物と古墳時代の遺物と中世の遺物がある。

縄文時代の遺物は325が晚期の凸帯文土器深鉢である。口縁端部を外面に折り曲げ、棒状工具により押圧が施されている。

古墳時代の遺物は326・334が土師器壺、327が土師器鉢、328が土師器瓶、333が土師器高杯、335が土師器壺、329が須恵器杯身、330・331が須恵器高杯である。326には直線文と山形文が配されており、山形文にはベンガラによる赤彩が施されている。

中世の遺物は336が土師器小皿である。

南半部南端5層出土土器（337～368）弥生時代から古墳時代の遺物と中世の遺物がある。

弥生時代の遺物は337が壺、338が器台である。

古墳時代の遺物は前期の遺物と後期の遺物がある。前期の遺物は339～341が壺、342～344が高杯、345～348がS字状口縁台付壺（以下、S字壺とする）である。後期の遺物は350～353が須恵器蓋杯、354が須恵器高杯、367が須恵器壺、355～356が上師器杯、358～360が土師器高杯、349・361～365が土師器壺、366が土師器瓶である。土師器壺は361～364がS字壺であり、349・365がく字状口縁壺である。349は外面の上半部にのみ煤が付着しており、下半部には煤が見られない。よって、壺のように別の壺の上方に合わせて使用している可能性がある。なお、内面の下半部には炭化物の付着が見られる。

中世の遺物は368が常滑産の壺である。

南半部南端4層出土土器（369～392）古墳時代の遺物と中世の遺物と近代の遺物がある。

古墳時代の遺物は369～370が土師器壺、371が土師器杯、372がS字壺である。369は直線文と山形文が配されており、山形文にはベンガラによる赤彩が施されている。中世の遺物は373が土師器小皿、374が土師器皿b、375～377が陶器小皿、378～391が陶器碗である。近代の遺物は392が陶器小皿である。底部外面に「阿漕」の印が烙印されていることから、地元の阿漕焼と考えられる。

南半部南端3層出土遺物（393～447）弥生時代から中世の遺物がある。

弥生時代の遺物は393が前期の鉢、394が瓶である。394は底部を焼成後に穿孔されている。古墳時代の遺物は395が土師器壺、396～398が須恵器杯蓋、399が須恵器壺、401が滑石製双孔円板である。古代の遺物は402・403が土師質土器皿、404が黒色土器碗、405が縁付陶器碗、406が丸瓦である。中世前期の遺物は407が土師器小皿b、408が瓦器碗、409～416が陶器小皿、417が青磁碗、418～442が陶器碗、444が陶器捏鉢、445が土師器鍋である。陶器小皿および碗の底部外面には「よね」「みのる」などの墨書が見られる。411は花押の可能性を考えられる。中世後期の遺物は446が土師器羽釜、447が陶器碗である。

南半部南端1層出土土器（448～468）中世から近世にかけての遺物がある。中世前期の遺物は448が陶器小皿、449～461が陶器碗である。中世後期の遺物は462が茶釜、463が南伊勢系鍋、464が中北勢系羽釜、467が常滑産の壺である。近世の遺物は465・466が陶器壺、468が陶器碗である。468は内面に菊形の印刻がある。

南半部南端出土遺物（469～517）縄文時代から中世までの遺物がある。縄文時代の遺物は469が中期の深鉢、470が晚期の凸帯文土器の深鉢である。470は、頸部凸帯の上に短い単位の押圧が刻まれている。弥生時代の遺物は、472が中期の壺である。古墳時代の遺物は前期と後期のものがある。前期の遺物は471・473が壺、474が壺である。後期の遺物は475が須恵器杯蓋、476・477が須恵器杯身、478が須恵器高杯、480・481が土師器高杯、482がS字壺、483が土師器瓶である。中世前期の遺物は484が土師器小

皿、485が土師器皿、486～494が陶器小皿、495・496が青磁碗、497～516が陶器碗である。517は時期不明の鉄製品である。

**30列東西トレンチ出土土器（518～529）** 弥生時代から中世の遺物がある。弥生時代の遺物は518が壺である。古墳時代の遺物は前期と後期のものがある。前期の遺物は519が高杯、520が二重口縁壺、521が鉢である。後期の遺物は522が土師器高杯、523がS字壺、524が土師器甕、525が須恵器杯蓋、526・527が須恵器杯身である。523は体部の1カ所が外部から押圧を受け凹んでいる。527の内面には同心円タタキ痕がみられる。中世前期の遺物は529が陶器碗である。528は土師器であり口径の広い焰烙状の形状をなす遺物と考えられるが、時期も不確定である。

**27列東西トレンチ出土遺物（530～601）** 奈良時代から中世の遺物がある。奈良時代の遺物は530が須恵器杯である。平安時代の遺物は531が灰釉陶器碗である。中世前期の遺物は532が土師器皿、533～544・546～557が陶器小皿、558～596が陶器碗、597・598が陶器片口鉢、599が南伊勢系鍋である。中世後期の遺物は600が瓦質土器浅鉢である。601は砾石である。

**包含層2層出土遺物（602～656）** 弥生時代から中世前期の遺物がある。弥生時代の遺物は602が前期の壺である。古墳時代の遺物は前期と後期のものがある。前期の遺物は603・604が壺、605がS字壺である。603・604の口縁部外面には、それぞれ板状工具・櫛状工具による刺突文が施されている。後期の遺物は606～609が土師器高杯、610が土師器杯、611～613が須恵器杯蓋、614が須恵器杯身、615が須恵器高杯、616が須恵器甕、617～621がS字壺、622が土師器鉢、623が土師器甕、625が土師器壺である。奈良時代の遺物は626が土師器盤である。中世前期の遺物は627が土師器皿、628が土師器小皿、629が陶器小皿、630～654が陶器碗、655が土師器清瀬鍋、656が土製支脚である。陶器供膳具底部外面の墨書きの中には、641の「政所」がある。土製支脚は県下では、明和町堀田遺跡<sup>①</sup>のほか三雲町上ノ庄北出遺跡<sup>②</sup>などで出土があるが、里前遺跡出土例は宮ノ前遺跡<sup>③</sup>に次ぐ北部の事例となる。この分布傾向は南伊勢系土師器の分布傾向とも重なることから、これ

に伴う遺物の可能性がある。

**包含層出土遺物（657～1361）** 繩文時代から近世の遺物がある。

繩文時代の遺物は657が晩期の深鉢である。弥生時代の遺物は658が前期の壺、664が中期の甕である。658の外面には木葉文が刻まれている。

古墳時代の遺物は前期と後期のものがある。前期の遺物は659が器台、660が高杯、661～663・665・666・668・670が壺、667が甕、669・671が甕である。669はS字壺を意識して製作されたものと考えられるが、口縁部の立ち上がりの深さや体部外面のハケメの細かさから、北関東地方のS字壺の模倣品の可能性がある。後期の遺物は672～682が須恵器杯蓋、683～688が須恵器杯身、689～691が土師器高杯、692～696が須恵器高杯、697が須恵器甕、698が須恵器壺、699～704が土師器壺、705が土師器甕、706が土師器鉢である。甕は699～703がS字壺である。

中世の遺物は貿易陶磁・土師器・陶器の供膳具や陶器の鉢類、土師器の煮沸具などがある。貿易陶磁は707・708が青磁小皿、709が青磁皿、710・717が白磁碗、711～716・718～728が青磁碗、730が青磁壺である。土師器供膳具は731～776が小皿、777～809が皿である。731～740が小皿a 1、750～759が小皿a 2、741～749が小皿b、760～773が小皿c、775～776が小皿dに相当する。皿は777～789が皿a、790～791が皿b、792～798が皿c、802～804が皿d、805～809が皿eに相当する。810～813は黒色土器である。陶器供膳具は中世前期のものとしては814～883が小皿、889～1189が碗である。後期のものとしては1205が小皿、1206～1223が皿、1225～1230が碗である。867・918は体部に孔があることから、器としての機能を完全にはなしえない。陶器供膳具底部外面の墨書きの中には、1038「政所上」や1039「政所」がある。1212・1215・1223の底部外面には同じ墨書きが認められる。884・885は灰釉陶器皿、886～888は灰釉陶器碗である。鉢類は1190～1204などがある。煮沸具は1241～1265が南伊勢系の煮沸具であり、1241～1260が鍋、1261・1262が羽釜、1263～1265が茶釜である。このうち、1258～1260の鍋は鉄鍋を模倣したものであるが、特に1258は体部下半で強く屈曲しており、鉄鍋の形態を強く反映している可能性

がある。1266～1277は中北勢系の煮沸具である。1266～1274が羽釜、1275が鉄鍋模倣の鍋、1276・1277が茶釜である。このうち、1267・1269は南伊勢系土師器に通有の胎土であり、体部の器壁が薄く、体部外面のハケメも他の個体に比べ細かいことから、南伊勢系土師器製作工人による產物と考えられる。1278・1279は大和産の瓦質土器鍋である。貯藏具は1281が常滑産陶器壺、1283～1290が常滑産陶器甕、1282が大和産瓦質土器壺である。その他1291～1295の大和産瓦質土器がある。1309・1310は瓦である。1309は巴文の周囲に玉縁を配する。1311～1334は円形加工品であるが、打ち欠きのみの加工段階の個体と打ち欠き後磨き加工の施されている個体がある。1335は陶丸であり、陶器生産地において出土するとの多い遺物である。1336～1341は土鍤である。

1295は瓦灯である。1296～1308は常滑産の浅鉢である。内面だけではなく口縁部や外面に煤の見られる個体があることから、外部から火を受ける使用方法が探られていたと考えられる。これらは時期的に、近世から近代にかけての所産であろう。

石器類は1342が石鎚、1343が削器、1344・1345が剥片、1346が残核である。石材は1346がチャート、その他はサメカイトと考えられる。1347は投弾、1348は敲石の可能性があることから、図化を行った。石製品は1349が石帯、1350が硯、1351～1355が砥石、1356・1357は五輪塔の火輪・水輪である。1349は潜り孔が一ヵ所しか残存していないことから、本来は3方に潜り孔の穿たれたる巡方であったと考えられる。また駒田利治氏による分類<sup>6</sup>では、透かしがないことから巡方と2相当すると考えられ、10世紀前半以降と推定される。色調は明瞭灰色を呈する。1352には紐を通す孔が一端に穿たれている。

鉄製品は1358が鉄刀、1359が鉄砲玉、1361がキセルの雁首である。

## 2 木製品

a 遺構構造材 SE 8 の井戸側枠・井桁・側枠補助材がある。側枠（1362～1367・1370～1376・1379～1392・1395～1410・1413～1423）は内外面の2重構造となっているが、外面に面していた部材と内面に面していた部材に製作時の差は特にみられない。

これらの側枠は全て板状に加工されているが、断面形態が直線状をなす場合と曲線状をなす場合がみられることから、最終加工の際に刃部が直線状をなす手斧状工具と曲線状をなす手斧状工具の2種類が使用されていた可能性が考えられる<sup>6</sup>。また、刃こぼれ痕の確認できる部材が多く、その特徴も類似することから多くの部材が同一工具により加工されていることも推定される。井桁材（1368・1369・1377・1378）は角材の木口に柄と柄穴をつくり、組み合わせる構造になっている。

### b その他

井戸SE 8出土木製品（1424～1430） 1424～1427は水溜に使用された可能性のある曲物である。内面には、0.5～0.8cm単位で線が刻まれている。1424と1427は樹皮により両端をつなぎ合わせている。1428は漆器碗で黒地に赤漆で文様が施されている。1429は用途不明の材である。等間隔に幅1cm程度の凹凸をなす。窪む部位の端部は使用痕に由来するのか、腐食が進んでいる。1430は板材であるが、現存している3辺に8ヵ所4対の孔が見られることと木口に板材が接合したと考えられる痕跡がみられることから、紐結合の指物底部と考えられる。また、このほかにも中央部付近に同様の孔が4ヵ所2対みられる。

井戸SE 9出土木製品（1431～1434） 1433・1434は井戸側枠として位置を保っていた。1431・1432は井筒内からの出土であるが、形状や木取りが井戸側枠材と共通することから、これらも井戸側枠材として機能していた可能性がある。

L 11・12落ち込み出土木製品（1435～1445） L 11・12落ち込みに打ち込まれていた杭列である。3.6～9.1cmの丸太材の先端部を求心状に削りだしたのみの加工であり、一部には樹皮も残存している。

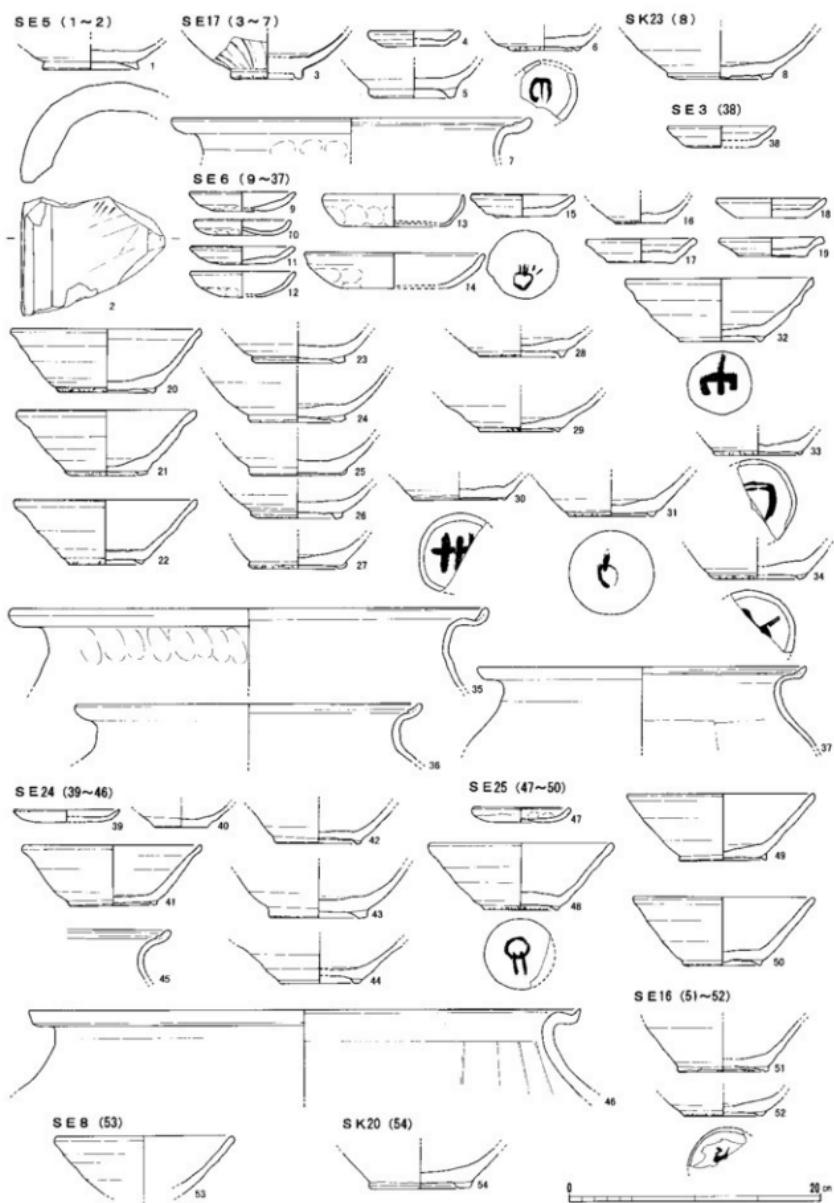
L 19・20落ち込み出土木製品（1446～1448） 板材（1446・1447）と棒材（1448）があるが、欠損しており全体の形状を知ることが困難である。1448は一方の端部が炭化している。

その他出土木製品（1449～1455） 1449は紡織具棒である。1451は建築部材であり、水平構造材の可能性が考えられる。1455は板材を組み合わせさらに木釘で固定する木釘結合の指物である。その他は全く用途不明であるが、1452・1453は一方の端部が炭化

している特徴をもつ。1454は凹凸になっている面が転用のために削られた可能性があり、ほぼ等間隔の数か所にみられるコの字状にくり抜いた部分は方形状の孔であったと考えられる、仮にこの推定が正しければ、建築部材の水平構造材の可能性もあるう。

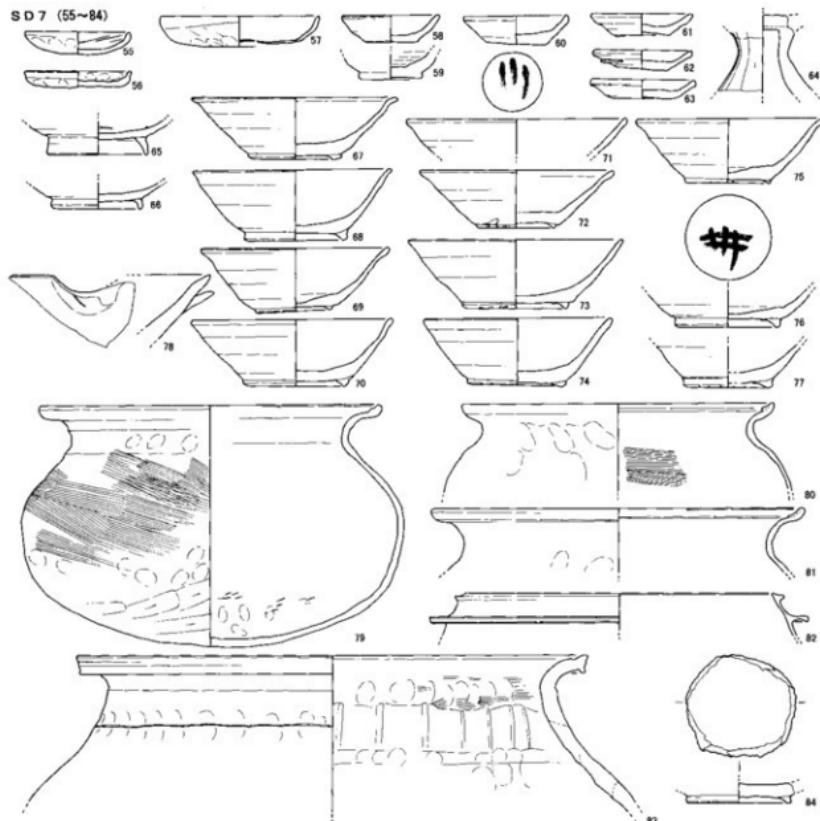
## 註

- ①伊藤久嗣ほか「多気郡明和町一畠田遺跡」（『昭和55年度農業振興事業地域歴史文化財発掘調査報告』三重県教育委員会 1981年）
- ②山本義浩ほか「上ノ庄北山遺跡発掘調査報告」（三重県埋蔵文化財センター 1998年）
- ③吉川直純ほか「宮ノ前遺跡」（『大吉川遺跡・山籠塗跡・宮ノ前遺跡発掘調査報告』三重県埋蔵文化財センター 1995年）
- ④鈴田利治「奈良城の輪郭」（『奈良歴史博物館研究紀要』9 2000年）
- ⑤山口裕氏の講義による。

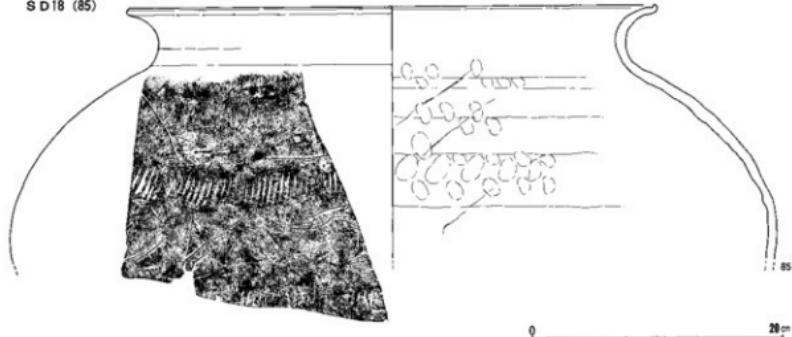


第34図 出土遺物実測図 (1) (S = 1 : 4)

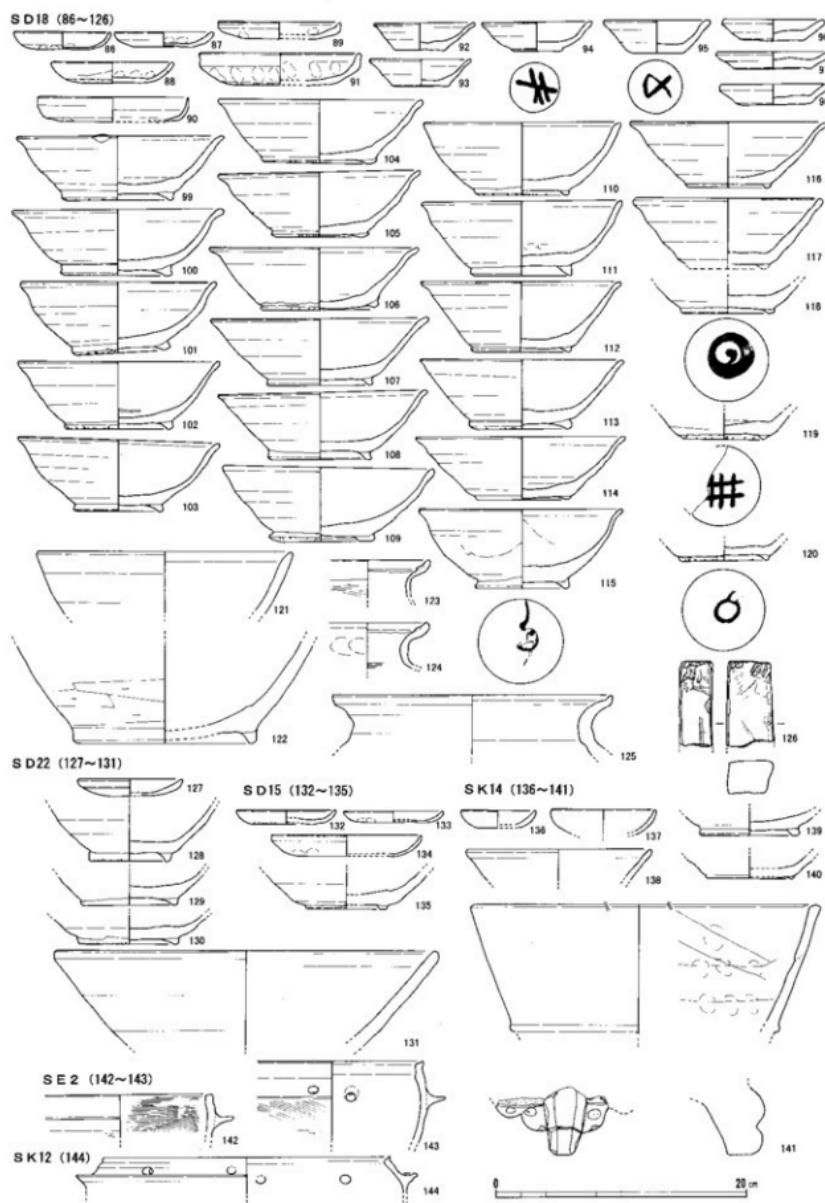
## SD 7 (55~84)



## SD 18 (85)

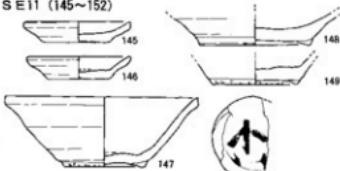


第35図 出土遺物実測図（2）(S=1:4)

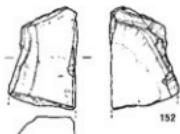


第36図 出土遺物実測図（3）(S=1:4)

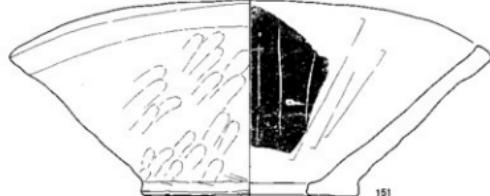
S E 11 (145~152)



150

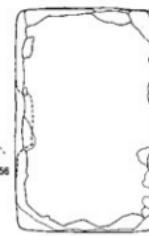
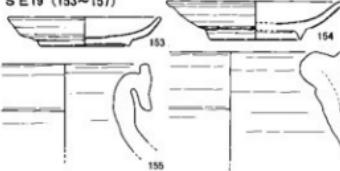


152



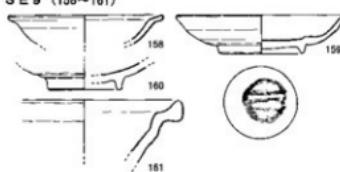
151

S E 19 (153~157)



157

S E 9 (158~161)



S K 1 (162~163)



162

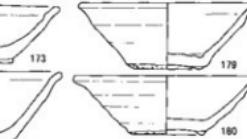
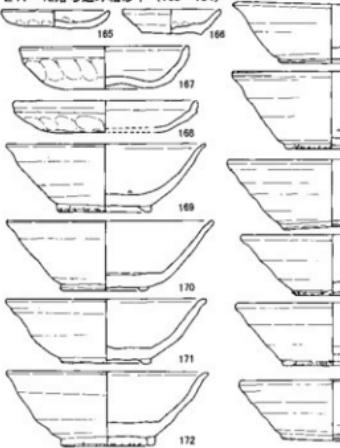


163

164

SK 29 (164)

L 11・12 落ち込み粗砂下 (165~184)



162

165

166

167

168

169

170

171

172

173

174

175

176

177

178

179

180

181

182

183

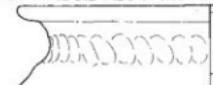
184

6

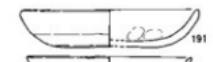
20 cm

第37図 出土遺物実測図 (4) (S = 1 : 4)

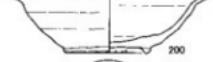
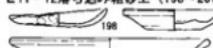
L 11・12落ち込み粗砂下 (185~187)



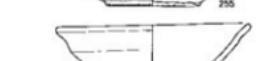
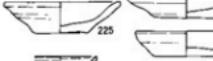
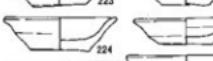
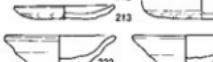
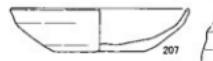
L 11・12落ち込み  
粗砂  
(188~197)



L 11・12落ち込み粗砂上 (198~201)



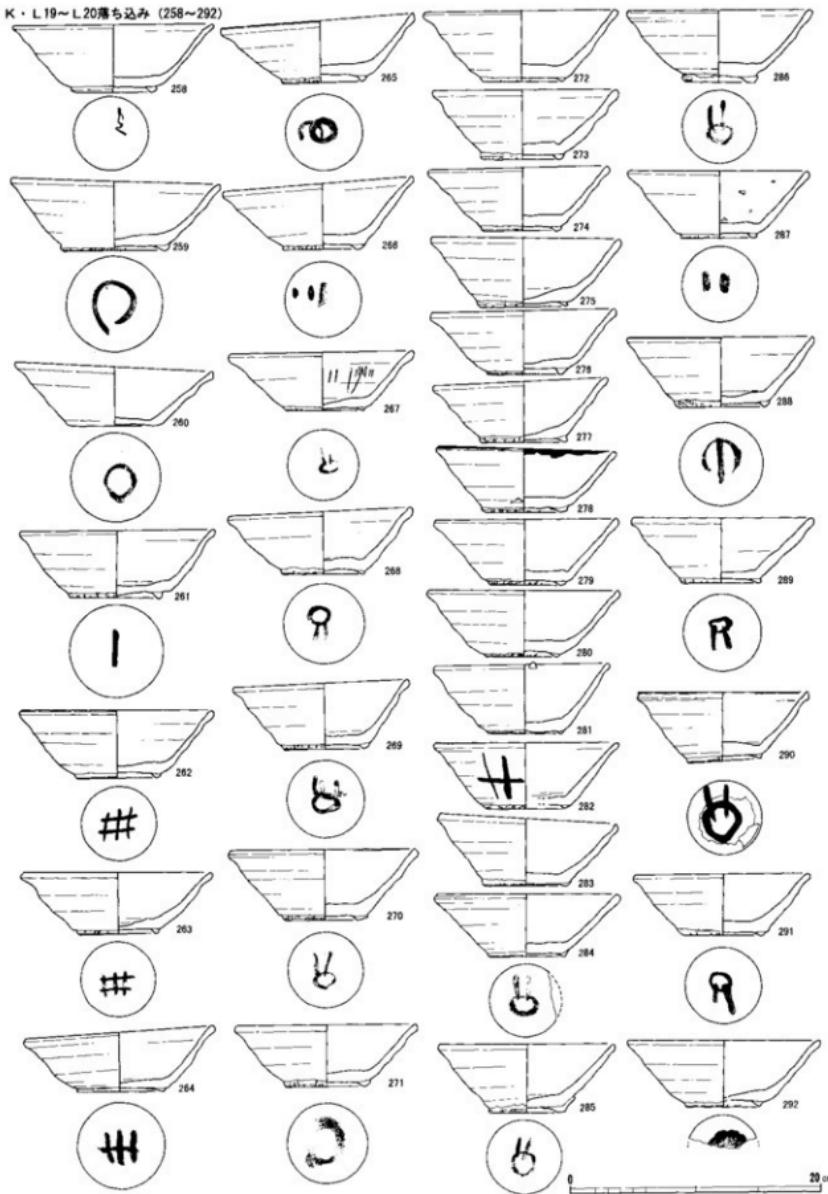
K・L 19~L 20  
落ち込み  
(207~257)



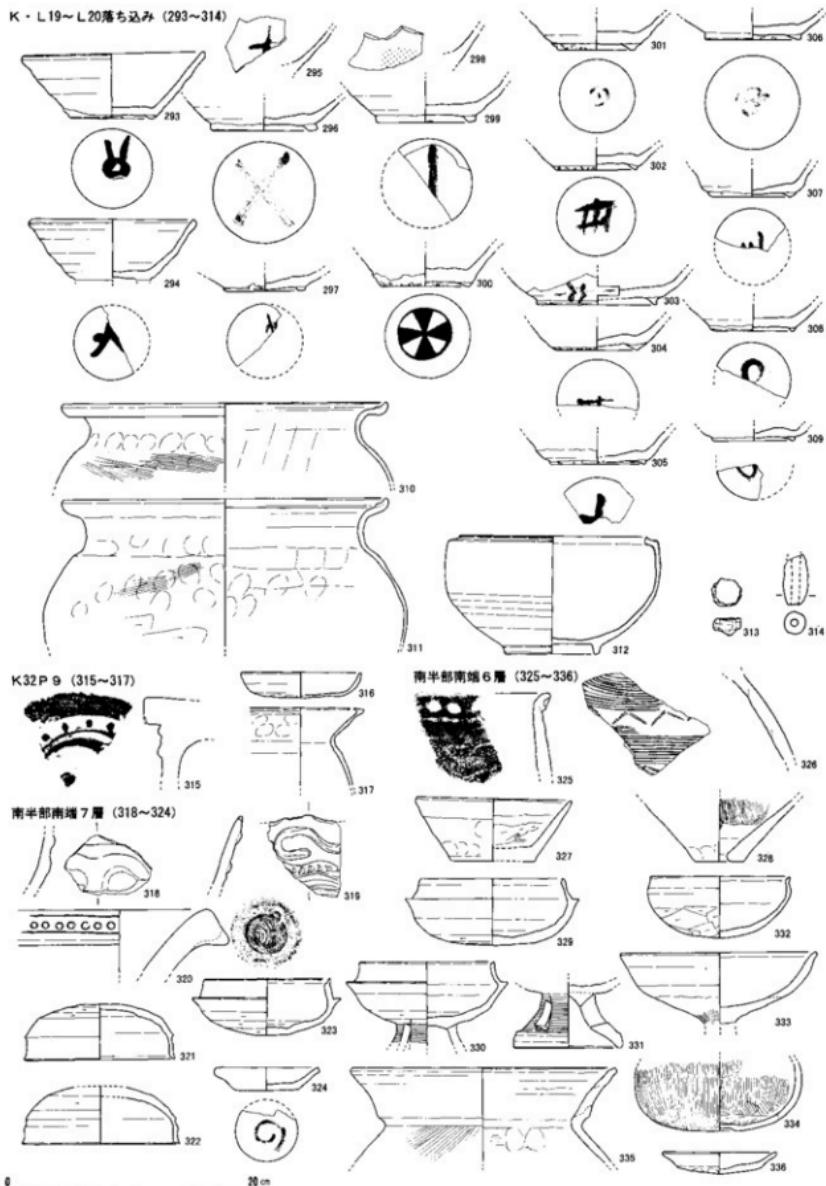
0 20 cm

第38図 出土遺物実測図 (5) (S = 1 : 4)

K・L 19～L 20落ち込み (258～292)

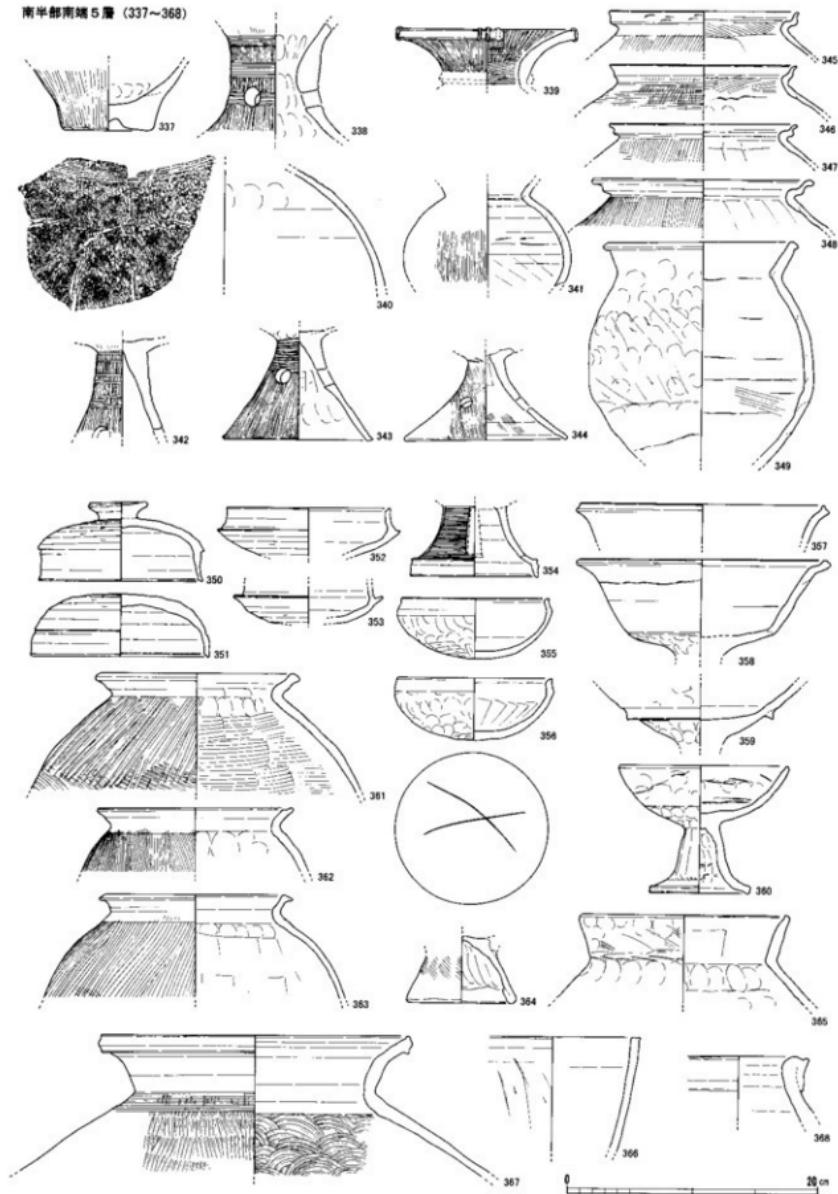


第39図 出土遺物実測図 (6) (S = 1 : 4)



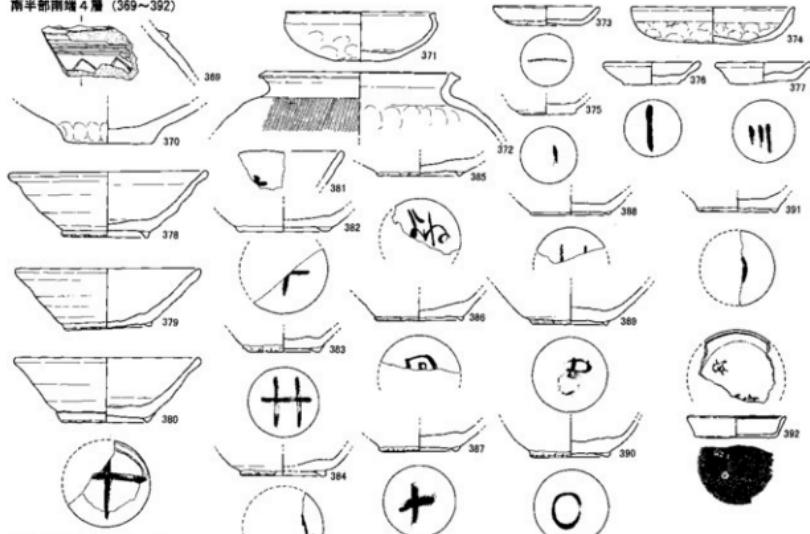
第40図 出土遺物実測図 (7) (S = 1 : 4)

南半部南端 5 層 (337~368)

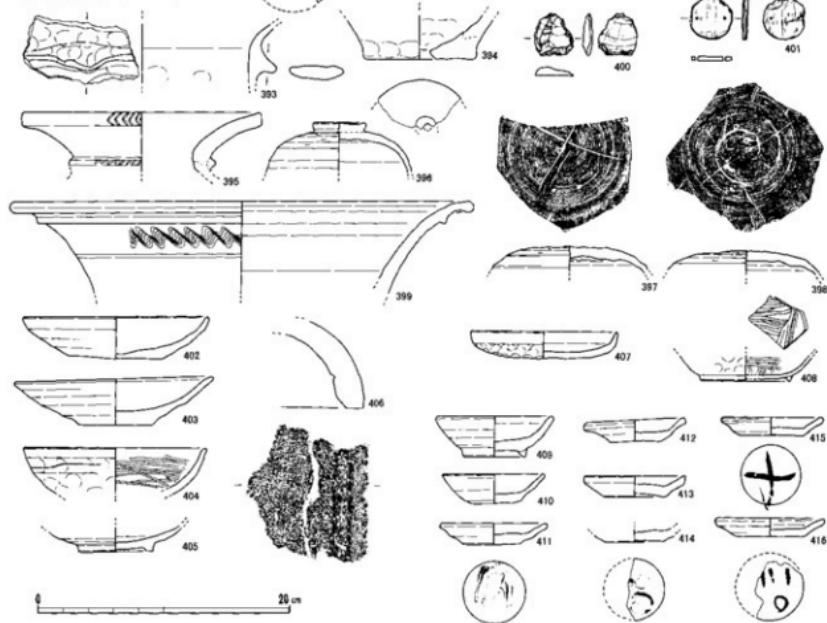


第41図 出土遺物実測図 (8) (S = 1 : 4)

南半部南端 4 層 (369~392)

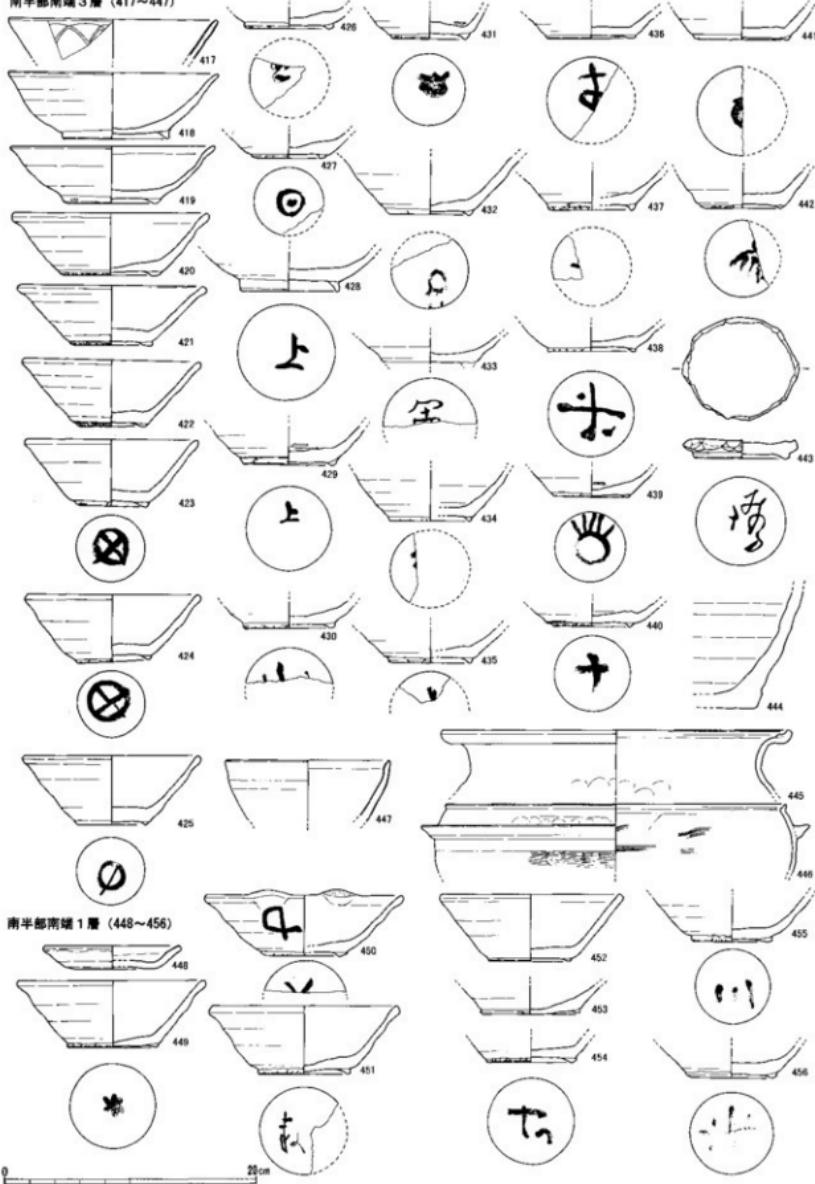


南半部南端 3 層 (393~416)

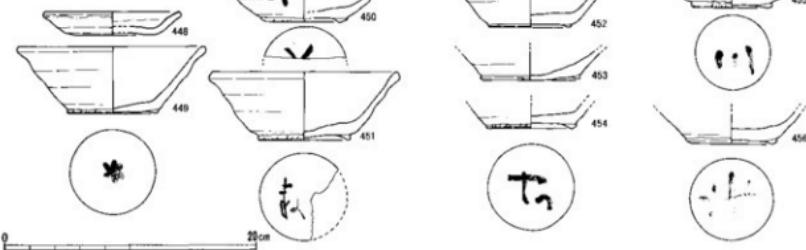


第42図 出土遺物実測図 (9) (S = 1 : 4)

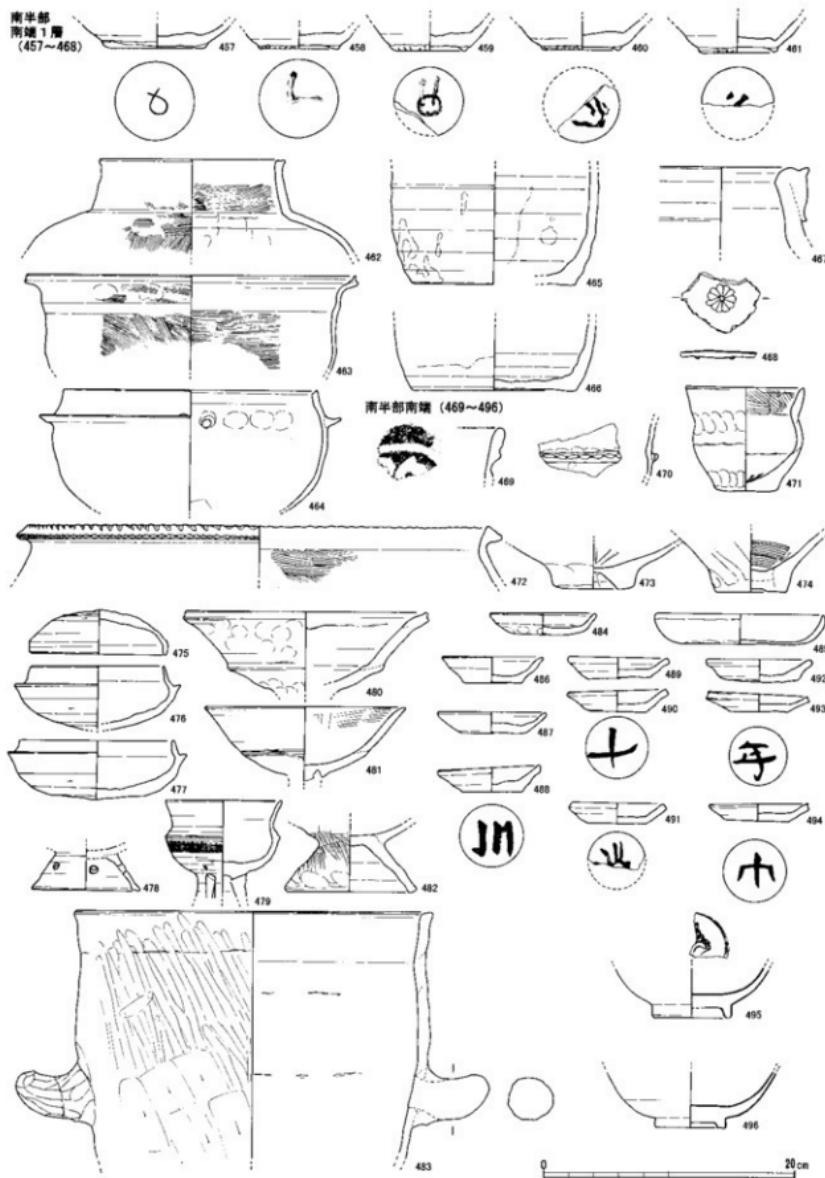
南半部南端3層 (417~447)



南半部南端1層 (448~456)

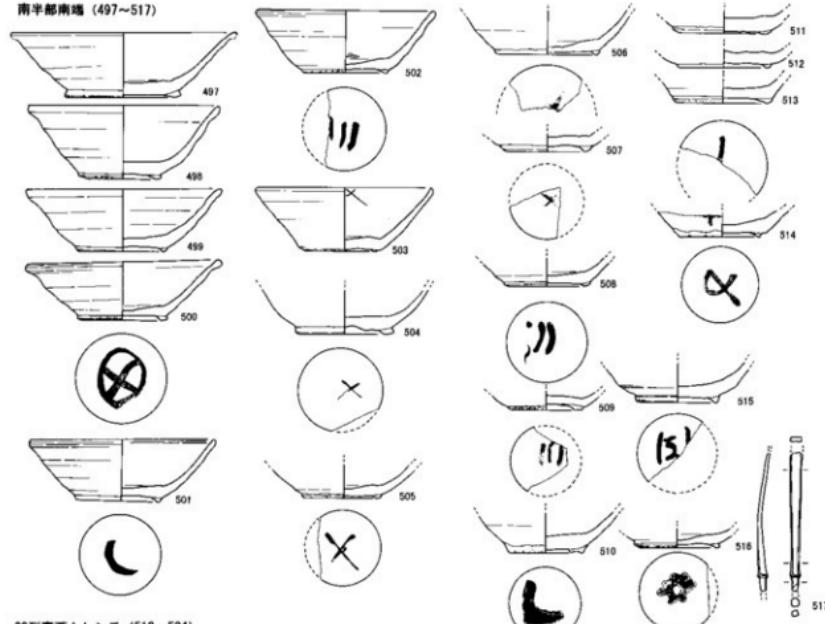


第43図 出土遺物実測図 (10) (S = 1 : 4)

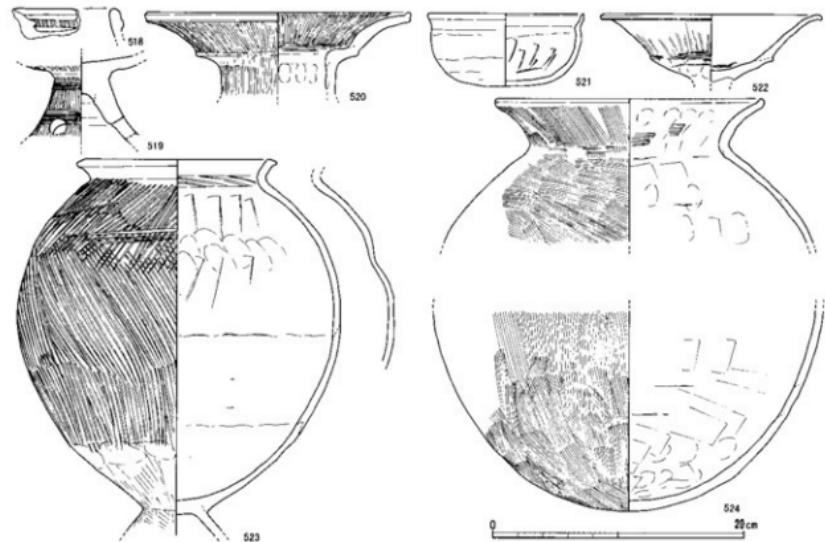


第44図 出土遺物実測図 (11) (S = 1 : 4)

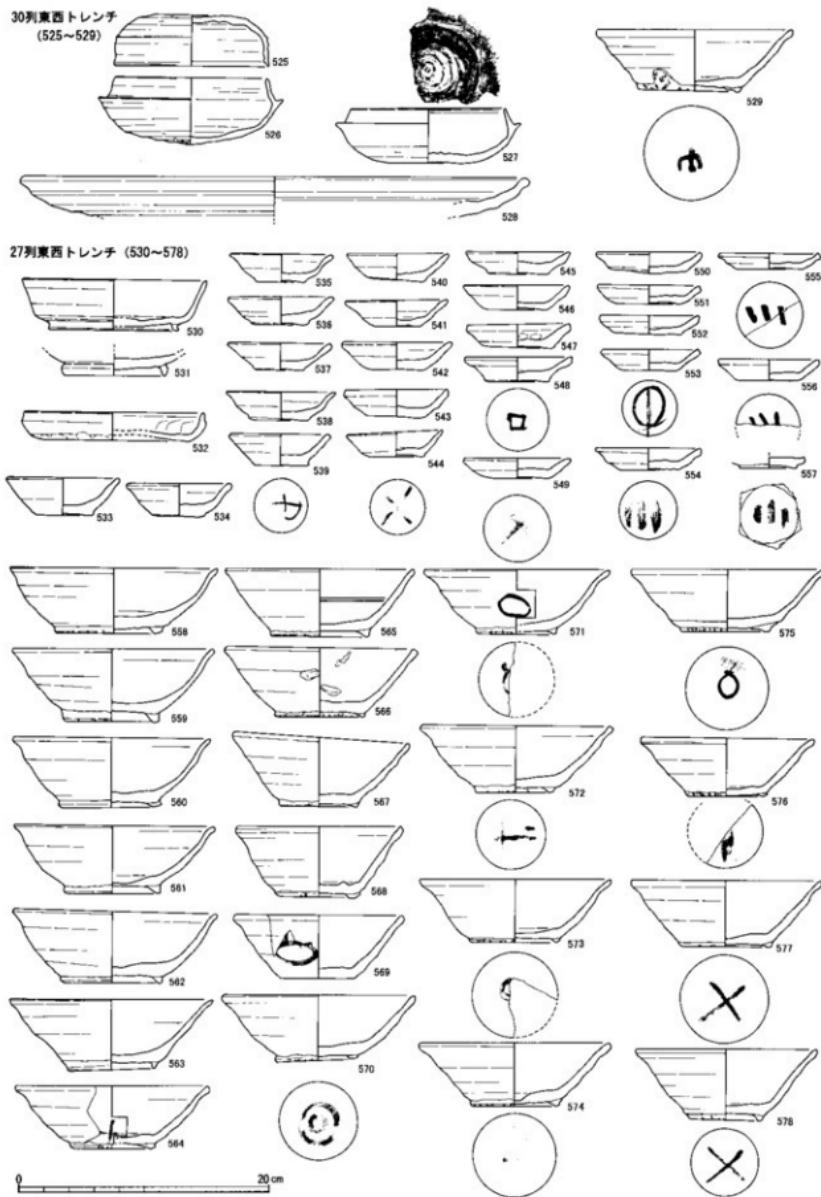
南半部南端 (497~517)



30列東西トレーナ (518~524)

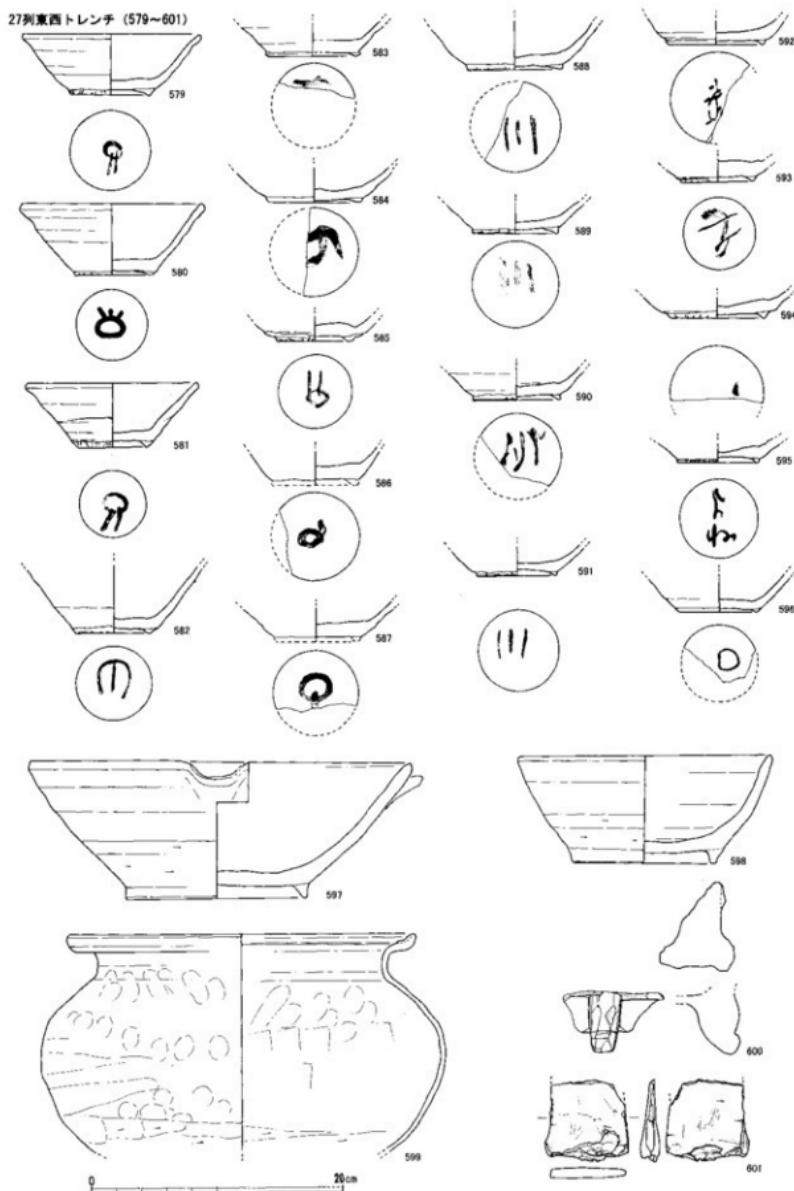


第45図 出土遺物実測図 (12) ( $S = 1 : 4$ )

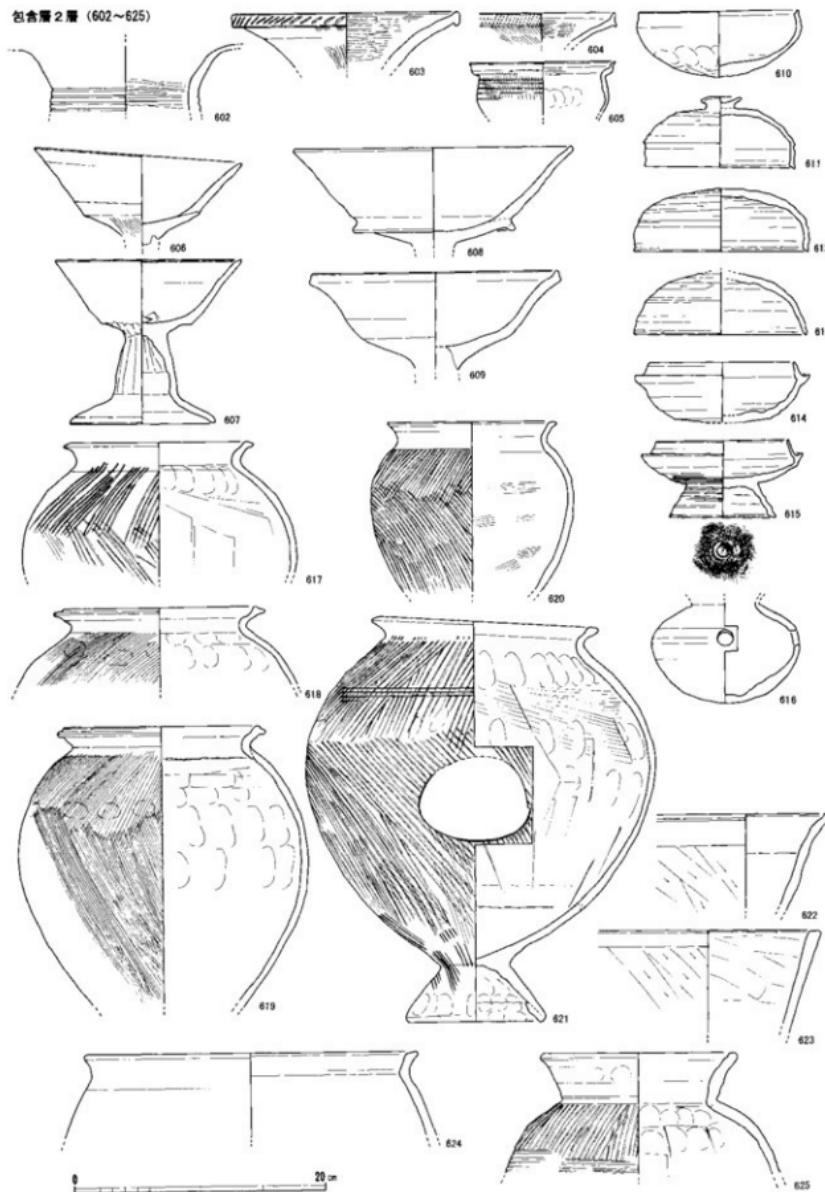


第46図 出土遺物実測図 (13) (S = 1 : 4)

27列東西トレーニ (579~601)

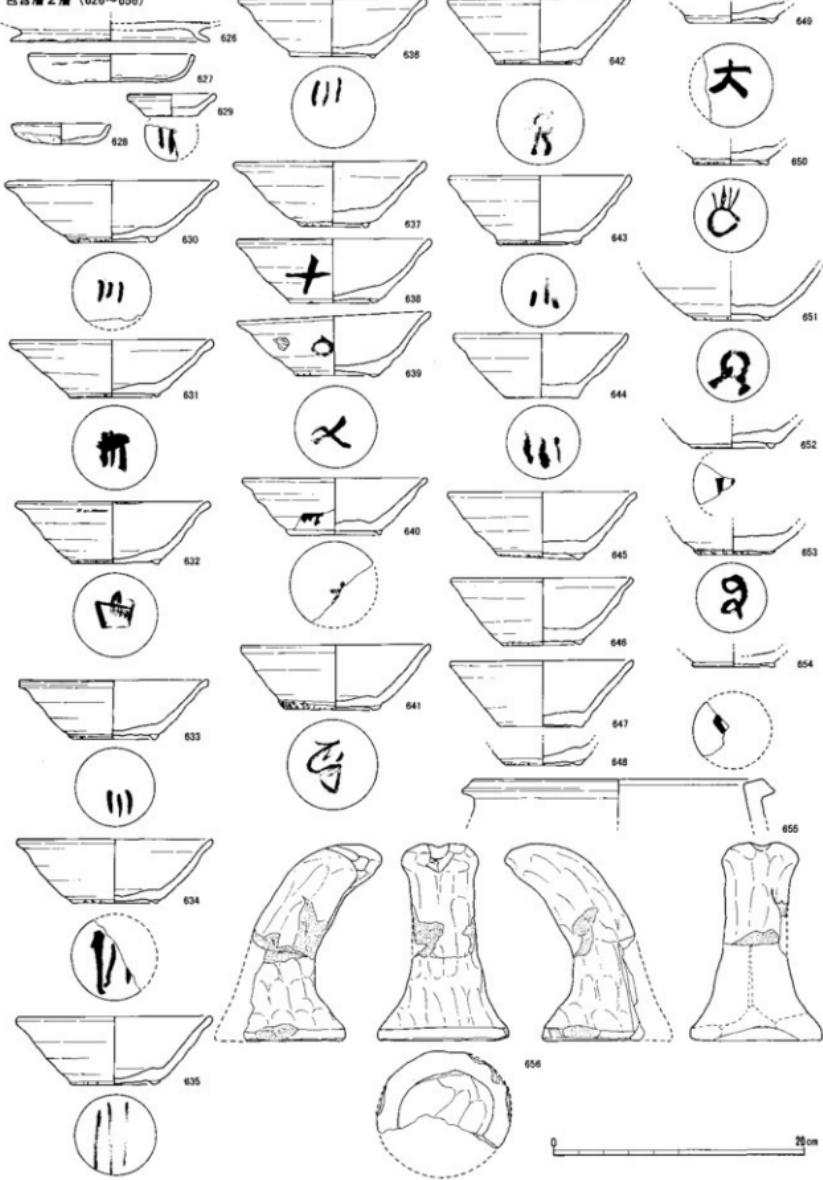


第47図 出土遺物実測図 (14) (S = 1 : 4)

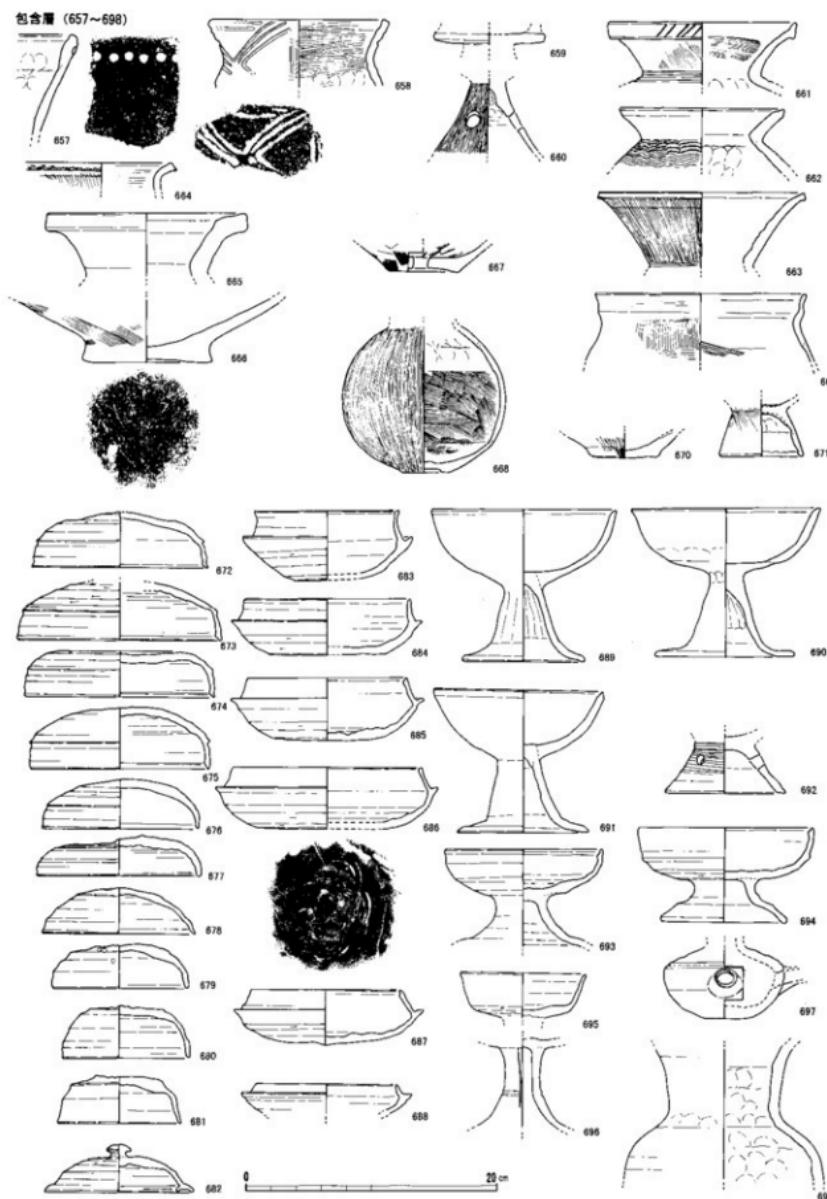


第48図 出土遺物実測図 (15) ( $S = 1 : 4$ )

包含層2層 (626~656)

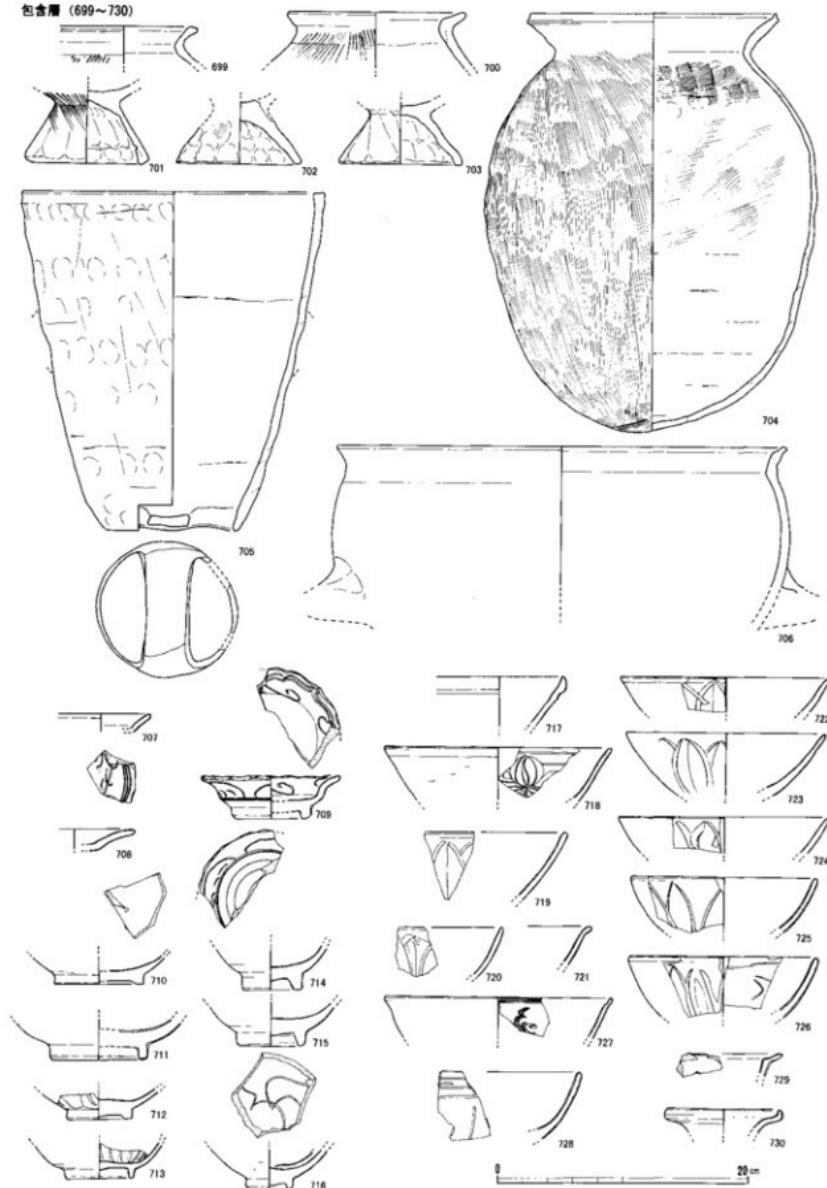


第49図 出土遺物実測図 (16) (S = 1 : 4)

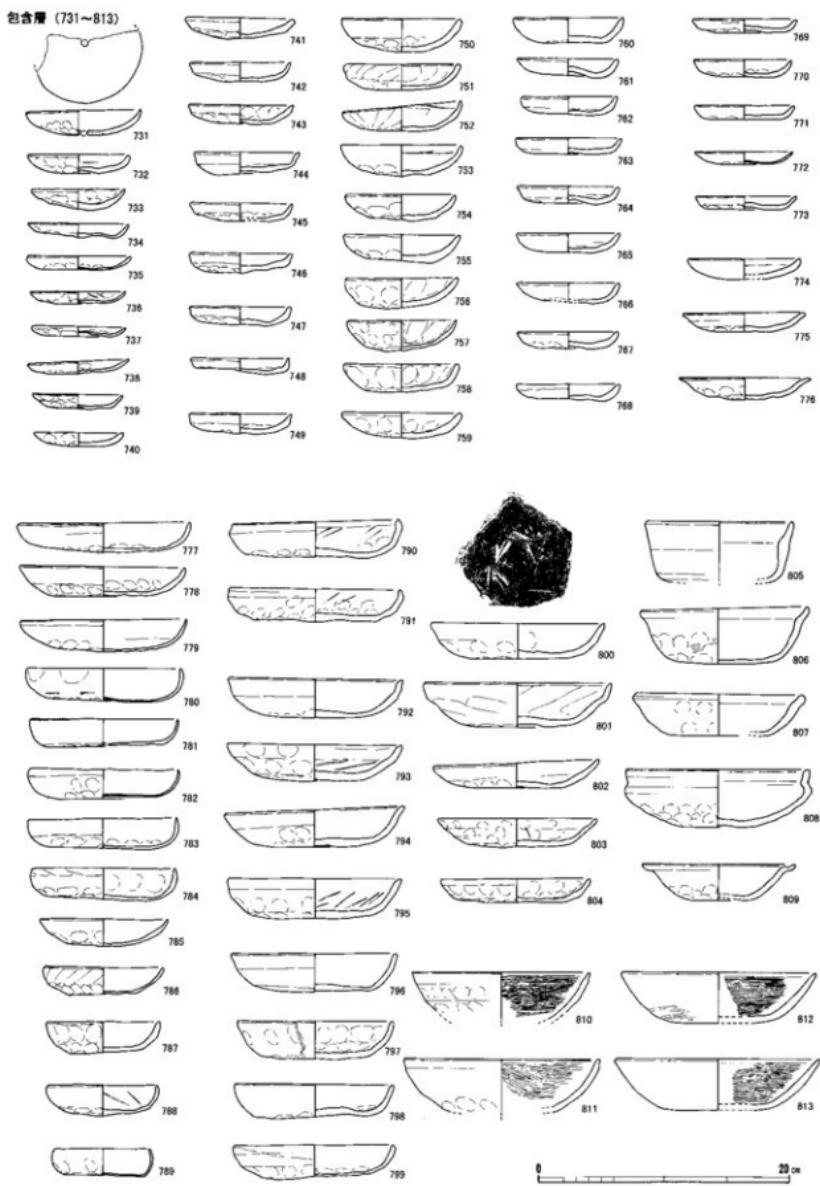


第50図 出土遺物実測図 (17) (S = 1 : 4)

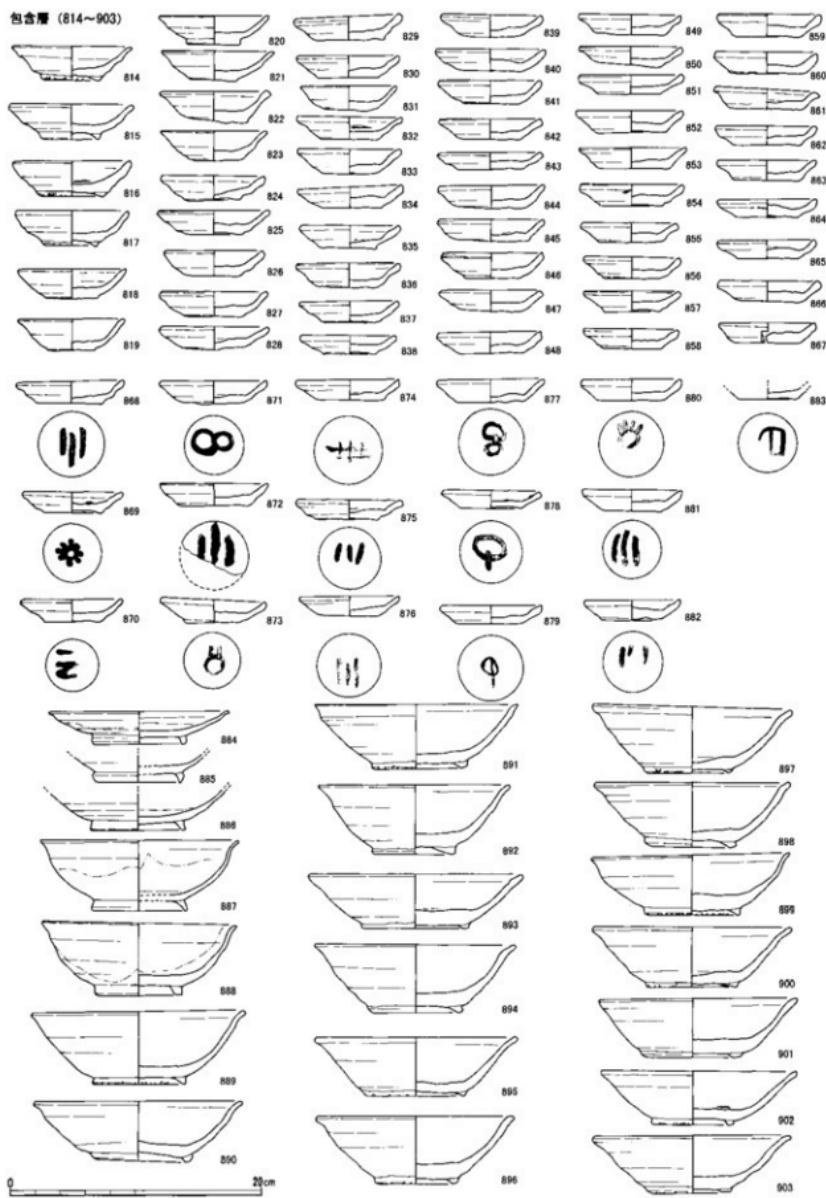
包含層 (699~730)



第51図 出土遺物実測図 (18) ( $S = 1 : 4$ )

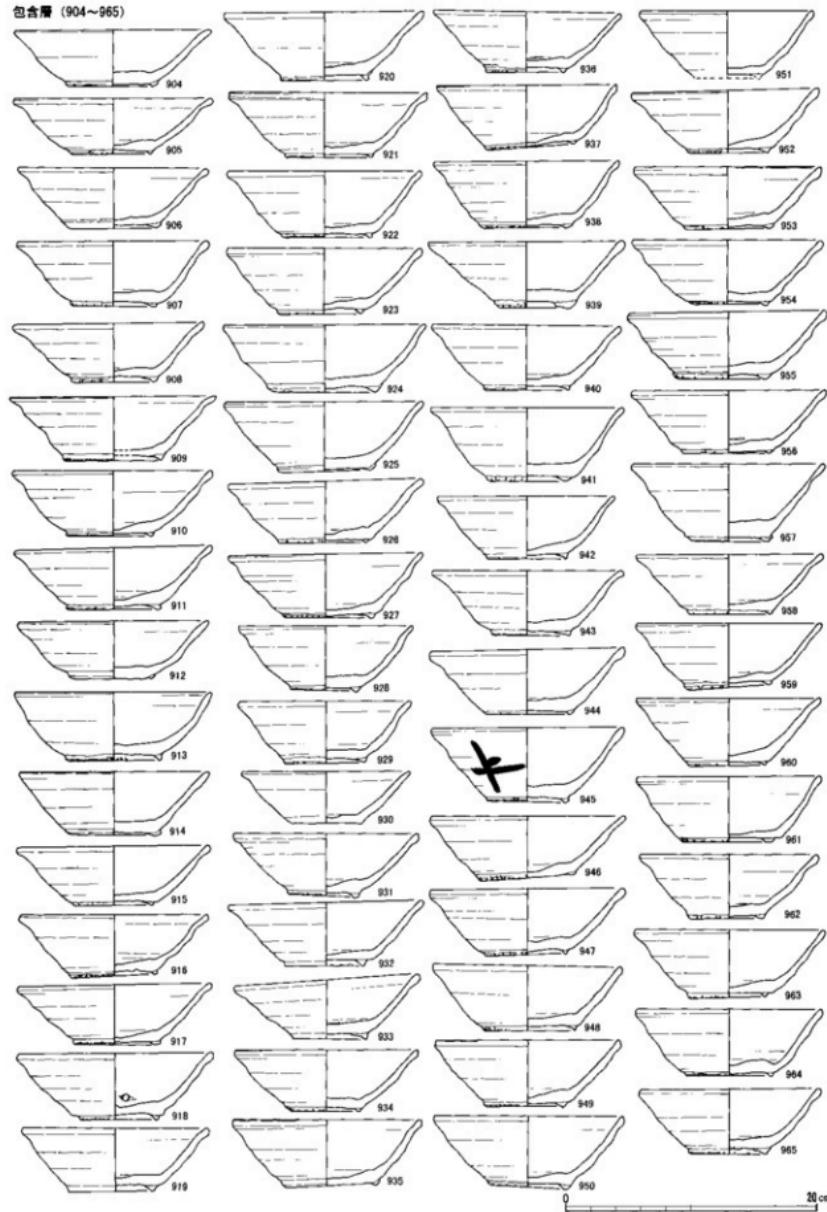


第52図 出土遺物実測図 (19) (S = 1 : 4)



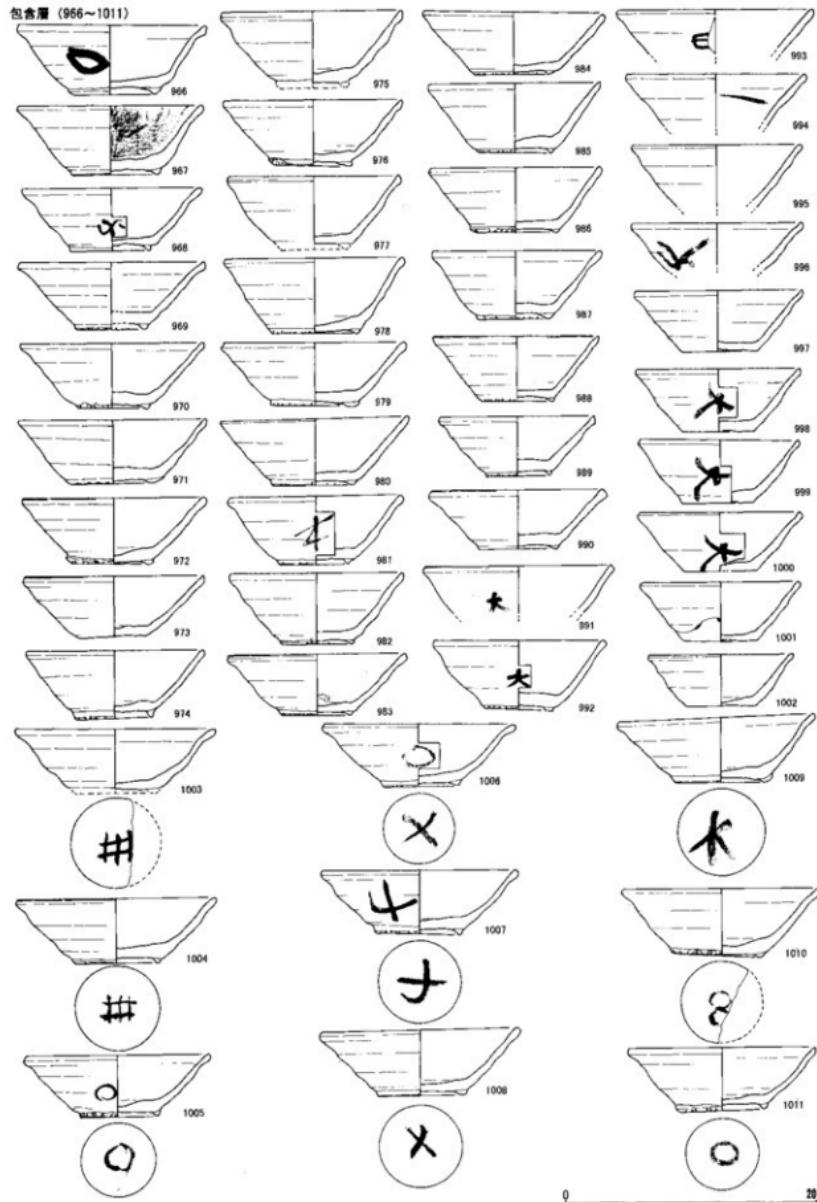
第53図 出土遺物実測図 (20) (S = 1 : 4)

包含層 (904~965)



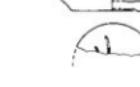
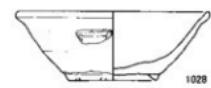
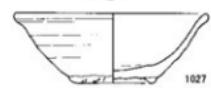
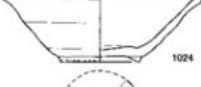
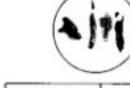
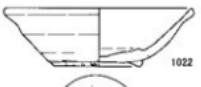
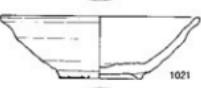
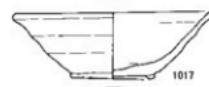
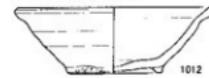
第54図 出土遺物実測図 (21) (S = 1 : 4)

包含層 (966~1011)



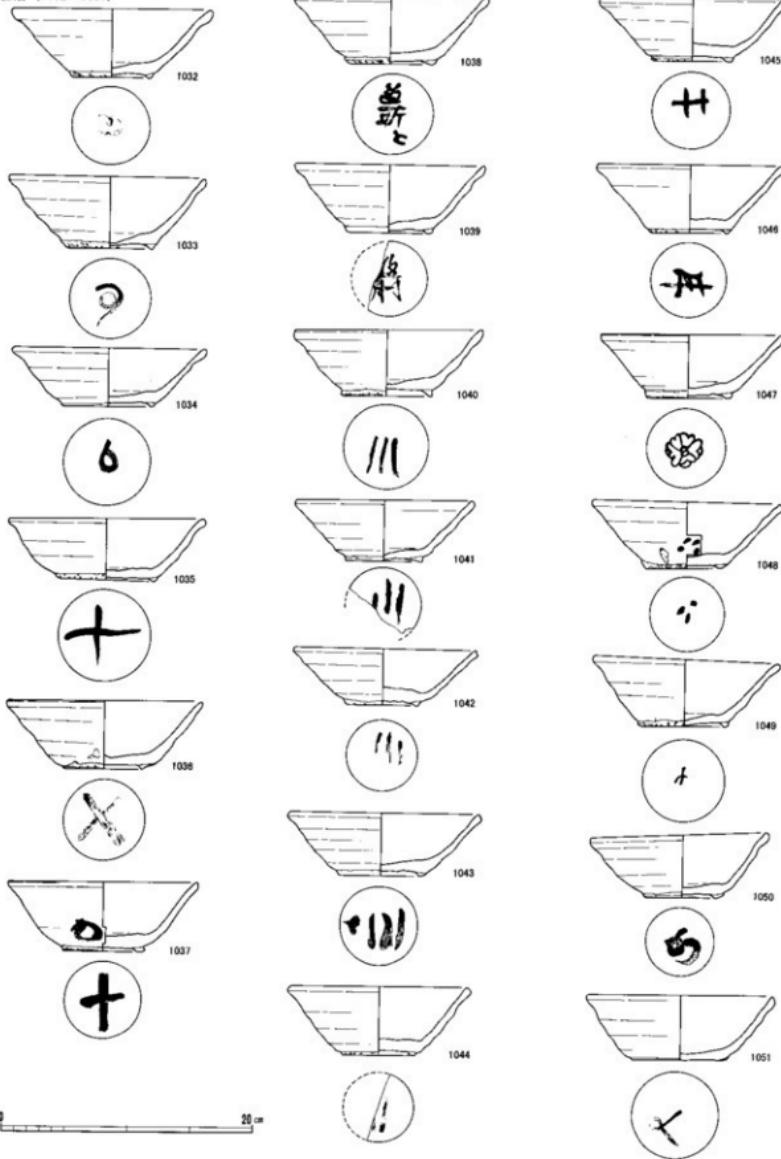
第55図 出土遺物実測図 (22) (S = 1 : 4)

包含層 (1012～1031)



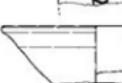
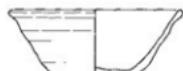
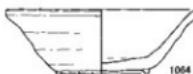
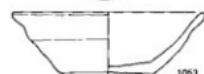
第56図 出土遺物実測図 (23) (S = 1 : 4)

包含層 (1032~1051)



第57図 出土遺物実測図 (24) (S = 1 : 4)

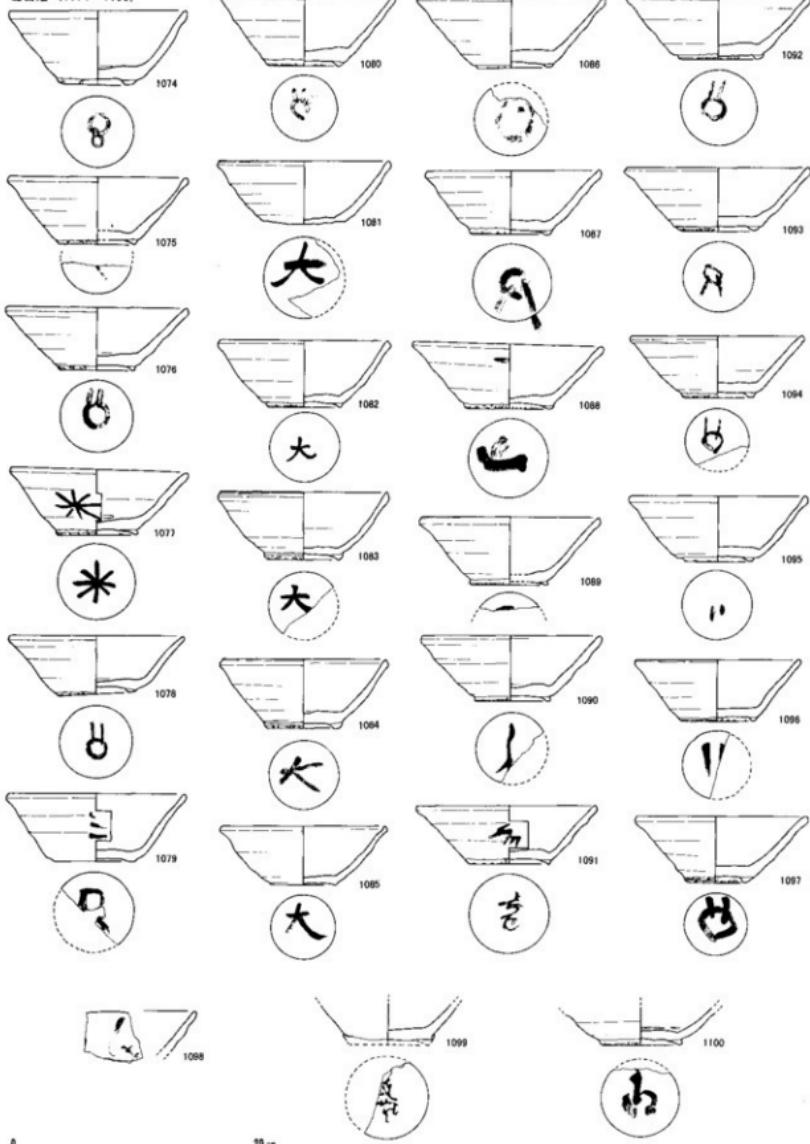
包含層 (1052~1073)



0 20cm

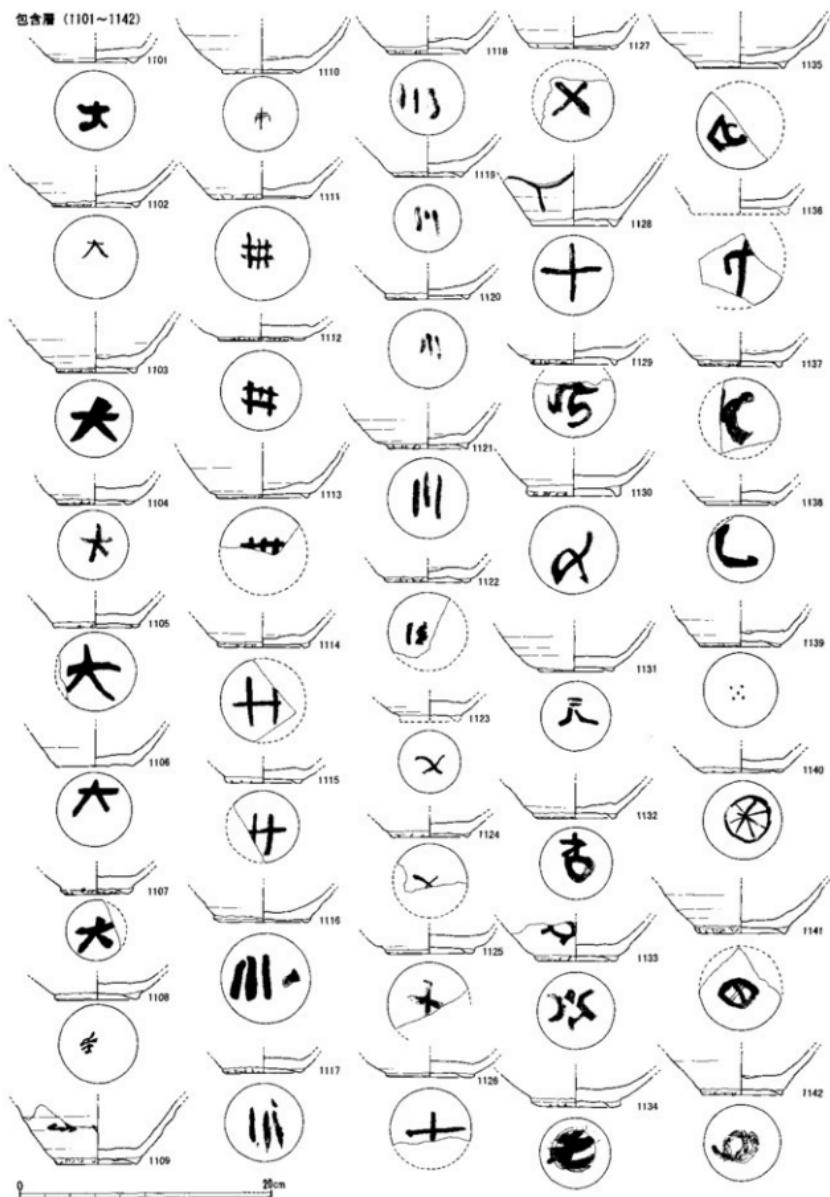
第58図 出土遺物実測図 (25) (S = 1 : 4)

包含層 (1074～1100)

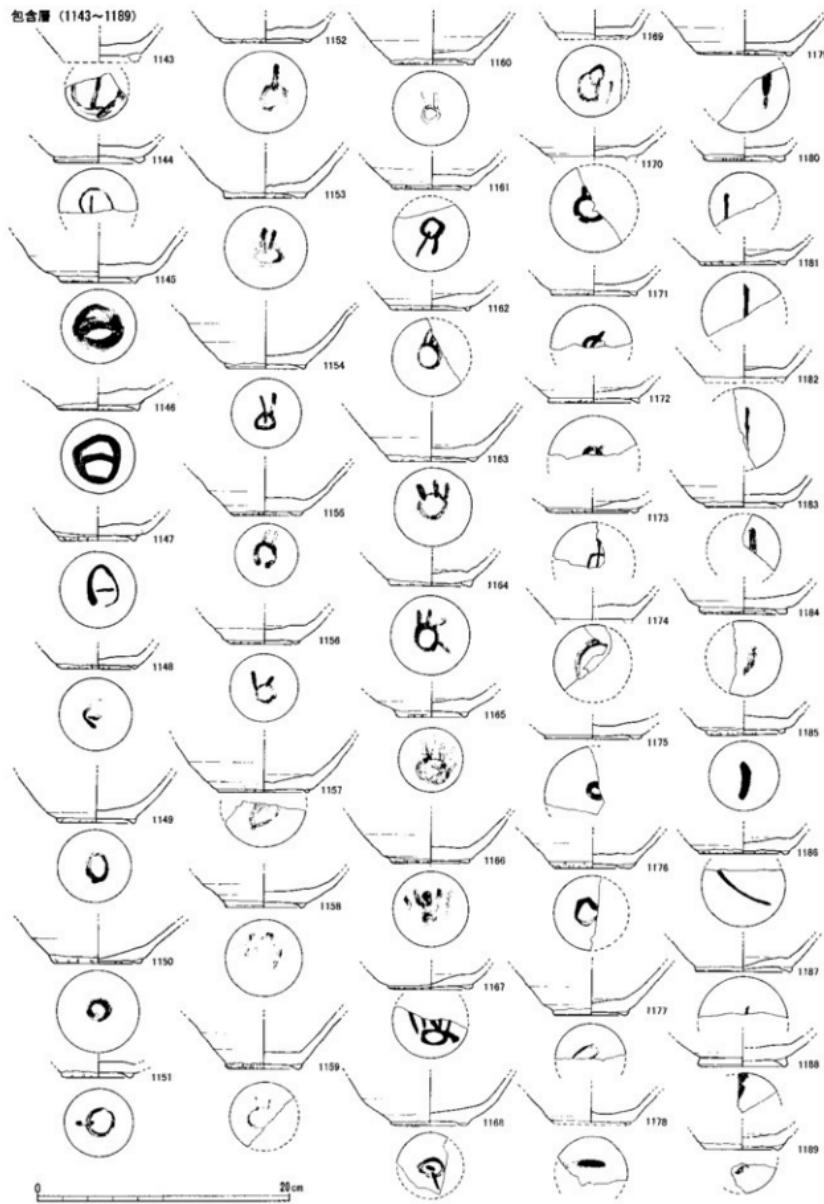


第59図 出土遺物実測図 (26) (S = 1 : 4)

包含層 (1101~1142)

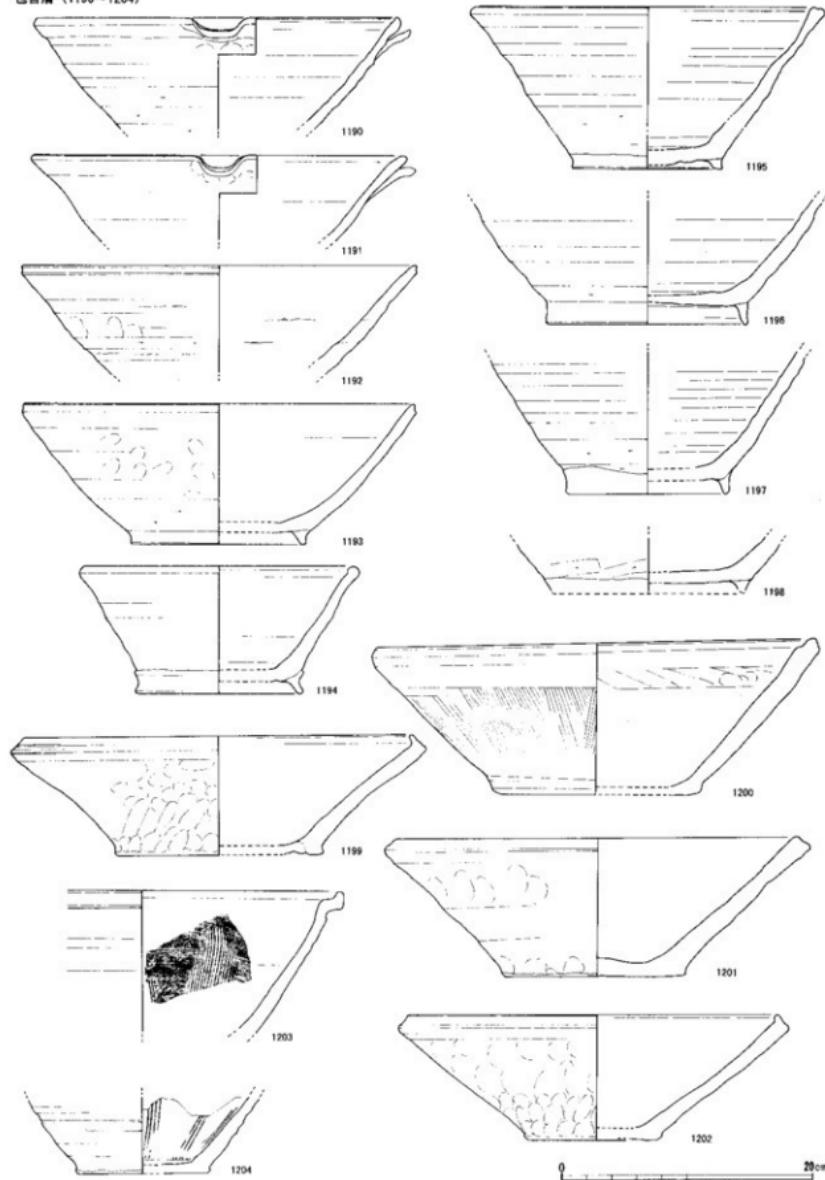


第60図 出土遺物実測図 (27) (S = 1 : 4)



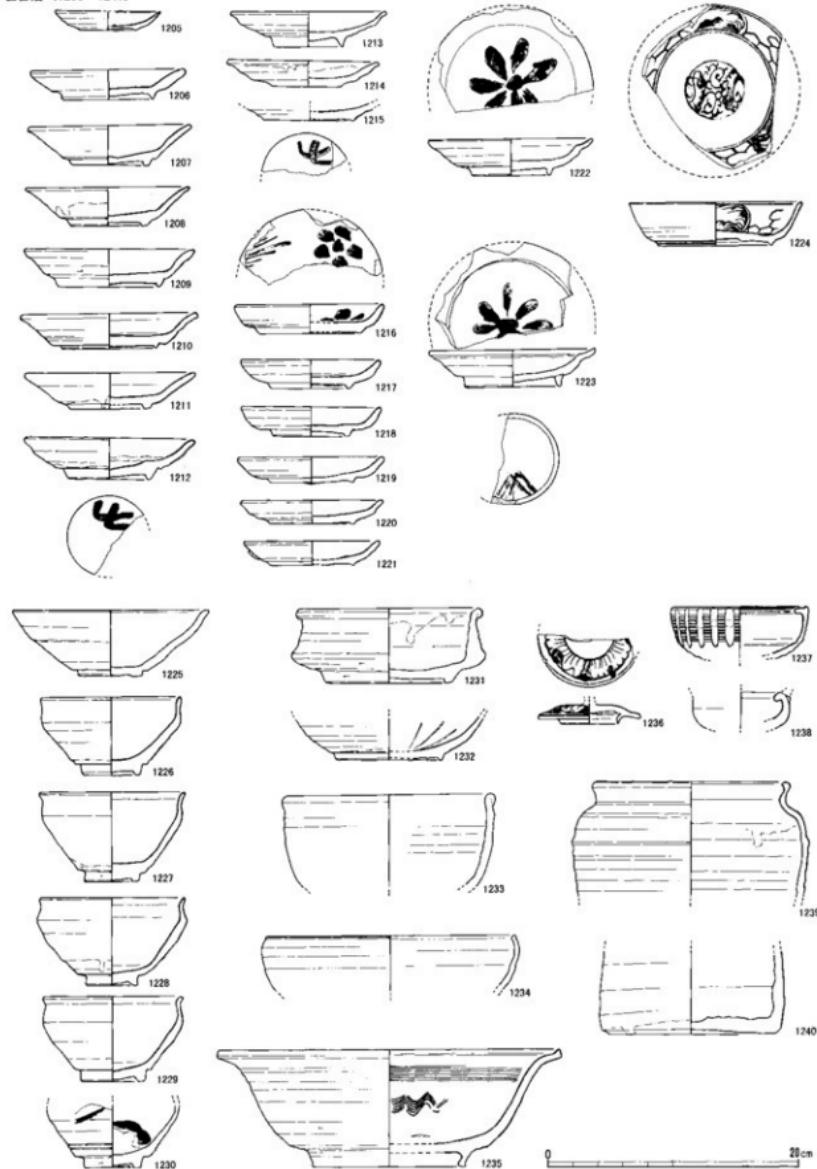
第61図 出土遺物実測図 (28) (S = 1 : 4)

包含層 (1190~1204)



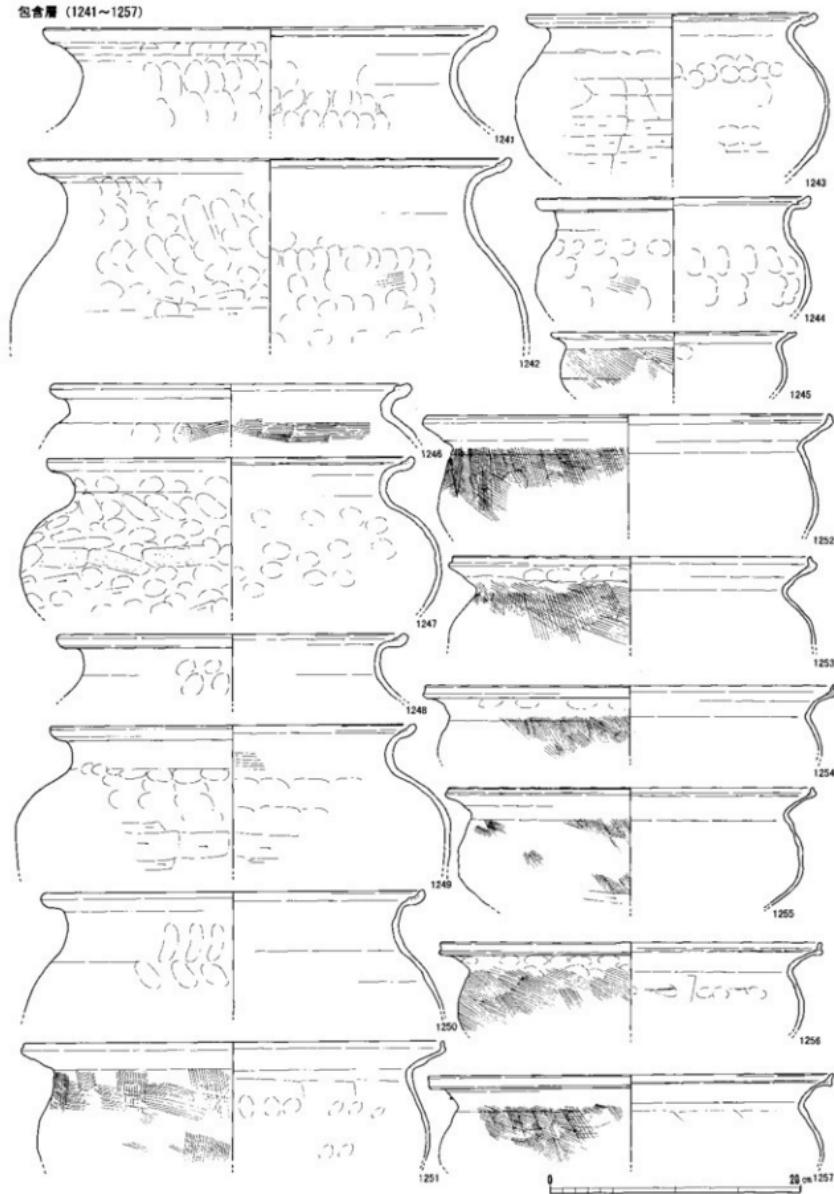
第62図 出土遺物実測図 (29) (S = 1 : 4)

包含層 (1205~1240)



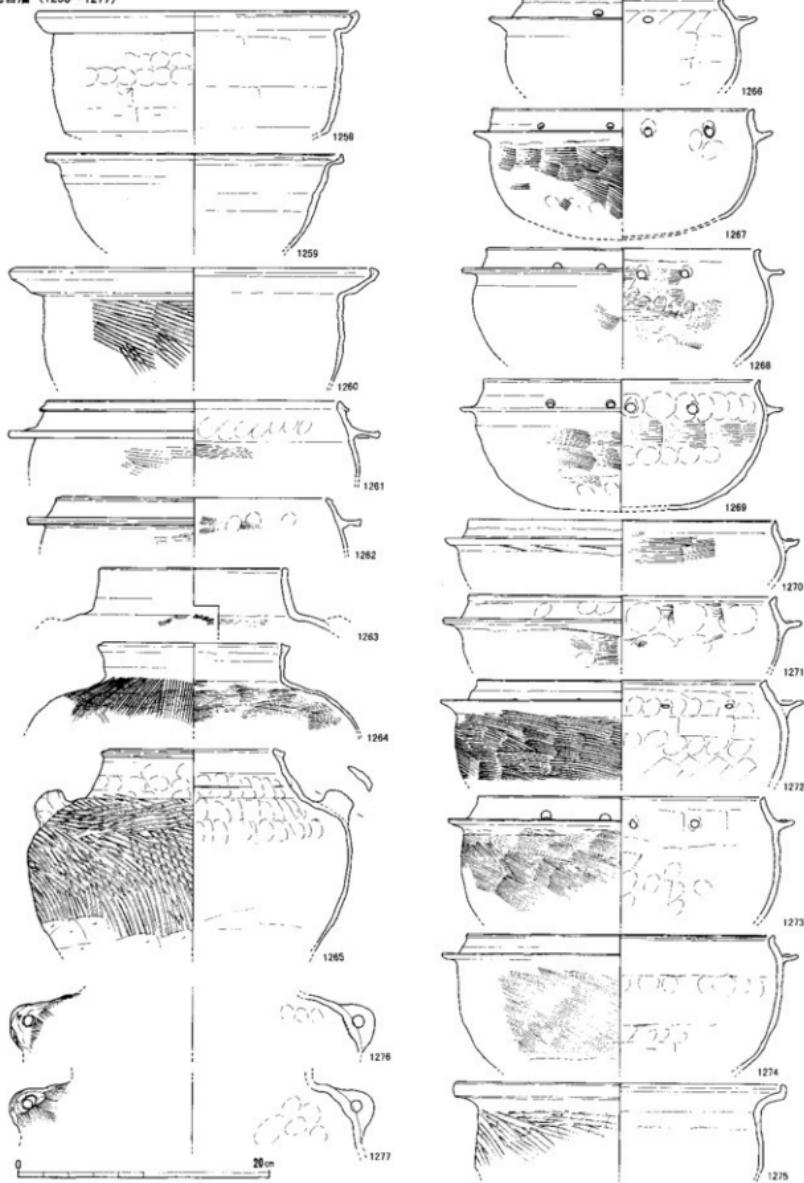
第63図 出土遺物実測図 (30) (S = 1 : 4)

包含層 (1241~1257)



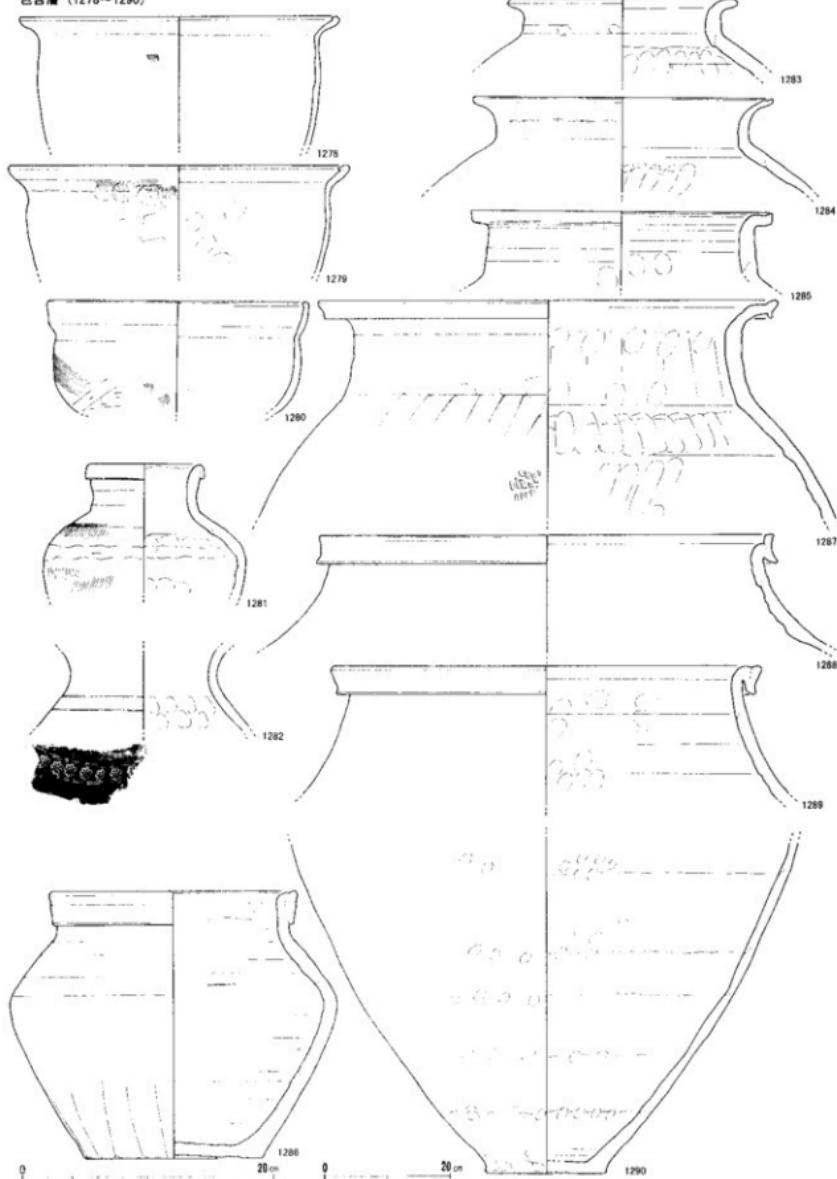
第64図 出土遺物実測図 (31) ( $S = 1 : 4$ )

包含層 (1258~1277)



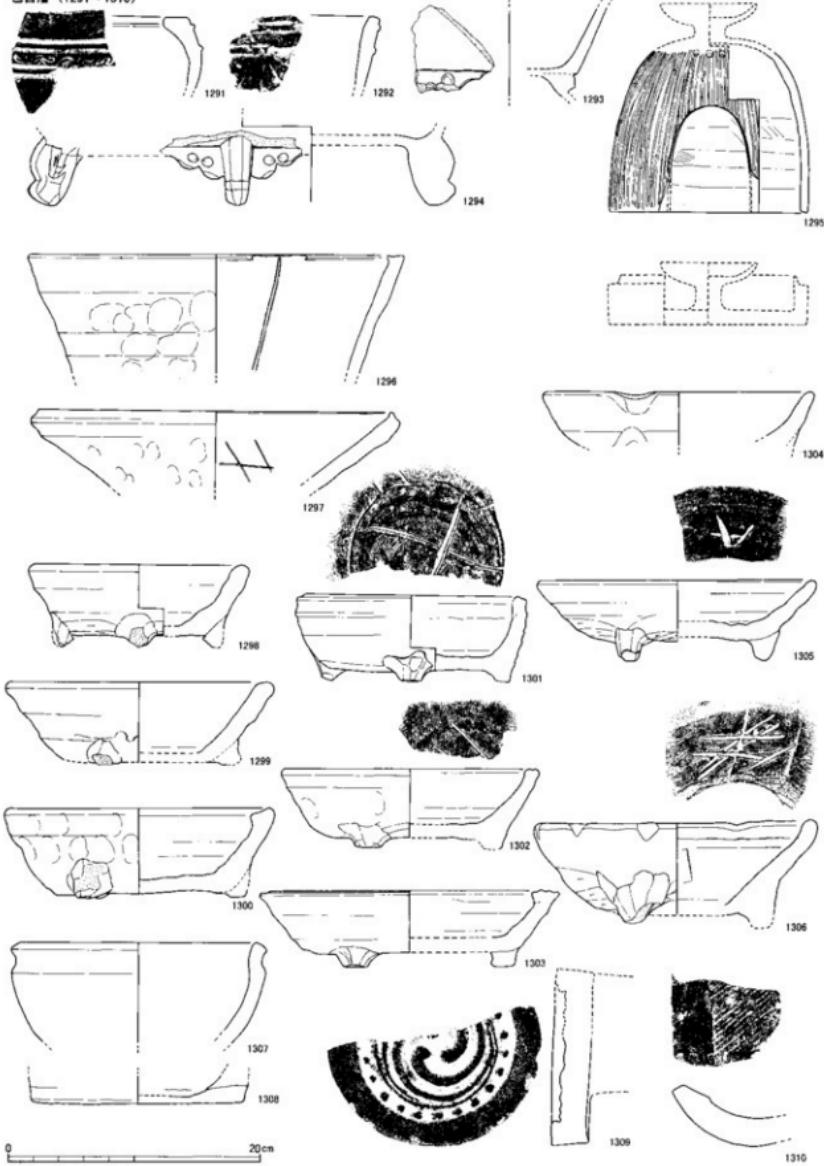
第65図 出土遺物実測図 (32) ( $S = 1 : 4$ )

包含層 (1278~1290)



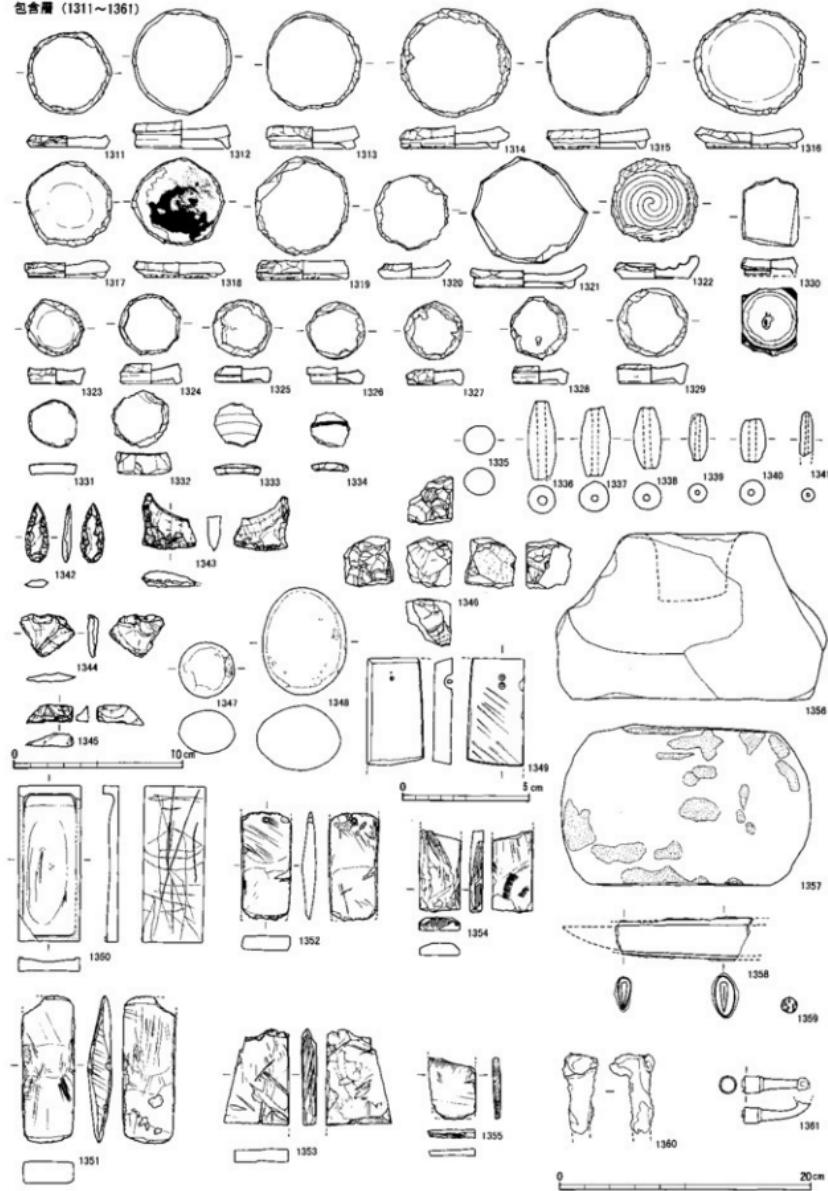
第66図 出土遺物実測図 (33) (S = 1 : 4, 1290のみ S = 1 : 8)

包含層 (1291~1310)



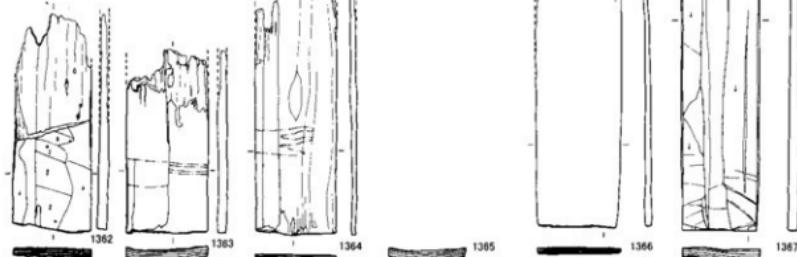
第67図 出土遺物実測図 (34) ( $S = 1 : 4$ )

包含層 (1311~1361)

第68図 出土遺物実測図 (35) ( $S = 1 : 4$ , 1342~1345  $S = 1 : 3$ , 1349  $S = 1 : 2$ )

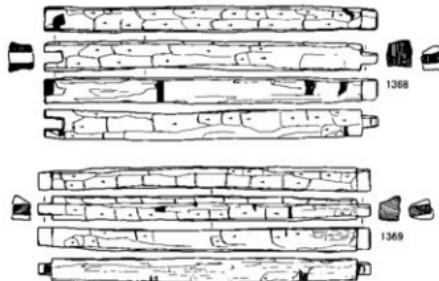
S E 8 侧枠北部外列 (1362~1367)

(外面)



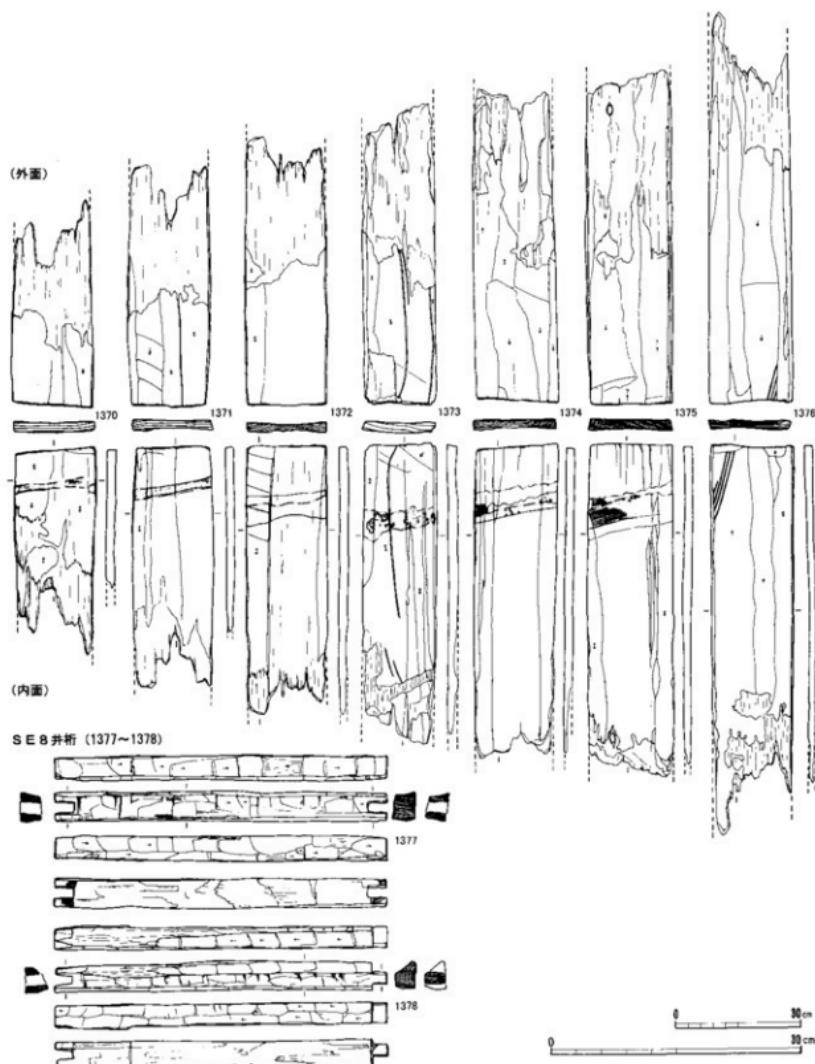
(内面)

S E 8 井桁 (1368~1369)



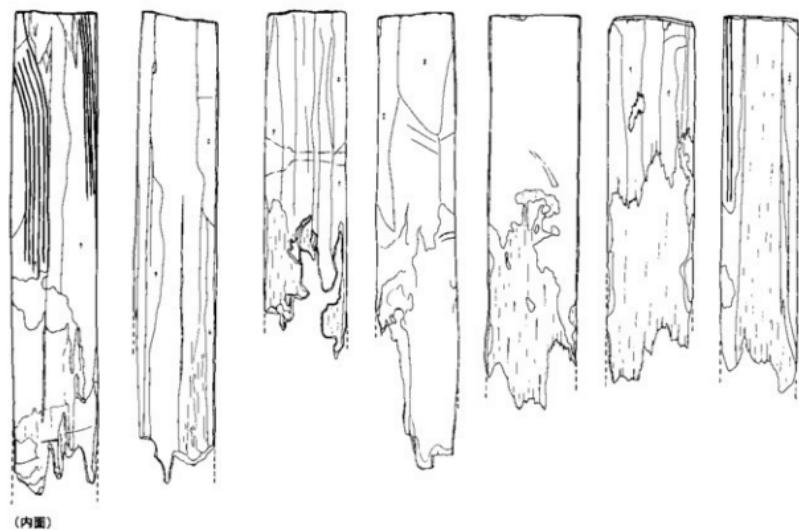
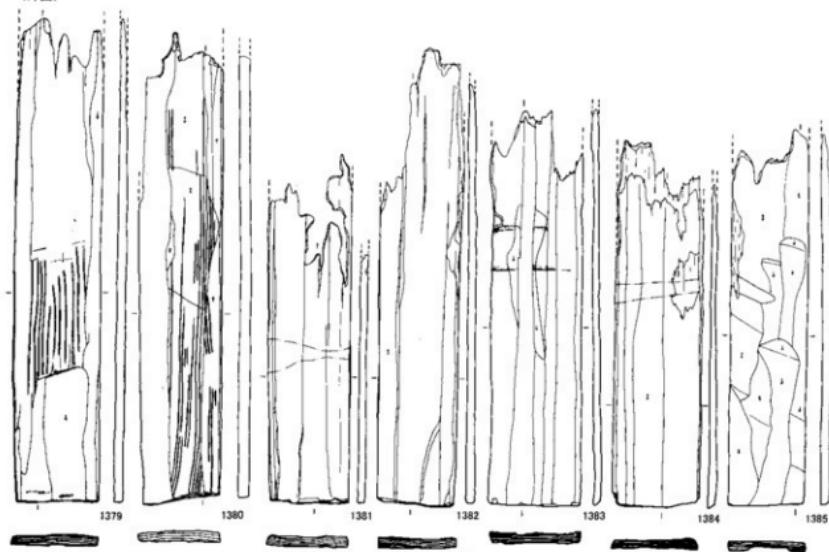
第69図 出土木製品実測図 (1) (S = 1 : 6, 1368・1369= 1 : 12)

SE 8 剣持北部内列 (1370~1376)



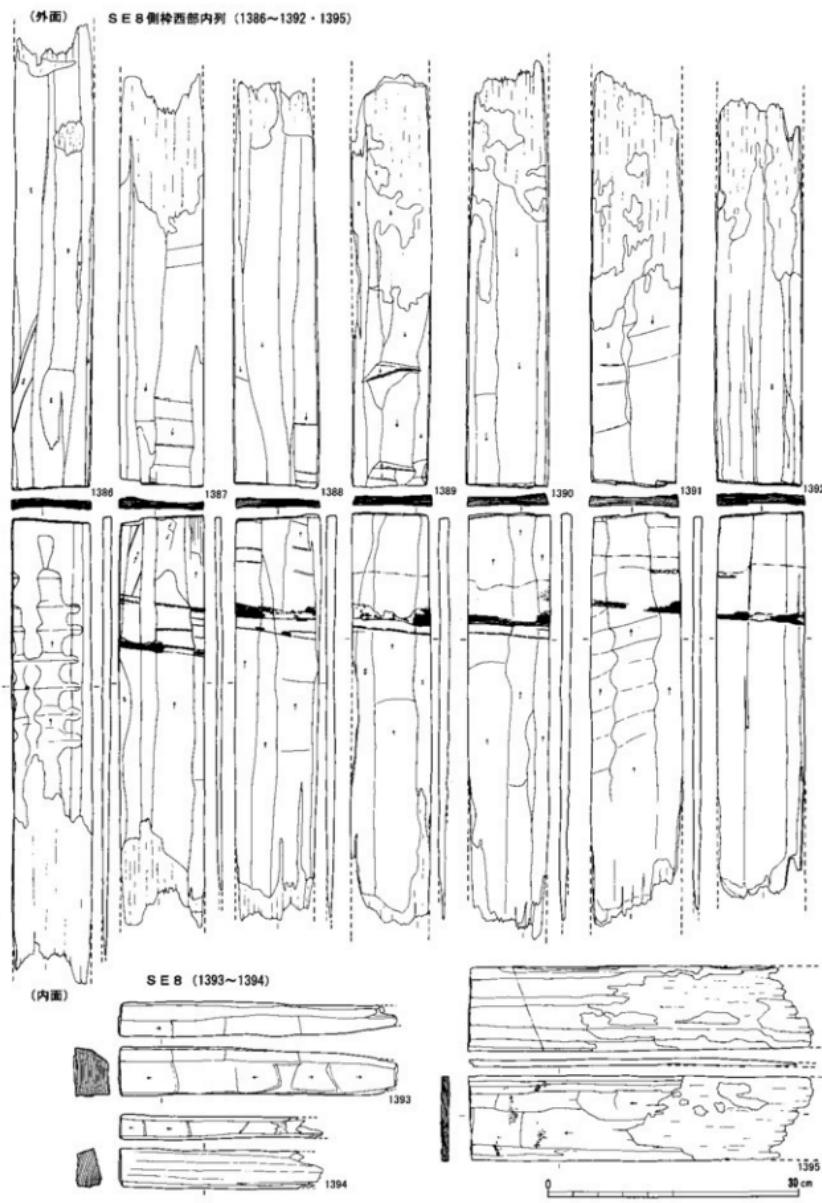
第70図 出土木製品実測図 (2) (S = 1 : 6, 1377・1378 S = 1 : 12)

SE 8 側枠西部外列 (1379~1385)  
(外面)



0 30 cm

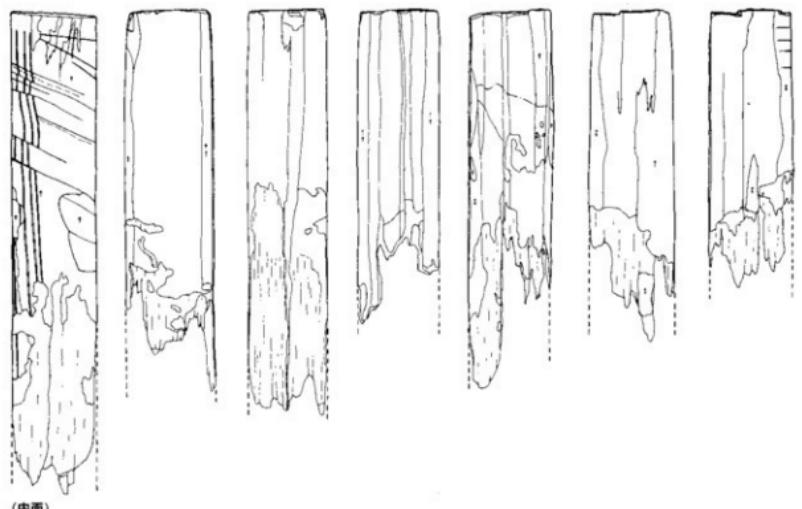
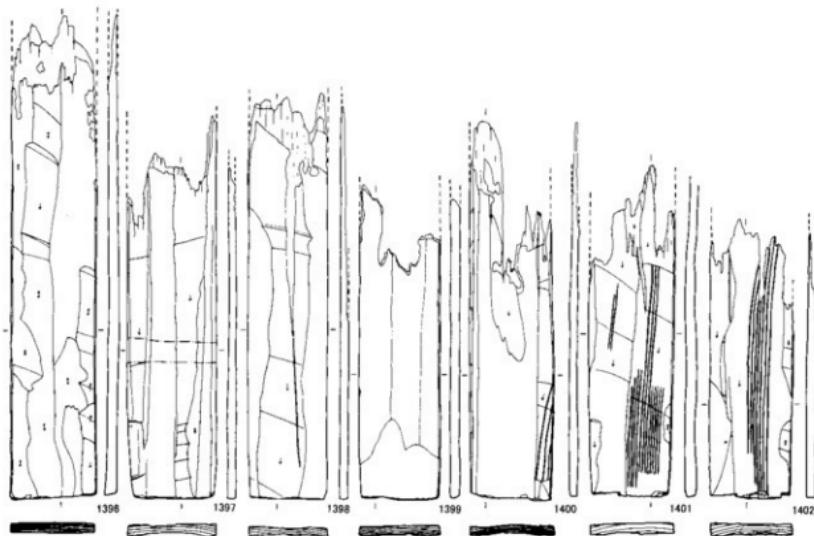
第71図 出土木製品実測図 (3) (S = 1 : 6)



第72図 出土木製品実測図 (4) (S = 1 : 6)

S E 8 側枠南部外列 (1396~1402)

(外面)

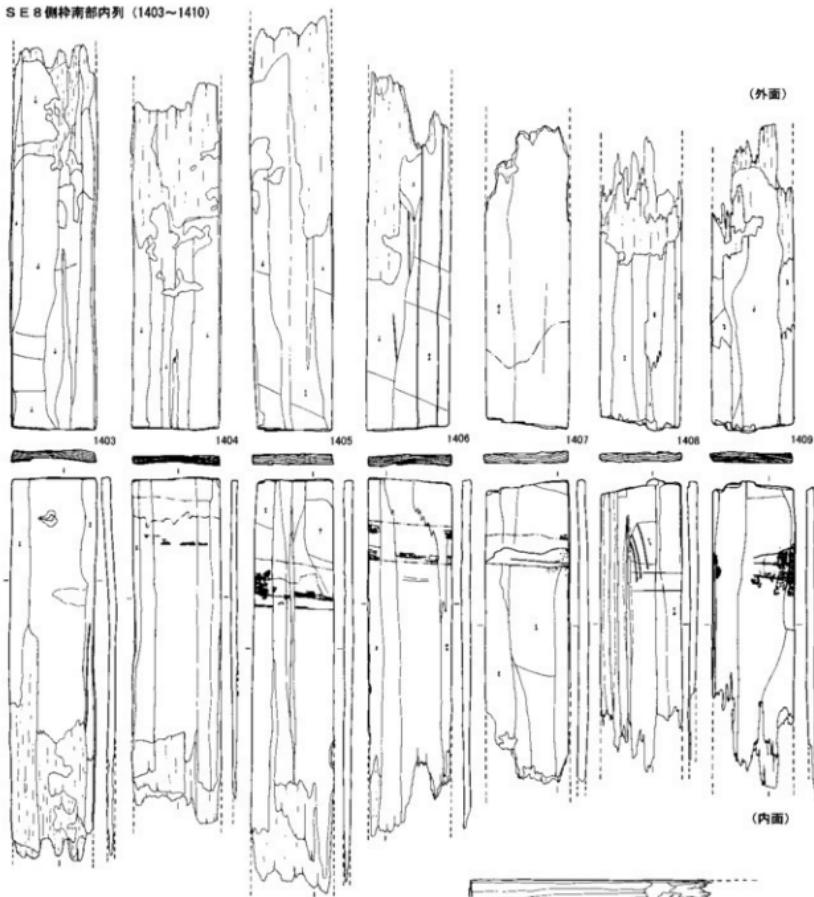


(内面)

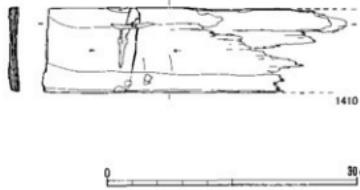
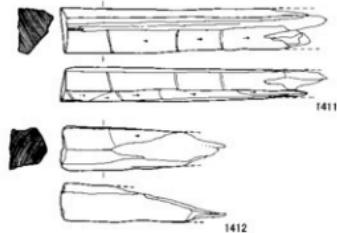


第73図 出土木製品実測図 (5) (S = 1 : 6)

SE 8 側枠南部内列 (1403~1410)

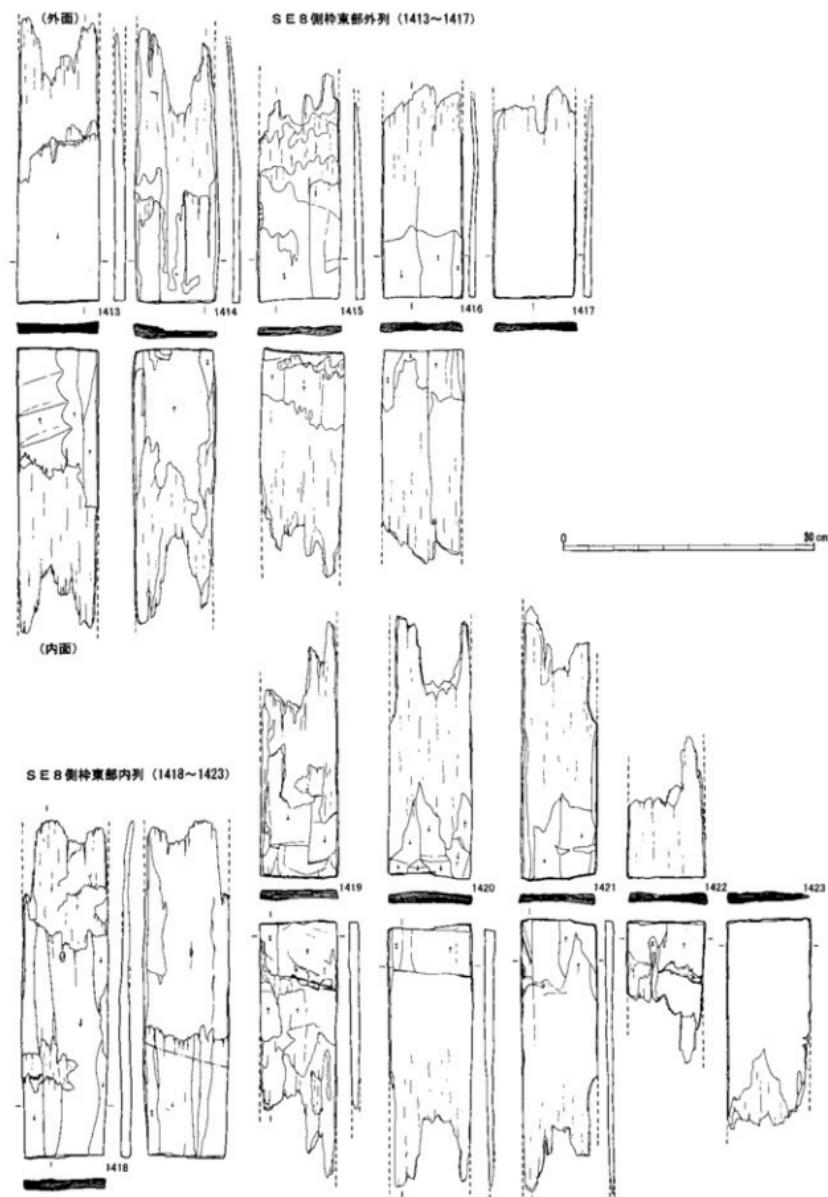


SE 8 (1411~1412)



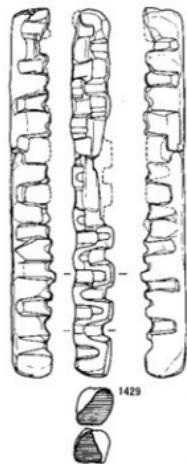
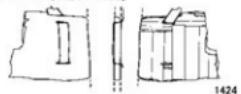
0 30 cm

第74図 出土木製品実測図 (6) (S = 1 : 6)

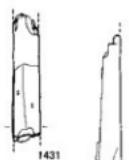


第75図 出土木製品実測図 (7) (S = 1 : 6)

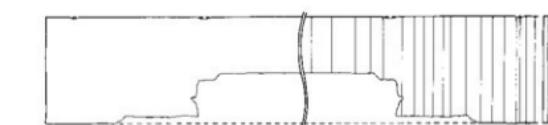
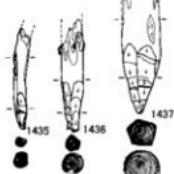
S E 8 (1424~1430)



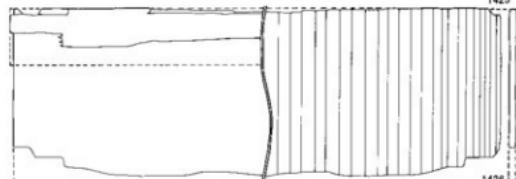
S E 9 (1431~1434)

1433  
1434

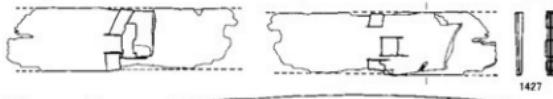
L 11~12落ち込み (1435~1445)



1425



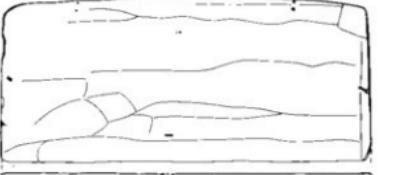
1426



1427

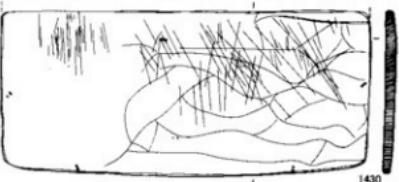


1428

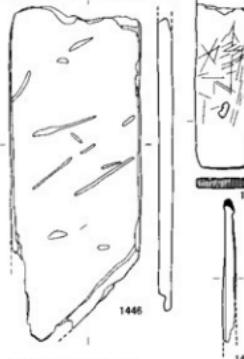


1429

L 19~20落ち込み (1446~1448)



1430



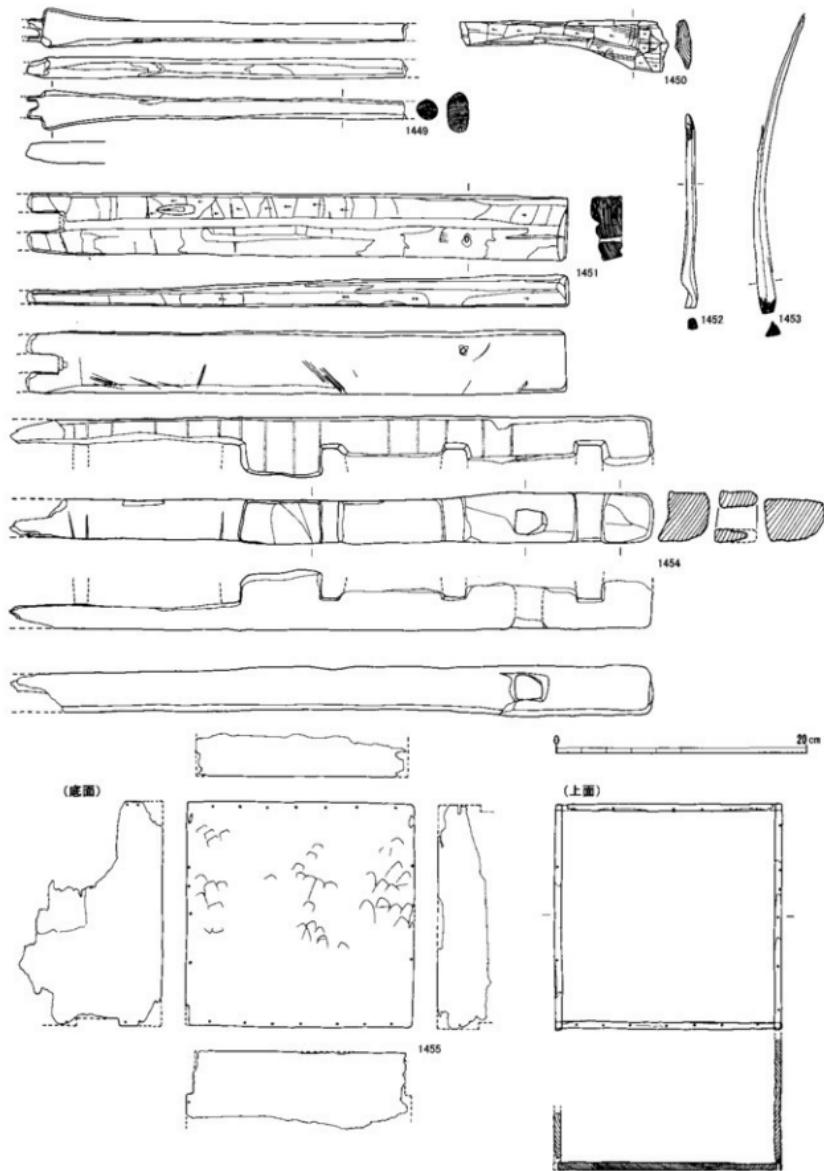
1446



1447

1448

第76図 出土木製品実測図 (8) (S = 1 : 4, 1431~1445 S = 1 : 12)



第77図 出土木製品実測図 (9) ( $S = 1 : 4$ )

## 遺物観察表 凡例

遺物観察表については、以下のような方法によって表記している。

### 1 出土土器観察表

報告番号；図版に対する番号である。

実測番号；実測図製作段階の番号である。上3桁の数字が実測図用紙番号、下2桁が実測図用紙内の番号である。

(例) 12304→123-04

器種等；陶器・土師器などの質と器形（皿・鍋）などを記した。「山茶椀」については、「陶器」「椀」と記しており、図上の形態からではそれが山茶椀と判断しにくい可能性があるものについては「特記事項」の欄に「山茶椀」と記した。

産地・系統；中世土器類については、産地・系統を記した。このうち「尾張」としたものは、猿投・瀬戸・知多（常滑）を含むが、限定できるものについては「猿投」などと表記している。

地区；調査区内のグリッドである。なお、南部半端についてには、グリッドを設定して取り上げていない。

遺構・層位；遺構から出土したものについては遺構および層位を、南部半端は層位を記した。

計測値；基本的に口縁部径を記した。底部径を記した場合には底と表記した。陶器椀に関しては、総重量を概算する目的から、重量を合わせて計測した。

調整・技法の特徴；調整・技法については、下記の状況にないものについてのみ記した。また、焼成時に生じたような特徴となる事項についてもここで触れた。基本的な調整手法は、以下のとおりである。

陶器椀（山茶椀） ロクロナデ→糸切り→貼り付け高台→高台にヨコナデ

陶器皿（山皿） ロクロナデ→糸切り

陶器片口鉢 ロクロナデ→糸切り→貼り付け高台→高台にヨコナデ、口縁部押さえ

土師器皿 オサエ・ナデ・ヨコナデ

土師器小皿 オサエ・ナデ・ヨコナデ

土師器鍋・羽釜 ナデ・オサエ→ハケメ・ヨコナデ→ヘラケズリ→穿孔（中北勢のみ）

土師器茶釜 ナデ・オサエ→ハケメ（両耳を含む）→両耳に穿孔（中北勢のみ）→ヘラケズリ

陶器椀 ロクロナデ→ロクロケズリ→施釉 高台はケズリ出し、一部貼り付け

陶器皿 ロクロナデ→ロクロケズリ→施釉 高台はケズリ出し

青磁椀 ロクロナデ→ケズリ出し高台→迷弁文・見込みの花文などの陰刻・押印→施釉

胎土；粗密のみを記した。胎土中に見られる重要な特徴については、「特記事項」に記した。

色調；『新版標準土色帖』（小山・竹原編 19版 1997）を基準とした色調を表記した。

口縁部残存度；口縁部・脚部など残存状況のよい部位を分数で記した。中世土器の口縁部残存度については1/12単位で記した。

底部残存度；陶器椀の底部残存度については1/12単位で記した。

使用痕；陶器椀および小皿の使用痕の有無を記した。使用痕は、見込み部の摩耗状況で判断している。

墨書き；文字は墨書きそのものを記した。記号については、第33表墨書き分類表に従っている。また、判読することのできなかったものについては「判読不能」と、欠損しているものについては「」と記した。

特記事項；土器に見られる特徴的な要素を記した。

### 2 出土石器観察表

報告番号、実測番号、地区、遺構・層位；1に同じ

器種；想定される器種を記した。

石材；元材を記した。無記入のものは不明のものである。

計測値；（）表記は残存部を計測したものである。

残存；完存およびほぼ完存のもののみ記した。

特記事項；石器に見られる特徴的な要素を記した。

### 3 出土木器観察表

報告番号、実測番号、地区、遺構・層位；1に同じ

計測値；2に同じ

種類；遺構構造材等について用途を記した。

名称；想定される名称を記した。

取上げ番号；現地調査の取上げ番号である。

木取り；現状での材断面に現れた木目を基準としている。

特記事項；木器に見られる特徴的な要素を記した。

器物 番号	器種 番号	器 種 形		地 域	遺構・層位	計 量 式		測定・技術的特徴	地 点	色 調	口縁部存度	底部存度	使用場	備 考	特 記 事 項	
		質	量			(cm)	重量(g)									
1	050201	陶器	碗	周美	K 2.2	S E 5	底 7.4	73 砂輪削	青	NB	6/12	有		内出筋付		
2	050205	瓦	瓦	周美	K 2.2	S E 5	—	— ガラス	やや青	2.5NB/1						
3	050105	瓦	瓦	中国	M 2.2	S E 1.7	5.5	—	青	薄青NB/1 薄青NB/2	3/12					
4	050107	陶器	小盤	知多	L 2.5	S E 1.7	7.1	11	やや青	NB	1/12	有				
5	050101	陶器	碗	周美	M 2.6	S E 1.7	5.8	115 砂輪削	やや青	NB	12/12	有				
6	050007	陶器	碗	知多	M 2.6	S E 1.7	5.1	44 砂輪削	やや青	7.5NB/1		2/12	無	E10		
7	050103	土器	鍋	周伊勢	L 2.6	S E 1.7	28.6	—	青	10NB/4	1/12			外曲腰付		
8	050202	陶器	碗	周美	L 2.5	S E 2.3	底 6.6	109	やや青	2.5NB/1		6/12	有			
9	050006	土器	小盤	半北朝	L 2.5	S E 6	8.2	—	青	7.5NB/4	5/12					
10	050008	土器	小盤	半伊勢	L 2.5	S E 6	7.5	—	青	7.5NB/4	2/12					
11	050106	陶器	小皿	知多	L 2.5	S E 6	7.9	21	やや青	2.5NB/1	3/12	3/12	無			
12	050007	土器	小皿	周伊勢	L 2.5	S E 6	8.3	—	青	7.5NB/4	3/12					
13	050002	土器	鍋	周伊勢	L 2.5	S E 6	11.7	—	青	2.5NB/1	3/12					
14	050004	土器	鍋	半北朝	L 2.5	S E 6	14.2	—	青	10NB/3	2/12					
15	050005	陶器	小皿	知多	L 2.5	S E 6	8.0	40	やや青	2.5NB/1	12/12	12/12	有	E7		
16	050111	陶器	小皿	周美	L 2.5	S E 6	底 3.9	41	青	2.5NB/1	12/12	12/12	有			
17	050103	陶器	小皿	知多	L 2.6	S E 6	8.5	73	やや青	2.5NB/1	6/12	32/12	有			
18	050109	陶器	小皿	知多	L 2.5	S E 6	8.6	26	青	2.5NB/1	2/12	4/12	有			
19	050104	陶器	小皿	知多	L 2.6	S E 6	8.1	34	やや青	2.5NB/1	7/12	32/12	有			
20	050011	陶器	碗	知多	L 2.6	S E 6	12.9	232 砂輪削	やや青	2.5NB/1	3/12	32/12	有			
21	050015	陶器	碗	周美	L 2.5	S E 6	14.9	132 砂輪削	やや青	NB	5/12	4/12	有			
22	050006	陶器	碗	知多	L 2.6	S E 6	14.4	99 砂輪削	やや青	2.5NB/1	2/12	6/12				
23	050003	陶器	碗	周美	L 2.6	S E 6	底 6.8	124 砂輪削	青	10NB/1	12/12	右				
24	050002	陶器	碗	周美	L 2.6	S E 6	底 7.2	112 砂輪削	青	2.5NB/1	7/12	有				
25	050004	陶器	碗	周美	L 2.5	S E 6	底 7.2	125	青	2.5NB/1	12/12	有				
26	050101	陶器	碗	周美	L 2.6	S E 6	底 6.7	139 砂輪削	青	2.5NB/1	12/12	有				
27	050008	陶器	碗	知多	L 2.5	S E 6	底 6.9	138 砂輪削	やや青	2.5NB/1	12/12	有				
28	050102	陶器	碗	知多	L 2.6	S E 6	底 6.7	160 砂輪削	やや青	2.5NB/1	12/12	?				
29	050007	陶器	碗	知多	L 2.5	S E 6	底 6.3	168 砂輪削	青	2.5NB/1	12/12	無				
30	050001	陶器	碗	知多	L 2.5	S E 6	底 7.2	95	やや青	2.5NB/1	6/12	右	C7			
31	050101	陶器	碗	知多	L 2.5	S E 6	底 6.5	171 砂輪削	やや青	2.5NB/1	32/12	無	E1			
32	050011	陶器	鍋	周伊勢・知多	L 2.6	S E 6	14.8	263	青	2.5NB/1	19/12	32/12	右	K10		
33	050005	陶器	碗	知多	L 2.6	S E 6	底 6.5	39 砂輪削	青	2.5NB/1	5/12	右	?			
34	050006	陶器	碗	知多	L 2.5	S E 6	底 6.8	99 砂輪削	やや青	NB	6/12	有	〔〕	内側環付		
35	050101	土器	鍋	周伊勢	L 2.5	S E 6	37.6	—	やや青	10NB/1	4/12			外側環付		
36	050102	土器	鍋	周伊勢	L 2.5	S E 6	27.2	—	やや青	10NB/2	3/12			上縁部内側に環付		
37	050103	土器	鍋	周伊勢	L 2.5	S E 6	25.6	—	やや青	7.5NB/6	1/12			外側環付		
38	050103	土器	小盤	周美	K 1.3	S E 3	8.4	8	やや青	2.5NB/1	2/12					
39	050005	土器	小盤	半北朝	N 2.6	S K 2.4	8.3	—	青	10NB/3	12/12					
40	050103	陶器	小皿	周美	N 2.6	S K 2.4	底 4.0	30	やや青	2.5NB/1	9/12	右				
41	050202	陶器	碗	知多	M 2.6	S K 2.4	14.0	126	やや青	2.5NB/1	6/12	右				
42	050104	陶器	碗	知多	N 2.5	S K 2.4	底 4.6	97	やや青	2.5NB/1	12/12	右				
43	050101	陶器	碗	周美	M 2.6	S K 2.4	底 4.9	241 砂輪削	やや青	2.5NB/1	12/12	右				
44	050106	陶器	碗	知多	N 2.6	S K 2.4	底 4.7	53	やや青	2.5NB/1	3/12	右				
45	050107	土器	鍋	周伊勢	M 2.5	S K 2.4	—	—	やや青	10NB/3	12/12			外側環付		
46	050008	陶器	碗	周美	M 2.6	S K 2.4	48.6	— 砂輪削	青	2.5NB/7 2.5NB/2	1/12					
47	050006	土器	小皿	周伊勢	N 2.5	S K 2.5	7.6	—	青	2.5NB/2	6/12					
48	17301	陶器	碗	知多・兼段	M 2.6	S K 2.5	14.4	190 砂輪削	やや青	NB	7/12	9/12	無	III	上縁部ひび割れ 20~195mmと壁部剥離	
49	050005	陶器	碗	知多	M 2.6	S K 2.5	14.6	229	青	NB	9/12	32/12	右			
50	050001	陶器	碗	知多	N 2.6	S K 2.5	14.3	286 砂輪削	青	NB	12/12	32/12	右		袋サンブル	
51	050002	陶器	碗	周美	L 2.9	S E 1.6	底 6.8	46 砂輪削	やや青	7.5NB/2	NB	3/12	?		内面全体自然離	
52	050008	陶器	碗	知多	M 2.6	S E 1.6	底 6.1	35 砂輪削	やや青	7.5NB/1	3/12	右	〔〕			
53	050101	陶器	碗	知多	L 1.9	S E 6.0 No.1	14.0	83	やや青	2.5NB/1	5/12	?		内縮・外凸	外側付	
54	050103	陶器	碗	周美	K 2.9	S K 2.0	底 8.9	165	青	NB	32/12	右				
55	14002	土器	鍋	半北朝	L 2.8	S D 7	8.1	—	やや青	7.5NB/6	6/12					
56	14001	土器	小皿	半北朝	L 2.8	S D 7	8.3	—	やや青	2.5NB/5	11/12					
57	14001	土器	小皿	周伊勢	L 2.8	S D 7	12.5	—	やや青	2.5NB/3	10/12				薄いため丸がよく	
58	14005	陶器	小皿	周美	K 2.8	S D 7	7.8	29	やや青	2.5NB/1	2/12	32/12	?		内面全体自然離	
59	14003	土器	小皿	半北朝	L 2.8	S D 7	底 4.7	— 砂輪削	やや青	10NB/1	32/12					

第2表 出土土器観察表(1)

器物番号	器物名	形 異 方	測定・系統	地 区	遺構・部位	計 測 値 (mm) 水量(g)	測定・柱材の特徴	前 手	色 調	I・II線存続	底面形状	使用例	器 形	特記事項	
直	横														
09 09002	陶器	小皿	端部	M 2.9	S D 7	8.1 57	やや粗	257/1	6/12	N/12	?	G3			
11 14002	陶器	小皿	深美	L 2.8	S D 7	8.0 59	やや粗	257/1	5/12	5/12	有				
12 14004	陶器	小皿	端部	L 2.8	S D 7	7.8 50	やや粗	198/1	5/12	7/12	無		外面部に墨書き痕		
03 14003	陶器	小皿	端部	L 2.8	S D 7	8.2 35	やや粗	198/1	5/12	6/12	有				
14 14005	陶器	圓盤	端部	L 2.8	S D 7	— —	— →端部の 妙	257/1	5/12	6/12	無				
05 14007	陶器	圓盤	端部	L 2.8	S D 7	8.0 57	直	257/1	3/12	有			軸用窓の可能性		
06 14002	陶器	圓盤	端部	L 2.8	S D 7	8.0 69	64 →端部含 む一端白化	198/1		8/12					
07 14004	陶器	圓盤	端部	K 2.8	S D 7	16.2 160	妙丸底	198/1	5/12	5/12	有		外面部墨書き		
08 14003	陶器	圓盤	端部	L 2.8	S D 7	15.7 194	直	N/1	2/12	12/12	有				
09 14004	陶器	圓盤	端部	L 2.8	S D 7	14.4 195	やや粗	257/1	6/12	12/12	有		内面部・墨書き痕		
10 14005	陶器	圓盤	端部	L 2.8	S D 7	15.3 256	やや粗	257/1	4/12	12/12	有				
11 14005	陶器	圓盤	端部	L 2.8	S D 7	17.4 22	直	257/1	2/12						
12 14006	陶器	圓盤	端部	L 2.7	S D 7	15.3 90	418°傾	やや粗	257/1	2/12	5/12	有			
13 14003	陶器	圓盤	端部	L 2.8	S D 7	17.0 224	418°傾	やや粗	N/1	5/12	12/12	有		自然端	
14 14002	陶器	圓盤	端部	L 2.8	S D 7	15.0 336	直	257/1	11/12	12/12	有				
25 09008	陶器	圓盤	端部	L 2.8	S D 7	14.7 256	418°傾	やや粗	257/1	12/12	12/12	有	C1		
16 14002	陶器	圓盤	端部	L 2.8	S D 7	8.0 95	妙丸底	やや粗	257/1	7/12	有				
77 14004	陶器	圓盤	端部	K 2.8	S D 7	8.0 47	418°傾	やや粗	198/1	3/12				内面部墨書き	
28 14003	陶器	圓盤	端部	K 2.8	S D 7	— —	直	257/1	12/12						
29 09020	土器	盤	端部	L 2.8	S D 7	26.5 —	やや粗	198/2	11/12						
30 14003	土器	盤	端部	L 2.8	S D 7	24.7 —	直	198/3	2/12						
31 14002	土器	盤	端部	L 2.8	S D 7	20.4 —	直	198/3	1/12						
32 07705	土器	盤	端部	K 2.8	S K 7	26.2 —	直	198/3	1/12						
33 14001	土器	盤	端部	L 2.8	S D 7	40.6 —	418°傾	やや粗	257/1	2/12					
34 14003	土器	盤	端部	L 2.8	S D 7	41.6 131	打ち欠き	やや粗	257/2	12/12	有	輪			
35 09010	陶器	円筒加圧尾張	端部	L 2.8	S D 7	8.0 86	418°傾	やや粗	198/3	2/12					
36 09010	陶器	圓盤	端部	L 2.7	S D 1.8	41.8 —	紺・紺	やや粗	198/3	2/12					
37 05012	千筋器	小皿	端部	L 2.7	S D 1.8	7.6 —	—	やや粗	7.5W/4	1/12	3/12				
38 09021	土器	土器	端部	L 2.7	S D 1.8	9.2 —	—	やや粗	198/3	6/12	6/12				
39 09004	土器	土器	端部	L 2.7	S D 1.8	9.6 —	—	直	198/2	3/12	3/12				
40 09006	土器	土器	端部	L 2.7	S D 1.8	11.8 —	—	直	198/2	3/12	3/12				
41 09002	土器	土器	端部	L 2.7	S D 1.8	12.3 —	—	直	198/2	2/12	4/12				
42 09003	陶器	小皿	端部	L 2.7	S D 1.8	7.8 37	やや粗	257/1	1/12	12/12	有				
43 09002	陶器	小皿	端部	L 2.7	S D 1.8	7.8 37	—	やや粗	5N/1	5/12	12/12	有			
44 09010	陶器	圓盤	端部	L 2.7	S D 1.8	8.7 72	直	257/1	12/12	12/12	有	「」	施墨手跡 墨見サンプル		
45 09010	陶器	圓盤	端部	L 2.7	S D 1.8	9.2 —	—	やや粗	198/3	6/12	6/12				
46 09003	陶器	圓盤	端部	L 2.7	S D 1.8	9.6 —	—	直	198/2	3/12	3/12				
47 09003	陶器	圓盤	端部	L 2.7	S D 1.8	8.8 41	やや粗	257/1	3/12	8/12	有				
48 09004	陶器	小皿	端部	L 2.7	S D 1.8	8.4 44	やや粗	257/1	4/12	8/12	有				
49 09005	陶器	小皿	端部	L 2.7	S D 1.8	16.3 347	418°傾	直	257/1	12/12	12/12	有		輪	
100 09022	陶器	圓盤	端部	L 2.7	S D 1.8	16.1 329	妙丸底	直	257/1	12/12	12/12	有		内輪部内面墨書き	
101 09001	陶器	圓盤	端部	L 2.7	S D 1.8	15.5 319	418°傾	直	257/1	12/12	12/12	有		墨見サンプル	
102 09006	陶器	圓盤	端部	L 2.7	S D 1.8	16.0 382	418°傾	やや粗	257/1	6/12	8/12	有			
103 09002	陶器	圓盤	端部	L 2.7	S D 1.8	15.8 313	418°傾	やや粗	198/1	2/12	12/12	有		内面部・墨書き	
104 09003	陶器	圓盤	端部	L 2.7	S D 1.8	16.1 293	418°傾	やや粗	257/1	12/12	12/12	有		墨見サンプル	
105 14402	陶器	圓盤	端部	L 2.7	S D 1.8	15.9 254	418°傾	やや粗	257/1	7/12	12/12	有			
106 09001	陶器	圓盤	端部	L 2.7	S D 1.8	16.6 277	—	やや粗	N/1	3/12	12/12	有			
107 09004	陶器	圓盤	端部	L 2.7	S D 1.8	17.2 244	—	やや粗	257/1	4/12	12/12	有			
108 09005	陶器	圓盤	端部	L 2.7	S D 1.8	15.5 258	—	やや粗	257/1	7/12	12/12	有			
109 14404	陶器	圓盤	端部	L 2.7	S D 1.8	16.4 273	418°傾	直	257/1	6/12	12/12	有			
110 14405	陶器	圓盤	端部	L 2.7	S D 1.8	15.5 122	418°傾	やや粗	198/1	2/12	3/12	有			
111 14403	陶器	圓盤	端部	L 2.7	S D 1.8	15.6 305	—	直	257/1	7/12	12/12	有		内外部・墨書き	
112 09004	陶器	圓盤	端部	L 2.7	S D 1.8	15.8 225	—	やや粗	257/1	4/12	12/12	有			
113 09006	陶器	圓盤	端部	L 2.7	S D 1.8	16.0 319	妙丸底	やや粗	257/1	12/12	12/12	有		墨見サンプル	
114 14401	陶器	圓盤	端部	L 2.7	S D 1.8	16.6 282	—	やや粗	257/1	3/12	12/12	有			
115 14405	陶器	圓盤	端部	L 2.7	S D 1.8	15.5 311	—	直	257/1	1/12	12/12	有		判別不能	
116 09006	陶器	圓盤	端部	L 2.7	S D 1.8	15.4 83	—	やや粗	257/1	2/12	4/12	有			
117 09007	陶器	圓盤	端部	L 2.7	S D 1.8	14.7 86	—	やや粗	257/1	5/12	5/12	有			
118 14407	陶器	圓盤	端部	L 2.7	S D 1.8	15.5 168	—	直	257/1	8/12	8/12	D 8			

第3表 出土土器観察表（2）

番号	器種	器形	地紋	焼成	遺物・部位	計量結果		調査・記述の特徴	剖面	色調	上縁保存度	底縁保存度	使用状況	推測	特記事項
						(cm)	(g)								
119	99403	陶器	柄	短多	L 2.7	S D 1.8	約 6.4	26	赤褐色	やや粗	7.377/1	7/12	有	C1	
120	99404	陶器	柄	短多	L 2.7	S D 1.8	約 6.5	90	赤褐色	やや粗	N/A	6/12	?	E2	器質不明瞭
121	99606	陶器	片口鉢	短多	M 2.7	S D 1.8	20.2	—	—	やや粗	N/A	3/12			
122	35403	陶器	片口鉢	短多	S D 1.8	底 13.5	—	—	やや粗	7.377/1	—	4/12	有	内面に盛む性質有	
123	35404	陶器	鍋	新伊勢	L 2.7	S D 1.8	—	—	—	やや粗	107867/3	1/12			外縁保存有
124	35405	陶器	鍋	新伊勢	L 2.7	S D 1.8	—	—	—	やや粗	107867/3	1/12			外縁保存有
125	99609	陶器	壺	新道	M 2.7	S D 1.8	22.2	—	—	やや粗	7.378/1	3/12			
126	14605	土器	小鉢	中北勢	L 2.6	S D 2.2	8.2	—	—	青	107867/3	3/12			
128	14602	陶器	圓	新美	L 2.6	S D 2.2	約 6.5	164	赤褐色	やや粗	N/A	12/12	有		
129	14603	陶器	圓	新美	L 2.6	S D 2.2	約 6.9	165	—	やや粗	N/A	12/12	有		
130	14604	陶器	圓	尾張	L 2.6	S D 2.2	約 7.0	221	赤褐色	密	N/A	4/12	有		
131	14605	陶器	圓	尾張?	L 2.6	S D 2.2	30.2	—	—	やや粗	107867/3	3/12			
132	14703	土器	小鉢	中北勢	K 2.8	S D 1.5	7.9	—	—	青	107867/3	2/12			
133	14702	土器	小鉢	新伊勢	K 2.8	S D 1.5	7.8	—	—	青	107867/3	3/12			
134	14701	土器	小鉢	中北勢	K 2.8	S D 1.5	11.9	—	—	青	107867/3	2/12			
135	14703	陶器	圓	知多	K 2.8	S D 1.5	約 6.3	58	赤褐色	やや粗	N/A	4/12	有		
136	07705	土器	手皿	新伊勢	L 2.8	S K 1.4	1.8	—	—	青	107867/3	3/12			
137	07801	土器	手皿	新伊勢	L 2.8	S K 1.4	8.2	—	—	やや粗	107867/3	2/12			
138	07706	陶器	圓	尾張	L 2.8	S K 1.4	14.6	11	—	やや粗	2.377/1	1/12			
139	07708	陶器	圓	尾張	L 2.8	S K 1.4	約 7.7	39	—	やや粗	2.377/1	3/12	有		
140	07710	陶器	圓	知多	L 2.8	S K 1.4	約 6.6	25	—	やや粗	N/A	3/12	新?		
141	14801	真實土器	火鉢	—	L 2.8	S K 1.4	—	—	—	やや粗	N/A	1(破損小口)			内面保存有
142	08001	土器	壺	中北勢	K 1.5	S E 2	—	—	—	やや粗	2.378/2	1/12			外縁保存有
143	08002	土器	壺	中北勢	K 1.4	S K 2 W	—	—	—	やや粗	7.378/1	1/12			中北勢の特徴?
144	07711	土器	壺	中北勢	K 2.5	S K 1.2	22.8	—	—	やや粗	5.378/6	2/12			外縁保存有
145	08202	陶器	小皿	知多	M 2.4	S E 1.1	8.2	52	—	やや粗	3.377/1	3/12	12/12	有	内面立体自然形
146	08204	陶器	小皿	知多	M 2.4	S E 1.1	8.0	46	—	やや粗	N/A	2/12	10/12		
147	05002	陶器	碗	知多	M 2.4	S E 1.1	15.2	184	赤褐色	やや粗	N/A	5/12	7/12	有	内面保存有
148	08202	陶器	碗	知多	M 2.4	S E 1.1	約 6.7	61	赤褐色	やや粗	2.377/1	3/12	有		
149	05003	陶器	碗	知多	M 2.4	S E 1.1	約 6.7	64	赤褐色	やや粗	3.377/1	7/12	有	E9	
150	05021	陶器	鉢	麻浦	M 2.4	S E 1.1 M	30.4	—	—	やや粗	3.378/4	5/12			外縁保存有 内面保存有 底縁保存有
151	05022	陶器	鉢	麻浦	M 2.4	S E 1.1 M	約 16.5	—	—	青	107867/6	6/12			
153	05072	陶器	圓	鹿児	S E 1.9	—	—	—	—	青	2.378/1	7/12			
154	05070	陶器	圓	鹿児	S E 1.9	13.8	—	—	—	青	2.378/1	3/12	4/12		
155	05074	陶器	壺	麻浦	S E 1.9	—	—	—	—	青	2.378/1	3/12			
156	05023	陶器	壺	麻浦	S E 1.9	—	—	—	—	青	2.378/1	3/12			
158	05053	陶器	小皿	鹿児	K 2.1	S E 9	12.0	—	—	やや粗	2.378/1	2/12			
159	05052	陶器	圓	鹿児	K 2.1	S E 9	13.5	—	—	やや粗	2.378/1	12/12	B6		
160	05041	陶器	圓	鹿児	K 2.1	S E 9	約 8.9	55	—	やや粗	2.378/2	4/12			
161	05052	陶器	圓	鹿児	K 2.1	S E 9	—	—	—	やや粗	2.378/2	1/12			1輪底部残存
162	07702	灰陶	陶器	—	K 1.3	S K 1	—	—	—	青	2.377/1	1/12			
163	07701	陶器	圓	鹿児?	K 1.3	S E 1.8	延 5.6	—	—	青	2.378/2	12/12			
164	07807	陶器	碗	鹿児	1.2.3	S K 2.9	—	—	—	青	107867/6	小町			底縁保存有
165	25002	土器	小皿	中北勢	1.1.1	落ち込み 相手下	8.4	—	—	青	107867/2	12/12			
166	25004	土器	小皿	中北勢	1.1.1	落ち込み 相手下	2.7	59	—	やや粗	N/A	12/12	4/12		内面に盛む性質有
167	07705	土器	盤?	中北勢	L 1.1	落ち込み 相手下	13.2	—	—	やや粗	107867/4	11輪底部分			
168	25101	土器	盤?	中北勢	L 1.1	落ち込み 相手下	14.8	—	—	やや粗	2.378/4	4/12			
169	24803	陶器	圓	腰突一知多	1.1.1	落ち込み 相手下	15.8	325	赤褐色	やや粗	2.378/1	7/12	12/12	有	内面に盛む性質有
170	23802	陶器	圓	腰突	1.1.1	落ち込み 相手下	16.2	184	赤褐色	やや粗	2.377/1	3/12	12/12	有	
171	11401	陶器	圓	腰突	1.1.1	落ち込み 相手下	15.9	292	赤褐色	やや粗	N/A	7/12	8/12	?	
172	11302	陶器	圓	腰突	L 1.1	落ち込み 相手下	14.1	250	赤褐色	やや粗	N/A	12/12	12/12	4	
173	24806	陶器	圓	腰突	L 1.2	落ち込み 相手下	13.2	332	赤褐色	やや粗	2.377/1	6/12	12/12	有	内面全体外縁一部保存
174	11403	陶器	圓	腰突	L 1.1	落ち込み 相手下	12.6	183	赤褐色	やや粗	2.377/1	3/12	10/12	無	
175	11301	陶器	圓	腰突	L 1.1	落ち込み 相手下	15.6	341	—	粗	1077/1	11/12	12/12	有	
176	11404	陶器	圓	腰突	L 1.1	落ち込み 相手下	14.4	151	赤褐色	やや粗	N/A	4/12	12/12	有	
177	11304	陶器	圓	腰突	L 1.1	落ち込み 相手下	14.1	250	赤褐色	やや粗	N/A	12/12	4/12	無	
178	11402	陶器	圓	腰突	L 1.1	落ち込み 相手下	14.7	306	—	やや粗	2.377/1	12/12	32/12	有	
179	11303	陶器	圓	腰突	L 1.1	落ち込み 相手下	14.6	146	赤褐色	やや粗	N/A	4/12	12/12	有	
180	23701	陶器	圓	腰突一知多	L 1.1	落ち込み 相手下	14.6	155	赤褐色	やや粗	2.377/1	6/12	9/12	R2	

第4表 出土土器観察表（3）

器物 番号	器 種 目	形 状	产地・系統	地 区	遺構・層位	計 面 積		断面・枝法の特徴	出土	色 調	口縁部有無	底縁部有無	使用相	器 種	特 記 事 項
						(cm)	(mm)								
101 24891 陶器 瓶 加多 L.1.2 落ち込み 磨砂下 15.2 144 口縁有 丸 397/1 2/12 有 K2															
102 25070 陶器 瓶 加多 L.1.1 落ち込み 磨砂下 8.5 6.5 81 やや青 397/1 6/12 有 K2															
103 25891 陶器 瓶 磨接 L.1.1 落ち込み 磨砂下 8.0 6.2 149 やや青 7.5N7/1 12/12 有 G7															
104 25893 陶器 瓶 加多 L.1.1 落ち込み 磨砂下 8.0 6.1 137 やや青 5N7/1 12/12 有 D3 外面付着物有り															
105 07054 土器類 瓶 加伊勢志 L.1.1 落ち込み 磨砂下 30.2 — — 黒 7.5N8/4 C3種類53/12															
106 25195 土器類 瓶 加 L.1.1 落ち込み 磨砂下 24.4 — — 黒 7.5N8/4 1/12 外面擦り有り															
107 25196 陶器 瓶 L.1.1 落ち込み 磨砂下 — — 口縁→口縁 丸 397/1 1/12															
108 07253 土器類 小瓶 海伊勢 L.1.2 落ち込み(磨路) 8.2 — — 黒 10N8/2 1/12															
109 25160 土器類 小瓶 中北勢 L.1.1 落ち込み 磨砂 8.1 — — やや青 10N8/2 5/12															
110 25207 土器類 小瓶 中北勢 L.1.2 落ち込み 磨砂 8.9 — — やや青 7.5N8/4 10/12															
111 23202 土器類 盆 中北勢 L.1.2 落ち込み 磨砂 13.8 — — やや青 7.5N8/4 5/12															
112 25203 陶器 盆 中北勢 L.1.2 落ち込み 磨砂 13.8 — — やや青 10N8/3 3/12															
113 25204 土器類 盆 中北勢 L.1.2 落ち込み 磨砂 14.3 — — やや青 10N8/3 3/12															
114 25205 陶器 盆 中北勢 L.1.2 落ち込み 磨砂 13.7 — — やや青 7.5N8/4 3/12															
115 24802 陶器 瓶 加多 L.1.2 落ち込み 磨砂 14.4 186 口縁有 丸 2.5N7/1 6/12 12/12 有															
116 24804 陶器 瓶 加多 L.1.2 落ち込み 磨砂 15.0 241 口縁有 やや青 5N7/1 6/12 12/12 有															
117 25105 土器類 瓶 海伊勢 L.1.2 落ち込み 磨砂 27.4 — — やや青 10N8/2 2/12 外面擦り有り															
118 25206 陶器 瓶 加 L.1.2 落ち込み 磨砂上 7.7 — — 黒 2.5N7/1 9/12															
119 25001 陶器 小瓶 加多 L.1.1 落ち込み 磨砂上 7.9 43 — やや青 397/1 1/12 12/12 有															
120 23705 陶器 瓶 加多 L.1.1 落ち込み 磨砂下 15.7 152 口縁有 丸 397/1 5/12 12/12 有 K2															
121 06654 陶器 瓶 加多 L.1.1 落ち込み(磨砂上) 15.9 258 口縁有 やや青 2.5N7/1 11/12 12/12 有 K1															
122 25102 陶器 盆 海伊勢 L.1.1 落ち込み 磨砂上に少し 11.7 — — 黒 10N8/4 11/12															
123 25002 陶器 小瓶 加多 L.1.1 落ち込み 特性 7.8 58 — やや青 397/1 9/12 12/12 有															
124 25003 陶器 小瓶 加多 L.1.1 落ち込み(磨砂上) 8.2 62 — やや青 5N7/1 13/12 12/12 有 内面全体自然触															
125 24807 陶器 瓶 加多 L.1.2 落ち込み 青砂 14.8 175 口縁有 丸 2.5N7/1 4/12 12/12 有															
126 23864 陶器 瓶 砂漬 L.1.1 落ち込み 砂漬 32.6 85 — やや青 2.5N7/1 3/12 有 フ															
127 25406 土器類 盆 L.1.9 落ち込み 14.0 — 口縁→口縁有 丸 2.5N7/1 3/12 7/12															
128 25504 土器類 盆 L.1.9 落ち込み 12.7 42 口縁→口縁有 やや青 2.5N7/1 2/12 7/12															
129 25506 土器類 有孔器 1.2.0 落ち込み 粗 6.2 175 口縁 丸 7.5N8/1 上部灰															
130 25507 土器類 小瓶 加伊勢 L.2.0 落ち込み 7.8 — — やや青 10N8/2 12/12															
131 25408 土器類 小瓶 加伊勢 K.1.9 落ち込み 8.0 — — やや青 2.5N7/2 7/12															
132 25407 土器類 小瓶 中北勢 K.1.9 落ち込み 8.4 — — やや青 2.5N7/2 9/12															
133 25601 土器類 小瓶 中北勢 K.1.9 落ち込み 7.7 — — 丸 7.5N8/4 9/12															
134 25402 土器類 小瓶 中北勢 K.1.9 落ち込み 8.0 — — やや青 5N8/4 6/12															
135 25603 土器類 小瓶 中北勢 K.1.9 落ち込み 8.2 — — やや青 10N8/4 12/12															
136 07252 土器類 中北勢 K.1.9 落ち込み 9.3 — — 丸 10N8/2 11/12															
137 07204 土器類 盆 海伊勢 K.1.9 落ち込み 12.2 79 — 黒 10N8/2 未分															
138 25405 土器類 盆 海伊勢 K.1.9 落ち込み 11.4 — — やや青 2.5N7/3 12/12															
139 25406 土器類 盆 海伊勢 L.1.9 落ち込み 11.5 — — やや青 2.5N7/2 12/12															
140 25407 土器類 盆 海伊勢 L.1.9 落ち込み 12.7 — — やや青 2.5N7/2 12/12															
141 25402 土器類 盆 海伊勢 L.1.9 落ち込み 12.2 — — やや青 7.5N8/4 12/12															
142 25406 土器類 盆 中北勢 L.1.9 落ち込み 14.0 — — やや青 10N8/3 4/12															
143 22508 陶器 小瓶 加多 L.1.9 落ち込み 8.5 47 — 黒 10N8/1 6/12 12/12 有															
144 22502 陶器 小瓶 加多 L.1.9 落ち込み 8.7 75 — やや青 7.5N8/1 6/12 12/12 有 内面全体自然触															
145 31504 陶器 小瓶 加多 L.1.9 落ち込み 9.6 40 — やや青 10N8/1 12/12 12/12 有															
146 25604 陶器 小瓶 加多 L.1.9 落ち込み 8.3 61 — やや青 2.5N7/1 12/12 12/12 有															
147 25507 陶器 小瓶 加多 L.1.9 落ち込み 8.1 63 — やや青 2.5N7/1 12/12 12/12 有 内面全体自然触															
148 25601 土器類 小瓶 加多 L.1.9 落ち込み 9.5 — 口縁→口縁有 やや青 7.5N8/4 2/12 12/12															
149 06209 陶器 小瓶 加多 L.1.9 落ち込み 8.1 56 — やや青 3N7/1 10/12 12/12 有															
150 06102 陶器 小瓶 加多 L.1.9 落ち込み 8.3 69 — やや青 3N7/1 11/12 12/12 有															
151 25503 陶器 小瓶 磨接-加多 L.1.9 落ち込み 8.6 67 — やや青 3N7/1 12/12 12/12 有															
152 06104 陶器 小瓶 加多 L.1.9 落ち込み 8.3 64 — やや青 3N7/1 12/12 12/12 有															
153 06105 陶器 小瓶 加多 L.1.9 落ち込み 8.0 51 — やや青 3N7/1 5/12 12/12 有															
154 06109 陶器 小瓶 加多 L.1.9 落ち込み 7.9 67 — やや青 3N7/1 12/12 12/12 有 塵質サンプル															
155 06106 陶器 小瓶 加多 L.1.9 落ち込み 7.8 53 — やや青 3N7/1 12/12 12/12 有 塘質サンプル															
156 06105 陶器 小瓶 加多 L.1.9 落ち込み 7.8 37 — やや青 3N7/1 9/12 12/12 有 白然触															
157 06111 陶器 小瓶 加多 L.1.9 落ち込み 8.4 75 — やや青 N7/ 12/12 12/12 有 塘質サンプル															
158 06101 陶器 小瓶 加多 L.1.9 落ち込み 8.3 65 — やや青 3N7/1 12/12 12/12 有 白然触															
159 06204 陶器 小瓶 加多 L.1.9 落ち込み 8.1 63 — やや青 2.5N7/1 12/12 12/12 有 塘質サンプル															

第5表 出土土器観察表（4）

號	編 號	器 種	形 狀	標 本 名	地 點	遺 跡	所 屬	重 量(g)	性質・性状の特徴		上	色 調	L B W 複合指	既存度	使用痕	原 産	特 記 事 項
									(cm)	(g)							
240	06107	陶器	小盤	深美	K 1.9	落ち込み	8.3	40	やや白	257/1	12/12	12/12	有	-	-	黒縁サンブル	
241	06108	陶器	小盤	浅美	K 1.9	落ち込み	8.2	40	やや白	257/1	9/12	12/12	有	-	-	黒縁サンブル	
242	06203	陶器	小盤	浅美	K 1.9	落ち込み	7.9	61	やや白	257/1	12/12	12/12	無	-	-	黒縁サンブル	
243	06110	陶器	小盤	浅美	L 1.9	落ち込み	7.8	72	やや白	257/1	12/12	12/12	有	-	-	黒縁サンブル	
244	06205	陶器	小盤	浅美	K 1.9	落ち込み	7.2	50	やや白	257/1	12/12	12/12	有	-	-	黒縁サンブル	
245	23030	陶器	小盤	加多	L 1.9	落ち込み	8.0	69	白	257/1	12/12	12/12	有	K12	-	-	
246	23032	陶器	小盤	加多	K 1.9	落ち込み	8.5	33	白	257/1	4/12	6/12	有	K12	-	-	
247	06202	陶器	小盤	浅美	K 1.9	落ち込み	8.2	61	やや白	257/1	12/12	12/12	有	-	特殊不規	黒縁サンブル	
248	23031	陶器	小盤	加多	K 1.9	落ち込み	7.8	54	白	257/1	12/12	12/12	有	K12	-	西周全体自然	
249	05504	吉皿	碗	中国	L 1.9	落ち込み	-	-	白	257/1	12/12	12/12	有	K12	-	西周全体自然	
250	23035	有底	碗	中国	K 1.9	落ち込み	16.8	-	白	257/1	12/12	12/12	有	-	-	-	
251	23006	有底	碗	中国	K 1.9	落ち込み	16.1	-	白	257/1	12/12	12/12	有	-	1000BC3	1000BC3	
252	23010	白底	碗	中国	L 1.9	落ち込み	14.9	-	白	257/1	12/12	12/12	有	-	-	-	
253	06202	陶器	碗	加多	K 1.9	落ち込み	13.8	327	白	257/1	9/12	12/12	有	-	-	-	
254	01204	陶器	碗	加多	L 1.9	落ち込み(覆元土)	13.8	319	11.8% 黄	やや白	N12	12/12	12/12	有	G1	-	-
255	05501	陶器	碗	加多	L 1.9	落ち込み	13.8	191	白	やや白	N12	12/12	12/12	有	-	西周に日本本州新石器	-
256	01205	陶器	碗	加多	K 1.9	落ち込み	13.2	279	11.8% 黄	やや白	257/1	12/12	12/12	有	-	-	-
257	23033	陶器	碗	加多	K 1.9	落ち込み	14.9	284	11.8% 黄	やや白	257/1	12/12	12/12	有	-	-	-
258	23004	陶器	碗	浅美	L 1.9	落ち込み	13.6	250	11.8% 黄	やや白	257/1	9/12	12/12	有	G1	-	-
259	23003	陶器	碗	加多	L 1.9	落ち込み	16.4	279	11.8% 黄	やや白	257/1	6/12	12/12	有	D1	墨片不規	-
260	23001	陶器	碗	浅美	K 1.9	落ち込み	13.5	252	白	やや白	257/1	12/12	12/12	有	D1	赤墨サンブル	-
261	23003	陶器	碗	加多	K 1.9	落ち込み	12.2	256	11.8% 黄	やや白	257/1	5/12	12/12	有	G1	-	-
262	23032	陶器	碗	浅美	K 1.9	落ち込み	14.8	256	11.8% 黄	やや白	257/1	12/12	12/12	有	C1	赤墨サンブル	-
263	23001	陶器	碗	加多+星段	L 1.9	落ち込み	14.9	229	11.8% 黄	やや白	257/1	10/12	12/12	有	C1	-	-
264	23001	陶器	碗	加多	K 1.9	落ち込み	15.0	145	11.8% 黄	白	257/1	4/12	12/12	有	C2	-	-
265	22004	陶器	碗	加多+星段	L 1.9	落ち込み	13.2	194	11.8% 黄	やや白	257/1	4/12	12/12	有	C1	判別不能	西周+星段
266	23004	陶器	碗	加多+星段	L 1.9	落ち込み	14.8	271	11.8% 黄	やや白	257/1	12/12	12/12	有	G1	内面部+星段	-
267	23001	陶器	碗	加多+星段	K 1.9	落ち込み	14.4	172	11.8% 黄	やや白	257/1	5/12	12/12	有	E2	外面部+星段	西周+星段
268	23002	陶器	碗	加多	L 1.9	落ち込み	14.2	250	11.8% 黄	白	N12	12/12	12/12	有	G1	赤墨サンブル	1000BC3
269	23004	陶器	碗	加多+星段	L 1.9	落ち込み	13.8	251	11.8% 黄	やや白	257/1	12/12	12/12	有	E2	内面部+星段	-
270	23004	陶器	碗	加多	L 1.9	落ち込み	14.2	319	11.8% 黄	やや白	257/1	9/12	12/12	有	E2	-	-
271	23002	陶器	碗	加多	L 1.9	落ち込み	14.2	260	11.8% 黄	やや白	257/1	12/12	12/12	有	E2	-	-
272	23001	陶器	碗	加多	K 1.9	落ち込み	13.6	317	11.8% 黄	白	257/1	10/12	12/12	有	E1	墨片サンブル	-
273	23005	陶器	碗	加多+加厚	K 1.9	落ち込み	14.5	256	11.8% 黄	やや白	257/1	12/12	12/12	有	-	-	-
274	23003	陶器	碗	加厚	K 1.9	落ち込み	13.9	262	11.8% 黄	やや白	257/1	12/12	12/12	有	-	-	-
275	23002	陶器	碗	加多+星段	K 1.9	落ち込み	14.8	266	11.8% 黄	やや白	257/1	12/12	12/12	有	-	-	-
276	23002	陶器	碗	加厚+加厚	K 1.9	落ち込み	14.3	281	11.8% 黄	やや白	257/1	12/12	12/12	有	-	赤墨サンブル	-
277	23006	陶器	碗	加多	L 1.9	落ち込み	14.6	247	11.8% 黄	やや白	257/1	12/12	12/12	有	E1	-	-
278	23004	陶器	碗	浅美	K 1.9	落ち込み	11.2	264	11.8% 黄	やや白	257/1	12/12	12/12	有	-	山口県瀬戸内海	外面部+星段
279	23004	陶器	碗	浅美	L 1.9	落ち込み	14.3	268	11.8% 黄	やや白	257/1	12/12	12/12	有	-	内面部+星段	瀬戸内海
280	23004	陶器	碗	加多	K 1.9	落ち込み	14.5	268	11.8% 黄	やや白	257/1	6/12	12/12	有	-	内面部+星段	-
281	32002	陶器	碗	加多+星段	L 2.0	落ち込み	13.5	221	11.8% 黄	白	N12	12/12	12/12	有	-	内面部+星段	-
282	23005	陶器	碗	加多	K 1.9	落ち込み	14.5	266	11.8% 黄	やや白	257/1	2/12	12/12	有	C1	内面部+星段	-
283	23009	陶器	碗	加多+加厚	K 1.9	落ち込み	14.0	260	11.8% 黄	やや白	257/1	7/12	12/12	有	-	-	-
284	23004	陶器	碗	加厚	K 1.9	落ち込み	14.3	160	11.8% 黄	やや白	257/1	4/12	9/12	有	E2	墨片不規	-
285	06501	陶器	碗	浅美	K 1.9	落ち込み	14.6	266	11.8% 黄	やや白	257/1	12/12	12/12	有	-	-	-
286	23002	陶器	碗	加多+星段	K 1.9	落ち込み	14.5	222	11.8% 黄	やや白	257/1	7/12	12/12	有	G2	内面部+星段	-
287	23003	陶器	碗	浅美	K 1.9	落ち込み	14.2	268	11.8% 黄	やや白	107/1	12/12	12/12	有	G2	西周全体自然	-
288	06503	陶器	碗	浅美	K 1.9	落ち込み	14.6	342	11.8% 黄	やや白	370/1	11/12	12/12	有	E10	白自然	-
289	23001	陶器	碗	加多+星段	L 1.9	落ち込み	14.2	267	11.8% 黄	やや白	737/1	12/12	12/12	有	E13	291-1993と半乳加厚	-
290	23003	陶器	碗	浅美	K 1.9	落ち込み	13.7	237	11.8% 黄	白	257/1	9/12	12/12	有	E2	高台山腰深谷	-
291	23002	陶器	碗	加多+星段	L 2.0	落ち込み	13.7	268	11.8% 黄	やや白	257/1	12/12	12/12	有	E13	289-1003上半乳加厚	-
292	23001	陶器	碗	加多	K 1.9	落ち込み	13.2	82	11.8% 黄	やや白	257/1	2/12	4/12	有	[1]	墨片不規	-
293	23001	陶器	碗	加多+星段	K 1.9	落ち込み	14.2	263	11.8% 黄	やや白	257/1	12/12	12/12	有	E2	内面部+星段	瀬戸内海
294	23006	陶器	碗	浅美	L 1.9	落ち込み	12.5	58	白	白	257/1	1/12	6/12	有	[1]	山口県瀬戸内海	1100-半乳加厚
295	23004	陶器	碗	浅美	K 1.9	落ち込み	-	-	やや白	257/1	4/12	-	-	-	-	-	
296	23002	陶器	碗	浅美	K 1.9	落ち込み	12.6	183	11.8% 黄	白	257/1	9/12	12/12	有	G7	-	-
297	23002	陶器	碗	加多	K 1.9	落ち込み	13.6	32	11.8% 黄	やや白	107/1	5/12	6/12	有	[1]	-	-
298	32002	陶器	碗	加多	L 1.9	落ち込み	-	-	やや白	257/1	小判	-	-	-	外面部+星段	-	

第6表 出土土器觀察表（5）

登録番号	古文書登録番号	器種	形	質	表面	底地	手紙	遺傳・被付	寸法 (cm)	重量(g)	測定・技術的特徴	断面	色調	上縁既存形	既存縁既存形	使用期	筆者	参考事項
299	22004	陶器	筒	陶質	K-1.9	落ち込み	灰	7.4	100	418±78	やや黒	N/A			6/12	有	「」	
300	07208	陶器	筒	陶質	K-1.9~2.0	落ち込み	灰	6.6	137	418±78	やや黒	2.5V7/1		2.5V7/1	12/12	有	D9	
301	23107	陶器	筒	陶質	K-1.9	落ち込み	灰	6.0	96	418±78	やや黒	2.5V7/1		2.5V7/1	11/12	有	E11	
302	23103	陶器	筒	陶質	K-1.9	落ち込み	灰	6.2	118	418±78	黒	2.5V7/1		2.5V7/1	12/12	有	C1	
303	23003	陶器	円筒	陶質	K-1.9	落ち込み	灰	9.3	72	418±78	黒	3.0V7/1		3.0V7/1	3/12	有	「」	
304	23007	陶器	筒	陶質	K-1.9	落ち込み(原土上)	灰	6.3	87	418±78	やや黒	10V7/1		10V7/1	6/12	有	「」 西南部側面	
305	23004	陶器	筒	陶質	K-1.9	落ち込み(原土上)	灰	7.6	28	418±78	やや黒	2.5V7/1		2.5V7/1	2/12	有	「」 西方面 塗装付	
306	33704	陶器	筒	陶質	K-1.9	落ち込み	灰	7.6	126	418±78	やや黒	2.5V7/1		2.5V7/1	12/12	有	E11 湿度条件	
307	23003	陶器	筒	陶質	K-1.9	落ち込み	灰	6.1	38	418±78	やや黒	2.5V7/1		2.5V7/1	3/12	有	「」 西方面 塗装付	
308	23002	陶器	筒	陶質	K-1.9	落ち込み	灰	6.2	56	418±78	やや黒	2.5V7/1		2.5V7/1	7/12	有	「」 内面塗装付	
309	22006	陶器	筒	陶質	K-1.9	落ち込み	灰	6.2	15	418±78	やや黒	2.5V7/1		2.5V7/1	3/12	有	「」	
310	33501	陶器	筒	陶質	K-1.9	落ち込み	灰	2.6	—	—	—	10V7/1		10V7/1	3/12		外縁側面付	
311	33502	土器	筒	陶質	K-1.9	落ち込み	灰	2.6	—	—	—	10V7/1		10V7/1	3/12		外縁側面付	
312	23007	陶器	筒	陶質	L-1.9~2.0	落ち込み	灰	14.3	—	—	—	薄青10V7/1	薄青10V7/1	薄青10V7/1	3/12		内面にノットメント痕	
313	33705	陶器	円筒	陶質	L-1.9	落ち込み	灰	2.2	8	—	—	2.5V7/1		2.5V7/1	12/12		無	
314	23039	陶器	筒	陶質	L-2.0	落ち込み	灰	2.6	11	—	—	10V7/1		10V7/1	3/12		外縁側面付	
315	40003	瓦	瓦	陶質	K-3.2	P-9	—	—	—	—	青	5V7/1		5V7/1	3/12		外縁側面付	
316	10001	「動盪」	皿	陶質	K-3.2	P-9	—	—	—	—	青	5V7/1		5V7/1	3/12		外縁側面付	
317	30002	土器	皿	陶質	K-3.2	P-9	—	—	—	—	青	10V7/1	10V7/1	10V7/1	3/12		外縁側面付	
318	21204	陶文土器	深鉢	陶質	南半部陶質	7層(上部)	—	—	—	—	青	10V7/2	10V7/2	10V7/2	3/12		外縁側面付	
319	21203	陶文土器	深鉢	陶質	南半部陶質	7層(上部)	—	—	—	—	青	10V7/2	10V7/2	10V7/2	3/12		外縁側面付	
320	21202	陶文土器	深鉢	陶質	南半部陶質	7層(上部)	—	—	—	—	青	10V7/2	10V7/2	10V7/2	3/12		外縁側面付	
321	21102	追加器	杯	陶質	南半部陶質	A-7層	—	—	—	—	青	N/A	1/3	N/A	1/3		青白釉	
322	24103	追加器	杯	陶質	南半部陶質	7層(上部)	—	—	—	—	青	5V7/1	5V7/1	5V7/1	3/12		青白釉	
323	21101	追加器	杯身	陶質	南半部陶質	7層(中)	—	—	—	—	青	N/A	1/3	青白釉	1/3		内面に三つ点打痕	
324	21202	陶器	小鉢	陶質	南半部陶質	C-7層	—	—	—	—	青	2.5V7/1	2.5V7/1	2.5V7/1	3/12	有	内面に三つ点打痕	
325	33003	陶文土器	深鉢	陶質	南半部陶質	6層	—	—	—	—	青	10V7/2	10V7/2	10V7/2	3/12		外縁側面付	
326	33602	土器	皿	陶質	南半部陶質	6層	—	—	—	—	青	10V7/1	10V7/1	10V7/1	3/12		外縁側面付	
327	33503	土器	皿	陶質	南半部陶質	6層	—	—	—	—	青	2.5V7/1	2.5V7/1	2.5V7/1	3/12		外縁側面付	
328	33502	土器	皿	陶質	南半部陶質	6層	—	—	—	—	青	10V7/1	10V7/1	10V7/1	6/12		外縁側面付	
329	33401	追加器	杯身	陶質	南半部陶質	6層	—	—	—	—	青	5V7/1	5V7/1	5V7/1	10/12		青白釉	
330	33403	追加器	杯身	陶質	南半部陶質	6層	—	—	—	—	青	5V7/1	5V7/1	5V7/1	2/12		青白釉	
331	33404	追加器	柄	陶質	南半部陶質	6層	—	—	—	—	青	2.5V7/1	2.5V7/1	2.5V7/1	12/12		青白釉	
332	33402	土器	筒	陶質	南半部陶質	6層	—	—	—	—	青	2.5V7/1	2.5V7/1	2.5V7/1	5/12		内縁既存形に複数付	
333	33401	土器	筒	陶質	南半部陶質	6層	—	—	—	—	青	5V7/1	5V7/1	5V7/1	11/12		内縁既存形に複数付	
334	33403	土器	筒	陶質	南半部陶質	6層	—	—	—	—	青	2.5V7/1	2.5V7/1	2.5V7/1	32/12		内縁既存形	
335	33406	土器	筒	陶質	南半部陶質	6層	—	—	—	—	青	10V7/1	10V7/1	10V7/1	5/12		外縁側面付	
336	33402	土器	筒	陶質	南半部陶質	6層(中)	—	—	—	—	青	2.5V7/1	2.5V7/1	2.5V7/1	4/12		外縁側面付	
337	04042	舟生土器	廣	陶質	南半部陶質	6層(中)	—	—	—	—	青	7.5V7/1	7.5V7/1	7.5V7/1	1/12		外縁側面付	
338	04031	舟生土器	廣	陶質	南半部陶質	5層(上部)	—	—	—	—	青	7.5V7/1	7.5V7/1	7.5V7/1	1/12		外縁側面付	
339	04034	舟生土器	廣	陶質	南半部陶質	5層(下)	—	—	—	—	青	10V7/2	10V7/2	10V7/2	1/12		外縁側面付	
340	04031	舟生土器	廣	陶質	南半部陶質	5層(下)	—	—	—	—	青	10V7/2	10V7/2	10V7/2	1/12		外縁側面付	
341	04035	土器	皿	陶質	南半部陶質	5層(下)	—	—	—	—	青	5V7/1	5V7/1	5V7/1	1/12		外縁側面付	
342	04035	土器	皿	陶質	南半部陶質	5層(中)	—	—	—	—	青	10V7/2	10V7/2	10V7/2	1/12		外縁側面付	
343	04033	土器	皿	陶質	南半部陶質	5層(中)	—	—	—	—	青	7.5V7/1	7.5V7/1	7.5V7/1	1/12		外縁側面付	
344	04032	土器	皿	陶質	南半部陶質	5層(下)	—	—	—	—	青	7.5V7/1	7.5V7/1	7.5V7/1	1/12		外縁側面付	
345	04030	土器	皿	陶質	南半部陶質	5層(下)	—	—	—	—	青	10V7/2	10V7/2	10V7/2	1/12		外縁側面付	
346	04032	土器	皿	陶質	南半部陶質	5層(下)	—	—	—	—	青	10V7/2	10V7/2	10V7/2	1/12		外縁側面付	
347	04030	土器	皿	陶質	南半部陶質	5層(下)	—	—	—	—	青	10V7/2	10V7/2	10V7/2	1/12		外縁側面付	
348	04041	土器	皿	陶質	南半部陶質	5層(中)	—	—	—	—	青	10V7/2	10V7/2	10V7/2	1/12		外縁側面付	
349	04042	土器	皿	陶質	南半部陶質	5層(中)	—	—	—	—	青	10V7/2	10V7/2	10V7/2	1/12		外縁側面付	
350	05002	追加器	杯	陶質	南半部陶質	5層(下)	—	—	—	—	青	N/A	N/A	N/A	1/12		追加付	
351	05003	追加器	杯	陶質	南半部陶質	5層(下)	—	—	—	—	青	2.5V7/1	2.5V7/1	2.5V7/1	1/12		追加付	
352	05005	追加器	杯	陶質	南半部陶質	5層(中)	—	—	—	—	青	2.5V7/1	2.5V7/1	2.5V7/1	1/12		追加付	
353	05004	追加器	身	陶質	南半部陶質	5層(中)	—	—	—	—	青	2.5V7/1	2.5V7/1	2.5V7/1	1/12		追加付	
354	05007	追加器	身	陶質	南半部陶質	5層(中)	—	—	—	—	青	N/A	N/A	N/A	1/12		追加付	
355	04033	土器	杯	陶質	南半部陶質	5層(中)	—	—	—	—	青	5V7/1	5V7/1	5V7/1	1/12		外縁側面付	
356	04032	土器	杯	陶質	南半部陶質	5層(中)	—	—	—	—	青	7.5V7/1	7.5V7/1	7.5V7/1	1/12		外縁側面付	
357	04033	土器	杯	陶質	南半部陶質	5層(中)	—	—	—	—	青	10V7/2	10V7/2	10V7/2	1/12		外縁側面付	

第7表 出土土器觀察表（6）

件号	发掘番号	器種	形	埋地・系統	地 区	遺構・部位	計 頭 数 (cm) 重量(g)	調整・拉鉗の特徴	逝 手	巴 調	口縫直存度	武器施用度	使用度	審査	特 性		
															手	足	
358	24030	十脚器	高杯	南手縫南塗	中手縫(レシテ モード)(板砂)	19.3	-	ツバ×ツバ×ツバ	やや粗	SNSZ/4	3/4						
359	04050	十脚器	高杯	南手縫南塗	5層(下)	種 11.6	-	ツバ×ツバ×ツバ	やや粗	SNSZ/2	種1/2					外函環付器	
360	04054	土師器	高杯	南手縫南塗	5層(板砂)	13.4	-	ツバ×ツバ×ツバ	やや粗	SNTZ/4	板砂固定化						
361	04051	土師器	高杯	南手縫南塗	5層(下)	15.3	-	ツバ×ツバ×ツバ	やや粗	ZNSV/3	口縫留1/3					外函環付器	
362	04055	土師器	内付壺	南手縫南塗	5層(板砂)	15.6	-	ツバ×ツバ×ツバ	やや粗	10YHZ/2	口縫留1/3					外函環付器	
363	04052	土師器	内付壺	南手縫南塗	5層(下)	11.1	-	ツバ×ツバ×ツバ	やや粗	10YHZ/3	口縫留1/4						
364	04053	土師器	内付壺	南手縫南塗	5層(板砂)	底 8.3	-	ツバ×ツバ×ツバ	やや粗	10YHZ/2		1/2					
365	04055	十脚器	甕	南手縫南塗	2層(板砂)	16.2	-	ツバ×ツバ×ツバ	やや粗	MNSZ/3	10種1/3						
366	04055	十脚器	甕	南手縫南塗	5層(下)	28.8	ツバ	ツバ×ツバ×ツバ	やや粗	MNSZ/3	小片						
367	05003	泥瓦器	甕	南手縫南塗	5層(下)	24.5	-	ツバ×ツバ×ツバ	やや粗	ZNSV/3	10種留1/4						
368	05006	陶器	甕	南手縫南塗	5層(板砂)	-	-	ツバ×ツバ×ツバ	やや粗	高級10YHZ/4	板砂1/4	小片					
369	05204	土師器	壺	南手縫南塗	4層	-	-	ツバ×ツバ×ツバ	高	10YHZ/2	小片						
370	05205	土師器	壺	南手縫南塗	4層	底 6.8	-	ツバ×ツバ×ツバ	高	10YHZ/2		恐寒之作					
371	05104	土師器	甕	南手縫南塗	4層	11.8	-	ツバ×ツバ×ツバ	やや粗	10YHZ/6	口縫留1/5						
372	05201	土師器	内付壺	南手縫南塗	4層	14.9	-	ツバ×ツバ×ツバ	やや粗	10YHZ/2	口縫留1/5						
373	05105	土師器	小瓶	中北塾	南手縫南塗	4層	8.3	-	ツバ×ツバ×ツバ	やや粗	ZNSV/4	10種留6/12					
374	05103	土師器	瓶	中北塾	南手縫南塗	1層	12.9	-	ツバ×ツバ×ツバ	2.5WV/3	10種留12/12						
375	22103	陶器	小瓶	中北塾	南手縫南塗	4層	底 4.5	30	板	2.5WV/1		12/12	有	「」			
376	22102	陶器	小瓶	中北塾	南手縫南塗	4層	7.6	61	やや粗	2.5WV/1	12/12	12/12	有	G1	帶ねじき瓶各個體		
377	22104	陶器	小瓶	中北塾	南手縫南塗	4層	7.5	30	やや粗	2.5WV/1	12/12	12/12	有	G3			
378	05101	陶器	甕	中北塾	南手縫南塗	4層	15.5	24	1.8×1.8	やや粗	2.5WV/1	11/12	12/12	有		内部全体外一箇に僅 内函全體外一箇に僅 在名	
379	05102	陶器	甕	中北塾	南手縫南塗	4層	14.7	228	1.8×1.8	やや粗	2.5WV/1	8/12	12/12	無		内函全體外一箇に僅 在名	
380	22207	陶器	甕	中北塾	南手縫南塗	4層	14.5	131	1.8×1.8	板	2.5WV/1	4/12	8/12	有	G6	混合陶器後器群	
381	22208	陶器	甕	中北塾	南手縫南塗	4層	-	9	やや粗	2.5WV/1	口縫留小片			「」			
382	22001	陶器	甕	周美	南手縫南塗	4層	底 6.9	47	板	2.5WV/1		5/12	有	「」			
383	22005	陶器	甕	周美	南手縫南塗	4層	底 5.5	61	1.8×1.8	やや粗	2.5WV/1	12/12	有	C4			
384	22105	陶器	甕	周美	南手縫南塗	4層	底 6.4	30	1.8×1.8	やや粗	内函2.5WV/1	4/12	5/12	有	「よね」	内函内流れ付器	
385	22106	陶器	甕	周美	南手縫南塗	4層	底 6.5	36	1.8×1.8	やや粗	2.5WV/1		5/12	有			
386	22202	陶器	甕	周美	南手縫南塗	4層	底 6.7	47	1.8×1.8	やや粗	2.5WV/1		5/12	有	「」		
387	22103	陶器	甕	周美	南手縫南塗	4層	底 5.6	101	1.8×1.8	やや粗	2.5WV/1	12/12	有	G6	内函黒色付物有り		
388	22106	陶器	甕	周美	南手縫南塗	4層	底 6.3	26	やや粗	2.5WV/1		4/12	有	「」			
389	22204	陶器	甕	周美	南手縫南塗	4層	底 5.9	138	1.8×1.8	やや粗	2.5WV/1	12/12	有	判別不能	黒器手縫留 内外各部裏表材有り		
390	22204	陶器	甕	周美	南手縫南塗	4層	底 6.0	98	1.8×1.8	やや粗	2.5WV/1		12/12	有	DI		
391	22203	陶器	甕	周美	南手縫南塗	4層	底 6.0	39	1.8×1.8	やや粗	2.5WV/1		5/12	有	-		
392	05106	陶器	小瓶	周美	南手縫南塗	1層	-	-	板	高級10YHZ/4 板砂1/4	口縫留1/4					鉄面に「周美」印有り	
393	04060	野生上器	甕?	周美	南手縫南塗	C3層	-	板-板-板	丸	10YHZ/3	小片						
394	04060	野生上器	甕?	周美	南手縫南塗	3層	底 8.6	-	丸	10YHZ/3		1/4				塊成後乳孔	
395	04063	野生上器	甕	周美	南手縫南塗	C3層	底 6.4	30	板-板-板	内函2.5WV/1	口縫留1/5					赤色顔料わずかに残存	
396	04073	野生器	杯器	周美	南手縫南塗	C3層	つぶ2.0	-	同前	内函2.5WV/1	火	N5	つまみ 火対				
397	03703	野生器	杯器	周美	南手縫南塗	C3層	つぶ2.4	-	同前	内函2.5WV/1	火	2.5WV/1	小片				
398	03706	野生器	杯器	周美	南手縫南塗	C3層	-	同前	内函2.5WV/1	火	N5	小片					
399	04708	野生器	甕	周美	南手縫南塗	3層	36.5	-	同前	高級	内函2.5WV/1 板砂1/4	口縫留1/5					白黒器
400	04608	土師器	瓶	周美	南手縫南塗	C3層	11.7	-	同前	高級	内函2.5WV/1	口縫留1/2					
401	04602	土師器	瓶	周美	南手縫南塗	C3層	11.2	-	同前	高級	内函2.5WV/1	口縫留1/2					
402	04603	土師器	瓶	周美	南手縫南塗	C3層	14.5	-	同前	同前	内函2.5WV/1 板砂1/2	口縫留1/2					
403	05006	経縫陶器	甕	京原	南手縫南塗	C3層	底 3.9	79	板	高級	内函2.5WV/1 板砂1/2	口縫留1/2					器身保存
404	04005	十脚器	丸甕	京原	南手縫南塗	3層	-	丸	同前	同前	内函2.5WV/1	口縫留1/2					
405	04006	土師器	小瓶	京原	南手縫南塗	3層	11.6	-	同前	同前	内函2.5WV/1	口縫留1/2					外函環付器
406	04004	丸甕	京原	南手縫南塗	3層	35.7	-	丸	同前	内函2.5WV/1	口縫留1/2					外函環付器	
407	04001	丸甕	京原	南手縫南塗	3層	9.1	61	同前	同前	内函2.5WV/1	口縫留1/2					外函環付器	
408	05708	陶器	小瓶	京原	南手縫南塗	C3層	7.5	59	やや粗	2.5WV/1	12/12	12/12	有	A15	花紋の押捺件大		
409	22104	陶器	小瓶	京原	南手縫南塗	C3層	6.3	63	やや粗	2.5WV/1	10/12	12/12	有				
410	05701	陶器	小瓶	京原	南手縫南塗	C3層	7.9	59	やや粗	2.5WV/1	12/12	12/12	有				
411	22106	陶器	小瓶	京原	南手縫南塗	3層	6.3	63	やや粗	2.5WV/1	10/12	12/12	有				
412	05702	陶器	小瓶	京原	南手縫南塗	3層	7.9	59	やや粗	2.5WV/1	12/12	12/12	有				
413	05704	陶器	小瓶	京原	南手縫南塗	3層	8.0	33	高	2.5WV/1	4/12	4/12	有				
414	22106	陶器	小瓶	京原	南手縫南塗	3層	6.7	22	やや粗	2.5WV/1	6/12	6/12	有	「」	内函全體白黒輪		
415	22103	陶器	小瓶	京原	南手縫南塗	C3層	2.2	61	やや粗	2.5WV/1	12/12	12/12	有	GG			
416	22106	陶器	小瓶	京原	南手縫南塗	C3層	8.8	31	やや粗	2.5WV/1	4/12	5/12	有	E8			
417	04005	陶器	小瓶	京原	南手縫南塗	3層	16.3	-	高	高級	内函2.5WV/1	口縫留1/2					二次焼成？
418	05008	陶器	小瓶	京原	南手縫南塗	C3層	16.6	340	高	2.5WV/1	10/12	12/12	有				

第8表 出土土器觀察表 (7)

器種	形質	基盤	产地	地 区	道調・研究	基 地	測量	測量・社法の特徴	筆者	色 調	上端部存度	下端部存度	使用年	備 記	修 収 事 項		
															筆者	年	
419	05002	陶器	筒	丸山	西平野南端	C 3層	16.1	259 g	148°~160°	やや青	2.5%V1	11/12	12/12	無	自然釉		
420	05003	陶器	筒	谷筋	西平野南端	C 3層	15.3	192 g	148°~160°	青	50%V1	4/12	6/12	有	内山復行者		
421	05004	陶器	筒	谷筋	西平野南端	C 3層	15.4	191 g	148°~160°	青	50%V1	2/12	12/12	有	全体に薄く保有		
422	05005	陶器	筒	町多	西平野南端	C 3層	15.7	236 g	148°~160°	やや青	2.5%V1	12/12	12/12	無	重量サンプル		
423	21001	陶器	筒	加多一塙段	西平野南端	C 3層	15.5	272 g	148°~160°	やや青	2.5%V1	12/12	12/12	有	D6 重量サンプル		
424	21002	陶器	筒	加多一塙段	西平野南端	C 3層	15.8	270 g	148°~160°	やや青	50%V1	12/12	12/12	有	D6 重量サンプル (内山復行者)		
425	21003	陶器	筒	加多	西平野南端	C 3層	15.7	234	—	やや青	10%V1	10/12	12/12	有	E10		
426	21005	陶器	筒	加多	西平野南端	C 3層	15.6	25 g	148°~160°	青	50%V1	3/12	有	—	—		
427	21006	陶器	筒	加多	西平野南端	C 3層	15.5	24	61	やや青	2.5%V1	8/12	—	—	D 8		
428	21007	陶器	筒	河原	西平野南端	C 3層	15.6	160	—	やや青	2.5%V1	12/12	有	—	—		
429	21008	陶器	筒	河原	西平野南端	C 3層	15.6	173 g	148°~160°	やや青	2.5%V1	12/12	有	有	有		
430	21009	陶器	筒	河原	西平野南端	C 3層	15.7	52 g	148°~160°	青	50%V1	5/12	有	—	—		
431	21010	陶器	筒	河原	西平野南端	C 3層	15.8	78 g	148°~160°	やや青	2.5%V1	12/12	無	判決不正	内山復行者		
432	21011	陶器	筒	河原	西平野南端	C 3層	15.6	100 g	148°~160°	やや青	2.5%V1	7/12	有	—	外山復行者		
433	21012	陶器	筒	河原	西平野南端	C 3層	15.7	74	—	やや青	2.5%V1	6/12	有	—	—		
434	21013	陶器	筒	河原	西平野南端	C 3層	15.6	45 g	148°~160°	やや青	2.5%V1	4/12	有	—	—		
435	21015	陶器	筒	河原	西平野南端	C 3層	15.5	63 g	148°~160°	青	2.5%V1	2/12	有	—	—		
436	21016	陶器	筒	河原	西平野南端	C 3層	15.7	55	—	2.5%V1	6/12	有	—	「云ね」の可逆性あり			
437	21018	陶器	筒	河原	西平野南端	C 3層	15.6	24 g	148°~160°	やや青	2.5%V1	2/12	有	—	—		
438	21022	陶器	筒	河原	西平野南端	C 3層	15.8	127 g	148°~160°	やや青	2.5%V1	12/12	有	—	—		
439	21035	陶器	筒	河原	西平野南端	C 3層	15.6	96 g	148°~160°	やや青	10%V1	12/12	無	有	—		
440	21038	陶器	筒	河原	西平野南端	C 3層	15.6	110 g	148°~160°	やや青	2.5%V1	12/12	有	G6	—		
441	21039	陶器	筒	河原	西平野南端	C 3層	15.7	55	—	やや青	2.5%V1	6/12	有	—	—		
442	21042	陶器	筒	河原	西平野南端	C 3層	15.6	66 g	148°~160°	やや青	2.5%V1	12/12	無	—	—		
443	21044	陶器	筒	河原	西平野南端	C 3層	15.7	214 g	148°~160°	水	2.5%V1	12/12	有	「云ね」の範	—		
444	04702	陶器	弦紋	加多	西平野南端	A 3層	15.2	—	148°~160°	やや青	2.5%V1	—	—	内山復行了及Gの特徴	—		
445	04802	土器	筒	少少	西平野南端	B 3層	27.6	—	—	青	10%V4	1/12	6/12	有	内山復行了及Gの特徴	—	
446	04803	土器	筒	少少	西平野南端	B 3層	27.0	—	—	やや青	10%V5	1/12	—	—	内山復行了及Gの特徴	—	
447	04701	陶器	筒	少少	西平野南端	C 3層	15.0	—	—	青	50%V5	1/12	6/12	有	内山復行了及Gの特徴	—	
448	05405	陶器	小瓶	少少	西平野南端	C 1層	16.7	—	—	青	50%V5	1/12	6/12	有	—	—	
449	20001	陶器	筒	加多	西平野南端	C 3層	15.7	152 g	148°~160°	青	2.5%V1	1/12	6/12	有	—	—	
450	05002	陶器	筒	近松	西平野南端	C 1層	15.6	96 g	148°~160°	青	2.5%V1	2/12	6/12	K7	—		
451	20001	陶器	筒	近松	西平野南端	C 1層	14.7	118 g	148°~160°	やや青	2.5%V1	3/12	6/12	有	—		
452	05001	陶器	筒	近松	西平野南端	C 1層	14.3	144 g	148°~160°	青	2.5%V1	2/12	12/12	有	「云ね」	—	
453	05305	陶器	筒	近松	西平野南端	C 1層	15.2	155 g	148°~160°	青	2.5%V1	12/12	有	重ね地文	—		
454	20003	陶器	筒	近松	西平野南端	C 1層	15.6	53 g	148°~160°	やや青	2.5%V1	12/12	有	K15	—		
455	21002	陶器	筒	近松	西平野南端	C 1層	15.0	116 g	148°~160°	青	10%V1	12/12	有	G3	—		
456	20002	陶器	筒	近松	西平野南端	C 1層	15.5	131	—	青	2.5%V1	12/12	有	H1	高古美術		
457	05309	陶器	筒	近松	西平野南端	C 1層	15.4	155 g	148°~160°	やや青	2.5%V1	32/12	有	K7	—		
458	21001	陶器	筒	近松	西平野南端	C 1層	15.2	81 g	148°~160°	やや青	2.5%V1	12/12	有	「云ね」	—		
459	21003	陶器	筒	近松	西平野南端	C 1層	15.5	78 g	148°~160°	やや青	2.5%V1	9/12	有	F2	—		
460	21005	陶器	筒	近松	西平野南端	C 1層	15.6	33 g	148°~160°	やや青	2.5%V1	4/12	有	—	—		
461	21006	陶器	筒	近松	西平野南端	C 1層	15.8	38 g	148°~160°	青	NF	6/12	有	—	—		
462	05501	土器	釜	少少	西平野南端	A 1層	—	—	—	やや青	10%V2	1/12	6/12	有	—	—	
463	05002	土器	釜	少少	西平野南端	A 1層	20.6	—	—	青	10%V2	1/12	6/12	有	外山復行者	—	
464	05303	土器	釜	少少	西平野南端	A 1層	—	—	—	青	10%V3	1/12	6/12	有	外山復行者	—	
465	05102	陶器	釜	少少	西平野南端	A 1層	12.8	—	—	青	2.5%V2	1/12	6/12	有	—	—	
466	05101	陶器	釜	少少	西平野南端	A 1層	13.0	—	—	青	2.5%V2	1/12	6/12	有	—	—	
467	05403	陶器	釜	少少	西平野南端	A 1層	9.2	—	—	青	2.5%V2	1/12	6/12	有	—	—	
468	05306	陶器	釜	少少	西平野南端	A 1層	—	—	—	青	2.5%V2	1/12	6/12	有	—	—	
469	21005	陶器	レンチ	少少	西平野南端	B 1層	—	—	—	青	10%V3	1/12	6/12	有	内山復行者	—	
470	21002	陶器	レンチ	少少	西平野南端	B 1層	—	—	—	青	10%V3	1/12	6/12	有	内山復行者	—	
471	21003	陶器	レンチ	少少	西平野南端	B 1層	—	—	—	青	10%V3	1/12	6/12	有	内山復行者	—	
472	11201	甕	少少	西平野南端	トレンチ	—	—	—	—	青	10%V2	1/12	6/12	有	内山復行者	—	
473	11202	甕	少少	西平野南端	トレンチ	15	—	—	—	青	2.5%V4	—	—	—	—		
474	24006	甕	少少	西平野南端	トレンチ	15	—	—	—	青	2.5%V4	—	—	—	—		
475	24007	甕	少少	西平野南端	トレンチ	16.7	—	—	—	青	NF	8/12	—	—	—		
476	24002	甕	少少	西平野南端	トレンチ	16.5	—	—	—	青	2.5%V4	—	—	—	—		
477	24001	甕	少少	西平野南端	トレンチ	12.2	—	—	—	青	2.5%V4	—	—	—	—		

第9表 出土土器觀察表（8）

器物名	番号	器種等	被地、系縫	通典・属類	目 順 級 (cm)	測量・技術的特徴 重量(g)	単十	色 調	口縁存否	内部存否	使用状況	性 質 事項			
478	33013	陶器	高足馬蹄	南下部南端	中央トレンチ	脚 8.4	-	黒	376/1	2/12	シノ造形				
479	33074	瓦器	腰帶	南手部南端	中央トレンチ	脚 9.2	-	黒(赤)→白(黒)→黒	735/1	7/12	内面に自然施 工方法				
480	24505	土器	高杯	南手部南端	トレンチ	13.1	-	黒→白→黒	1090/3	1/6	内側焼付				
481	24701	土器	高杯	南手部南端	南北トレンチ	15.8	-	黒→白→黒	576/1	5/12	内側焼成大調整不 明				
482	24702	土器	高杯	南手部南端	出土トレンチ	15.9	-	黒→白→黒	1076/3	5/12	底部充てん				
483	24660	土器	高杯	南手部南端	南北トレンチ	26.3	-	黒→白→黒	250/2	1/7	把手を塊に成る有無				
484	11203	土器	小皿	南北	手手部南端	トレンチ	6.4	-	やや赤	237/2	8/12				
485	23007	土器	皿	南手部南端	南壁	13.2	-	黒	1078/3	定存					
486	23003	陶器	皿	南手部南端	南壁	7.9	61	やや赤	1076/1	12/12	有	内面全体自然施			
487	23005	陶器	皿	南手部南端	南壁	8.5	-	やや赤	727/1	6/12	有	内面全体自然施			
488	22392	陶器	小皿	知多一連段	手手部南端	南壁	8.0	29	やや赤	230/1	12/12	82/12	右 G3		
489	23004	陶器	小皿	知多	南手部南端	南壁	7.8	50	やや赤	237/1	11/12	12/12	右		
490	22394	陶器	小皿	知多	南手部南端	南壁	7.7	68	やや赤	237/1	12/12	12/12	左 G5		
491	122791	陶器	小皿	知多	南手部南端	トレンチ	7.0	26	やや赤	726/1	4/12	7/12	右? 「」		
492	22393	陶器	小皿	知多	南手部南端	南壁	8.3	95	やや赤	237/1	12/12	12/12	無		
493	22395	陶器	小皿	知多	南手部南端	南壁	7.6	61	砂粒附	やや赤	582/1	12/12	12/12	右 14?	
494	22391	陶器	小皿	知多	南手部南端	南壁	7.7	61	やや赤	237/1	12/12	12/12	右 K10		
495	24405	青磁	碗	中国	南手部南端	南壁	直径 6.0	-	青	漆器焼成の 施	237/1	12/12			
496	24404	青磁	碗	中国	手手部南端	南壁	直径 5.6	-	青	漆器焼成の 施	186/25/2	1/12	一次焼成?		
497	24402	陶器	碗	追加一連段	手手部南端	南壁	17.7	311	11.8	黒	やや赤	237/1	12/12	無	
498	23002	陶器	碗	知多	南手部南端	南壁	15.1	418	9.9	黒	1078/1	11/12	12/12	右 44	
499	21101	陶器	碗	知多	南手部南端	南壁 No.8	15.3	324	粗	727/1	12/12	12/12	右		
500	22392	陶器	碗	知多	南手部南端	南壁	15.2	184	11.8	黒	237/1	6/12	12/12	右 D6	
501	22401	陶器	碗	知多	南手部南端	南壁	14.7	241	やや赤	237/1	12/12	12/12	右 K1		
502	22403	陶器	碗	知多	南手部南端	南壁	13.9	101	11.8	黒	237/1	2/12	7/12	無 11?	
503	22401	陶器	碗	知多	南手部南端	南壁	13.7	256	11.8	黒	237/1	12/12	12/12	右 ?	
504	22403	陶器	碗	知多	南手部南端	トレンチ	8.8	147	砂粒附	黒	726/1	9/12	右 G7	内面全体自然施	
505	22403	陶器	碗	知多	南手部南端	トレンチ	8.6	93	11.8	黒	237/1	10/12	右 G7		
506	22401	陶器	碗	知多	南手部南端	トレンチ	8.8	78	粗	やや赤	NP/7	3/12	右 11?		
507	22401	陶器	碗	知多	南手部南端	トレンチ	8.6	90	粗	NP/7	3/12	右 G7			
508	22404	陶器	碗	知多	南手部南端	南壁	直径 6.3	190	やや赤	237/1	12/12	右 G3	内面全体自然施		
509	35703	陶器	碗	知多	南手部南端	トレンチ	直径 5.6	31	11.8	黒	やや赤	237/1	4/12	右 G7	
510	22703	陶器	碗	知多	南手部南端	トレンチ	直径 5.8	195	11.8	黒	やや赤	237/1	12/12	右 K1	
511	22702	陶器	碗	知多	南手部南端	トレンチ	直径 6.8	220	やや赤	NP/7	12/12	右 G7			
512	24403	陶器	碗	知多	南手部南端	トレンチ	直径 7.3	68	やや赤	NP/7	12/12	右 K1	内面焼付		
513	22396	陶器	碗	知多	南手部南端	トレンチ	直径 7.3	50	11.8	黒	238/1	6/12	右 11?		
514	22392	陶器	碗	知多	南手部南端	トレンチ	直径 6.3	137	11.8	黒	やや赤	237/1	12/12	右 G7	
515	22397	陶器	碗	知多	南手部南端	南壁	直径 6.4	75	11.8	黒	237/1	6/12	右 11? 「はー」 漆器焼付		
516	22405	陶器	碗	知多	南手部南端	南壁	直径 6.3	152	11.8	黒	やや赤	237/1	9/12	右 E3	
517	10992	漆器	一	南手部南端	トレンチ(附脚)	底 11.1	-	黒	237/1	12/12					
518	24501	食生活	皿?	南手部南端	20列トレンチ	-	-	黒→白	粗	1078/2	1/12	12/12	内面部分自然施		
519	25504	漆器	高杯	130 例	裏面トレンチ	幅 1.9	-	黒→白→黒→白→黒	やや赤	726/2	12/12	内面部分自然施			
520	10902	土器	土器	N 3.0	30列トレンチ No.2	20.8	0.9	黒→白→黒→白→黒	やや赤	1078/2	1/12	12/12	内面部分自然施		
521	11201	土器	土器	路	南手部南端	30列トレンチ	12.2	-	黒→白	1078/1	全体 1/12				
522	14302	土器	高杯	手手部南端	30列トレンチ	12.1	-	黒→白→黒→白→黒	やや赤	1078/1	1/12				
523	10401	土器	高杯	手手部	30列トレンチ No.4	14.6	-	黒→白→黒→白→黒	やや赤	237/2	1/12	内面に施	内面に施		
524	15501	土器	腹	K 3.0	30列トレンチ No.3	20.8	-	黒→白→黒→白→黒	やや赤	1078/2	4/12	外面に施	外面に施		
525	33202	手手器	手舟	南手部南端	99列トレンチ	12.2	-	黒→白→黒→白→黒	やや赤	237/1	2/12				
526	33201	手手器	手舟	南手部	30列トレンチ	12.1	-	黒→白→黒→白→黒	やや赤	575/1	11/12				
527	10304	手手器	手舟	N 3.0	30列トレンチ No.7	12.2	-	黒→白→黒→白→黒	黒	1078/1	半体 1/12	内面に凹凸凹凸			
528	10201	土器	燒鮎?	N 3.0	30列トレンチ No.2	40.0	-	黒→白	237/1	1/12					
529	10504	陶器	碗	知多?	30列東西トレンチ	15.4	229	11.8	黒	237/1	9/12	12/12	右 K10		
530	32205	酒器	瓶	N 2.7	東西トレンチ	14.5	-	黒→白→黒→白→黒	黒	NP/7	2/12	3/12			
531	32204	燒鮎器	腹	K 2.7	東西トレンチ	8.1	110	やや赤	237/1	8/12					
532	32002	土器	瓶	华北	22列東西トレンチ	14.1	-	黒	727/4	2/12					
533	32012	陶器	小皿	深美	K 2.7	東西トレンチ	8.7	75	やや赤	NP/7	8/12	12/12	内面全体自然施		
534	32011	陶器	小皿	深美	K 2.7	東西トレンチ	8.0	73	やや赤	237/1	11/12	12/12	右		
535	32002	陶器	小皿	深美	K 2.7	東西トレンチ	7.9	33	黒	575/1	8/12	12/12	右		
536	32001	陶器	小皿	深美	K 2.7	東西東西トレンチ	8.1	80	黒	237/1	12/12	12/12	右 壁サンプル		

第10表 出土土器観察表（9）

通 番 号	基 地 名	被 害 器 物	被 害 部 位	地 点	造 型・種 類	尺 寸 (cm) 立 量(g)	調 査 状 況	土 上	色 調	L a b 三 原 色 度 数 値	近 接 照 像	使 用 状 況	著 者	特 記 事 項			
									質	量	色	度	度				
537	32001	陶器	小皿	深美	K 2.7	東西トレンチ	8.0	58	黒	N77	10/12	32/12	有	-	-	-	
538	32007	陶器	小皿	深美	27列東西トレンチ	8.5	69	黒	N77/1	11/12	32/12	有	-	-	-		
539	21603	陶器	小皿	深美	K 2.7	東西トレンチ	7.6	39	黒	2397/1	2/12	32/12	有?	KH	-	-	
540	32002	陶器	小皿	知多	27列東西トレンチ	7.9	64	やや粗	2397/1	10/12	32/12	有	-	-	-		
541	32701	陶器	小皿	知多	L 2.7	東西トレンチ	7.9	52	やや粗	N77	10/12	32/12	有	-	-	-	
542	32009	陶器	小皿	深美	27列東西トレンチ	8.5	78	やや粗	2397/1	12/12	32/12	有	-	-	-		
543	32008	陶器	小皿	知多	27列東西トレンチ	8.1	80	やや粗	N77	11/12	32/12	有	-	-	-		
544	11101	陶器	小皿	知多	K 2.7	東西トレンチ	7.5	51	やや粗	N77	11/12	32/12	有	G7	-	-	
545	31811	土器質	小皿	深美	M 2.7	東西トレンチ	8.1	-	0.0177→高さ	やや粗	1098/2	6/12	7/12	-	-	-	-
546	32006	陶器	小皿	知多	K 2.7	東西トレンチ	8.3	62	やや粗	N77	11/12	32/12	有	-	-	-	
547	32703	陶器	小皿	知多	N 2.7	東西トレンチ	8.0	23	やや粗	N77	11/12	32/12	有	-	-	-	
548	19809	陶器	小皿	知多	27列東西トレンチ	5.4	48	やや粗	N77	4/12	32/12	有	KN	-	-		
549	21606	陶器	小皿	知多	K 2.7	東西トレンチ	8.2	66	やや粗	2397/1	9/12	32/12	有	G7	-	-	
550	32040	陶器	小皿	知多	K 2.7	東西トレンチ	8.1	58	やや粗	N77	12/12	32/12	有	-	-	-	
551	32005	陶器	小皿	知多	27列東西トレンチ	7.9	60	やや粗	2397/1	12/12	32/12	有	-	-	-		
552	32003	陶器	小皿	知多	L 2.7	東西トレンチ	7.7	55	やや粗	N77	11/12	32/12	有	-	-	-	
553	10704	陶器	小皿	知多	M 2.7	東西トレンチ	7.6	28	粗	N77	4/12	7/12	有	E10	-	-	
554	21702	陶器	小皿	知多	L 2.7	東西トレンチ	8.2	70	やや粗	2397/1	12/12	32/12	有	G3	直巻サンブル	-	
555	17003	陶器	小皿	知多	N 2.7	27列1レジン 加山木口	7.7	53	やや粗	2397/1	10/12	32/12	有	G3	-	-	
556	21703	陶器	小皿	知多	M 2.7	東西トレンチ	7.9	36	やや粗	2397/1	7/12	6/12	無	「」	-	-	
557	18002	陶器	小皿	深美	K 2.7	東西トレンチ	8.5	26	やや粗	2397/1	-	32/12	有	G3	小皿	-	
558	12202	陶器	碗	深美	K 2.7	東西トレンチ	14.5	280	11/19/88	黒	N77	7/12	32/12	有	立井利一復原者	-	-
559	32901	陶器	碗	深美	L 2.7	東西トレンチ	15.8	282	やや粗	1098/1	12/12	32/12	有	-	-	-	
560	12201	陶器	碗	深美	-	27列東西トレンチ	15.5	282	妙板模	黒	N77	9/12	32/12	有	-	-	-
561	32802	陶器	碗	深美	K 2.7	東西トレンチ	15.8	263	黒	1098/1	11/12	32/12	有	-	-	-	
562	32903	陶器	碗	深美	K 2.7	東西トレンチ	15.0	349	やや粗	N77	11/12	32/12	有	-	内藤一部復原者	-	
563	12203	陶器	碗	深美	K 2.7	東西トレンチ	15.2	229	やや粗	N77	5/12	32/12	有	-	-	-	
564	18001	陶器	碗	知多	K 2.7	東西トレンチ	15.2	90	11/19/88	粗	237/1	3/12	5/12	有	E6	-	-
565	11001	陶器	碗	知多	L 2.7	東西トレンチ	14.8	-	11/19/88	粗	237/1	12/12	32/12	有	内外面復原者	-	-
566	11002	陶器	碗	深美	建設	27列東西トレンチ	14.8	305	11/19/88	やや粗	益田NS/2 益田NS/2	12/12	32/12	黒	益田復原者	-	-
567	32804	陶器	碗	建設	-	27列東西トレンチ	15.9	299	やや粗	1097/1	12/12	32/12	7	-	-	-	
568	12454	陶器	碗	知多	27列東西トレンチ	13.0	340	11/19/88	やや粗	2397/1	10/12	10/12	7	-	-	-	
569	21691	陶器	碗	知多	K 2.7	東西トレンチ	13.2	62	やや粗	237/1	2/12	6/12	有?	「」	-	-	
570	18102	陶器	碗	知多	K 2.7	東西トレンチ	15.0	227	11/19/88	粗	237/1	7/12	32/12	無	E7	-	-
571	18104	陶器	碗	知多	K 2.7	東西トレンチ	14.6	58	11/19/88	やや粗	237/1	1/12	5/12	有	益田(?) 益田(?)	-	-
572	21602	陶器	碗	知多	K 2.7	東西トレンチ	14.9	276	11/19/88	粗	237/1	5/12	32/12	4	利根川不確 横須賀不確	-	-
573	16902	陶器	碗	知多	27列東西トレンチ	15.1	337	11/19/88	やや粗	237/1	1/12	8/12	有	「」	-	-	
574	21703	陶器	碗	知多	L 2.7	東西トレンチ	15.0	174	11/19/88	やや粗	237/1	1/12	32/12	春	「よ」	-	-
575	17001	陶器	碗	知多	建設	27列東西トレンチ	15.2	185	11/19/88	やや粗	1098/1	5/12	32/12	4	利根川不確 横須賀不確	-	-
576	19003	陶器	碗	建設	-	27列東西トレンチ	15.6	66	11/19/88	やや粗	237/1	3/12	6/12	複	「」 内藤白輪	-	-
577	21601	陶器	碗	知多	K 2.7	東西トレンチ	15.0	218	11/19/88	粗	N77	7/12	32/12	有	G7	-	-
578	12204	陶器	碗	知多	建设	27列東西トレンチ	14.5	210	11/19/88	やや粗	2397/1	9/12	32/12	有	G7	他未成員	-
579	18003	陶器	碗	知多	K 2.7	東西トレンチ	14.0	314	11/19/88	やや粗	1098/1	2/12	32/12	有	R33	-	-
580	18003	陶器	碗	知多	建設	27列東西トレンチ	14.0	228	11/19/88	やや粗	2397/1	2/12	32/12	有?	E3	-	-
581	18101	陶器	碗	知多	N 2.7	東西トレンチ	13.3	252	11/19/88	やや粗	237/1	12/12	32/12	B13	内藤に認定化物付 アラカルト	-	-
582	21605	陶器	碗	知多	K 2.7	東西トレンチ	14.0	154	11/19/88	粗	N77	-	32/12	有?	D3 内藤李復原者	-	-
583	15003	陶器	碗	知多	27列東西トレンチ	15.8	47	やや粗	237/1	-	4/12	6/12	有	「」	-	-	
584	17002	陶器	碗	知多	-	27列東西トレンチ	15.0	198	やや粗	2397/1	-	6/12	8/12	「」	-	-	-
585	18003	陶器	碗	知多	K 2.7	東西トレンチ	15.6	83	11/19/88	やや粗	237/1	-	32/12	有	E2	-	-
586	18006	陶器	碗	知多	K 2.7	東西トレンチ	15.0	300	やや粗	237/1	-	2/12	6/12	有?	K7	-	-
587	10801	陶器	碗	知多	27列東西トレンチ	15.0	91	やや粗	237/1	-	7/12	41	E10	-	-	-	
588	16001	陶器	碗	知多	建設	27列東西トレンチ	15.2	96	11/19/88	やや粗	237/1	6/12	41	G3	花押の可能性有り	-	-
589	18007	陶器	碗	知多	M 2.7	東西トレンチ	14.7	97	11/19/88	やや粗	237/1	12/12	41	G3	判読不能	横須賀不明瞭	-
590	18005	陶器	碗	知多	建設	27列東西トレンチ	15.8	63	11/19/88	やや粗	2397/1	6/12	41	B1	足込部に墨痕	-	-
591	18004	陶器	碗	知多	K 2.7	東西トレンチ	15.3	98	11/19/88	やや粗	1098/1	12/12	32/12	無	G3	-	-
592	18002	陶器	碗	深美	K 2.7	東西トレンチ	15.4	92	やや粗	N77	-	7/12	4	TE試不確	-	-	
593	18002	陶器	碗	知多	N 2.7	東西トレンチ	15.8	93	11/19/88	やや粗	237/1	3/12	7	判読不能	横須賀不明瞭	-	-
594	18002	陶器	碗	知多	N 2.7	東西トレンチ	15.4	66	11/19/88	やや粗	N77	-	6/12	有	「」	-	-
595	18201	陶器	碗	知多	K 2.7	東西トレンチ	15.3	70	11/19/88	やや粗	237/1	12/12	41	「よね」	-	-	

第11表 出土土器観察表 (10)

登録 番号	器種 区分	基準・年級	地 区	遺構・削除	計 量 値		調査・検出の特徴	出土	色 漆	1.堆積存留	洗浄後保有	実用例	著者	特 い 事 項
					(cm)	重 量(g)								
506	182031	陶器	縄 陶	K 2.7	乳白色	47	やや白	7.5mm/1		5/12	有	D17	内面刷毛付	
507	322031	陶器	片 端	常滑	27乳白色・レンガ	30.1	—	やや白	2.5mm/2	5/12	有	E18	内面刷毛・本による押	2.5mm
508	322706	陶器	片 端	脚美	K 2.7	東濃トレンガ	19.8	80g	やや白	N/A	6/12	有		内面全体自然施
509	330501	陶器	脚	南伊勢	K 2.7	古瓦トレンガ	27.5	—	やや白	2.5mm/6	4/12			
600	298027	瓦瓦上器	瓦	K 2.7	東濃トレンガ	—	—	フタ・ハサフタ	やや白	N/A	無記	—		
602	073046	瓦瓦上器	瓦	L 3.1	合合壁2層	30.0	22.0	—	フタ・ハサフタ・西	10mm/3	剥離1%			
603	310001	土器	壺	K 3.1	合合壁(2層)	17.6	—	—	やや白	10mm/2	3/12			
604	073070	土器	壺	K 3.1	合合壁2層	—	—	フタ・ハサフタ	やや白	2.5mm/1	1.5mm厚1/6			
605	073096	土器	壺	K 3.1	合合壁2層	11.6	—	フタ・ハサフタ・ヨリヤ	やや白	10mm/1	1.5mm厚1/12			
606	074044	土器	壺	M 3.1	合合壁2層	34.3	—	フタ・ハサフタ・ヨリヤ	中や白	2.5mm/6	桶形定位			
607	074042	土器	壺	M 3.0	合合壁2層	11.6	—	フタ・ハサフタ	青	2.5mm/1	桶形定位			
608	073610	土器	壺	M 3.0	合合壁2層	22.0	—	フタ・ハサフタ	青	2.5mm/2	桶形定位			
609	074043	土器	壺	M 3.0	合合壁2層	19.8	—	フタ・ハサフタ	中や白	2.5mm/6	桶形定位			
610	075042	土器	壺	M 3.1	合合壁2層	12.6	—	フタ・ハサフタ・ヨリヤ	やや白	5mm/1	全体1/6			
611	338002	土器	壺	L 3.1	合合壁(2層)	12.0	—	フタ・ハサフタ・ヨリヤ	やや白	2.5mm/1	全体1/6			
612	254041	土器	壺	L 3.1	合合壁2層(6)	13.8	—	フタ・ハサフタ・ヨリヤ	やや白	2.5mm/1	1/3			
613	27803	陶器	壺	M 3.1	合合壁(2層)	13.7	—	フタ・ハサフタ	やや白	3mm/1	1/3			
614	338001	陶器	身	L 3.1	合合壁(2層)	11.6	—	フタ・ハサフタ	やや白	2.5mm/1	全体1/3			
615	278001	陶器	身	L 3.0	有底盤	13.0	—	フタ・ハサフタ	やや白	N/A	3/8		内面刷毛付	内面刷毛付
616	278002	陶器	身	L 3.1	有底盤	12.0	—	フタ・ハサフタ	やや白	N/A	3/8		内面刷毛付	内面刷毛付
617	310407	土器	台付壺	L 2.9	合合壁(2層)	14.0	—	フタ・ハサフタ	中や白	10mm/2	6/12		特殊付着	
618	330401	土器	台付壺	L 3.1	合合壁(2層)	15.2	—	フタ・ハサフタ・ヨリヤ	やや白	10mm/2	4/12		特殊付着	
619	305030	土器	台付壺	L 3.1	合合壁2層	15.0	—	フタ・ハサフタ・ヨリヤ	中や白	10mm/2	3/12		特殊付着	
620	252012	土器	台付壺	L 3.1	合合壁2層	13.2	—	フタ・ハサフタ・ヨリヤ	中や白	10mm/2	3/12		特殊付着	
621	303011	土器	台付壺	L 2.9	合合壁2層	16.7	—	フタ・ハサフタ・ヨリヤ	中や白	10mm/2	7/12	72/12	特殊付着	内面刷毛付付着
622	073032	土器	身	L 3.1	合合壁2層	—	—	フタ・ハサフタ	やや白	7.5mm/4	1.5mm厚1/3			
623	073033	土器	身	L 3.1	合合壁2層	—	—	フタ・ハサフタ	やや白	10mm/2	1.5mm厚1/10			
624	073032	土器	身	L 3.1	合合壁2層	26.4	—	—	青	2.5mm/2	E1種5/14			UNH等内面空器の飛れ
625	278031	土器	壺	M 3.0	合合壁2層	15.0	—	フタ・ハサフタ	中や白	2.5mm/2	1.5mm厚1/2			
626	310002	土器	壺	M 3.2	合合壁(2層)	15.8	—	フタ・ハサフタ	青	10mm/2	3/12			
627	26804	土器	壺	M 3.0	合合壁(2層)	12.6	—	—	青	10mm/3	11/12			
628	270001	土器	壺	M 2.8	合合壁(2層)	7.6	—	—	青	10mm/3	9/12			
629	162045	陶器	手型	N 3.1	合合壁(2層)	6.8	15	—	中や白	2.5mm/1	4/12	4/12	有	D1
630	19404	陶器	手型	M 2.8	合合壁(2層)	16.4	159	1.0mm	青	2.5mm/1	3/12	9/12	7	G3
631	19402	陶器	手型	K 2.9	合合壁(2層)	15.9	190	1.0mm	青	2.5mm/1	6/12	12/12	有	C3
632	19400	陶器	手型	M 3.1	合合壁(2層)	15.2	197	1.0mm	青	2.5mm/1	5/12	12/12	有	薄青等内面
633	19401	陶器	手型	M 3.1	合合壁(2層)	14.6	252	1.0mm	青	2.5mm/1	12/12	12/12	有	G3
634	19501	陶器	手型	M 2.9	合合壁(2層)	15.1	191	1.0mm	青	2.5mm/1	2/12	6/12	7	II
635	262002	陶器	手型	M 3.1	合合壁(2層)	15.1	308	1.0mm	青	2.5mm/1	12/12	12/12	有	G3
636	260001	陶器	手型	M 2.9	合合壁(2層)	14.7	232	1.0mm	青	2.5mm/1	11/12	12/12	有	G3
637	314005	陶器	手型	N 3.1	合合壁(2層)	14.8	271	1.0mm	青	2.5mm/1	11/12	12/12	有	特殊付着
638	19403	陶器	手型	M 3.1	合合壁(2層)	15.1	271	1.0mm	青	2.5mm/1	12/12	12/12	有	G6
639	253002	陶器	手型	M 3.2	合合壁(2層)	15.3	249	1.0mm	青	N/A	12/12	12/12	有	画面D1
640	253003	陶器	手型	M 3.2	合合壁(2層)	14.5	111	—	中や白	2.5mm/1	3/12	7/12	有	豊原サンクル
641	162033	陶器	手型	N 3.1	合合壁(2層)6.0	15.9	282	1.0mm	青	N/A	12/12	12/12	有	[政治]
642	16204	陶器	手型	N 3.1	合合壁(2層)	14.3	266	1.0mm	青	2.5mm/1	10/12	12/12	有	E13
643	20401	陶器	手型	N 3.2	合合壁(2層)	14.1	204	1.0mm	青	N/A	5/12	12/12	有	G1
644	25203	陶器	手型	N 3.1	合合壁(2層)6.0	13.5	244	—	中や白	10mm/1	7/12	12/12	有	G3
645	11701	陶器	手型	N 3.1	合合壁(2層)6.0	15.9	300	1.0mm	青	N/A	11/12	12/12	有	特殊付着
646	31800	陶器	手型	N 3.1	合合壁(2層)	14.3	204	1.0mm	青	2.5mm/1	12/12	12/12	有	内外面 滴油痕付
647	31801	陶器	手型	M 3.2	合合壁(2層)	11.5	232	—	中や白	7.5mm/1	16/12	12/12	?	特殊付着
648	26001	陶器	手型	M 3.2	合合壁(2層)	9.0	37	1.0mm	青	N/A	5/12	12	有	底面に墨痕あり
649	19403	陶器	手型	N 3.1	合合壁(2層)	9.6	71	1.0mm	青	2.5mm/1	10/12	12/12	有	[人]
650	35702	陶器	手型	M 3.2	合合壁(2層)	9.7	74	1.0mm	青	2.5mm/1	12/12	12/12	?	E4
651	20400	陶器	手型	N 3.2	合合壁(2層)	9.0	128	1.0mm	青	2.5mm/1	12/12	12/12	有	1982年半輪型財
652	26001	陶器	手型	N 2.8	合合壁(2層)	9.2	21	—	中や白	N/A	2/12	2/12	?	I
653	26002	陶器	手型+側段	N 2.8	合合壁(2層)	9.5	132	1.0mm	青	N/A	12/12	12/12	有	HII
654	19504	陶器	手型	N 3.1	合合壁(2層)	9.2	17	1.0mm	青	2.5mm/1	3/12	12/12	有	[外] 内面刷毛付
655	26002	土器	泥質	M 2.9	合合壁(2層)	22.6	—	フタ・ハサフタ	青	10mm/3	2/12			1980年堆積付

第12表 出土土器觀察表 (11)

報告 番号	工具 番号	種類	产地・系属	地区	遺構・層位	計 量	測定 (cm) 温度(g)	測定・付属の特徴	上	色調	口沿性有無	内部形状	使用痕	著者	参考事項	
高さ	幅															
656	19401	土削器	支那	M 3.1	岱岳層(2層)	高さ 12.5	-	「フ」→「フ」 「フ」→「フ」・深紅	やや粗	1070°C/1	全体9/10				復付器	
657	19507	礎工刀	日本	N 3.0	岱岳層(3層)	-	-	「フ」→「フ」・深紅	やや粗	1070°C/2	口沿部小片					
658	96405	鉤牛十齿	土	K 1.9	岱岳層	15.0	-	「フ」→「フ」・赤 「フ」→「フ」・赤	粗	1070°C/1	口沿部1/6					
659	15304	土削器	日本	表緑	-	-	-	「フ」	やや粗	1070°C/2	小片					
660	35355	土削器	支那	表緑	-	-	-	「フ」→「フ」 「フ」→「フ」・赤	やや粗	1070°C/1	側面部尖鋒				側面内凹に磨损	
661	24497	土削器	土	岱岳 岱岳東村出土	-	14.7	-	「フ」→「フ」 「フ」→「フ」・赤	やや粗	2300°C/2	1/12					
662	35521	土削器	支那	表緑	-	13.0	-	「フ」→「フ」・赤 「フ」→「フ」・赤	やや粗	1070°C/2	4/12					
663	36002	土削器	土	K 7	岱岳層	16.1	-	「フ」→「フ」→「フ」 「フ」	やや粗	2300°C/6	2/12				口沿部内凹磨损	
664	35302	土削器	土	表緑	-	-	-	「フ」→「フ」→「フ」 「フ」	やや粗	2300°C/3	口沿部小片					
665	36905	土削器	土	K 1.9	岱岳層	12.6	-	-	粗	1070°C/2	3/12					
666	31003	生火土器	土	1.7	岱岳層	高さ 9.8	-	「フ」→「フ」 「フ」→「フ」	やや粗	1070°C/1	1/12				表面に未熟期 生火跡	
667	20164	土削器	土	N 3.1	岱岳層(3層)	5.5	-	「フ」→「フ」・赤 「フ」→「フ」・赤	粗	1070°C/4	3/12					
668	32203	土削器	土	ウベル無し	-	底 3.8	-	「フ」→「フ」→「フ」 「フ」	やや粗	1070°C/4	8/12					
669	33304	土削器	土	表緑	-	16.2	-	「フ」→「フ」→「フ」 「フ」	やや粗	1070°C/2	1/12				外周環状	
670	36905	土削器	土	K 1.9	岱岳層	底 5.0	-	「フ」→「フ」→「フ」 「フ」	やや粗	2300°C/4	12/12					
671	15303	土削器	土	表緑	-	6.6	-	「フ」→「フ」→「フ」 「フ」	粗	1070°C/2	粗密				底面内凹間に軽く凹凸	
672	47161	灰土器	粘土	L 3.1	岱岳層(3層)	14.0	-	「フ」→「フ」・赤 「フ」→「フ」・赤	粗	1070°C/1	全体1/2				外周部上昇	
673	27701	灰土器	粘土	L 2.9	岱岳層	16.2	-	「フ」→「フ」・赤 「フ」	粗	NV	3/8					
674	27702	灰土器	粘土	L 3.0	岱岳層	15.0	-	「フ」→「フ」・赤 「フ」	粗	NV	1/2					
675	27703	灰土器	粘土	L 3.1	岱岳層(褐色土)	14.2	-	「フ」→「フ」・赤 「フ」	やや粗	NV	1/4				表面にしつかり自然歯	
676	07103	酒器	粘土	L 3.1	岱岳層(褐色土)	12.3	-	「フ」→「フ」・赤 「フ」	粗	720°C/1	ほぼ完全					
677	27704	追加器	粘土	L 3.0	岱岳層	12.0	-	「フ」→「フ」→「フ」 「フ」	やや粗	1070°C/1	1/2					
678	27705	追加器	粘土	由良西壁	レンチ	12.0	-	「フ」→「フ」→「フ」 「フ」	やや粗	NV	3/4					
679	34804	酒器	粘土	試驗N.5	-	10.6	-	「フ」→「フ」→「フ」 「フ」	粗	720°C/1	4/12				外周に粘土付着	
680	33001	酒器	粘土	N 3.1	岱岳層(3層)	9.9	-	「フ」→「フ」・赤 「フ」	粗	NV	3/12	6/12				
681	33005	酒器	粘土	M 3.1	岱岳層(3層)	9.6	-	「フ」→「フ」・赤 「フ」	粗	NV	2/12				へき端	
682	27706	酒器	粘土	M 3.1	岱岳層(3層)	11.6	-	「フ」→「フ」・赤 「フ」	粗	NV	1/2					
683	07102	酒器	粘土	L 3.1	岱岳層(3層)	11.4	-	「フ」→「フ」・赤 「フ」	粗	NV	1/2				電ねれ柱	
684	08901	追加器	粘土	L 2.9	岱岳層(3層)	13.1	-	「フ」→「フ」・赤 「フ」	粗	720°C/1	全体1/8					
685	27801	酒器	粘土	M 2.0	岱岳層	12.8	-	「フ」→「フ」・赤 「フ」	粗	2300°C/1	全体1/4					
686	08902	酒器	粘土	L 2.9	岱岳層	14.0	-	「フ」→「フ」・赤 「フ」	粗	NV	2/12					
687	08903	酒器	粘土	M 2.0	岱岳層	12.0	-	「フ」→「フ」・赤 「フ」	粗	NV	1/2				内側に凹凸	
688	33601	酒器	粘土	L 1.4	岱岳層	11.2	-	「フ」→「フ」・赤 「フ」	粗	NV	2/12					
689	07103	土削器	粘土	K 3.1	岱岳層(褐色土)	14.5	-	「フ」→「フ」 「フ」	粗	2300°C/6	6/12					
690	09018	土削器	高杯	K 3.1	岱岳層(褐色土)	13.6	-	「フ」→「フ」 「フ」	粗	2300°C/3	全体5/8					
691	07104	土削器	高杯	0.7	岱岳層	13.8	-	「フ」→「フ」 「フ」	粗	2300°C/1	全体4/5					
692	09101	追加器	高杯	岱岳層	岱岳層(3層)	13.4	-	「フ」→「フ」 「フ」	粗	2300°C/4	側面尖鋒					
693	09101	追加器	高杯	O 2.9	岱岳層(3層)	粗 9.1	-	「フ」→「フ」 「フ」	粗	NV	12/12	3/透孔				
694	14201	酒器	高杯	L 2.8	S D 7	12.5	-	「フ」→「フ」・深紅 「フ」	やや粗	230°C/1	岱岳3/8					
695	09102	追加器	高杯	L 2.9	岱岳層	13.8	-	「フ」→「フ」・深紅 「フ」	やや粗	230°C/1	全体5/8					
696	09103	追加器	高杯	M 3.1	岱岳層(3層)	12.5	-	「フ」→「フ」・深紅 「フ」	粗	NV/NV	6/12				焼成不良	
697	26802	追加器	高杯	試驗N.5	脚 9.1	13.0	-	「フ」→「フ」・深紅 「フ」	粗	1070°C/1	側面部分付着				へき起因	
698	09103	追加器	高杯	岱岳層	岱岳層(3層)	13.8	-	「フ」→「フ」・深紅 「フ」	やや粗	230°C/1	岱岳3/8					
699	35603	岱岳器	高杯	L 2.9	岱岳層	13.8	-	「フ」→「フ」・深紅 「フ」	粗	230°C/1	岱岳3/8					
700	07010	岱岳器	岱岳層	L 6	岱岳層	13.6	-	「フ」→「フ」・深紅 「フ」	やや粗	230°C/4	岱岳3/8					
701	26504	岱岳器	岱岳層	K 2.2	岱岳層	13.6	-	「フ」→「フ」・深紅 「フ」	粗	230°C/3	岱岳3/8				内部に炭化物付着	
702	07010	岱岳器	岱岳層	L 3.0	岱岳層	13.2	-	「フ」→「フ」・深紅 「フ」	粗	1070°C/3	岱岳3/8					
703	26503	岱岳器	岱岳層	M 2.9	岱岳層	13.5	-	「フ」→「フ」・深紅 「フ」	粗	1070°C/2	岱岳3/8				外周環状	
704	26101	岱岳器	岱岳層	L 3.1	岱岳層	13.0	-	「フ」→「フ」・深紅 「フ」	粗	1070°C/4	岱岳3/8				外周環状 全体に黒青	
705	26501	岱岳器	岱岳層	L 3.0	岱岳層	13.8	-	「フ」→「フ」 「フ」	粗	1070°C/2	7/8					
706	07303	土削器	跡	L 3.1	岱岳層(褐色土)	13.6	-	-	やや粗	1070°C/2	岱岳3/8				外周部有 「H」形突起部の発現	
707	35203	青磁	小盤	中国	山上跡	表上	-	-	青	青 700°C/1	岱岳3/8					
708	34293	青磁	手皿	中国	K 1.2	岱岳層	-	-	青	青 700°C/2	岱岳3/8					
709	34294	青磁	皿	中国	岱岳層	岱岳層(3層)	10.4	-	青	青 700°C/1	1/12	t/12				
710	16001	白磁	縁	中国	M 2.0	岱岳層	底 7.0	-	青	青 700°C/2	岱岳3/8					
711	34291	白磁	縁	中国	L 2.8	岱岳層	青 7.3	-	青	青 700°C/1	2/12					
712	34105	青磁	縁	中国	1	岱岳層	青 4.8	-	青	青 700°C/1	2/12					
713	34106	青磁	縁	中国	N 2.7	岱岳層	青 5.4	-	青	青 700°C/1	2/12				内側に繊維状のキズ	
714	34202	青磁	縁	中国	1	岱岳層	青 4.4	-	青	青 700°C/1	3/12					

第13表 出土土器観察表 (12)

器種 番号	基盤 番号	器種 名	地盤・系縁	地 区	遺物・発見地	27. 順 序 (cm) 重 量(g)	測定・付注の特徴	出土	色 製	口縁部存否	底部存否	使用期	著 普	特記事項	
高さ	幅	厚さ													
715	34304	陶器	土器	中国		表「鉢形器」	式 4.8	—	やや青	高さ2.97±1 幅2.97±1 厚さ0.52±1		32/12			
716	34305	陶器	土器	中國	O 2.9	付合縁(上縁)	式 3.6	—	やや青	高さ2.97±1 幅2.97±1 厚さ0.52±1		32/12			
717	34304	陶器	土器	中国	K 1.9	付合縁	—	—	青	高さ2.97±1 幅2.97±1 厚さ0.52±1		3/12			
718	34302	陶器	土器	中国		表「除去表土」	式 2.6	—	青	高さ2.97±1 幅2.97±1 厚さ0.52±1		3/12			
719	34103	陶器	土器	中国	I 1.4	付合縁	—	—	青	高さ2.97±1 幅2.97±1 厚さ0.52±1	口縁部小片				
720	34104	陶器	土器	中国	M 2.4	付合縁	—	—	青	高さ2.97±1 幅2.97±1 厚さ0.52±1	口縁部小片				
721	34306	陶器	土器	中国	N 2.7	付合縁	—	—	青	高さ2.97±1 幅2.97±1 厚さ0.52±1	口縁部小片				
722	34302	陶器	土器	中国	N 2.6	付合縁	16.6	—	青	高さ2.97±1 幅2.97±1 厚さ0.52±1	1/12				
723	34610	陶器	土器	中国	I 1.1	付合縁(粗妙)	15.0	—	青	高さ2.97±1 幅2.97±1 厚さ0.52±1	1/12				
724	34301	陶器	土器	中国	I 2.2	付合縁(粗妙)	15.8	—	青	高さ2.97±1 幅2.97±1 厚さ0.52±1	1/12				
725	34101	陶器	土器	中国	N 2.7	付合縁	14.6	—	青	高さ2.97±1 幅2.97±1 厚さ0.52±1	1/12				
726	34102	陶器	土器	中国	N 2.5	付合縁	14.8	—	青	高さ2.97±1 幅2.97±1 厚さ0.52±1	1/12				
727	34003	陶器	土器	中国	L 2.7	付合縁	18.0	—	青	高さ2.97±1 幅2.97±1 厚さ0.52±1	1/12				
728	34103	陶器	土器	中国	西北地区	—	—	青	高さ2.97±1 幅2.97±1 厚さ0.52±1	1/12					
729	34305	陶器	土器	中国	K 1.0	付合縁	—	—	青	高さ2.97±1 幅2.97±1 厚さ0.52±1	1/12				
730	34001	陶器	土器	中国	N 2.8	付合縁	9.1	—	青	高さ2.97±1 幅2.97±1 厚さ0.52±1	2/12				
731	28012	土器	土器	小北勢		表「除去表土」	9.0	—	青	2.7088/3	5/12				
732	27911	土器	土器	小北勢	I 1.1	付合縁	8.0	—	やや青	10.988/3	6/12				
733	27905	土器	土器	西伊勢	I 1.7	付合縁	7.3	—	やや青	2.7087/2	12/12				
734	27908	土器	土器	西伊勢	L 1.0	付合縁	7.9	—	やや青	10.988/3	10/12				
735	28003	土器	土器	西伊勢	L 1.2	付合縁	8.1	—	青	10.988/3	9/12	薄いために厚孔			
736	27905	土器	土器	南伊勢	I 1.9	付合縁	2.5	—	やや青	10.988/2	8/12				
737	27916	土器	土器	南伊勢	I 1.1	付合縁	7.3	—	やや青	10.988/1	5/12				
738	28001	土器	土器	南伊勢	I 1.1	付合縁	7.8	—	やや青	10.988/2	12/12				
739	27908	土器	土器	南伊勢	L 2.8	付合縁	7.1	—	やや青	2.7088/4	12/12				
740	31607	土器	土器	南伊勢	試範No.1	7.0	—	やや青	2.7088/2	6/12					
741	28005	土器	土器	中北勢	M 2.8	付合縁	8.5	—	やや青	10.988/3	12/12				
742	28000	土器	土器	中北勢	M 2.8	付合縁	7.9	—	青	10.988/3	12/12				
743	28000	土器	土器	中北勢	I 2.8	付合縁	8.2	—	青	10.988/2	10/12				
744	27903	土器	土器	中北勢	M 2.8	付合縁	8.2	—	やや青	10.988/2	12/12				
745	28008	土器	土器	中北勢	K 1.1	付合縁	7.5	—	青	10.988/1	12/12				
746	26906	土器	土器	中北勢	I 2.8	付合縁	8.0	—	やや青	2.7088/4	12/12				
747	27904	土器	土器	中北勢	L 2.8	付合縁	8.0	—	やや青	2.7088/3	11/12				
748	27902	土器	土器	中北勢	N 2.7	付合縁	7.7	—	やや青	10.988/1	8/12				
749	28010	土器	土器	中北勢	K 2.8	付合縁	7.9	—	青	7.5782/6	12/12				
750	26701	土器	土器	中北勢	K 9	付合縁	9.3	—	やや青	2.7088/6	8/12				
751	28005	土器	土器	中北勢?	L 2.5	付合縁	9.0	—	青	10.988/2	12/12				
752	28010	土器	土器	中北勢?	K 1.1	付合縁	9.4	—	青	10.988/3	12/12				
753	27901	土器	土器	中北勢	I 2.7	付合縁	9.5	—	やや青	2.7088/6	8/12				
754	26907	土器	土器	中北勢	M 2.6	付合縁	8.7	—	青	2.7088/2	11/12				
755	24303	土器	土器	中北勢	K 1.4	西側面?	9.0	—	やや青	2.7088/1	12/12		口縁部断面片		
756	27904	土器	土器	中北勢?	L 2.7	付合縁	8.7	—	やや青	10.988/1	8/12				
757	27903	土器	土器	中北勢?	L 2.7	付合縁	8.5	—	やや青	10.988/4	12/12				
758	27900	土器	土器	中北勢?	L 2.8	付合縁	8.9	—	やや青	2.7087/2	12/12	内面に擦摩する 内面に立脚する 立脚する			
759	27904	土器	土器	中北勢?	K 1.6	西側面?	9.2	—	やや青	2.7088/2	7/12				
760	29008	土器	土器	南伊勢	I 1.8	付合縁	8.6	—	やや青	2.7088/2	10/12				
761	26904	土器	土器	中北勢	M 2.8	付合縁	7.9	—	青	10.988/1	12/12				
762	29003	土器	土器	中北勢	M 2.8	付合縁	7.5	—	青	10.988/4	12/12				
763	27907	土器	土器	中北勢	M 2.5	付合縁	8.3	—	やや青	2.7088/6	9/12				
764	26912	土器	土器	中北勢	L 2.8	付合縁	8.9	—	やや青	10.988/3	12/12				
765	26911	土器	土器	中北勢	M 2.8	付合縁	8.9	—	青	10.988/3	10/12				
766	27002	土器	土器	中北勢	K 2.8	付合縁	8.1	—	やや青	10.988/3	11/12				
767	27006	土器	土器	中北勢	M 2.8	付合縁	7.9	—	やや青	2.7088/4	8/12				
768	27912	土器	土器	中北勢	I 1.1	付合縁	8.6	—	やや青	10.988/3	8/12				
769	34003	土器	土器	中北勢	試範No.5	8.2	—	青	5.7082/4	8/12	鉛熱による変色・劣化				
770	28009	土器	土器	中北勢	M 2.8	付合縁	7.6	—	青	2.7088/4	8/12				
771	26901	土器	土器	中北勢	M 2.8	付合縁	7.9	—	青	2.7088/4	12/12				
772	26902	土器	土器	中北勢	M 2.9	付合縁(下)	7.7	—	青	2.7088/3	12/12	南伊勢の底上・手法			
773	26907	土器	土器	中北勢	M 2.8	付合縁	7.9	—	青	2.7088/4	8/12				

第14表 出土土器観察表 (13)

登録番号	種類	品種等	地盤・基盤	地 区	遺構・層位	計 量		測定・技法の特徴	勘	色	層厚	層底有度	使用機	基 準	特 性 事 項
						高	幅( cm)								
774	24004	土師器	小田	中北勢	L 1.6	包合層	8.7	—	やや黒	7.5NRA/4	H/12				
775	27011	土師器	小田	中北勢	L 1.1	包合層	9.4	—	青	2.5NRA/1	A/12				
776	28105	土師器	小田	南伊勢	L+跡去	痕跡	10.3	—	やや青	10NRA/4	I/12				内面一辺埋行
777	26703	土師器	粗	中北勢	L 1.2	包合層	13.2	—	青	10NRA/2	J/12				
778	26605	土師器	粗	中北勢	M 2.6	包合層	13.9	—	青	10NRA/3	J/12				
779	26702	土師器	粗	中北勢	L 1.2	包合層	13.1	—	やや青	7.5NRA/4	J/12				
780	13703	土師器	粗	南伊勢	L 1.1	包合層No.8	12.1	—	青	2.5NRA/2	H/12				
781	26704	土師器	粗	中北勢	L 1.1	包合層	11.6	—	やや黒	10NRA/2	K/12				
782	26403	土師器	粗	南伊勢	L 1.1	包合層	11.7	—	やや青	10NRA/2	J/12				
783	25201	土師器	粗	南伊勢	L 1.2	包合層 痕跡	11.7	—	青	10NRA/2	J/12				
784	34508	土師器	粗	南伊勢	試掘No.5		11.2	—	やや黒	2.5NRA/2	I/12				
785	27002	土師器	粗	中北勢	L 1.7	包合層	10.1	—	やや青	5NRA/10	I/12				
786	29011	土師器	粗	南伊勢	K 1.6	包合層	9.6	—	青	10NRA/3	J/12				
787	27003	土師器	粗	南伊勢?	L 1.8	包合層	8.9	—	やや黒	10NRA/3	K/12				
788	27009	土師器	粗	中北勢	K 1.9	包合層	8.6	—	やや黒	10NRA/3	J/12				
789	27010	土師器	粗	南伊勢	L 3.1	包合層上層(同)	7.6	—	やや青	10NRA/3	K/12				
790	26604	土師器	粗	中北勢	L 1.9	包合層	13.0	—	やや青	7.5NRA/4	I/12				
791	26602	土師器	粗	中北勢	L 2.0	包合層	12.5	—	やや青	10NRA/3	I/12				
792	26705	土師器	粗	中北勢	L 1.2	包合層	13.5	—	やや青	10NRA/3	J/12				
793	13702	土師器	粗	中北勢	L 1.1	包合層No.6	13.8	—	やや黒	10NRA/4	I/12				内面工具痕
794	29002	土師器	粗	中北勢	L 1.1	包合層No.13	11.1	—	やや黒	7.5NRA/3	K/12				
795	13603	土師器	粗	中北勢	K 1.1	包合層	13.8	—	やや黒	7.5NRA/6	J/12				内面工具痕
796	26606	土師器	粗	中北勢	L 1.1	包合層No.5	13.0	—	やや青	10NRA/2	J/12				
797	13701	土師器	粗	中北勢	L 1.1	包合層No.22	12.3	—	やや黒	10NRA/3	I/12				側面熱土つなぎ痕
798	26603	土師器	粗	中北勢	M 2.7	包合層(1)	12.5	—	青	10NRA/2	J/12				
799	13604	土師器	粗	南伊勢	N 2.5	包合層	12.5	—	やや青	2.5NRA/2	G/12				
800	13703	土師器	粗	中北勢	L 1.0	包合層	13.5	—	やや黒	7.5NRA/6	J/12				内面工具による調整
801	29003	土師器	粗	中北勢	L 1.1	包合層No.16	14.7	—	やや黒	7.5NRA/4	I/12				
802	29006	土師器	粗	中北勢	K 3.1	包合層 1	12.3	—	やや青	7.5NRA/4	I/12				
803	13801	土師器	粗	南伊勢	?	表土除去工具	12.6	—	やや青	2.5NRA/1	I/12				内面工具による調整
804	13802	土師器	粗	?	?	表土除去工具	11.8	—	やや青	10NRA/3	I/12				
805	30504	土師器	粗	?	K 1.9	包合層	11.5	—	やや青	7.5NRA/1	I/12				
806	28101	土師器	粗	?	K 5	包合層	13.3	—	やや黒	7.5NRA/2	I/12				
807	29101	土師器	粗	?	K 6	西壁上部	13.2	—	やや青	10NRA/2	J/12				
808	28103	土師器	粗	?	K 6	洗浄層	11.5	—	青	2.5NRA/2	I/12				
809	28105	土師器	粗	?	K 5	包合層	12.0	—	青	2.5NRA/4	I/12				
810	13304	黑色土層	純	?	?	表土除去工具	14.1	—	青	10NRA/2	I/12				
811	13307	黑色土層	純	?	?	表土除去工具	15.5	—	青	10NRA/2	I/12				
812	13308	黑色土層	純	O 2.8	?	表土除去工具(シート)	15.4	—	青	10NRA/2	I/12				
813	13305	黑色土層	純	?	?	表土除去工具	16.2	—	青	10NRA/2	I/12				
814	33201	陶器	小田	知多	L 1.8	トレンチ	9.3	69	やや黒	2.5NRA/2	I/12				
815	13703	陶器	小田	河美	L 2.0	包合層	9.6	72	青	NRA	I/12				
816	13701	陶器	小田	知多	K 1.1	包合層	9.2	63	やや青	NRA	I/12				内面に墨ぬき痕
817	13702	陶器	小田	河美	L 1.9	包合層	8.9	73	青	NRA	I/12				
818	13403	陶器	小田	河美	L 1.4	包合層	8.4	54	やや青	2.5NRA/1	I/12				
819	13401	陶器	小田	知多	?	表土除去工具	8.3	73	青	2.5NRA/1	I/12				
820	13405	陶器	小田	知多	L 2.0	包合層	8.5	35	やや青	NRA	I/12				
821	13403	陶器	小田	河美	L 2.0	包合層	8.7	45	青	NRA	I/12				
822	13303	陶器	小田	知多	M 2.8	包合層	8.2	63	青	NRA	I/12				
823	13701	陶器	小田	河美	L 1.9	包合層	8.2	57	青	NRA	I/12				外側一部埋行
824	21604	陶器	小田	穀段・知多	M 3.2	包合層上層(同)	8.1	68	やや黒	2.5NRA/1	H/12				
825	13403	陶器	小田	河美	L 3.0	包合層	8.6	56	青	2.5NRA/1	I/12				内面全体白塗装
826	13410	陶器	小田	穀段・知多	M 2.6	包合層	7.7	71	やや黒	2.5NRA/1	I/12				内面全体白塗装
827	13605	陶器	小田	穀段・知多	N 3.1	包合層上層(同)	8.3	76	やや黒	NRA	I/12				秦望ツインズル
828	13403	陶器	小田	穀段・知多	N 3.1	包合層(上)	8.3	25	やや青	NRA	I/12				重量サンブル
829	31505	陶器	小田	穀段・知多	L 2.8	包合層	8.1	66	やや青	2.5NRA/1	I/12				
830	13402	陶器	小田	穀段・知多	M 2.8	包合層	7.9	60	やや青	2.5NRA/1	I/12				重量サンブル
831	13406	陶器	小田	穀段・知多	M 2.6	包合層	7.5	69	やや黒	NRA	I/12				内面全体白塗装
832	13402	陶器	小田	穀段・知多	L 1.1	包合層	8.3	59	やや青	NRA	I/12				内面全体白塗装

第15表 出土土器観察表(14)

番号	器種	形	地	施	區	測量・標記	計		測量・付属の特徴	物	色	調査	C	既存有無	既存有無	使用前	被	竹	木	
							量	(cm)												
333	陶器	小瓶	加多	試驗N.3			8.0	46		やや灰	2,388/1	2/12	12/12	7						
334	陶器	小瓶	加多	試驗N.3			8.2	35		やや灰	2,387/1	5/12	6/12	7						
335	陶器	小瓶	加多	試驗N.5			7.2	63		灰	2,387/1	12/12	12/12	有						
336	13501	陶器	小瓶	加多	K 2.8	包含層	7.9	71		灰	N/A	12/12	12/12	有					重量サンプル	
337	31603	陶器	小瓶	加多	M 2.8	包含層	7.6	62		やや灰	2,387/1	12/12	12/12	有						
338	31511	陶器	小瓶	加多	M 2.8	包含層	7.6	33		やや灰	2,387/1	12/12	12/12	7						
339	31607	陶器	小瓶	加多	N 2.6	包含層	7.8	63		やや灰	N/A	10/12	12/12	有						
340	13603	陶器	小瓶	加多	南12北12	東面(モクラン)	8.5	70		やや灰	1,698/1	10/12	11/12	無					内面全体自然輪	
341	13606	陶器	小瓶	加多	1.1.9	包含層	8.0	71		やや灰	N/A	12/12	12/12	有					重量サンプル	
342	31509	陶器	小瓶	加多	西手北2	カタラン	8.0	64		灰	2,387/1	12/12	12/12	有					内面過擦り付着	
343	34504	陶器	小瓶	加多	試驗N.3		7.8	21		やや灰	2,387/1	2/12	2/12	無						
344	13605	陶器	小瓶	加多	M 2.8	包含層	8.3	55		やや灰	1,697/1	10/12	11/12	有						
345	13504	陶器	小瓶	加多	M 2.9	包含層	8.3	55		灰	N/A	7/12	8/12	7						
346	13605	陶器	小瓶	加多	1.1.9	包含層	7.8	63		やや灰	N/A	7/12	12/12	無					内面全体自然輪	
347	24203	陶器	小瓶	加多	南手2	西面N.3	7.7	66		やや灰	2,387/1	12/12	12/12	有						
348	34705	陶器	小瓶	加多	M 2.6	包含層	8.0	60		やや灰	2,387/1	6/12	12/12	有						
349	28142	陶器	小瓶	加多	M 2.8	包含層	8.2	65		やや灰	2,387/1	12/12	12/12	有						
350	13505	陶器	小瓶	加多	K 2.8	包含層	8.0	49		やや灰	N/A	9/12	10/12	無						
351	13601	陶器	小瓶	加多	M 2.2	包含層	8.0	79		やや灰	N/A	12/12	12/12	有					重量サンプル	
352	21302	陶器	小瓶	加多	K 1.9	包含層	8.1	68		やや灰	N/A	10/12	12/12	有						
353	31609	陶器	小瓶	加多・横段	N 3.1	包含層上部(側)	8.4	67		やや灰	N/A	9/12	12/12	有						
354	31705	陶器	小瓶	加多	N 2.5	包含層	7.9	71		やや灰	2,387/1	12/12	12/12	7					重量サンプル	
355	31507	陶器	小瓶	加多	L 2.6	包含層	7.5	62		やや灰	2,386/1	12/12	12/12	有					重量サンプル	
356	31601	陶器	小瓶	加多・横段	M 2.8	包含層	7.5	60		やや灰	2,387/1	12/12	12/12	有					重量サンプル	
357	13604	陶器	小瓶	加多	M 3.2	包含層上部(側)	7.5	56		灰	N/A	12/12	12/12	7					重量サンプル	
358	31509	陶器	小瓶	加多・横段	M 2.6	包含層	7.5	62		灰	2,387/1	12/12	12/12	無					内面全体自然輪	
359	31606	陶器	小瓶	加多	N 2.6	包含層	8.0	57		やや灰	2,387/1	3/12	12/12	7					内面・外茎一端焼付	
360	31505	陶器	小瓶	加多	L 2.0	包含層	8.2	21		やや灰	1,092/1	12/12	12/12	有					内面焼付	
361	13502	陶器	小瓶	加多	青土上レシナ(1)層 N.1-7.5(1-7.5)	包含層	7.8	33		やや灰	2,387/1	5/12	12/12	無						
362	13508	陶器	小瓶	加多	M 2.6	包含層	7.9	70		やや灰	2,387/1	12/12	12/12	無						
363	13503	陶器	小瓶	加多	K 1.9	包含層	7.8	52		やや灰	2,387/1	6/12	12/12	有					重量サンプル	
364	31610	陶器	小瓶	加多	N 2.7	包含層上部(側)	7.8	77		灰	N/A	11/12	12/12	有					内面全体自然輪	
365	34703	陶器	小瓶	加多	試驗N.5		7.6	73		やや灰	N/A	12/12	12/12	有						
366	13608	陶器	小瓶	加多	N 2.7	包含層	7.8	68		やや灰	2,387/1	12/12	12/12	有					重量サンプル	
367	31612	陶器	小瓶	加多・横段	表土-1层去表土	7.6	73		やや灰	2,387/1	12/12	12/12	無					欠損部		
368	19202	陶器	小瓶	加多	M 2.8	包含層	8.2	66		やや灰	N/A	12/12	12/12	有	G3				重量サンプル	
369	20603	陶器	小瓶	加多・横段	1.3.1	包含層(下部)	7.7	61		やや灰	2,386/1	12/12	12/12	有	E1				重量サンプル	
370	28003	陶器	小瓶	加多	M 2.8	包含層	7.8	63		やや灰	2,387/1	12/12	12/12	有	G3				重量サンプル	
371	13602	陶器	小瓶	加多	L 2.0	包含層	8.1	21		やや灰	N/A	9/12	12/12	有	H1				器表不平穢	
372	17501	陶器	小瓶	加多	M 2.8	包含層(上)	8.4	29		やや灰	2,387/1	12/12	12/12	有	G3					
373	18503	陶器	小瓶	加多	1.3.1	包含層(上)	8.1	67		灰	2,387/1	12/12	12/12	有	E2					
374	24105	陶器	小瓶	加多	横段	カタラン(1-7.5) 北側	8.2	63		やや灰	2,387/1	12/12	12/12	有	C1					
375	13402	陶器	小瓶	加多	K 2.5	包含層	8.2	56		やや灰	N/A	8/12	12/12	無	G3					
376	06402	陶器	小瓶	花瓶	L 2.8	包含層	7.8	-		やや灰	2,387/1	11/12	12/12	有	G3					
377	15201	陶器	小瓶	加多・横段	N 2.6	包含層	8.3	32	付着物	やや灰	2,386/1	2/12	12/12	有	H1					
378	18502	陶器	小瓶	加多・横段	1.3.1	包含層(下)	7.9	58		やや灰	N/A	12/12	12/12	無	E10				内面に付着物	
379	16303	陶器	小瓶	加多	M 1.6	包含層	7.9	158		やや灰	2,387/1	12/12	12/12	有	E10					
380	16103	陶器	小瓶	加多	L 2.8	包含層	7.7	61		やや灰	N/A	9/12	12/12	有	E4					
381	27005	陶器	小瓶	横段	N 2.6	包含層(上部)裏	7.8	66		やや灰	2,386/1	12/12	12/12	有	G3					
382	17505	陶器	小瓶	加多	N 3.1	包含層上部(側)	7.6	57		やや灰	2,387/1	11/12	12/12	有	G3					
383	16707	陶器	小瓶	加多	試驗N.5		8.1	47	28	やや灰	2,387/1	10/12	有	-	-					
384	05040	灰陶表面	畫	横段	更壁	1.1.3	-	-	灰陶底面・底脚	灰	2,387/1	5/12	6/12		硬毛地					
385	05039	灰陶表面	畫	横段	M 2.6	包含層	8.1	67	39	灰陶底面・底脚	灰	2,386/1	4/12			灰陶底脚				
386	05042	灰陶表面	樹	横段	K 6	包含層	8.1	132	132	灰陶底面・底脚	灰	2,386/1	12/12							
387	05030	灰陶表面	樹	横段	N 2.6	包含層	15.8	41	41	付着物・粘付物	灰	2,387/1	3/12			付着物				
388	05030	灰陶表面	樹	横段	A 1.2層去表土	15.2	291		やや灰	灰	N/A	12/12	12/12						付着物	
389	05030	灰陶	樹	横段	L 1.2	包含層	16.0	225	付着物	やや灰	2,387/1	4/12	12/12	有						
390	05040	灰陶	樹	横段	A 1.2層去表土	16.7	196	砂利網	やや灰	2,387/1	2/12	12/12	有							
391	13101	陶器	樹	横段	L 1.2	包含層	16.1	253	付着物	灰	N/A	7/12	12/12	有					内面底面に付着物	

第16表 出土土器観察表(15)

登録 番号	品種名	形 態	地 域	遺構・特徴	計 量		調査 (cm) 重量(g)	形状の特徴	加工	色 調	LH線性尺度	式導理度	使用痕	部 位	特 記	事 項
					長	幅										
802	32028	陶器	輪	河美	直縁		15.1	234	やや青	2.377/1	5/12	12/12	有	内外面、漆塗付着		
803	34001	陶器	輪	河美	直縁		15.0	240	やや青	2.377/1	5/12	12/12	有			
804	22005	陶器	輪	河美	L.1.1	直縁	15.0	224	やや青	2.377/1	2/12	12/12	有			
805	18045	陶器	輪	加多	M.2.6	直縁(上縁)	15.0	154	やや青	やや青	NT/	5/12	6/12	有	内部外側に漆痕 内面全体外面に漆痕付着	
806	24352	陶器	輪	河美	直縁	直縁(下縁)	15.4	—	やや青	やや青	2.377/1	5/12	12/12	有		
807	11703	陶器	輪	伊勢一加多	K.1.9	直縁	15.0	269	やや青	やや青	NN/	12/12	12/12	有		
808	12702	陶器	輪	河美	L.2.5	直縁	15.0	314	青	NT/	10/12	12/12	有			
809	32006	陶器	輪	河美?	K.7	直縁	15.5	251	やや青	やや青	2.377/1	5/12	12/12	無		
900	32201	陶器	輪	加多	L.1.2	直縁	15.0	230	やや青	やや青	2.377/1	11/12	12/12	有		
901	25003	陶器	輪	河美	L.2.9	直縁	15.0	357	青點刷	やや青	2.377/1	12/12	12/12	有		
902	16003	陶器	輪	足湯	K.2.8	直縁	15.4	172	やや青	やや青	2.377/1	1/12	12/12	無	重ね底を斜	
903	12901	陶器	輪	河美	L.2.8	直縁	15.0	230	やや青	やや青	NT/	12/12	12/12	有		
904	19001	陶器	輪	河美	L.2.8	直縁	15.0	258	やや青	やや青	2.377/1	12/12	12/12	有		
905	11502	陶器	輪	加多	L.1.4	直縁	15.7	224	やや青	青	NT/	10/12	11/12	無		
906	32105	陶器	輪	加多	L.2.8	直縁	14.9	210	やや青	2.377/1	11/12	12/12	無			
907	32503	陶器	輪	伊勢一加多	L.1.2	直縁	14.5	284	やや青	やや青	2.377/1	12/12	12/12	無	重量サンプル	
908	31801	陶器	輪	加多一腰掛	L.3.1	直縁(上)	14.0	233	やや青	やや青	2.377/1	10/12	12/12	有		
909	12001	陶器	輪	加多	L.1.1	直縁	16.0	333	やや青	やや青	NN/	5/12	5/12	有		
910	11504	陶器	輪	加多	L.1.4	直縁	15.7	260	やや青	青	NT/	6/12	12/12	有		
911	32005	陶器	輪	伊勢一加多	L.1.2	直縁	15.4	267	やや青	2.377/1	8/12	12/12	無			
912	12401	陶器	輪	河美	L.2.8	直縁	15.0	233	青	NT/	10/12	12/12	有			
913	32205	陶器	輪	?	K.6	直縁	15.5	211	やや青	青	2.377/1	7/12	12/12	有		
914	16042	陶器	輪	河美?	L.2.8	直縁	15.0	230	やや青	2.377/1	8/12	12/12	有			
915	32004	陶器	輪	伊勢一加多	L.1.1	直縁	15.0	201	やや青	2.377/1	5/12	12/12	有			
916	32102	陶器	輪	加多	M.2.8	直縁	14.6	228	やや青	やや青	NT/	12/12	12/12	?		
917	12403	陶器	輪	加多	L.2.8	直縁	15.2	212	青點刷	やや青	NT/	9/12	12/12	有		
918	32206	陶器	輪	加多一腰掛	L.1.2	直縁	15.0	266	やや青	やや青	2.377/1	8/12	12/12	無	穴貫通のため欠損部	
919	31903	陶器	輪	加多一腰掛	L.3.1	直縁(上)	14.7	286	青柄刷	青	NT/	11/12	12/12	無		
920	32104	陶器	輪	加多	L.1.3	直縁	15.6	212	やや青	やや青	2.377/1	5/12	12/12	有		
921	31902	陶器	輪	河美	L.3.1	直縁	15.0	216	やや青	やや青	NN/	9/12	12/12	有		
922	12802	陶器	輪	加多	L.2.8	直縁	15.2	273	やや青	やや青	NT/	11/12	12/12	有		
923	12603	陶器	輪	加多	M.2.6	直縁	15.4	277	やや青	やや青	NT/	10/12	12/12	有		
924	12704	陶器	輪	河美	L.2.9	直縁	15.0	258	青柄刷	やや青	NT/	10/12	12/12	有		
925	12500	陶器	輪	河美	L.2.8	直縁	15.0	347	青柄刷	青	NT/	12/12	12/12	有		
926	20001	陶器	輪	加多	K.1.1	直縁	15.3	252	やや青	やや青	2.377/1	9/12	12/12	有		
927	12601	陶器	輪	加多	L.2.8	直縁	15.0	264	やや青	やや青	NN/	11/12	12/12	有		
928	12103	陶器	輪	加多	L.1.9	直縁	15.0	235	やや青	青	NT/	12/12	12/12	有		
929	32002	陶器	輪	加多一腰掛	L.1.1	直縁	14.5	377	やや青	やや青	2.377/1	7/12	12/12	無		
930	31701	陶器	輪	河美	直縁	直縁(北端)	13.2	182	青	青	2.377/1	12/12	12/12	無		
931	15084	陶器	輪	伊勢一加多	L.1.4	直縁	14.6	161	やや青	やや青	2.377/1	3/12	12/12	有		
932	32104	陶器	輪	加多	M.2.5	直縁	15.0	279	やや青	青	2.377/1	11/12	12/12	無		
933	31703	陶器	輪	伊勢一加多	M.2.6	直縁(上縁)	14.5	249	青	青	2.377/1	12/12	12/12	有		
934	13102	陶器	輪	加多	L.1.2	直縁	14.7	174	やや青	やや青	NT/	5/12	12/12	?		
935	11601	陶器	輪	河美	L.1.4	直縁	15.0	276	青柄刷	青	2.377/1	11/12	12/12	有		
936	32004	陶器	輪	加多	L.2.9	直縁	14.8	238	やや青	やや青	2.377/1	12/12	12/12	有		
937	11902	陶器	輪	河美	M.3.1	直縁	14.3	238	やや青	やや青	NN/	12/12	12/12	有		
938	12101	陶器	輪	伊勢一加多	L.1.9	直縁	14.0	253	やや青	青	NN/	12/12	12/12	?		
939	32105	陶器	輪	伊勢一加多	L.1.1	直縁	15.2	164	やや青	やや青	2.377/1	3/12	12/12	有		
940	31906	陶器	輪	加多	M.2.8	直縁(上縁)	15.0	294	やや青	やや青	NT/	12/12	12/12	有		
941	32202	陶器	輪	加多	L.1.1	直縁	15.1	252	やや青	やや青	2.377/1	8/12	12/12	有		
942	32103	陶器	輪	伊勢一加多	M.2.8	直縁	13.0	214	やや青	青	NT/	12/12	12/12	有		
943	31903	陶器	輪	伊勢一加多	L.2.1	直縁(上)	14.9	267	青	青	2.377/1	9/12	12/12	有	背面にしっかりと運び	
944	31904	陶器	輪	伊勢一加多	L.3.1	直縁	15.2	281	やや青	やや青	NT/	11/12	12/12	有		
945	13902	陶器	輪	伊勢一加多	L.2.7	直縁	15.2	224	やや青	青	2.377/1	7/12	12/12	有		K19
946	12902	陶器	輪	伊勢一加多	L.2.8	直縁	15.3	256	やや青	やや青	NT/	11/12	12/12	有		
947	11501	陶器	輪	加多	L.1.2	直縁	15.4	314	やや青	青	2.377/1	4/12	12/12	有		
948	11503	陶器	輪	伊勢一加多	L.1.4	直縁	15.0	290	やや青	やや青	2.377/1	12/12	12/12	?	重量サンプル	
949	12902	陶器	輪	伊勢一加多	M.2.8	直縁	14.6	272	やや青	青	NT/	9/12	12/12	?		
950	11702	陶器	輪	河美	L.3.1	直縁	15.0	307	やや青	やや青	NT/	12/12	12/12	有	底面直縁時 内部保付	

第17表 出土土器観察表 (16)

登録 番号	器物 名	種類	種別	地 区	遺跡・樹木	計測 高さ (cm) 重量(g)	調査・技術的特徴		出土	色 漆	上絵地合	底部地合	使用時	筆 者	特記事項		
							質	材									
161	11904	陶器	瓶	花道	L.2.7	包含層	13.8	185	粗	7.5008/1	11/12	10/12	?				
162	11902	陶器	瓶	花道	N.3.1	包含層上層(下層)	14.7	250	11.5% 銀	赤	2.5001/1	16/12	32/12	有	外向・深澤付着		
163	12203	陶器	瓶	知多	N.2.5	包含層	14.8	141	11.5% 銀	粗	N/T	2/12	12/12	有	内絵漆無付着		
164	13002	陶器	瓶	知多	M.2.6	包含層	15.0	269	11.5% 銀	粗	N/T	12/12	32/12	有			
165	12503	陶器	瓶	知多	L.2.7	包含層	15.6	299	11.5% 銀	やや粗	N/T	12/12	32/12	有			
166	13103	陶器	瓶	知多	L.1.0	包含層	15.3	216	11.5% 銀	粗	N/T	2/12	12/12	有			
167	31905	陶器	瓶	猿投	L.3.1	包含層(上)	15.7	328	11.5% 銀	やや赤	2.5001/1	16/12	32/12	無			
168	24301	陶器	瓶	知多	土佐除去	14.7	—	11.5% 銀	やや粗	1.5001/1	2/12	12/12	有				
169	12504	陶器	瓶	知多	M.2.8	包含層	14.5	245	11.5% 銀	やや粗	N/T	11/12	32/12	有			
170	12101	陶器	瓶	知多	K.1.9	包含層	14.6	225	11.5% 銀	やや赤	N/T	2/12	12/12	有			
171	13202	陶器	瓶	知多	K.1.9	包含層	14.6	118	11.5% 銀	やや粗	7.2001/1	1/12	12/12	有	内外全面付着		
172	32209	陶器	瓶	猿投・知多	K.1.9	包含層	14.0	219	11.5% 銀	粗	2.5001/1	12/12	32/12	無			
173	12501	陶器	瓶	猿投・知多	L.2.8	包含層	15.0	245	11.5% 銀	やや粗	N/T	12/12	32/12	有			
174	12202	陶器	瓶	知多	N.2.5	包含層	14.7	174	11.5% 銀	やや粗	N/T	3/12	5/12	有			
175	31706	陶器	瓶	猿投・知多	M.2.8	包含層(上層)	14.2	256	11.5% 銀	やや粗	N/T	12/12	32/12	有	微量サンプル		
176	32801	陶器	瓶	知多	M.2.8	包含層	14.2	239	11.5% 銀	粗	2.5001/1	12/12	32/12	有	DI		
177	31705	陶器	瓶	知多	M.2.9	包含層(上)	14.1	281	11.5% 銀	やや赤	N/T	10/12	32/12	有	内部全面付着		
178	17703	陶器	瓶	知多	K.3.1	包含層(上層) 無	14.1	182	粗	N/T	8/12	32/12	有	よ。			
179	31002	陶器	瓶	尾張	尾張	N.5	包含層	14.6	120	11.5% 銀	やや赤	2.5001/1	6/12	4/12	有		
180	32401	陶器	瓶	猿投・知多	L.2.8	包含層	14.5	199	11.5% 銀	やや粗	2.5001/1	6/12	32/12	有			
181	32105	陶器	瓶	知多	M.2.6	包含層	14.8	253	11.5% 銀	やや粗	2.5001/1	12/12	32/12	無			
182	11901	陶器	瓶	知多	O.3.1	包含層(下)	14.4	258	11.5% 銀	やや赤	N/T	12/12	32/12	?	青白釉無刷・内外全面 付着		
183	13003	陶器	瓶	尾張	K.2.0	包含層	14.3	227	粗	N/T	12/12	32/12	無				
184	12101	陶器	瓶	知多	L.1.9	包含層	14.0	160	11.5% 銀	赤	N/T	6/12	32/12	有	内部全面付着		
185	12102	陶器	瓶	知多	L.1.3	包含層	14.3	171	やや粗	N/T	2/12	32/12	有				
186	11602	陶器	瓶	知多	L.1.2	包含層	14.2	239	11.5% 銀	粗	N/T	12/12	32/12	?			
187	12004	陶器	瓶	尾張	L.1.0	包含層N.21	13.6	198	粗	N/T	9/12	32/12	?				
188	13104	陶器	瓶	知多	L.1.2	包含層	14.0	196	11.5% 銀	やや赤	N/T	1/12	32/12	無			
189	32204	陶器	瓶	猿投・知多	K.4.0	包含層	14.2	283	11.5% 銀	やや赤	2.5001/1	12/12	32/12	無			
190	31102	陶器	瓶	猿投・知多	中尾澤北側	重複	14.7	284	11.5% 銀	やや粗	2.5001/1	12/12	32/12	無			
191	18702	陶器	瓶	知多	N.3.1	包含層(上)	13.6	271	11.5% 銀	やや赤	N/T	12/12	32/12	有	C5	微量サンプル	
192	31400	陶器	瓶	必須	試験N.5	粗	13.5	87	粗	2.5001/1	4/12	4/12	?				
193	12502	陶器	瓶	知多	M.2.8	包含層	14.1	227	11.5% 銀	やや赤	N/T	10/12	32/12	無	内部に藍化後青色 付着		
194	11901	陶器	瓶	知多	L.2.7	包含層	14.5	257	11.5% 銀	やや赤	N/T	12/12	32/12	無	内部單層付着		
195	11802	陶器	瓶	知多	L.3.1	包含層(上)	13.6	260	11.5% 銀	やや赤	N/T	12/12	32/12	無	内部・一部外側無付着		
196	12102	陶器	瓶	知多	L.1.9	包含層	13.4	273	11.5% 銀	赤	N/T	12/12	32/12	2	内部・一部斑剥付着		
197	32303	陶器	瓶	猿投・知多	L.1.2	包含層	13.3	200	11.5% 銀	粗	2.5001/1	6/12	32/12	無	内絵無に藍化後青色 付着		
198	11903	陶器	瓶	必須	L.2.7	包含層	13.1	193	11.5% 銀	粗	N/T	10/12	32/12	?			
199	13202	陶器	瓶	必須	L.1.9	包含層	12.2	176	11.5% 銀	粗	N/T	5/12	32/12	2			
200	13004	陶器	瓶	知多・猿投	N.2.6	包含層	13.6	99	粗	やや赤	2.5001/1	3/12	7/12	黒	口縁部から内部に自然 剥離		
201	13705	陶器	瓶	猿投	L.1.3	包含層	14.7	11	粗	2.5001/2	4/12			大			
202	32404	陶器	瓶	猿投	L.1.3	包含層	13.4	199	11.5% 銀	やや粗	2.5001/2	2/12	32/12	無	大		
203	15203	陶器	瓶	猿投	L.1.2	包含層(粗)	15.5	23	—	やや粗	2.5001/1	4/12		E9			
204	24305	陶器	瓶	必須	L.1.1	包含層 粗跡	14.2	29	—	やや赤	2.5001/1	3/12		?	G1		
205	22303	陶器	瓶	猿投	南下森北側	粗	13.3	37	やや赤	2.5001/1	2/12		?	外向・深澤付着			
206	15704	陶器	瓶	猿投	L.7	包含層	13.4	24	粗	2.5001/1	2/12			大?			
207	34602	陶器	瓶	猿投	N.5	包含層	13.2	112	粗	2.5001/1	3/12	11/12	?				
208	16001	陶器	瓶	猿投	L.1.0	包含層	12.9	92	やや粗	2.5001/1	3/12	12/12	無	「大」 599-1000七等級無刷			
209	06401	陶器	瓶	猿投	L.1.2	包含層(粗跡)	12.4	—	粗	2.5001/1	7/12	32/12	無	「大」 598-1000七等級無刷			
210	15403	陶器	瓶	猿投	K.1.9	包含層	12.8	73	やや粗	2.5001/1	4/12	5/12	無	「大」 598-999七等級無刷			
211	22504	陶器	瓶	必須	南下森北側	粗	12.4	67	やや赤	2.5001/1	1/12	32/12	有	「」			
212	24306	陶器	瓶	必須	北海岸西側	表上・包含層粗	11.2	31	やや赤	2.5001/3	3/12	6/12	有	D1			
213	18504	陶器	瓶	知多	M.2.6	包含層(上層)	15.6	137	粗	N/T	4/12	7/12	有	C1			
214	15303	陶器	瓶	知多	L.1.9	包含層	15.5	153	11.5% 銀	粗	2.5001/1	1/12	32/12	有	C1		
215	19603	陶器	瓶	知多	M.2.6	包含層	14.6	245	11.5% 銀	やや粗	2.5001/1	12/12	32/12	有	DI		
216	15401	陶器	瓶	知多	L.2.8	包含層	15.5	292	11.5% 銀	粗	2.5001/1	12/12	32/12	無	底面D1 底面G2		
217	15803	陶器	瓶	知多	L.2.8	包含層	15.4	297	11.5% 銀	やや粗	2.5001/1	11/12	32/12	有	底面G2 底面K2		
218	15800	陶器	瓶	知多	L.2.8	包含層	15.6	146	粗	2.5001/1	5/12	32/12	有	G7			
219	17802	陶器	瓶	知多	K.2.8	包含層	15.4	275	11.5% 銀	やや粗	2.5001/1	12/12	32/12	有	K18		

第18表 出土土器観察表(17)

器物 番号	器種 番号	基 本 形 状	产地・系統	地 区	遺構・解釈	計 量 値		測定・技術的特徴		重 量	色 調	上層段落有無	底部段落有無	断面形	剖面	特 記 事 項
						(cm)	(g)									
1010	19003	陶器	縦	知多	1.1.2	包含層	15.6	195	114.7%W	やや粗	29771	6/12	7/12	有	HD	
1011	15393	陶器	縦	横段一知多	1.1.4	包含層	14.8	201	114.7%W	粗	29771	9/12	32/12	有	D1	
1012	24201	陶器	縦	知多	表土	15.2	112	114.7%W	粗	29771	3/12	8/12	有	「」		
1013	15001	陶器	縦	知多	M 2.8	包含層	14.7	129	114.7%W	粗	29771	5/12	7/12	有	「」	
1014	17601	陶器	縦	知多	L 3.1	包含層上層	15.2	249	114.7%W	やや粗	29771	6/12	32/12	有	G3	
1015	15801	陶器	縦	知多	1.2.8	包含層	15.9	300	114.7%W	やや粗	109671	10/12	22/12	無	HD	内外表面研磨
1016	17801	陶器	縦	知多	L 1.1	包含層	15.7	204	114.7%W	やや粗	29771	6/12	32/12	有	K1	内面塗泥焼付
1017	20002	陶器	縦	知多	K 1.1	包含層	14.6	161	114.7%W	粗	29771	9/12	10/12	有	「」	
1018	20601	陶器	縦	知多・猿投	N 3.0	包含層(上層)	15.1	225	114.7%W	やや粗	29771	6/12	32/12	有	K1	内外表面研磨
1019	20703	陶器	縦	知多	M 2.8	包含層	15.1	280	114.7%W	やや粗	29771	12/12	32/12	有	HD	
1020	20705	陶器	縦	知多・猿投	K 4.0	包含層	15.5	318	114.7%W	やや粗	29771	12/12	32/12	無	E2	裏片不規則
1021	19005	陶器	縦	知多	L 2.9	包含層	15.6	118	114.7%W	粗	29771	2/12	32/12	有	G3	
1022	17101	陶器	縦	知多	L 3.1	包含層(1)	14.7	230	114.7%W	粗	29771	12/12	32/12	有	BC	
1023	17102	陶器	縦	知多	L 3.1	包含層(1)	14.8	230	114.7%W	やや粗	29771	12/12	32/12	有	E11	
1024	24101	陶器	縦	知多	N 3.1	南寄	15.6	80	114.7%W	やや粗	29771	3/12	5/12	有	「」	
1025	22501	陶器	縦	横段一知多	南寄・北寄	カララン	14.2	96	114.7%W	やや粗	29771	2/12	7/12	無	「」	表面凹凸
1026	17804	陶器	縦	知多	1.1.4	包含層N 10	15.8	234	114.7%W	粗	29771	6/12	32/12	有	E17	
1027	17101	陶器	縦	横段一(1)	1.1.3	包含層(1)	15.6	286	114.7%W	やや粗	29771	10/12	32/12	有	J2	
1028	19401	陶器	縦	知多	M 2.8	包含層	15.1	116	114.7%W	やや粗	109671	1/12	6/12	無	G3	外側に施された部分の山線
1029	17103	陶器	縦	知多・猿投	L 3.1	包含層(2)	15.3	245	114.7%W	やや粗	29771	9/12	32/12	有	G1	内曲全体形
1030	19102	陶器	縦	知多	L 2.9	包含層	15.2	109	114.7%W	やや粗	29771	3/12	6/12	有	「」	
1031	16203	陶器	縦	横段	X 2.7	包含層	14.4	83	粗	29771	3/12	4/12	有	「」		
1032	17603	陶器	縦	知多	1.1.9	包含層	15.6	175	114.7%W	粗	109671	4/12	32/12	有	K20	
1033	19401	陶器	縦	知多	L 1.1	包含層M 5	15.3	313	114.7%W	粗	29771	12/12	32/12	有	「」	
1034	19203	陶器	縦	知多	L 2.8	包含層	15.0	214	114.7%W	やや粗	29771	6/12	32/12	有	D2	
1035	34401	陶器	縦	知多	M 2.8	包含層	15.3	313	114.7%W	やや粗	29771	12/12	32/12	有	G6	
1036	17402	陶器	縦	知多・猿投	M 2.8	包含層(3)	15.4	320	114.7%W	やや粗	29771	12/12	32/12	有	G7	骨量サンプル
1037	20501	陶器	縦	知多	3.0.3	包含層(1)	14.8	162	114.7%W	やや粗	72901	2/12	32/12	有	「」	
1038	16401	陶器	縦	横段一知多	1.1.1	包含層	15.1	216	114.7%W	やや粗	29771	7/12	32/12	有	「」	内曲上・内外面・強健性
1039	17402	陶器	縦	横段一知多	N 3.1	包含層上(周)	14.8	127	粗	29771	4/12	7/12	有	「」		
1040	19501	陶器	縦	知多・猿投	K 2.8	包含層	15.3	253	114.7%W	やや粗	29771	11/12	32/12	有	G1	内曲に施された模様
1041	17501	陶器	縦	横段一	L 3.1	包含層(2)	15.8	90	粗	29771	4/12	6/12	無	G3	内曲に施された模様	
1042	17202	陶器	縦	横段一	1.3.1	包含層(3)	14.4	241	114.7%W	粗	29771	11/12	32/12	無	G3	
1043	17104	陶器	縦	知多	1.3.1	包含層(3)	14.0	161	粗	29771	2/12	32/12	有	HD		
1044	19104	陶器	縦	知多・猿投	K 1.9	包含層	14.6	91	114.7%W	やや粗	72901	4/12	6/12	有	「」	
1045	19601	陶器	縦	横段一	K 3.9	包含層	14.4	248	114.7%W	やや粗	29771	8/12	32/12	有	C4	
1046	34403	陶器	縦	横段	試範N 3	包含層	14.6	126	114.7%W	やや粗	29771	2/12	32/12	有	C1	
1047	19801	陶器	縦	知多・猿投	L 2.0	包含層	14.5	200	114.7%W	粗	29771	4/12	32/12	無	21	
1048	17701	陶器	縦	知多	N 3.1	包含層(1)周	14.6	291	114.7%W	やや粗	29771	12/12	32/12	有	「」	
1049	20501	陶器	縦	知多	N 2.8	包含層(1)周	14.7	278	114.7%W	やや粗	29771	12/12	32/12	有	K10	
1050	19802	陶器	縦	横段一・知多	M 2.6	包含層	13.9	295	114.7%W	やや粗	72901	12/12	32/12	無	I	
1051	18901	陶器	縦	知多	M 2.6	包含層	14.8	242	114.7%W	やや粗	29771	3/12	32/12	有	K10	
1052	19501	陶器	縦	横段一・知多	L 2.8	包含層	15.1	214	114.7%W	やや粗	29771	10/12	32/12	有	K20	丁字縫から内側に直角
1053	20004	陶器	縦	知多	K 3.1	包含層	14.9	233	粗	29771	8/12	32/12	有	「」	裏片不規則	
1054	18801	陶器	縦	知多	L 2.9	包含層	15.3	322	114.7%W	やや粗	29771	12/12	32/12	有	I	
1055	18701	陶器	縦	横段	N 2.8	包含層(1)	14.3	256	114.7%W	やや粗	29771	12/12	32/12	無	「」	表面凹凸
1056	19501	陶器	縦	横段一・知多	M 2.6	包含層	13.9	295	114.7%W	やや粗	72901	12/12	32/12	無	I	
1057	34402	陶器	縦	横段	N 2.8	包含層	14.4	334	114.7%W	やや粗	29771	4/12	32/12	有	「」	
1058	21202	陶器	縦	知多	K 3.1	トレンチ(2)	15.0	114	114.7%W	粗	29771	3/12	6/12	有	「」	裏片不規則
1059	15302	陶器	縦	横段	M 2.8	包含層	14.7	161	114.7%W	やや粗	29771	6/12	32/12	有	E1	
1060	18901	陶器	縦	横段一・知多	M 2.6	包含層(2)	15.1	252	114.7%W	やや粗	29771	5/12	7/12	有	DIP	裏片不規則
1061	17803	陶器	縦	知多	K 2.8	包含層	14.5	279	114.7%W	やや粗	72901	12/12	32/12	有	DIP	裏片不規則
1062	20601	陶器	縦	横段	N 3.1	包含層(1)周	15.2	74	粗	29771	2/12	5/12	有	I		
1063	18201	陶器	縦	横段一・知多	N 2.7	包含層	14.4	57	114.7%W	やや粗	29771	2/12	7/12	有	2	
1064	17601	陶器	縦	知多	M 2.8	包含層(1)周	12.3	362	114.7%W	粗	29771	11/12	32/12	有	HD	裏片不規則
1065	17201	陶器	縦	知多	N 3.1	包含層(1)周	14.1	161	粗	29771	1/12	32/12	有	I		
1066	19503	陶器	縦	横段一	L 2.8	包含層	13.5	141	114.7%W	やや粗	29771	3/12	32/12	有	I	内曲不規則
1067	19504	陶器	縦	横段	N 2.7	包含層	14.7	168	114.7%W	やや粗	29771	4/12	6/12	無	「」	
1068	19502	陶器	縦	横段	M 2.6	包含層	14.8	83	粗	29841	1/12	4/12	有	I		

第19表 出土土器觀察表 (18)

器名 器物番号	基盤 底面	器形	施地・系統	地・色	遺構・特徴	寸 法 (cm) 重量(g)		調査・検出の特徴	所十	Q 時	口縁部有無	内側焼付度	焼付特徴	基 色	特 定 事 件
						長	幅								
1069 21704	陶器	碗	復	O 2.9	金内トレンチ	11.3	36	418.9g	やや赤	N/T		12/12	有	G7	
1070 17203	陶器	碗	復1-加多	N 2.8	金内トレンチ(底)	13.7	233	418.7g	やや赤	N/T	12/12	12/12	有	G7	
1071 19002	陶器	碗	加多-縦段	K 1.9	金内赤	14.1	239	418.7g	やや赤	237/T	9/12	12/12	有	E13	
1072 14404	陶器	碗	加多	試作N-3	14.0	68	418.7g	やや赤	237/T	1/12	4/12	無	-		
1073 20101	陶器	碗	復1-加多	L 1.2	金内赤	14.5	236	418.7g	やや赤	N/T	9/12	12/12	有	D6	器表不規則
1074 16801	陶器	碗	加多	L 2.0	金内赤	13.9	220	418.7g	やや赤	109/T	6/12	12/12	有	H1	
1075 15101	陶器	碗	底面	N 2.6	金内赤	14.0	82	418.7g	無	7.38/T	5/12	4/12	無	-	
1076 18804	陶器	碗	加多-縦段	L 1.9	金内赤	14.2	364	418.7g	やや赤	237/T	5/12	12/12	有	E2	
1077 20902	陶器	碗	加多	N 3.0	金内赤(1層)	13.8	230	418.7g	無	238/T	12/12	12/12	有	E13	内面に赤燒付
1078 18802	陶器	碗	復1-加多	L 2.0	金内赤	13.7	162	418.7g	やや赤	109/T	6/12	12/12	有	E2	内面に赤燒付
1079 16101	陶器	碗	底面	L 2.7	金内赤	13.9	70	418.7g	やや赤	238/T	1/12	6/12	有	「」	
1080 17702	陶器	碗	加多	N 3.1	金内赤(1層)底	13.6	167	418.7g	やや赤	N/T	6/12	12/12	有	E3	
1081 18904	陶器	碗	底面	L 1.9	金内赤	13.5	134	418.7g	無	2.38/T	6/12	2/12	有	「人」	内面に漆黒付
1082 16306	陶器	碗	底面	L 1.1	金内赤	13.5	121	418.7g	無	7.38/T	6/12	12/12	有	「人」	内面黒付
1083 15501	陶器	碗	底面	L 1.0	金内赤(2層)	13.1	92	418.7g	無	2.38/T	5/12	6/12	有	「大」	
1084 15304	陶器	碗	底面	L 1.0	金内赤N-21	13.0	224	418.7g	無	5.38/T	12/12	12/12	有	「大」	
1085 16307	陶器	碗	底面	K 1.0	金内赤	12.4	102	418.7g	無	237/T	5/12	12/12	有	「人」	
1086 18905	陶器	碗	加多	M 2.7	金内赤	14.6	230	418.7g	やや赤	237/T	6/12	12/12	無	D3	
1087 16309	陶器	碗	復1	N 2.7	金内赤	13.1	218	418.7g	やや赤	238/T	10/12	12/12	有	E13	底付黒斑
1088 17903	陶器	碗	底?	L 2.7	金内赤	14.8	287	418.7g	やや赤	109/T	10/12	12/12	有	J10	器表不規則
1089 19201	陶器	碗	底?	N 2.6	金内赤	11.0	46	418.7g	やや赤	2.38/T	1/12	3/12	有	「」	
1090 15903	陶器	碗	加多	N 2.6	金内赤	14.1	184	418.7g	やや赤	237/T	6/12	7/12	無	「」	
1091 16901	陶器	碗	加多	K 1.9	金内赤	13.7	244	418.7g	やや赤	237/T	12/12	12/12	無	調査不規	
1092 20706	陶器	碗	加多-縦段	L 1.9	金内赤	14.4	207	418.7g	やや赤	237/T	5/12	12/12	有	E2	内面黒付
1093 19902	陶器	碗	復1-加多	L 1.9	金内赤	14.3	237	418.7g	やや赤	237/T	10/12	12/12	有	E13	280-290と重複付
1094 16901	陶器	碗	加多	L 1.9	金内赤	13.6	162	418.7g	やや赤	237/T	6/12	8/12	有	E2	
1095 20102	陶器	碗	加多-縦段	N 2.6	金内赤	13.9	158	418.7g	やや赤	237/T	4/12	12/12	有	K10	内面に塗付付着
1096 15003	陶器	碗	底?	N 2.6	金内赤	12.8	86	418.7g	やや赤	237/T	3/12	6/12	無	「」	
1097 17902	陶器	碗	底?	N 2.6	金内赤	13.5	130	418.7g	やや赤	238/T	2/12	12/12	有	「」	
1098 19706	陶器	碗	加多-縦段	N 2.6	金内赤	-	15	418.7g	やや赤	109/T	1/12		「」		
1099 18903	陶器	碗	加多	O 2.8	金内赤(2層)付	15.2	55	418.7g	やや赤	237/T		6/12	有	「西」	
1100 18904	陶器	碗	復1-加多	N 3.1	金内赤	15.2	68	418.7g	やや赤	237/T		8/12	有	「北ね」	半ね燒付痕跡
1101 16703	陶器	碗	加多	L 1.4	金内赤	15.5	28	418.7g	やや赤	2.38/T		12/12	有	「人」	
1102 19702	陶器	碗	加多	N 2.6	金内赤	15.5	145	418.7g	やや赤	2.38/T		12/12	有	「人」	
1103 16504	陶器	碗	底?-縦段	L 1.2	金内赤	15.1	141	418.7g	やや赤	2.38/T		12/12	有	「人」	
1104 19703	陶器	碗	加多	K 2.6	金内赤	15.3	145	418.7g	やや赤	2.38/T		12/12	有	「人」	
1105 19101	陶器	碗	底?	K 1.0	金内赤	15.4	64	418.7g	やや赤	N/T		10/12	有	A-	
1106 17603	陶器	碗	底?	L 1.1	金内赤N-23	16.0	96	418.7g	無	7.38/T		12/12	無	「人」	284-290と重複付
1107 20602	陶器	碗	加多	K 1.1	金内赤	14.9	66	418.7g	無	2.38/T		6/12	有	J1	
1108 17907	陶器	碗	底?	M 1.1	金内赤(2層)	15.1	114	418.7g	やや赤	2.38/T		12/12	有	「」	
1109 24403	陶器	碗	加多	L 1.2	金内赤(2層)	15.1	120	418.7g	やや赤	2.38/T		12/12	有	「」	
1110 15701	陶器	碗	底?	K 1.9	金内赤	15.9	159	418.7g	やや赤	237/T		12/12	有	調査不規	器表不規則
1111 15402	陶器	碗	底?	K 1.9	金内赤	15.4	107	418.7g	やや赤	237/T		12/12	有	C1	
1112 20304	陶器	碗	加多-縦段	M 2.6	金内赤	15.8	192	418.7g	無	N/T		12/12	有	C1	
1113 22503	陶器	碗	加多	南加北加	カララン	15.7	60	418.7g	やや赤	2.38/T		5/12	有	「」	
1114 16903	陶器	碗	復1-加多	L 1.1	金内赤	15.5	58	418.7g	やや赤	237/T		5/12	有	C4	
1115 15702	陶器	碗	加多-縦段	K 1.9	金内赤	15.7	49	418.7g	やや赤	2.38/T		6/12	無	C4	
1116 19003	陶器	碗	加多	L 1.1	金内赤	15.6	91	418.7g	やや赤	N/T		12/12	有	B1	
1117 17501	陶器	碗	加多	M 3.1	金内赤(1層)	15.7	67	418.7g	やや赤	237/T		8/12	無	G3	内面黒付
1118 13605	陶器	碗	加多	M 2.8	金内赤	15.9	68	418.7g	無	237/T		12/12	有	G3	
1119 16802	陶器	碗	加多-縦段	21列東西トレンチ	15.5	91	418.7g	やや赤	2.38/T		12/12	有	G3		
1120 16002	陶器	碗	加多	M 2.9	金内赤(1層)	15.2	79	418.7g	やや赤	N/T		12/12	有	G3	
1121 17502	陶器	碗	加多	L 3.1	金内赤(1層)	15.3	113	418.7g	やや赤	2.38/T		12/12	無	G3	内面黒付
1122 17503	陶器	碗	加多	M 3.1	金内赤(1層)	15.4	35	418.7g	やや赤	2.38/T		4/12	有	「」	
1123 16901	陶器	碗	加多-縦段	I 1.8	金内赤	15.0	82	418.7g	やや赤	2.38/T		12/12	有	G7	
1124 17041	陶器	碗	加多	M 2.7	金内赤	15.0	26	418.7g	やや赤	2.38/T		4/12	有	K7	内面黒付
1125 15505	陶器	碗	底?	L 1.2	金内赤	15.4	66	418.7g	やや赤	2.38/T		6/12	有	G8	内面黒付による変色色
1126 16702	陶器	碗	底?	L 1.4	金内赤	15.5	25	418.7g	やや赤	2.38/T		7/12	有	-	
1127 24104	陶器	碗	加多	L 1.2	金内赤(2層加)	15.4	61	418.7g	やや赤	2.38/T		6/12	有	G7	内面黒付

第20表 出土土器観察表 (19)

番号	器物名	種類	遺跡	地	測量	断面	計測	基準	調整・技術的特徴	上	色調	口縁既存度	底部既存度	使用例	著者	特記事項
(mm) 斧頭部	(mm)															
1128	19204	陶器	縦	延長	K 1.9	口含部	底	6.3	158	面	NW/1	12/12	無	輪胎	引	
1129	16701	陶器	縦	細多	J 1. 3	口含部	底	6.5	59 ± 18°傾	中や粗	ZSN7/1	7/12	有	縫隙		
1130	16403	陶器	縦	延長	M 2.6	口含部	底	7.0	173 ± 22°傾	中や粗	ZSN7/1	12/12	有	G7		
1131	22/02	陶器	縦	細多一横段	南下跡北葉	口含部	底	5.6	100 ± 18°傾	中や粗	ZSN7/1	12/12	有?	ND	輪胎不規則	西面一端斜直
1132	13103	陶器	縦	加多	K 1.9	口含部	底	5.8	116 ± 18°傾	粗	ZSN7/1	12/12	有	輪胎	引	
1133	28402	陶器	縦	細多	N 2.7	口含部(回転レベル)	底	6.2	121 ± 18°傾	粗	ZSN7/1	12/12	有	輪胎	引	輪胎1.1
1134	13103	陶器	縦	深美	N 2.6	口含部	底	5.6	136 ± 18°傾	面	NW/1	12/12	有	判明不能		
1135	16504	陶器	縦	細多	1.1.2	口含部	底	7.0	65	中や粗	ZSN7/1	6/12	有	「」		
1136	17905	陶器	縦	細多	M 2.6	口含部	底	—	24	中や粗	ZSN7/1	7/12	有?	—		
1137	16902	陶器	縦	細多一横段	1.1.2	口含部	底	5.4	54 ± 18°傾	中や粗	ZSN7/1	5/12	有	—		
1138	19405	陶器	縦	細多一横段	1.1.3	口含部	底	5.9	60	中や粗	ZSN7/2	10/12	有?	K1		
1139	16302	陶器	縦	年多	N 2.7	口含部	底	6.0	107 ± 18°傾	中や粗	ZSN7/1	12/12	有	J4		
1140	17201	陶器	縦	細多一横段	J 1.3	口含部(上)	底	6.2	99 ± 18°傾	中や粗	NW/1	12/12	有	F4		
1141	16402	陶器	縦	細多一横段	1.1.1	口含部	底	6.8	124 ± 18°傾	粗	ZSN7/1	3/12	有	E6		
1142	17404	陶器	縦	細多	N 2.8	口含部(上部)薄	底	6.3	129 ± 18°傾	中や粗	ZSN7/1	12/12	無	D5		
1143	18004	陶器	縦	細多	N 3.0	口含部(上)	底	6.5	89	中や粗	ZSN7/1	3/12	有?	D3	内側環付有	
1144	15306	陶器	縦	深美	L 1.1	口含部	底	6.2	58	中や粗	108/1	6/12	有	A3		
1145	15706	陶器	縦	深美	1.1.2	口含部(粗)	底	5.9	116	中や粗	ZSN7/1	12/12	有	D4	内側環付有	
1146	13302	陶器	縦	細多	1.3.0	口含部	底	5.9	115 ± 18°傾	中や粗	ZSN7/1	12/12	有	B4		
1147	18504	陶器	縦	細多	N 2.6	口含部(上部)薄	底	6.6	96 ± 18°傾	中や粗	NW/1	12/12	有	B1	内側環付有	
1148	15203	陶器	縦	細多	1.2.8	口含部	底	5.6	51 ± 18°傾	中や粗	ZSN7/1	11/12	有	E16		
1149	15002	陶器	縦	延長	N 2.8	口含部	底	5.9	119 ± 18°傾	中や粗	ZSN7/1	12/12	無	J1		
1150	15202	陶器	縦	延長	K 1.9	口含部	底	6.6	168 ± 18°傾	粗	ZSN7/1	12/12	有	D1		
1151	16205	陶器	縦	細多	N 2.2	口含部	底	5.3	89 ± 18°傾	中や粗	ZSN7/1	12/12	無	E9		
1152	18591	陶器	縦	細多	L 3.1	口含部(上)	底	6.5	87 ± 18°傾	粗	ZSN7/1	7/12	有	E1	内面に墨字付有	
1153	26103	陶器	縦	年多	N 2.6	口含部	底	6.5	131 ± 18°傾	中や粗	ZSN7/1	12/12	有	R2	内面に墨字付有	
1154	15102	陶器	縦	延長	M 2.8	口含部	底	5.2	155	中や粗	NW/1	12/12	有	R2	墨内不規則	
1155	20704	陶器	縦	細多一横段	L 1.9	口含部	底	5.1	124 ± 18°傾	面	ZSN7/1	12/12	有	E2	墨書不規則	
1156	16504	陶器	縦	延長	K 1.9	口含部	底	5.3	109 ± 18°傾	中や粗	ZSN7/1	12/12	有	E2	墨書不規則	
1157	16102	陶器	縦	細多	L 2.8	口含部	底	6.9	76	中や粗	ZSN7/1	3/12	有	R2	墨書不規則	
1158	15002	陶器	縦	深美	L 1.1	口含部	底	6.3	239	中や粗	ZSN7/1	12/12	有	R2	墨書不規則	
1159	18504	陶器	縦	細多一横段	K 1.9	口含部	底	5.4	69 ± 18°傾	中や粗	ZSN7/1	6/12	無	「」		
1160	16302	陶器	縦	細多	N 2.7	口含部	底	6.0	120 ± 18°傾	中や粗	ZSN7/1	12/12	有	E2		
1161	16704	陶器	縦	加多	L 1.9	口含部	底	5.0	86 ± 18°傾	中や粗	ZSN7/1	8/12	有	E13	48-268七事跡記載	
1162	15006	陶器	縦	延長	M 2.8	口含部	底	6.1	63 ± 18°傾	中や粗	58/1	4/12	有	E3		
1163	16104	陶器	縦	深美	L 1.2.8	口含部	底	6.2	108 ± 18°傾	中や粗	NW/1	12/12	有	E3		
1164	16206	陶器	縦	細多一横段	N 2.7	口含部	底	6.3	104 ± 18°傾	中や粗	ZSN7/1	12/12	無	E1		
1165	18003	陶器	縦	細多	N 3.0	口含部(上部)薄	底	5.8	83 ± 18°傾	中や粗	NW/1	12/12	有	E6		
1166	35791	陶器	縦	細多	N 3.1	口含部	底	6.6	128 ± 18°傾	中や粗	ZSN7/1	12/12	有	E6		
1167	39001	陶器	縦	細多	N 3.0	口含部(上部)薄	底	6.0	59 ± 18°傾	中や粗	58/1	6/12	有	E13	内面に墨字付有	
1168	15104	陶器	縦	細多一横段	S 2.5	口含部	底	5.3	63 ± 18°傾	中や粗	58/1	5/12	有	E12		
1169	18704	陶器	縦	延長	O 2.9	口含部(上部)薄	底	5.8	68	中や粗	ZSN7/1	10/12	有?	E10		
1170	15903	陶器	縦	細多	M 2.8	口含部	底	7.0	30	中や粗	ZSN7/1	6/12	有	「」	一部堅厚 高台に腰窓有り	
1171	15004	陶器	縦	延長	S 2.6	口含部	底	6.5	42 ± 18°傾	中や粗	ZSN7/1	6/12	有	—		
1172	12404	陶器	縦	細多	吉 1.8.2	表上	底	7.1	36 ± 18°傾	中や粗	ZSN7/1	4/12	有?	「」		
1173	15902	陶器	縦	細多一横段	K 1.9	口含部	底	6.6	17 ± 18°傾	中や粗	ZSN7/1	5/12	有?	「」		
1174	15304	陶器	縦	延長	K 2.0	口含部	底	6.5	68	中や粗	ZSN7/1	4/12	有	11		
1175	16404	陶器	縦	深美	N 2.6	口含部	底	7.3	32	中や粗	ZSN7/1	4/12	有	「」		
1176	15701	陶器	縦	細多	試Bm.3	底	6.9	57 ± 18°傾	中や粗	5Y7/1	6/12	無	「」			
1177	15601	陶器	縦	延長	1.1.9	口含部	底	5.1	32 ± 18°傾	粗	10Y6/2	6/12	有	「」		
1178	15205	陶器	縦	細多一横段	M 2.8	口含部	底	5.8	36	中や粗	ZSN7/1	5/12	有?	「」		
1179	15005	陶器	縦	細多	1.2.8	口含部	底	7.2	47 ± 18°傾	中や粗	NW/1	6/12	有	—		
1180	15206	陶器	縦	細多一横段	N 2.5	口含部	底	5.2	38 ± 18°傾	中や粗	ZSN7/1	6/12	有	J1		
1181	15004	陶器	縦	細多	N 2.6	口含部	底	6.8	74 ± 18°傾	中や粗	5Y6/1	6/12	有	G1		
1182	14905	陶器	縦	細多	試Bm.3	底	6.8	53	中や粗	ZSN7/1	6/12	有	G1P			
1183	14702	陶器	縦	細多	試Bm.5	底	5.8	38	粗	10Y8/1	5/12	有	「」			
1184	13803	陶器	縦	深美	O 2.9	口含部(上部)	底	6.0	92 ± 18°傾	中や粗	7.5Y7/1	7/12	有	「」	墨書不明瞭	
1185	13701	陶器	縦	細多	試Bm.5	底	5.6	98 ± 18°傾	中や粗	ZSN7/1	5/12	有	G1			
1186	13204	陶器	縦	細多	M 2.6	口含部	底	6.6	61 ± 18°傾	中や粗	ZSN7/1	7/12	有	「」		

第21表 出土土器観察表(20)

番号	古墳	地	所	地	区	遺物・解説	計		調査・提出の特徴	出土	色	調査方法	出雲國立古	地圖	著者	特記事項
							量	(g) 品目								
1187 24203 陶器 國 銀鏡一加多 K 1.4 トレンチ(表土) 細 7.2 49.1 378 やや赤 2/27/1 5/12 有 「」																
1188 15709 陶器 國 L 1.2 金合眼(銀鏡) 細 6.7 27 0.0377 → 黄褐色 やや赤 10/26/1 1/12 「」																
1189 21705 陶器 國 加多 O 2.9 東内(トレンチ) 細 5.6 14 0.0377 → 黄褐色 やや赤 7/27/1 2/12 有 「」																
1190 35002 陶器 石 1.1 棒頭 L 2.9 台合唇 26.6 — やや赤 2/26/1 1/12 有 「」																
1191 25601 陶器 石 1.2 棒頭 L 2.9 台合唇 25.4 — やや赤 2/26/1 1/12 有 「」																
1192 32502 陶器 石 1.1 棒頭 加多 表土除去土 31.1 — やや赤 2/27/1 2/12 有 「」																
1193 28402 陶器 石 1.2 棒頭 棒頭 K 2.8 台合唇 36.6 — やや赤 10/26/1 2/12 4/12 内面磨耗																
1194 32501 陶器 石 1.1 棒頭 加多 一銀鏡 N 2.6 台合唇 21.7 — 中中灰 2/27/1 3/12 3/12 ?																
1195 35102 陶器 石 1.1 棒頭 加多 試掘N 5 26.8 — 相 2/26/1 2/12 3/12 有																
1196 35003 陶器 石 1.1 棒頭 加多 試掘N 5 細 15.8 — 相 2/26/1 5/12 無																
1197 35101 陶器 石 1.1 棒頭 加多 試掘N 5 細 12.1 — 相 2/27/1 2/12 有																
1198 34706 陶器 石 1.1 棒頭 加多 試掘N 5 — — 相 2/26/1 2/12 有 通鑑小説																
1199 28702 陶器 石 1.1 棒頭 棒頭 L 1.0 台合唇 36.8 — 1.7 → 黄褐色 中中灰 2/26/1 1/12 3/12 内面・表面研磨																
1200 26001 陶器 石 1.1 棒頭 棒頭 M 3.1 台合唇 35.0 — 0.0377 → 黄褐色 中中灰 7.0000/6 3/12 9/12 内面磨耗らしい																
1201 33101 陶器 石 1.1 棒頭 棒頭 L 1.0 トレンチ 32.0 — 1.7 → 黄褐色 → 黄褐色 中中灰 2/26/1 4/12 内面磨耗																
1202 26001 陶器 石 1.1 棒頭 表土除去土 台合唇 29.2 — 1.7 → 黄褐色 中中灰 10/26/1 3/12 3/12 内面磨耗らしい																
1203 27404 陶器 石 1.1 棒頭 表土除去土 表土 1.7 → 黄褐色 → 黄褐色 中中灰 2/26/1 1/12 3/12 通鑑小説																
1204 27403 陶器 石 1.1 棒頭 表土除去土 表土 16.2 — 0.0377 → 黄褐色 中中灰 10/26/1 3/12 3/12																
1205 27106 陶器 石 1.1 棒頭 表土除去土 8.3 — — 中中灰 2/26/1 2/12 3/12																
1206 27204 陶器 石 1.1 棒頭 表土除去土 12.1 — 中中灰 中中灰 2/27/1 3/12 3/12																
1207 33204 陶器 石 1.1 棒頭 東内(トレンチ) 12.5 — 中中灰 中中灰 2/26/1 3/12 6/12																
1208 06002 陶器 石 1.1 表土除去土 (粘土質的) 12.9 — 中中灰 中中灰 2/26/1 8/12 9/12 内面にトキン痕																
1209 45303 陶器 石 1.1 棒頭 東内(トレンチ) K 1.2 13.2 — やや赤 中中灰 2/26/1 2/12 5/12																
1210 27001 陶器 石 1.1 棒頭 東内(トレンチ) K 1.4 13.7 — やや赤 中中灰 2/26/1 2/12 8/12																
1211 27302 陶器 石 1.1 棒頭 東内(トレンチ) L 1.2 13.5 — やや赤 中中灰 2/26/1 3/12 6/12																
1212 16405 陶器 石 1.1 棒頭 表土除去土 13.2 109 中中灰 中中灰 2/26/1 1/12 7/12 Ki																
1213 33205 陶器 石 1.1 棒頭 表土除去土 12.1 — やや赤 中中灰 1/12 1/12																
1214 06003 陶器 石 1.1 棒頭 東内(トレンチ) 11.9 13.9 粘土手刀 直 中中灰 2/26/1 11/12 32/12 無成木質																
1215 16403 陶器 石 1.1 棒頭 L 1.0 台合唇 細 7.0 34 中中灰 中中灰 2/26/1 4/12 Ki																
1216 27502 陶器 石 1.1 棒頭 志野 L 9 表土除去土 11.6 — やや赤 中中灰 10/26/1 2/12 12/12																
1217 27201 陶器 石 1.1 棒頭 志野 1.9 台合唇 10.8 — やや赤 中中灰 10/26/1 3/12 6/12																
1218 34506 陶器 石 1.1 棒頭 東内(トレンチ) N 3.1 11.0 — やや赤 中中灰 7.0000/1 1/12 4/12																
1219 27202 陶器 石 1.1 棒頭 志野 1.9 台合唇 11.4 — やや赤 中中灰 2/26/1 4/12 3/12																
1220 33206 陶器 石 1.1 棒頭 東内(トレンチ) K 1.4 11.6 — やや赤 中中灰 2/26/1 1/12 3/12																
1221 27203 陶器 石 1.1 棒頭 東内(トレンチ) L 1.0 10.7 — やや赤 中中灰 2/26/1 5/12 5/12																
1222 27501 陶器 石 1.1 棒頭 東内(トレンチ) L 8 東北隅台合唇 13.0 — 重 直 中中灰 2/26/1 2/12 3/12 Ki																
1223 06002 陶器 石 1.1 棒頭 K 3.0 台合唇 13.2 — 直 中中灰 2/26/1 2/12 3/12																
1224 27503 陶器 石 1.1 棒頭 K 1.4 台合唇? 13.8 — 中中灰 直 2/26/1 2/12 10/12																
1225 27104 陶器 石 1.1 棒頭 L 1.6 台合唇 15.4 — やや赤 直 10/26/1 6/12 12/12																
1226 27101 陶器 石 1.1 棒頭 南土苔 11.0 — やや赤 直 10/26/1 2/12 12/12																
1227 06001 陶器 石 1.1 棒頭 L 9 表土 11.5 — 中中灰 直 10/26/1 9/12 12/12																
1228 27103 陶器 石 1.1 棒頭 K 3.0 表土除去土 11.4 — やや赤 直 10/26/1 4/12 12/12																
1229 27102 陶器 石 1.1 棒頭 L 9 台合唇 11.0 — やや赤 直 10/26/1 3/12 12/12																
1230 34601 陶器 石 1.1 棒頭 東内(トレンチ) 細 4.4 — やや赤 直 10/26/1 12/12																
1231 27107 陶器 石 1.1 表土除去土 14.4 — 0.0377 → 黄褐色 中中灰 1.7 → 黄褐色 0.0377 → 黄褐色 中中灰 6/12 6/12 特殊埋入																
1232 27203 陶器 石 1.1 表土除去土 10.8 — 出 粘土手刀 直 2/26/1 3/12 内面有苔斑																
1233 33208 陶器 石 1.1 棒頭 K 1.2 西側底(トレンチ) 16.1 — 0.0377 → 黄褐色 中中灰 2/26/1 2/12																
1234 33306 陶器 石 1.1 表土除去土 9.8 — 0.0377 → 黄褐色 出 2/27/1 1/12																
1235 27601 陶器 石 1.1 棒頭 L 9 表土除去土 25.0 — 0.0377 → 黄褐色 中中灰 10/26/1 1/12 2/12																
1236 33302 陶器 石 1.1 棒頭 K 2.2 有内トレンチ 5.0 — 0.0377 → 黄褐色 中中灰 10/26/1 8/12																
1237 33207 陶器 石 1.1 表土除去土 16.6 — 0.0377 → 黄褐色 中中灰 2/27/1 3/12																
1238 27205 陶器 石 1.1 表土除去土 6.2 — 0.0377 → 黄褐色 中中灰 2/27/1 3/12																
1239 27206 陶器 石 1.1 表土除去土 14.9 — 0.0377 → 黄褐色 中中灰 2/27/1 2/12																
1240 27401 陶器 石 1.1 表土除去土 13.4 — 0.0377 → 黄褐色 中中灰 2/27/1 2/12																
1241 33002 上加藤 級 南砂利 L 1.1 台合唇 35.8 — 相 5/00/6 2/12																
1242 33001 上加藤 級 南砂利 L 1.1 台合唇 38.2 — やや赤 7.5000/6 3/12																
1243 26001 上加藤 級 南砂利 M 2.6 台合唇 25.0 — やや赤 10/26/4 5/12																
1244 33002 上加藤 級 南砂利 K 1.4 トレンチ(表土) 21.5 — やや赤 7.5000/6 1/12																
1245 26001 上加藤 級 南砂利 K 6 台合唇 15.3 — やや赤 10/26/3 3/12 特殊埋入																

第22表 出土土器観察表(21)

測定番号	測定項目	測定方法	測定地・系統	地区	遺跡・層位	工具類		調整・校正の特徴	計数	色調	工具類有無	底部残存度	使用状況	被着	記述事項
						実	目	(cm)	重量(g)						
1246	25693	上耕器	實	南伊勢	K 1.9	台形鋸	28.2	—	粗	7.5NNR/6	3/12				外周環付省
1247	30101	十脚鋸	目	南伊勢	L 1.1	台形鋸n17	29.0	—	やや粗	5NNR/6	3/12				外山形付省 粗木手彌
1248	25694	上耕器	實	南伊勢	L 1.1	台形鋸	27.3	—	やや粗	10NNR/3	3/12				外山形付省
1249	29702	十脚鋸	目	南伊勢	L 2.0	台形鋸	29.9	—	やや粗	10NNR/3	2/12				外山形付省
1250	28831	上耕器	實	南伊勢	L 1.1	台形鋸	30.3	—	粗	10NNR/3	3/12				外周環付省
1251	25001	上耕器	目	南伊勢	表 L 1.0	台形鋸	33.1	—	粗	7.5NNR/6	3/12				外山形付省
1252	25694	十脚鋸	實	南伊勢	K 6	台形鋸	32.1	—	粗	10NNR/3	3/12				外山形付省
1253	25002	十脚鋸	目	南伊勢	L 2	台形鋸	28.4	—	粗	10NNR/4	7/12				外山形付省 粗木手彌
1254	25692	上耕器	實	南伊勢	K 5	台形鋸	32.3	—	粗	5NNR/6	2/12				外周環付省
1255	25802	上耕器	目	南伊勢	K 6	台形鋸	28.9	—	粗	7.5NNR/3	2/12				外周環付省
1256	30102	上耕器	實	南伊勢	K 5	台形鋸	30.2	—	やや粗	10NNR/4	2/12				外周環付省
1257	25901	上耕器	目	南伊勢	L 1.6	台形鋸	32.3	—	粗	7.5NNR/2	2/12				外周環付省 粗木手彌
1258	25703	上耕器	實	南伊勢	L 1.1	台形鋸	25.3	—	やや粗	10NNR/1	3/12				外山形付省 粗木手彌
1259	25903	十脚鋸	目	南伊勢	K 6	台形鋸	23.3	—	粗	7.5NNR/6	1/12				外周環付省 粗木手彌
1260	34639	上耕器	實	南伊勢	試驗n13	台形鋸	28.2	—	やや粗	10NNR/4	1/12				外周環付省 粗木手彌
1261	30701	上耕器	目	南伊勢	L 1.6	台形鋸	23.2	—	やや粗	10NNR/3	4/12				
1262	30001	上耕器	實	南伊勢	L 7	台形鋸	23.1	—	粗	10NNR/1	5/12				外周環付省
1263	32001	上耕器	目	南伊勢	K 9	台形鋸	14.8	—	やや粗	10NNR/3	1/12				上耕器付省
1264	24941	上耕器	實	南伊勢	K 6	台形鋸	14.1	—	粗	10NNR/4	12/12				外山形付省 粗木手彌
1265	30201	上耕器	目	南伊勢	L 7	台形鋸	13.4	—	やや粗	10NNR/4	14/12				
1266	13902	上耕器	實	小北勢	K 2.0	台形鋸	16.0	—	粗	10NNR/2	6/12				外周環付省
1267	14002	上耕器	目	南伊勢	表 L 1.0	台形鋸	26.9	—	粗	2.5NNR/2	2/12				外周環付省 大型
1268	30002	上耕器	實	小北勢	K 1.9	台形鋸	23.1	—	やや粗	10NNR/3	1/12				外周環付省
1269	14003	上耕器	目	南伊勢	K 5	台形鋸	22.6	—	粗	10NNR/3	6/12				外周環付省 粗木手彌
1270	31902	上耕器	實	中北勢	試驗n1	台形鋸	24.4	—	粗	5NNR/6	1/12				外周環付省
1271	30702	上耕器	目	中北勢	L 1.2	台形鋸	24.4	—	やや粗	5NNR/6	3/12				
1272	33601	上耕器	實	中北勢	K 1.9	台形鋸	27.0	—	粗	7.5NNR/1	4/12				外周環付省
1273	30703	上耕器	目	中北勢	K 1.1	台形鋸	22.6	—	やや粗	10NNR/2	4/12				外周環付省
1274	14101	上耕器	實	中北勢	L 1.1	台形鋸	24.4	—	粗	10NNR/3	3/12				外周環付省
1275	25902	上耕器	目	小北勢	L 1.6	台形鋸	26.2	—	やや粗	7.5NNR/4	3/12				外周環付省 粗木手彌
1276	30002	上耕器	實	小北勢	L 1.2	台形鋸	—	—	やや粗	7.5NNR/6	把持小柄				外周環付省
1277	30804	上耕器	目	小北勢	L 1.8	台形鋸	20.0	—	やや粗	7.5NNR/6	把持小柄				外周環付省
1278	25801	瓦質土器	目	大和	南 L 北底塗	台形鋸	25.1	—	やや粗	10NNR/2	3/12				瓦質
1279	20102	瓦質土器	實	人和?	K 2.0	台形鋸	26.6	—	粗	3NNR/1	2/12				瓦質付省
1280	30001	上耕器	目	南	K 5	台形鋸	20.0	—	粗	10NNR/2	4/12				瓦質付省 瓦質底塗
1281	27405	陶器	目	南	L 1.1	台形鋸	8.7	—	—	—	—				
1282	26803	瓦質土器	目	人和	N 2.1	台形鋸	—	—	—	—	—				
1283	25404	陶器	目	人和	M 2.9	台形鋸	17.7	—	—	—	—				
1284	28702	陶器	目	南	L 2.9	台形鋸	23.9	—	—	—	—				
1285	35001	陶器	目	南	試驗n5	台形鋸	21.9	—	—	粗	2.5NNR/2	2/12			
1286	25801	陶器	目	南	M 3.0	台形鋸	19.2	—	—	粗	10NNR/2	4/12			
1287	25204	陶器	目	南	M 2.8	台形鋸	36.4	—	—	粗	10NNR/3	2/12			
1288	25202	陶器	目	南	L 1.2	台形鋸	36.0	—	—	粗	10NNR/1	3/12			
1289	28801	陶器	目	南	K 1	直上	33.8	—	—	粗	10NNR/3	1/12			
1290	26101	陶器	目	南	L 2.7	台形鋸	18.3	—	—	粗	7.5NNR/6	全16/3			
1291	28602	瓦質土器	目	人和?	K 5	直上	—	—	—	粗	7.5NNR/6	1/12			
1292	26801	瓦質土器	目	人和	O 2.7	台形鋸	—	—	—	粗	7.5NNR/1	1/12			
1293	25803	瓦質土器	目	人和	N 2.8	台形鋸	—	—	—	粗	2.5NNR/1	1/12			
1294	28801	瓦質土器	目	人和	M 2.5	台形鋸	31.8	—	—	粗	2.5NNR/1	1/12			
1295	00901	瓦質土器	目	人和	K 6.1~1.7	台形鋸	15.8	—	—	粗	2.5NNR/1	1/12			
1296	31903	陶器	目	南	L 1.1	台形鋸	25.7	—	—	粗	5NNR/6	1/12			
1297	32204	陶器	目	南	南 L 2.8	台形鋸	20.0	—	—	粗	5NNR/6	2/12			
1298	31101	陶器	目	南	M 2.9	台形鋸	16.4	—	—	粗	2.5NNR/4	2/12			
1299	31101	陶器	目	南	M 2.6	台形鋸	20.5	—	—	粗	2.5NNR/8	3/12			
1300	31102	陶器	目	南	L 9	台形鋸	20.8	—	—	粗	2.5NNR/6	5/12			
1301	31401	陶器	目	南	M 2.6	台形鋸	15.9	—	—	粗	5NNR/6	3/12			
1302	31402	陶器	目	南	K 9	台形鋸	20.9	—	—	粗	2.5NNR/4	3/12			
1303	31101	陶器	目	南	L 3.0	台形鋸	22.1	—	—	粗	10NNR/6	1/12			
1304	31203	陶器	目	南	L 3.1	台形鋸	20.9	—	—	粗	2.5NNR/5	2/12			

第23表 出土土器觀察表 (22)

番号	古文書名	種類	形状	地	通説・類似	計量		測定・柱法の特徴	祐子	色調	打削痕存否	底部焼痕	使用歴	筆者	特記事項		
						長	幅										
1301	31802	陶器	瓦	高須	高須	1.8	土	21.8	-	赤褐色	1985/6	2/12	-	-	脚注		
1302	31203	土師器	瓦	高須	高須	1.9 - 1.10	包合層	21.7	-	赤褐色	1985/6	2/12	-	-	内面擦付着 内外面擦付着 内外面擦付着 内外面擦付着 内外面擦付着		
1303	31203	陶器	瓦	高須	高須	K 1.9	包合層	18.8	-	赤褐色	1985/6	2/12	-	-	内外面擦付着 内外面擦付着 内外面擦付着 内外面擦付着 内外面擦付着		
1304	31105	陶器	瓦	高須	高須	K 1.1	土	16.9	-	赤褐色	1985/4	5/12	-	-	内外面擦付着 内外面擦付着 内外面擦付着 内外面擦付着 内外面擦付着		
1305	29005	瓦	瓦	新丸瓦	新丸瓦	K 2.8	包合層	-	-	赤褐色	1977/1	瓦当部7/12	-	-	内外面擦付着 内外面擦付着 内外面擦付着 内外面擦付着 内外面擦付着		
1306	29002	瓦	瓦	平瓦	平瓦	L 2.3	包合層	-	-	赤褐色	1977/3	小部分	-	-	内外面擦付着 内外面擦付着 内外面擦付着 内外面擦付着 内外面擦付着		
1311	25801	陶器	円筒形工具	南北手北塗	カクラン	M 0.6	47	赤褐色	1977/1	-	-	12/12	-	-	脚注	有欠き後端を加工	
1312	25704	灰陶器	円筒形工具	L 2.0	窓	M 0.8	164	赤褐色	1977/1	-	12/12	-	-	脚注	有欠き後端を加工		
1313	25705	陶器	円筒形工具	窓	L 2.0	包合層	M 0.8	162	赤褐色	1977/1	-	12/12	-	-	脚注	有欠き後端を加工	
1314	25701	陶器	円筒形工具	窓	M 2.8	包合層	M 0.7	166	赤褐色	1977/1	-	12/12	-	-	脚注	内面と表面外側面 有欠き一端端を加工	
1315	25703	陶器	円筒形工具	窓	M 2.8	包合層	M 0.5	96	赤褐色	1977/1	-	12/12	-	-	脚注	有欠き後端を加工	
1316	25702	陶器	円筒形工具	窓	L 1.7	包合層	M 0.8	167	赤褐色	1977/1	-	12/12	-	-	脚注	有欠き	
1317	25801	陶器	円筒形工具	窓	K 1.3	包合層	M 0.7	56	赤褐色	1977/1	-	12/12	-	-	脚注	有欠き	
1318	25802	陶器	円筒形工具	窓	M 3.0	包合層 (下)	M 0.7	63	赤褐色	1977/1	-	12/12	-	-	脚注	有欠き後端を加工 表面に凹凸	
1319	25706	陶器	円筒形工具	窓	K 2.0	包合層	M 0.7	85	赤褐色	1977/1	-	12/12	-	-	脚注	有欠き	
1320	25804	陶器	円筒形工具	窓	K 1.2	包合層	M 0.8	35	赤褐色	1977/1	-	12/12	-	-	脚注	有欠き	
1321	25805	陶器	円筒形工具	窓	L 1.1	包合層	M 0.7	80	赤褐色	1977/1	-	12/12	-	-	脚注	有欠き	
1322	25707	陶器	円筒形工具	窓	L 1.9	包合層	M 0.4	-	赤褐色	1977/1	-	12/12	-	-	脚注	有欠き	
1323	25806	陶器	円筒形工具	窓	K 5	包合層	M 0.5	27	赤褐色	1977/1	-	12/12	-	-	脚注	有欠き	
1324	25807	陶器	円筒形工具	窓	K 9	包合層	M 0.6	36	赤褐色	1977/1	-	12/12	-	-	脚注	有欠き	
1325	25802	陶器	円筒形工具	窓	K 2.1	包合層	M 0.5	26	赤褐色	1977/1	-	12/12	-	-	脚注	有欠き	
1326	25803	陶器	円筒形工具	窓	L 1.3	包合層	M 0.5	29	赤褐色	1977/1	-	12/12	-	-	脚注	有欠き	
1327	25807	陶器	円筒形工具	窓	L 3.1	包合層	M 0.5	26	赤褐色	1977/1	-	12/12	-	-	脚注	有欠き	
1328	25808	陶器	円筒形工具	窓	L 3.1	包合層	M 0.4	33	赤褐色	1977/1	-	12/12	-	-	脚注	有欠き	
1329	25801	陶器	円筒形工具	窓	L 1.9	包合層	M 0.6	49	赤褐色	1977/1	-	12/12	-	-	脚注	有欠き	
1330	25805	陶器	円筒形工具	窓	L 3.0	包合層	M 0.5	43	赤褐色	1977/1	-	12/12	-	-	脚注	有欠き	
1331	25802	陶器	円筒形工具	窓	L 1.2	包合層	M 0.7	16	赤褐色	1977/1	赤7/12	12/12	-	-	脚注	有欠き	
1332	25808	陶器	円筒形工具	窓	L 1.3	包合層	M 0.4	32	赤褐色	1977/1	赤7/12	12/12	-	-	脚注	有欠き	
1333	25806	陶器	円筒形工具	窓	直口素表裏	M 0.7	9	-	赤褐色	1977/1	赤7/12	12/12	-	-	脚注	有欠き	
1334	25808	陶器	円筒形工具	窓	L 1.4	直口素表裏	M 0.9	27	赤褐色	1977/1	赤7/12	12/12	-	-	脚注	有欠き	
1335	10608	陶器	瓦丸	南北手北塗	カクラン	M 2.4	13.2	44	赤褐色	1977/1	完存	-	-	-	-	脚注	有欠き
1336	10606	土師器	土鉢	N 2.7	包合層	M 2.4	26.8	44	赤褐色	1978/1	ほぼ完存	-	-	-	-	脚注	有欠き
1337	10603	土師器	土鉢	M 2.9	包合層	M 2.4	27.2	44	赤褐色	1978/2	ほぼ完存	-	-	-	-	脚注	有欠き
1338	10602	土師器	土鉢	M 2.9	包合層	M 2.1	26.4	44	赤褐色	1978/2	完存	-	-	-	-	脚注	有欠き
1339	10601	土師器	土鉢	M 3.0	包合層 (下)	M 1.4	6.0	44	赤褐色	2.27/1	ほぼ完存	-	-	-	-	脚注	有欠き
1340	10605	土師器	土鉢	M 3.1	包合層 (上) (周)	M 2.0	12.8	44	赤褐色	1978/1	完存	-	-	-	-	脚注	有欠き
1341	33209	土師器	土鉢	M 1.4	西側出目 (レンゲ)	M 1.0	3.0	44	赤褐色	7.5/1	完存	-	-	-	-	脚注	有欠き
1342	04101	鉢類	月	直径6.5	-	直径2.1	3.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1343	10603	鉢類	高須	K 1.2	包合層	M 1.2	9.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1344	10604	鉢類	-	K 6	包合層	M 2.5	6.0	53.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1345	10601	鉢類	高須	高須	高須	M 2.5	4.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第24表 出土土器観察表 (23)

番号	表面番号	種別	名 称	地 区	遺構・部位	取上番号	計 測 値			本 収 納	特記事項
							長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)		
1362	00101	井戸鉢	板材(側面)	L.1.9	S.E.8	外例1	(25.9)	9.3	1.2	板目	直面工具
1363	00102	井戸鉢	板材(側面)	L.1.9	S.E.8	外例2	(21.9)	9.7	1.2	板目	直面工具 月こぼれ痕
1354	00103	井戸鉢	板材(側面)	L.1.9	S.E.8	外例3	(36.0)	9.7	0.8	板目	直面工具 刃こぼれ痕
1365	00201	井戸鉢	板材(側面)	L.1.9	S.E.8	外例4	(38.1)	9.1	1.3	板目	直面工具 刃こぼれ痕
1356	00222	井戸鉢	板材(側面)	L.1.9	S.E.8	外例5	(38.4)	10.3	0.8	板目	直面工具
1367	00302	井戸鉢	板材(側面)	L.1.9	S.E.8	外例6	(55.0)	9.3	1.3	板目	直面工具
1368	02762	井戸鉢	角材(井桁)	L.1.9	S.E.8		29.5	7.1	6.1	断材削り出し	東側
1369	02701	井戸鉢	角材(井桁)	L.1.9	S.E.8		79.3	6.0	5.7	断材削り出し	南側
1370	01301	井戸鉢	板材(側面)	L.1.9	S.E.8	内例1	(24.8)	9.5	1.2	板目	直面工具 井桁あたり痕
1371	01302	井戸鉢	板材(側面)	L.1.9	S.E.8	内例2	(28.7)	9.6	1.3	板目	直面工具 月こぼれ痕 井桁あたり痕
1372	01303	井戸鉢	板材(側面)	L.1.9	S.E.8	内例3	(31.9)	9.5	1.2	板目	直面工具 井桁あたり痕
1373	01401	井戸鉢	板材(側面)	L.1.9	S.E.8	内例4	(36.9)	10.5	1.2	板目	直面工具 月こぼれ痕 井桁あたり痕
1374	01402	井戸鉢	板材(側面)	L.1.9	S.E.8	内例5	(37.0)	9.7	1.3	板目	直面工具 井桁あたり痕
1375	01403	井戸鉢	板材(側面)	L.1.9	S.E.8	内例6	(38.9)	10.9	1.3	板目	直面工具 井桁あたり痕
1376	01501	井戸鉢	板材(側面)	L.1.9	S.E.8	内例7	(46.5)	9.7	1.2	板目	直面工具 月こぼれ痕
1377	02602	井戸鉢	角材(井桁)	L.1.9	S.E.8		79.6	7.0	6.1	断材削り出し	西側
1378	02603	井戸鉢	角材(井桁)	L.1.9	S.E.8		79.7	7.1	5.9	断材削り出し	北側
1379	00301	井戸鉢	板材(側面)	L.1.9	S.E.8	外例7	(57.3)	10.3	1.3	板目	直面工具 月こぼれ痕
1380	00401	井戸鉢	板材(側面)	L.1.9	S.E.8	外例8	(66.0)	9.7	1.3	板目	直面工具 月こぼれ痕
1381	00501	井戸鉢	板材(側面)	L.1.9	S.E.8	外例9	(41.4)	8.6	1.2	板目	直面工具 月こぼれ痕
1382	00502	井戸鉢	板材(側面)	L.1.9	S.E.8	外例10	(54.0)	9.3	1.3	板目	直面工具
1383	00601	井戸鉢	板材(側面)	L.1.9	S.E.8	外例11	(45.5)	11.0	1.1	板目	井桁あたり痕
1384	00602	井戸鉢	板材(側面)	L.1.9	S.E.8	内例2	(43.2)	10.5	1.2	板目	曲面工具
1385	00701	井戸鉢	板材(側面)	L.1.9	S.E.8	外例13	(44.5)	9.1	1.2	板目	直面工具 月こぼれ痕
1386	01502	井戸鉢	板材(側面)	L.1.9	S.E.8	内例8	(55.1)	11.9	1.1	板目	直面工具
1387	01601	井戸鉢	板材(側面)	L.1.9	S.E.8	内例9	(48.7)	10.0	1.3	板目	直面工具 月こぼれ痕 井桁あたり痕
1388	01602	井戸鉢	板材(側面)	L.1.9	S.E.8	内例10	(48.0)	10.2	1.2	板目	直面工具 井桁あたり痕
1389	01701	井戸鉢	板材(側面)	L.1.9	S.E.8	内例11	(48.7)	9.7	1.3	板目	直面工具 井桁あたり痕
1390	01702	井戸鉢	板材(側面)	L.1.9	S.E.8	内例12	(50.3)	9.7	1.4	板目	直面工具 井桁あたり痕
1391	01801	井戸鉢	板材(側面)	L.1.9	S.E.8	内例13	(48.8)	10.7	1.4	板目	直面工具 井桁あたり痕
1392	01802	井戸鉢	板材(側面)	L.1.9	S.E.8	内例14	(45.5)	10.5	1.3	板目	直面工具 井桁あたり痕
1393	02501	井戸鉢	角材(側面)	L.1.9	S.E.8		(32.8)	5.9	4.1	断材削り出し	
1394	02503	井戸鉢	角材(側面)	L.1.9	S.E.8		(23.9)	4.6	2.8	断材削り出し	
1395	01901	井戸鉢	板材(側面)	L.1.9	S.E.8	内例15	(40.6)	10.1	1.0	板目	曲面工具
1396	00902	井戸鉢	板材(側面)	L.1.9	S.E.8	外例14	(57.1)	10.1	1.2	板目	直面工具 月こぼれ痕
1397	00601	井戸鉢	板材(側面)	L.1.9	S.E.8	外例16	(45.2)	10.5	1.4	板目	直面工具
1398	00802	井戸鉢	板材(側面)	L.1.9	S.E.8	外例16	(47.9)	9.4	1.1	板目	直面工具 月こぼれ痕
1399	00901	井戸鉢	板材(側面)	L.1.9	S.E.8	外例17	(37.1)	9.7	1.2	板目	直面工具
1400	00902	井戸鉢	板材(側面)	L.1.9	S.E.8	外例18・19	(41.8)	10.1	1.2	板目	直面工具 刃こぼれ痕
1401	01601	井戸鉢	板材(側面)	L.1.9	S.E.8	外例20	(39.3)	10.1	1.3	板目	直面工具 刃こぼれ痕 1402の内面と接合?
1402	01602	井戸鉢	板材(側面)	L.1.9	S.E.8	外例21	(33.2)	9.9	1.4	板目	直面工具 刃こぼれ痕 1401の外曲と接合?
1403	01902	井戸鉢	板材(側面)	L.1.9	S.E.8	内例16	(45.5)	10.6	1.3	板目	直面工具 刃こぼれ痕
1404	01903	井戸鉢	板材(側面)	L.1.9	S.E.8	内例17	(41.0)	10.2	1.1	板目	直面工具 井桁あたり痕
1405	02001	井戸鉢	板材(側面)	L.1.9	S.E.8	内例18	(48.9)	9.7	1.1	板目	井桁あたり痕
1406	02002	井戸鉢	板材(側面)	L.1.9	S.E.8	内例19	(42.6)	9.9	1.3	板目	刃こぼれ痕 井桁あたり痕
1407	02101	井戸鉢	板材(側面)	L.1.9	S.E.8	内例20	(45.8)	10.1	1.2	板目	井桁あたり痕
1408	02102	井戸鉢	板材(側面)	L.1.9	S.E.8	内例21	(34.7)	9.7	1.2	板目	刃こぼれ痕 井桁あたり痕
1409	02101	井戸鉢	板材(側面)	L.1.9	S.E.8	内例22	(36.3)	9.8	1.0	板目	井桁あたり痕
1410	02201	井戸鉢	板材(側面)	L.1.9	S.E.8	内例23	(35.9)	9.9	1.1	板目	曲面工具 井桁あたり痕
1411	02202	井戸鉢	角材(補助材)	L.1.9	S.E.8		(31.3)	5.4	1.2	断材削り出し	
1412	02304	井戸鉢	角材(補助材)	L.1.9	S.E.8		(19.3)	5.6	4.5	断材削り出し	井桁あたり痕
1413	01101	井戸鉢	板材(側面)	L.1.9	S.E.8	外例23	(33.8)	9.6	1.3	板目	直面工具
1414	01102	井戸鉢	板材(側面)	L.1.9	S.E.8	外例24	(32.5)	9.8	1.6	板目	直面工具
1415	01103	井戸鉢	板材(側面)	L.1.9	S.E.8	外例25	(27.0)	10.0	0.9	板目	直面工具?
1416	01201	井戸鉢	板材(側面)	L.1.9	S.E.8	外例26	(25.3)	9.6	1.0	板目	直面工具
1417	01202	井戸鉢	板材(側面)	L.1.9	S.E.8	外例27	(25.2)	9.7	1.1	板目	
1418	02202	井戸鉢	板材(側面)	L.1.9	S.E.8	内例24	(38.6)	9.7	1.2	板目	
1419	02203	井戸鉢	板材(側面)	L.1.9	S.E.8	内例25	(39.3)	9.2	1.1	板目	井桁あたり痕
1420	02301	井戸鉢	板材(側面)	L.1.9	S.E.8	内例26	(31.1)	10.0	1.3	板目	井桁あたり痕
1421	02302	井戸鉢	板材(側面)	L.1.9	S.E.8	内例27	(32.3)	9.0	1.1	板目	刃こぼれ痕 井桁あたり痕

第25表 出土木器観察表 (1)

器 番 号	支 番 号	種 別	名 称	地 区	遺 構・層 位	取 上げ番 号	計 面 積			特 記 事 項
							長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	
1422	02303	井戸棒	板材(側枠)	L 1.9	S E 8	内側28	(16.7)	9.3	1.4	板目
1423	02304	井戸棒	板材(側枠)	L 1.9	S E 8	内側29	(25.0)	9.9	1.3	板目
1424	02305	曲物		L 1.9	S E 8		(6.4)	(5.9)	0.5	板目
1425	02302	曲物		L 1.9	S E 8		(37.8)	8.5	0.5	漆糊目 板として計測
1426	02303	曲物		L 1.9	S E 8		(65.0)	(13.0)	0.6	漆糊目 板として計測
1427	02304	曲物		L 1.9	S E 8		(18.3)	5.0	0.3	漆糊目 板として計測
1428	02303	舟部	漆糊		S E 8					黒漆の上に赤漆で文様
1429	02301	不明		L 1.9	S E 8		29.3	3.0	3.1	断材削り出し
1430	02302	舟部	漆糊	L 1.9	S E 8		29.4	(14.3)	0.9	断材 組合せ 斧物痕
1431	03001	板材(側枠)?			S E 9	井戸穴(内明火)	(40.0)	(6.5)	1.0	板目
1432	03003	板材(側枠)?			S E 9	No.3	(52.5)	(6.2)	1.5	板目
1433	03001	井戸棒	板材(側枠)		S E 9	No.1	(81.7)	(14.0)	2.5	板目
1434	03002	井戸棒	板材(側枠)		S E 9	No.2	(46.6)	11.8	2.1	板目
1435	03307	杭	丸杭	L 1.1		落ち込み	杭列No.16	(24.3)	えさ 3.6	丸太材
1436	03304	杭	丸杭	L 1.1		落ち込み	杭列No.12	(26.9)	えさ 5.2	丸太材
1437	03305	杭	丸杭	L 1.2		落ち込み	杭列No.8	(33.7)	えさ 9.1	丸太材
1438	03202	杭	丸杭	L 1.1・1.2		落ち込み	杭20	(82.5)	えさ 6.5	丸太材 樹皮残
1439	03203	杭	丸杭	L 1.1・1.2		落ち込み	杭21	(85.6)	えさ 5.5	丸太材 樹皮残
1440	03301	杭	丸杭	L 1.2		落ち込み	杭列No.10	(82.1)	えさ 8.4	丸太材 樹皮残
1441	03201	杭	丸杭	L 1.1・1.2		落ち込み	杭17	(86.2)	えさ 6.1	丸太材
1442	03302	杭	丸杭	L 1.1		落ち込み	杭列No.7	(58.7)	えさ 8.0	丸太材
1443	03204	杭	丸杭	L 1.1・1.2		落ち込み	杭18	(58.1)	えさ 4.7	丸太材 樹皮残
1444	03303	杭	丸杭	L 1.1		落ち込み	杭列No.13	(47.6)	えさ 5.4	丸太材
1445	03306	杭	丸杭	L 1.2		落ち込み	杭列No.9	(37.7)	えさ 5.9	丸太材
1446	03401	板材		L 1.9		落ち込み		(26.7)	(10.3)	1.1 板目
1447	03402	板材		L 2.0		落ち込み		(13.1)	4.2	0.8 板目 刃物痕有
1448	03403	不明		L 1.9		落ち込み		(11.3)	0.8	1.0 通筋目 條け有
1449	03702	筋輪具	竹	南半部南端	G層		(30.2)	3.1	1.7	通筋目
1450	03902	不明		南半部南端	南壁		(16.5)	3.9	1.2 板目 刃物痕有	
1451	03903	建築部材	木半構造材		南壁		(42.8)	5.0	2.4 板目 刃物痕有	
1452	03703	不明		南半部南端	C7期		(13.4)	えさ 0.7	断材削り出し 條け有	
1453	03901	不明		南半部南端	南壁		(24.5)	えさ 1.3	断材削り出し 條け有	
1454	03701	建築部材	木半構造材?	南半部南端	6層		(51.1)	4.0	4.8 断材削り出し	
1455	03801	容器	曲物	N 3.1			36.0	(22.7)	2.0	板目 木釘結合

第26表 出土木器観察表（2）

器 番 号	支 番 号	種 別	石 材	地 区	遺 構・層 位	取 上げ番 号	計 面 積			特 記 事 項
							面(cm)	横(cm)	厚さ(cm)	
126	10205	磨石	砂岩	L 2.7	S D 1.8		(6.8)	(3.82)	2.62	(83.0) 鏡面3面 被熱
152	08209	磨石?	良質?	M 2.4	S E 1.1		(8.10)	(5.46)	(3.30)	(85.5) 砂質含石材
157	20001	瓦輪塔(火輪)	砂岩		S E 1.9		11.20	17.90	17.80	—
406	10102	鉢	サヌカイト	南半部南端	CII層		3.33	3.07	0.72	2.3 完存 二次加工痕有り
409	10101	火孔円板	透石	南半部南端	CII層		3.31	—	0.34	(6.5) ほぼ完 側面に擦痕有り
609	10104	磨石	砂岩	M 2.7	東西トレンチ		(6.49)	(6.59)	1.43	(6.4) 鏡面2面 石割縫に磨面
1342	05801	石繩	サヌカイト	L 1.3	包含層		3.48	1.33	0.43	2.3 ほぼ完,凸起部無,剥離素材,前面に模様加工
1313	10306	削片	サヌカイト	L 2.0		落ち込み	3.30	(3.20)	(0.90)	(8.4) ほぼ完
1344	10103	削片	サヌカイト	地区外	表抜		(2.68)	(3.23)	(0.61)	(3.8) ほぼ完
1345	10203	削片	サヌカイト	K 1.3	包含層		1.04	2.78	0.80	2.1 完存 右側縫に擦痕有り
1346	10201	残核	チャート	L 1.2	包含層		3.58	3.55	3.99	69.0 完存
1347	10204	挖堀?		L 9	包含層		4.35	4.36	2.50	88.5 完存 部に擦痕残る
1348	10202	磨石	砂岩	L 1.2	包含層		6.33	6.71	5.29	420.0 完存
1349	06001	石墨		表抜去 表土			(4.27)	(2.23)	0.68	(14.8) 露方
1350	03901	塊	砂岩	L 9	包含層		12.00	4.84	1.23	123.0 ほぼ完 中央部分に使用による磨滅 良質?
1351	10303	磨石	砂岩	M 2.9	包含層		11.75	4.10	1.80	(113.5) 鏡面3面
1352	10304	磨石	砂岩	L 1.1	包含層		(8.60)	4.00	1.10	(50.5) 鏡面2面
1353	10105	磨石	砂岩	O 2.9	東西トレンチ		(7.04)	(5.13)	(1.14)	(66.0) 鏡面1面 側面に線条痕有り
1354	10301	磨石	砂岩	L 7	包含層		(6.55)	3.25	1.00	(34.6) 鏡面2面 右側縫に擦痕有り
1355	10302	磨石?	砂岩	M 2.8	包含層		(4.75)	(3.80)	(0.70)	(14.4) 鏡面1面 右側縫に擦痕有り
1356	20201	瓦輪塔(火輪)	砂岩	L 1.0	包含層		13.50	21.50	20.30	— 加工痕有り
1357	26101	瓦輪塔(火輪)	砂岩				12.80	19.90	—	深付槽

第27表 出土石器観察表（1）

# V自然科学分析

パリノ・サーヴェイ株式会社

## はじめに

里前遺跡は、安濃川と岩田川によって形成された沖積地に位置する。背後にある丘陵地は、伊勢湾を取り囲んで分布する巨大な堆積盆地に形成された地層群からなる。これらは総称して東海層群と呼ばれているが、本地域に分布するものは、特に奄芸層群と呼ばれている。今回の発掘調査の結果、鎌倉時代～江戸時代にかけての遺構のほか、旧河道などが確認されている。遺構検出面の下位を握り下げる結果、現地表面より約6m下位の地層で貝が密集している様子が確認された。

本報告では、遺構検出面より下位の年代を明らかにするため、各層から採取した土壤試料と貝化石を用いて、放射性炭素年代測定を行う。また、貝化石の同定および珪藻分析・花粉分析を行い、当時の古環境に関する資料を得る。なお、貝化石の同定は、早稲田大学の金子浩昌先生にお願いした。

## 1. 放射性炭素年代測定

### (1) 試料

試料は、各層から採取された土壤試料9点（試料番号1～9）と、試料番号2と同層準から採取された貝化石（マガキ）1点である。各試料の詳細は、分析結果とともに表1に記した。

### (2) 分析方法

#### (a) 前処理

土壤試料は、根などをビンセットで取り除き、乾燥、粉碎をした後、水に入れて浮上してきたものを除去した。次に塩酸を加え、煮沸した。煮沸後、塩酸を水で充分洗い流した後、乾燥して蒸し焼き（無酸素状態で400℃に加熱）にした。蒸し焼きにした試料は純酸素中で燃焼させて二酸化炭素とし、アンモニア水に捕集した。これに塩化カルシウムを反応させ、純粋な炭酸カルシウムを回収した。土壤試料のうちやや泥炭質の試料（試料番号5, 7）は、塩酸溶液で煮沸した後、水で塩酸を充分に洗い流した。

これを乾燥、粉碎して蒸し焼き（無酸素状態で400℃に加熱）にした。蒸し焼きにした試料は純酸素中で燃焼させて二酸化炭素とし、アンモニア水に捕集した。これに塩化カルシウムを反応させ、純粋な炭酸カルシウムを回収した。

一方、貝化石は、水でよく洗浄して表面の異物を取り除いた後、全重量の10%を塩酸で溶解させた。塩酸を充分水で洗い流した後、乾燥、粉碎した。

#### (b) 測定試料の調製

前処理で得られた炭酸カルシウムから真空状態で二酸化炭素、アセチレン、ベンゼンの順に合成した。最終的に得られた合成ベンゼン5ml（足りない場合は、市販の特級ベンゼンを足して5mlとした）に、シンチレイターを0.075g加えたものを測定試料とした。

#### (c) 測定

測定は、1回の測定時間50分間を繰り返し行った。未知試料の他に、値が知られているスタンダード試料と自然計数を測定するブランク試料を、一緒に測定した。

#### (d) 計算

放射性炭素の半減期として、LIBBYの半減期5,570年を使用した。

#### (3) 結果

放射性炭素年代測定結果を表1に示す。年代値は、3090BP～30900BPであった。また、試料番号2の土壤試料は、測定限界年代と年代値との差が2σより小さかったため、測定限界年代に>を付して表示し、計測された年代値（38900BP）を参考値としてカッコ内に記した。

#### (4) 考察

試料番号1は、発掘調査により古墳時代～中世とされるVI層と同時期の可能性があるVII層から採取されている。年代測定値は3090BPであった。この年代は、縄文時代後期の放射性炭素年代測定結果（キーリ・武藤、1982）に一致する。一方、VI層の下位に

表1 放射性炭素年代測定結果

試料番号	試料の質	年代値 BP	誤差		Lab-No
			+ $\sigma$	- $\sigma$	
1	黒色シルト	3090	80	80	PAL-718
2	貝化石(マガキ)	30900	900	800	PAL-719
	オリーブ色シルト質粘土(貝混じり)	>28000 (38900)	$\infty$ ( $\infty$ )	-6700	PAL-721
3	暗灰色シルト	6530	130	130	PAL-722
4	黒色シルト質粘土(有機物多い)	4110	90	90	PAL-723
5	黒色シルト質粘土(有機物多い)	4280	70	70	PAL-724
6	黒色土(有機物含む)	4340	100	100	PAL-725
7	黒色土(有機物含む)	4020	110	110	PAL-726
8	灰色シルト	5140	100	100	PAL-727
9	灰色シルト	5260	110	110	PAL-728

1) 年代値とは、1950年を基点とした年数。

2) 年代値と測定期限年代(自然計数の3  $\sigma$  に相当する年代値)の差が2  $\sigma$  より小さい場合、

測定期限年代に付して表示し、年代値を参考として()内に記した。

3) 放射性炭素の半減期は、LIBBYの5570年を使用した。

位置する試料番号3では、縄文時代前期に相当する6530BPの年代値が得られている。このことから、試料番号1の層準は、VI層と下位の試料番号3の層準との間に位置し、堆積後に一部を残して削ぎられたものと考えられる。

試料番号4～9の年代測定値は、4110～5260BPで、ほぼ縄文時代中期の年代に一致する。また、試料番号4, 5と試料番号8, 9はそれぞれ連続する層から採取されており、約100年前後の年代差がある。これらのことから、各層は縄文時代中期の約1000年間に堆積したものと考えられる。各試料の年代差は、堆積時期の違いを示していると考えられる。しかし、各層で行った花粉分析では、第三紀の絶滅種等も産出していることから、古い炭素の再堆積等によって実際よりも古い年代が得られている可能性もある。

試料番号2は、現地表面よりも6m、現海水面よりも約1.5m程下位から採取された。年代測定値は>28000BPであった。本層ではマガキの化石も産出しておらず、30900BPの年代測定値が得られている。したがって、この層とマガキは、最終氷期の最寒冷期以前の約3万年前頃のものと考えられる。すなわち、本地点は3万年前頃にマガキの生育する浅海であったことが推定される。

## 2. 貝化石の同定

### (1) 試料

試料は、地表面下約6mから検出された貝2個体である。

### (2) 方法

肉眼により種類と部位の同定をおこなう。なお、同定は早稲田大学金子浩昌先生にお願いした。

### (3) 結果

検出された貝は、2個ともマガキであった。

軟体動物門 Phylum Mollusca

斧足綱 Class Pelecypoda

貧歯目 Order Dysodonta

イタボガキ科 Family Ostreidae

マガキ Crassostrea gigas

同定結果は、表2に示した。個体を識別する都合上、①、②と番号を付けた。計測値については、殻の縁辺が破損しているため、最高と殻長は現存値である。

## 表2 出土貝類同定結果

種名	部位	殻高(mm)	殻長(mm)	殻厚(mm)
マガキ①	左殻	334+	130+	—
	右殻	309+	116+	38
マガキ②	左殻	307+	120+	—
	右殻	320+	112+	45

このマガキは、左右の殻が合わさった状態で出土したとされ、生意状態のまま埋没していた個体の可能性もある。

当試料は長大な殻であり、マガキの生息に良好な条件が備わっていたのであろう。マガキの生育環境は、河口付近など淡水の影響がある浅海である。現在では、北海道厚岸湖畔にこのような長大なマガキの生息が知られている。検出されたマガキの生息していた場所も、こうした環境であったと思われる。

#### (4) 考察

試料は2個体ともマガキであり、環境により大きさが左右されるが、標準的な大きさは高さ100mmとされる（奥谷、1983）。しかし、当試料は高さ300mmを超える長大な殻である。左右の殻が合わさった状態で検出され、現地性の可能性が高いことから、当時の遺跡付近はマガキの生育に良好な、塩分濃度の低い浅海であったと推測される。これは、堆積物の様子からラグーン状の環境が推定されていること、珪藻分析から沿岸付近の汽水域と考えられていることとも調和的である。

#### 引用文献

奥谷尚司（1983）自然觀察シリーズ18「日本の貝」。小学館。

キーリ C.T., 武藤廣弘（1982）『绳文時代の年代』。加藤吉子・小林達雄・藤本 強編著『縄文文化の研究』。『縄文人とその環境』。p246-275。巣山房。

#### 3. 硅藻分析

背後にある丘陵地は、伊勢湾を取り囲んで分布する巨大な堆積盆地に形成された地層群からなる。これらは総称して東海層群と呼ばれているが、本地域に分布するものは、特に奄芸層群と呼ばれている。今回の発掘調査の結果、鎌倉時代～江戸時代にかけての遺構のほか、旧河道などが確認されている。今回の分析調査は、おもに遺構検出面より下位の層準を対象として珪藻分析を行い、遺跡が形成されるまでの堆積環境の変遷を明らかにすることを目的とする。

##### (1) 試料

試料は、4カ所の断面（南半部南壁・南半部西壁・北半部西壁・北半部南壁）から採取された土壌28点（試料番号1～28）である。これらについて、珪藻分析を実施する。試料の詳細は、表1に示す。

##### (2) 方法

試料を湿重で7g前後秤量し、過酸化水素水、塩酸処理、自然沈降法の順に物理化学処理を施し、珪藻化石を濃集する。検鏡に適する濃度まで希釈した後、カバーガラス上に滴下し乾燥させる。乾燥後、ブリュウラックスで封入して、永久プレパラートを作製する。検鏡は、光学顕微鏡で油浸600倍あるいは1000倍で行い、メカニカルステージで任意の測線に沿って走査し、珪藻殻が半分以上残存するものを

表1 分析試料一覧

採取地点	番号	土質
南半部 南壁断面	9-10	緑灰色砂じり粘土
	1	オリーブ灰褐色粘土
	2	オリーブ灰褐色粘土
	3	オリーブ灰褐色粘土
	4	灰オリーブ灰褐色粘土
	5	オリーブ灰褐色粘土
	6	オリーブ灰褐色粘土
	7	オリーブ灰褐色粘土
	8	オリーブ灰褐色粘土
	9	灰オリーブ色粘土
	10	オリーブ灰褐色粘土
	11	灰オリーブ色粘土
	12	暗オリーブ色粘土
	13	オリーブ灰褐色粘土
	14	オリーブ灰褐色粘土
	15	灰オリーブ色粘土
	16	灰色粘土
	17	灰オリーブ色粘土
	18	灰オリーブ色粘土
	19	緑灰色シルト質粘土
	20	オリーブ灰褐色粘土
	21	オリーブ灰褐色砂じり粘土
	22	灰オリーブ色粘土
	23	黒褐色粘土
	24	黒褐色粘土
	25	灰色粘土
	26	墨褐色砂じり粘土
	27	緑灰色砂じり粘土
	28	黑色粘土質シルト

\*土質は当社にて記載した。

対象に、200個体以上同定・計数する。種の同定は、K.Krammer and Lange-Bertalot (1986・1988・1991a・1991b)、K.Krammer (1992)などを用いる。

同定結果は、海水～汽水生種、淡水～汽水生種、淡水生種の順に並べ、その中の各種類はアルファベット順に並べた一覧表で示す。なお、淡水生種についてはさらに細かく生態区分し、塩分・水素イオン濃度(pH)・流水に対する適応能についても示す。また、環境指標種については、その内容を示す。そして、産出個体数100個体以上の試料については、主要珪藻化石群集団を作成する。また、産出した化石が現地性か異地性かを判断する目安として完形殻の出現率を求め、考察の際に参考にした。なお、堆積環境の解析にあたって、小杉(1988)、安藤(1990)、伊藤・堀内(1991)、Asai,K.& Watanabe,T. (1995)の環境指標種を参考とする。

##### (3) 結果

結果を表2・図1に示す。以下に堆積環境について、地点毎に述べる。

##### (a) 南半部南壁断面9-10 (試料番号1-18)

分析を行った18点の試料では、いずれも比較的多くの珪藻化石が検出された。

検出された珪藻化石群集は、淡水生種を主体にし、

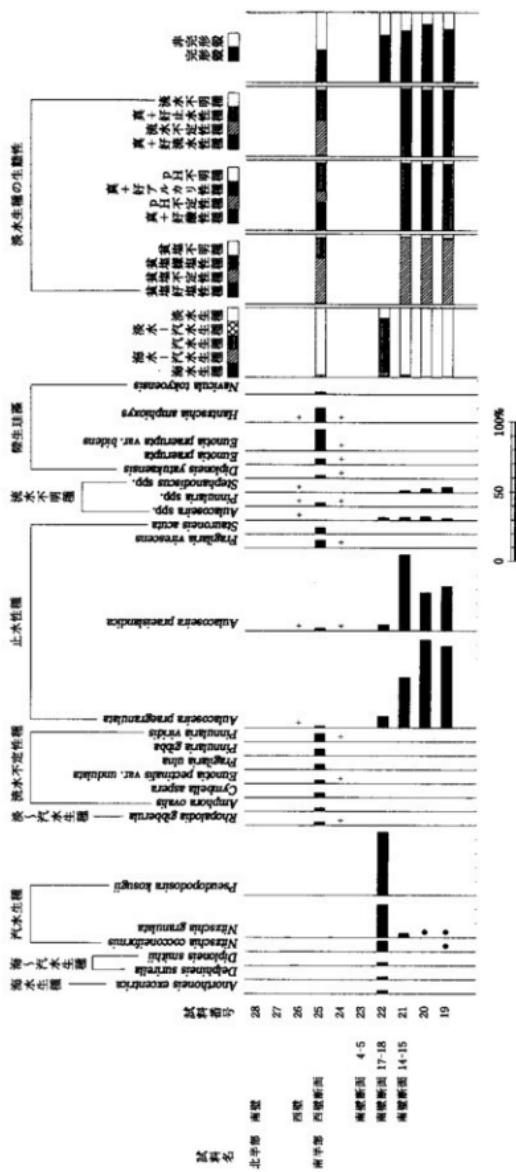


図 1 主要珪藻化石群集の層位分布（1）  
海水淡化带-淡水生带-淡水不稳定性带-止水性带-海水淡化带  
基数として百分率で算出した。いすれも100個体以上検出された試料について検出した種類を示す。  
なお、●は1%未満、+は100個体未満の試料について検出した種類を示す。

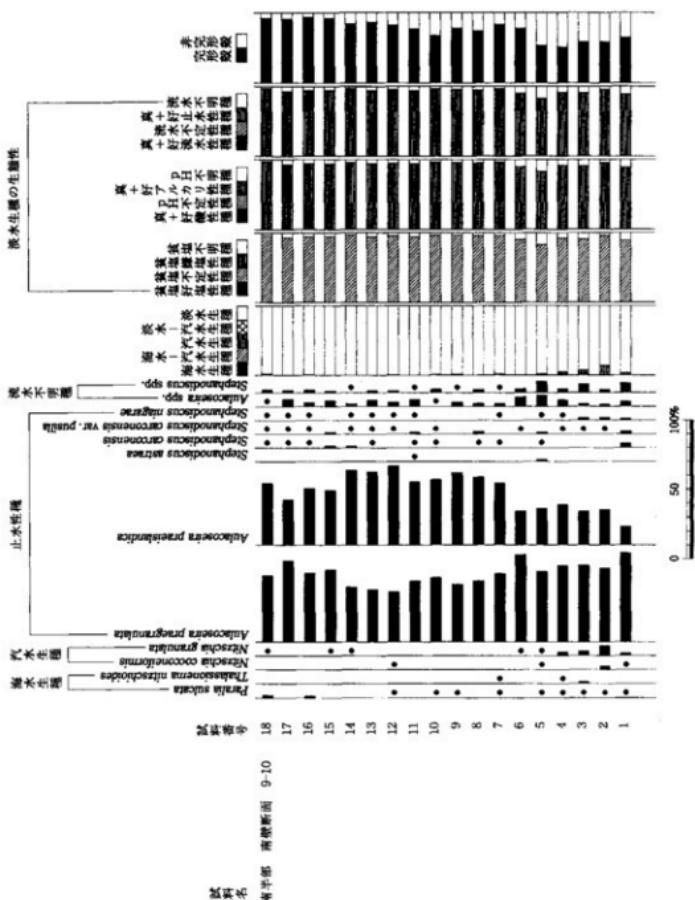


図1 主要珪藻化石群集の層位分布(2)  
海水・淡水・海水生層出率・完形殻産出率は全体基數、淡水生種の生態性の比率は淡水  
生種の合数を基數として百分率で算出した。いすれも100個体以上検出された試料について示す。  
な右、●は1%未満を示す。

表 2 珪藻分析結果 (1)

種類	生態	北半部		南半部		西壁断面		南半部 西壁断面	
		固分	流木指標	固分	指標	固分	指標	固分	指標
<i>Anorthoneis excentrica</i> (Ponk.) Grunow	Euh	-	-	-	-	-	-	-	-
<i>Nitzschia marinata</i> var. <i>subconstricta</i> Grunow	Euh	-	-	-	-	-	-	-	-
<i>Thalassionema nitzschioides</i> (Grun.) Grunow	Euh	A, B	-	-	-	-	-	-	-
<i>Cyclotella striata</i> -C. <i>stylorum</i>	Euh-Meh	B	-	-	-	-	-	1	1
<i>Delphineis surirella</i> (Ehr.) G. Andrews	Euh-Meh	-	-	-	-	-	-	-	-
<i>Diploneis smithii</i> (Breb.) Cleve	Euh-Meh	E2	-	-	-	-	-	4	-
<i>Nitzschia cocconeiformis</i> Grunow	Meh	-	-	-	-	-	-	5	-
<i>Nitzschia granulata</i> Grunow	Meh	E1	-	-	-	-	-	1	-
<i>Opephora mariyi</i> Herbaud	Meh	E1	-	-	-	-	-	15	2
<i>Pseudopodosira kosugi</i> Taniura et Sato	Meh	D1	-	-	-	-	-	46	6
<i>Hydrosera iriqueira</i> Wallich	Meh	E2	-	-	-	-	-	2	1
<i>Rhopaliodia gibberula</i> (Ehr.) Möller	Ogh-Meh a-i-l	r-ph	ind	-	-	-	-	-	-
<i>Achnanthes inflata</i> (Kuetz.) Grunow	Ogh-ind a-i-l	r-ph	T	-	-	-	-	-	-
<i>Achnanthes japonica</i> H. Kobayasi	Ogh-ind a-i-l	r-ph	T	-	-	-	-	-	-
<i>Aphora ovalis</i> (Kuetz.) Kuetzing	Ogh-ind a-i-l	ind	T	-	-	-	-	-	-
<i>Aulacoseira praestandica</i> (Touse) Sim	Ogh-ind a-i-l	l-bi	-	-	-	-	-	17	78
<i>Aulacoseira penascaeae</i> (A. S.) Simonsen	Ogh-ind a-i-l	l-ph	-	-	-	-	-	127	123
<i>Aulacoseira</i> spp.	Ogh-ind unk	unk	-	-	-	-	-	56	68
<i>Catoneis</i> spp.	Ogh-ind a-i-l	ind	U	-	-	-	-	-	-
<i>Coconeis placentula</i> (Ehr.) Cleve	Ogh-ind a-i-l	r-ph	-	-	-	-	-	-	-
<i>Coconeis piacentula</i> var. <i>euglypta</i> (Ehr.) Cleve	Ogh-ind a-i-l	ind	Q, T	-	-	-	-	-	-
<i>Cymbella aspera</i> (Ehr.) Cleve	Ogh-ind ind	-	-	-	-	-	-	-	-
<i>Cymbella silesiaca</i> Bleisch	Ogh-ind a-i-l	l-ph	RA	-	-	-	-	-	-
<i>Cymbella subaequalis</i> Grunow	Ogh-ind a-i-l	ind	T	-	-	-	-	-	-
<i>Cymbella tumida</i> (Breb. ex Kuetz.) V. Heurck	Ogh-ind unk	unk	-	-	-	-	-	-	-
<i>Cymbella</i> spp.	Ogh-ind ind	l-ph	RA	-	-	-	-	-	-
<i>Diploneis yaukaensis</i> Horikawa et Okuno	Ogh-hob ac-b	ind	RA	-	-	-	-	-	-
<i>Eunotia bigibba</i> Kuetzing	Ogh-hob ac-b	ind	RA	-	-	-	-	-	-
<i>Eunotia bilunaris</i> (Ehr.) Mills	Ogh-hob ac-b	l-ph	-	-	-	-	-	-	-
<i>Eunotia duplicitographis</i> H. Kobayasi	Ogh-hob ac-b	l-ph	-	-	-	-	-	-	-
<i>Eunotia exigua</i> (Breb.) Grunow	Ogh-hob ac-b	l-ph	P	-	-	-	-	-	-
<i>Eunotia fallax</i> A. Cleve	Ogh-hob ac-b	ind	RA	-	-	-	-	-	-

表 2 珪藻分析結果 (2)

種類	量分	生長性	環境	北半島				西嶺				南半島				海陸斷面			
				DH	透水指標	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19				
<i>Eunotia pectinalis</i> (Kuetz.) Rabenhorst	Ogh-hob ac-i-l	ind	0, T	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Eunotia pectinalis</i> var. <i>minor</i> (Kuetz.) Rabenhorst	Ogh-hob ac-i-l	ind	0	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Eunotia pectinalis</i> var. <i>undulata</i> (Ralfs) Rabenhorst	Ogh-hob ac-i-l	ind	0	-	-	-	-	-	-	5	1	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Eunotia praerupta</i> Ehrenberg	Ogh-hob ac-i-l	1-ph	RB, O, T	-	-	-	-	-	-	8	2	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Eunotia praetupta</i> var. <i>bidentata</i> Grunow	Ogh-hob ac-i-l	1-ph	RB, O	-	-	-	-	-	-	30	1	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Eunota</i> spp.	Ogh-unk unk	unk	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Fragilaria ulna</i> (Nitzsch) Lange-Bertalot	Ogh-ind al-i-l	ind	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Fragilaria virescens</i> Ralfs	Ogh-ind ac-i-l	ind	U	-	-	-	-	-	-	11	1	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Gomphonema angustum</i> Agardh	Ogh-ind al-i-l	ind	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Gomphonema augur</i> Ehrenberg	Ogh-ind ind	ind	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Gomphonema parvulum</i> Kuetzing	Ogh-ind ind	ind	U	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Gomphonema</i> spp.	Ogh-unk unk	unk	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Hantzschia amphioxys</i> (Ehr.) Grunow	Ogh-ind al-i-l	ind	RA, U	-	-	-	-	-	-	1	21	17	-	-	-	-	-	-	
<i>Hantzschia vivax</i> (W. Smith) M. Prengel	Ogh-ind al-i-l	ind	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Navicula elginiensis</i> var. <i>cuneata</i> H. Kobayasi	Ogh-ind al-i-l	ind	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Navicula mobilis</i> var. <i>minor</i> Patrick	Ogh-ind al-i-l	ind	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Navicula mutica</i> Kuetzing	Ogh-ind al-i-l	ind	RA, S	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Navicula tokyoensis</i> H. Kobayasi	Ogh-ind ind	ind	1-ph RI	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Neldium ampliatum</i> (Ehr.) Kramer	Ogh-ind ind	ind	1-ph	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Nitzschia palustris</i> Hustedt	Ogh-ind ind	ind	unk	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Pinnularia borealis</i> Ehrenberg	Ogh-ind ind	ind	RA	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Pinnularia brevicostata</i> var. <i>sumatrana</i> Hustedt	Ogh-ind ac-i-l	1-ph	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Pinnularia divergens</i> W. Smith	Ogh-hob ac-i-l	1-ph	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Pinnularia gibba</i> var. <i>linearis</i> Hustedt	Ogh-hob ac-i-l	ind	0	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Pinnularia imperatrix</i> Mills	Ogh-hob ac-i-l	1-ph	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Pinnularia microstauron</i> (Ehr.) Cleve	Ogh-ind ac-i-l	ind	S	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Pinnularia molaris</i> (Grun.) Cleve	Ogh-ind ind	ind	RB, U	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Pinnularia nobilis</i> Ehrenberg	Ogh-hob ac-i-l	1-ph	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Pinnularia nodosa</i> Ehrenberg	Ogh-hob ac-i-l	ind	0	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Pinnularia rupestris</i> Hantzsch	Ogh-ind ind	ind	RI	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Pinnularia viridis</i> (Witz.) Ehrenberg	Ogh-ind ind	ind	0	-	-	-	-	-	-	12	4	-	-	-	-	-	-	-	

表2 珪藻分析結果(3)

種類	量分	性状	環境指標種	北半部				西壁断面				南半部			
				南壁	西壁	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19
Pinnularia spp.	Ogh-unk	pH unk	Ogh-ind al-11 l-ph	-	-	1	5	8	-	-	-	-	-	-	-
Sellaphora americana (Ehr.) Mann	Ogh-ind al-11 l-ph	-	Ogh-ind al-11 l-ph	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Stauroneis acuta W. Smith	Ogh-ind ind l-ph	-	Ogh-ind ind l-ph	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Stauroneis phoenicenteron (Nitz.) Ehrenberg	Ogh-ind ind l-ph	0	Ogh-ind ind l-ph	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Stephanodiscus alpinus Hustedi	Ogh-ind al-11 l-bi	T	Ogh-ind al-11 l-bi	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Stephanodiscus carolinensis Grunow	Ogh-ind al-11 l-bi	N	Ogh-ind al-11 l-bi	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Stephanodiscus minutulus (Kuetz.) Round	Ogh-ind al-11 l-bi	N	Ogh-ind unk unk	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Stephanodiscus niagarae Ehrenberg	Ogh-ind unk unk	-	Ogh-ind ac-11 l-bi	T	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Stephanodiscus spp.	Ogh-ind ac-11 l-bi	T	Ogh-ind ac-11 l-bi	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Tabellaria fenestrata (Lyngb.) Kuetzing	Ogh-ind ac-11 l-bi	T	Ogh-ind ac-11 l-bi	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
海水生種合計	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	5	1	0	0	0
海水-汽水生種合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	1	1	0	0
汽水生種合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	152	6	2	3	3
淡水-汽水生種合計	0	0	0	0	5	9	0	1	0	0	0	0	0	0	0
淡水生種合計	0	0	9	194	55	0	30	204	198	206	0	0	0	0	0
珪藻化石總數	0	0	9	200	64	0	198	212	201	209	0	0	0	0	0

凡例

H. R.: 塩分濃度に対する適応性  
 Euh : 滅水生種  
 Euh-Meh : 海水生種-汽水生種  
 Meh : 汽水生種  
 Ogh-Meh : 淡水生種-汽水生種  
 Ogh-ind : 貧塩不定性種  
 Ogh-hob : 富塩嫌好性種  
 Ogh-unk : 貧塩不明種

pH: 水素イオン濃度に対する適応性  
 al-11: 好好性種  
 ind : pH不定性種  
 ac-11: 好酸性種  
 ac-bi : 真酸性種  
 unk : pH不明種

C. R.: 流水に対する適応性  
 l-bi : 防止水性種  
 l-ph : 好止水性種  
 ind : 流水不定性種  
 r-ph : 好流水性種  
 r-bi : 真流水性種  
 unk : 流水不明種

## 環境指標種

A: 外洋指標種 B: 内湾指標種 D1: 海水砂質干潟指標種 E1: 海水泥質干潟指標種 E2: 汽水泥質干潟指標種  
 J: 上流性河川指標種 N: 湖沼浮遊性種 O: 溶け水地付着生種 P: 高層底原指標種 (以上は安藤, 1990)  
 S: 好汚穢性種 U: 広適応性種 T: 好潜水性種  
 R: 陸生珪藻 (RA:群, RB:群, RI:未区分陸生珪藻、伊藤・堀内, 1991)

表2 环境分析結果(4)

種類	種子	花粉	葉綠素	pH	海水指標種	海水指標種										
						18	17	16	15	14	13	12	11	10	9-10	8
Chacouria spp.	Euh	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Cassidaria marginata Ehrenberg	Euh	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Dentipeltis laut (Ba.) Simonson	Euh	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Gymnosporangium willmasoni (W. Smith) Grunow	Euh	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Mariella spp.	Euh	3	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Paricilia sulcata (Bör.) Cleve	Euh	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Rhipidocladus marylandicus Christian	Euh	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Thlasiotrichia blitschlioides (Grum.) Grunow	Euh	A, B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Tibagia squia SPP.	Euh	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Oncosiphon pilulifer (L.) Griseb.	Euh	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Cyclocladia littorea (Berg) Cleve	Euh	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Dipteronia sinensis (Cleve)	Euh	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Nyctemera aganippe (L.) Hübner	Met	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Nyctemera coerulea (Grainger)	Met	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Nyctemera granatina (Grainger)	Met	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Nyctemera palaestina (Grainger)	Met	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Phalaenoptilus grandis (L.) Guérin	Met	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Polyommatus icarus (L.) Guérin	Met	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Phalaenoptilus grandis (L.) Guérin	Met	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Allacacia praeciliata (Ostense) Simonsen	Met	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Allacacia pentacista (A. S.) Simonsen	Met	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Allacacia signata	Met	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Pratia constricta (v. venter (Ehr.) Hustedi	Met	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Metopius rufimacula (Gilt.) Kretzing	Met	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Stephanodiscus alpinus (Hufn.) Hustedi	Met	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Stephanodiscus alpinus (Hufn.) Hustedi	Met	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Stephanodiscus carnicornis Grunow	Met	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Stephanodiscus carnicornis var. passilla Grunow	Met	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Stephanodiscus carnicornis (Kuntze) Römb	Met	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Stephanodiscus bicolor (Ehrenberg)	Met	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Stephanodiscus subtilis (Griffith)	Met	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
海水生植物全体種合計	Euh	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
海水生植物種合計	Euh	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
海水生植物種合計	Euh	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
R, H.R.:種分濃度に対する適応性																
pH・水素イオン濃度に対する適応性																
a): pHに対する適応性																
b): pHに対する不適応性																
c): pHに対する中立性																
d): pHに対する弱酸性																
e): pHに対する弱アルカリ性																
f): pHに対する強酸性																
g): pHに対する強アルカリ性																
h): pHに対する中性																
i): pHに対する不明確																

R, H.R.

pH

C, R

海水に対する適応性

pHに対する適応性

海水に対する不適応性

海水に対する中立性

海水に対する弱酸性

海水に対する弱アルカリ性

海水に対する強酸性

海水に対する強アルカリ性

海水に対する不明確

海水指標種

A:外洋指標種 B:内洋指標種 D:海水が影響する指標種 E:海水肥育干潟指標種 (以上は小杉, 1988)

F:海水が影響する指標種 (以上は安藤, 1980)

G:海水の適応性種 H:海水の不適応性種 I:海水の中性種 (以上は小杉, 1988)

汽水生種を伴う種群で構成される。

淡水生の群集の特徴については、生態性（珪藻の3適応性：水中の塩分・pH・流水に対する適応性）について整理した結果、以下のような傾向が認められる。

まず、塩分に対する適応性は、淡水中の塩類濃度の違いにより区分したもので、ある程度の塩分が含まれたほうがよく生育する種類を好塩性種とし、少量の塩分が含まれていても生育できるものを不定性種、塩分が存在する水中では生育できないものを嫌塩性種として区分している。これは、主に水域の化学的な特性を知る手がかりとなるが、単に塩類濃度が高い低いといったことが分かるだけでなく、塩類濃度が高い水域というのは概して閉鎖水域である場合が多いことから、景観を推定する上でも重要な要素である。

各試料では、貧塩-不定性種が優占しており、全体の90%以上を占めている。貧塩-好塩性種等は、皆無に等しい。

次にpHに対する適応性とは、アルカリ性の水域に特徴的に認められる種群を好アルカリ性種、逆に酸性水域に生育する種群を好酸性種、いずれにも生育する種を不定性種としている。これも、単に水の酸性・アルカリ性のいずれかがわかるだけでなく、酸性の場合は湿地であることが多いなど、間接的に水域の状況を検討する上で必要である。

各試料では、好アルカリ性種が優占し、90%以上を占めている。好酸性種は、極めて稀にしか認められない。

流水に対する適応性は、流れのある水域の基物（岩石・大型の藻類・水生植物など）に付着生育する種群であり、特に常時流のあるような水域でなければ生育出来ない種群を好流水性種、逆に流れのない水域に生育する種群を好止水性種として区別している。流水不定は、どちらにでも生育できる可能性はあるが、大半は止水域に多い種群である。なお、好流水性種と流水不定性種の多くは付着性種であるが、好止水性種には水塊中を浮遊生活する浮遊性種も存在する。浮遊性種は、池沼あるいは湖沼のような水域環境を指標する。

各試料では、好止水性種が優占し、全体の90%以

上を占めている。好流水性種等は、全く認められない。

なお、淡水生種の中には、陸域の乾燥した環境下でも生育する種群が存在し、これらを陸生珪藻と呼んで、水中で生育する種群と区分している。陸生珪藻は、陸域の堆積環境を指標することから、遺跡内の居住環境などを推定する上で、重要な種群である。

水生珪藻と陸生珪藻の比率は、各試料で水生珪藻が占めており、陸生珪藻は認められない。

検出された種群は、淡水生種の *Aulacoseira praegranulata*、*Aulacoseira islandica* が多産し、淡水生種の *Aulacoseira praecandida*、*Stephanodiscus carconensis*、*Stephanodiscus carconensis* var. *pusilla*、*Stephanodiscus minutulus*、*Stephanodiscus niagareae*、汽水生種の *Nitzschia cocconeiformis*、*Nitzschia granulata* を伴っている。

#### (b) 南面部南壁断面14-15 (試料番号19~21)

本地点で産出した種群は、海水生種、海水～汽水生種、汽水生種および淡水生種であり、淡水生種主体の種群で構成される。3点試料は、いずれも底質が酸性である。認められた群集は、淡水生種を主として、海水生種あるいは汽水生種等を伴う。多産した種類は、*Aulacoseira praegranulata* および *Aulacoseira islandica* である。

#### (c) 南面部南壁断面17-18 (試料番号22)

本試料も、比較的多くの珪藻化石が検出された。検出された群集は、汽水生種を主として、海水～汽水生種、海水生種および淡水生種を伴う種群で構成される。多産あるいは優占した種は、汽水生種の *Nitzschia cocconeiformis*、*Nitzschia granulata*、*Pseudopodosira kosugi*、淡水生種の *Aulacoseira praegranulata* である。

#### (d) 南面部南壁断面4-5 (試料番号23)

珪藻化石は、全く認められなかった。

#### (e) 南面部西壁断面 (試料番号24-25)

試料番号24は、珪藻化石が検出されたが、低率であり ブレバラート1枚あたり100個体に満たない。産出率が低いため、詳細な検討は行えないが、特徴的に認められた種群は、貧塩-好塩性種、好湿地性種および陸生珪藻である。

一方、試料番号25では、多くの珪藻化石が検出さ

れた。検出された群集は、淡水生種が主体で、若干の淡水～汽水生種あるいは海水生種を作う。淡水生種群の3適応性については、塩分濃度に対しては、貧塩～不定性種が約60%、貧塩～嫌塩性種が約30%であり、これら2つの分類群で殆どを占めている。貧塩～好塩性種は、5%以下と低率にしか認められない。pHに対しては、好酸性種および好アルカリ性種が、それぞれ40%程度産出している。淡水域では、一般に好アルカリ性種が優占するが、好酸性種が40%を占めるのは、かなり高率である。流水に対する適応性は、流水不定性種が約50%、好止水性種が約40%であり、この両者で殆どが占められる。好流水性種は、3%程度と極めて低率である。水生珪藻と陸生珪藻の比率は、水生珪藻が64%に対して陸生が36%であり、水生珪藻が優勢である。

多種または優占した種は、流水不定性種の *Pinnularia gibba*、*Pinnularia viridis*、好止水性種の *Fragilaria virescens*、陸生珪藻の *Eunotia praeerupta* var. *bidens*、*Hantzschia amphioxys* 等である。

#### (f) 北部西壁 (試料番号26)

珪藻化石は極めて少なく、9個体しか産出しなかった。少ないながら産出した種群は、淡水生種である。

#### (g) 北部南壁 (試料番号27・28)

本地点では、分析を行った2点とも珪藻化石が検出されない。

#### (4) 硅藻化石群集からみた堆積環境

各地点毎に、今回の分析結果にもとづき、堆積環境について検討する。

##### (a) 南半部南壁

南壁断面9-10より産出した種群の生態性は、*Aulacoseira praeganulata* が、温暖期の湖沼性群集の一つとされる (Jouse and Mukhina, 1978) ほかは、詳細が明らかにされていない。ただし、現在の池沼あるいは湖沼に認められる *Aulacoseira granulata* の祖先型とされることから、これと同様かそれに近似した生態性を有すると推定される。*Aulacoseira granulata* の生態性については、浮遊性で富栄養のある水域の岸近くに認められることが多いとされるほか (Stoermer & Yang, 1968)、湖沼性の真性プランクトンで、汚濁に対しては貧腐水～中腐性の水域によく出現する種とされる (加藤ほか, 1978)。また、本種の湾曲

群体の増加は富栄養化を示唆し、増大胞子や休眠胞子が認められることは、高温水であったことを示すとされる (石田ほか, 1970)。*Aulacoseira islandica* については、黒海の上部鮮新統から *Aulacoseira praeganulata*、*Stephanodiscus niagarae* を優占種とする群集に含まれることから、これらと同様な生育環境が想定される。すなわち、富栄養化した水域であり、水温も高い傾向にあったものと推定される。本邦では、本種は古琵琶湖層群から見いだされている (Tanaka et al., 1984; 田中・松岡, 1985)。*Stephanodiscus carconeneis*、*Stephanodiscus carconeneis* var. *pusilla* および *Stephanodiscus minutulus* は、淡水の浮遊性種群であり、これらが生育するためにはある程度の水深が必要である。これまで我が国で報告された例をみても、琵琶湖 (Mori, 1974; 根来, 1960) 等の規模の大きい湖である。*Stephanodiscus niagarae* は、*Stephanodiscus carconeneis* 等と同様に淡水の浮遊性種であるが、本邦では鮮新世に出現して中期更新世頃に絶滅したものと考えられ (外国では一部の地域で現生する)、滋賀県の上野-近江盆地の古琵琶湖層群 (鮮新世) や愛知県-三重県の東海層群 (鮮新世)、長野県の小諸層群の上部大枕累層 (鮮新世) 等から見いだされている。本種も、大規模な湖沼に生育したと考えられる。それに対して、汽水生種の *Nitzschia coccineiformis* および *Nitzschia granulata* は、塩分濃度が12パーミル以上の水域の泥底に付着生育する種群の中の一種であり、海水泥質干潟指標種群 (小杉、1988) とされる。

以上のように、この断面の分析試料から検出された珪藻化石群集は、淡水湖沼性の群集と汽水の干潟群集により構成されていた。これらは生育時においては共存することのない群集であり、いずれかが異地性の二次化石群集と考えられる。本遺跡の後背に存在する丘陵は、奄芸層群と呼ばれる新第三紀の堆積物で、河川の集水域中に広く分布する。奄芸層群は伊勢湾を囲むように分布する堆積盆地の堆積物の一部で、このとき存在した湖は「東海湖」と呼ばれている。今回の場合、湖沼性群集は流域に分布する湖成層中の二次堆積と考えられる。また、花粉化石でも第三紀の消滅種が多數含まれており、本結果と調和的である。したがって、分析を行った層準

の堆積環境は、それら以外の群集から想定することができそうである。すなわち、沿岸付近の汽水域の泥質干潟であった可能性が高い。このことは、同層位から貝化石が多産することからも裏付けられる。

一方、南壁断面14-15は南壁断面9-10の試料番号3~8と同層準にあたるが、珪藻化石群集もこれに類似する。したがって、上記したと同様な堆積環境が想定される。

南壁断面17-18は、南壁断面9-10や南壁断面14-15より上位にあたる。多産種の中で、*Pseudopodosira kosugii* は塩分濃度 12~2 パーミル程度の泥底に付着生活する種とされ（小杉、1988）、淡水の影響で汽水化した塩性湿地（泥質干潟）に生育する一群と考えられる。また、本種は休眠胞子と考えられる。休眠胞子とは、生育する水域（この場合は、海域）において、その時期の環境がその種群の生育に適さない環境に変化した場合に、環境の回復を待つ間の防御体制として、殻の形態を変化させたものをいう。したがって、この休眠胞子が多く認められたことは、当時の水域環境が不安定であったことを物語っている。よって、堆積環境としては、沿岸付近の干潟であり、淡水と海水が混合することによって、塩分濃度が安定しない水域であったものと推定される。

南壁断面4-5は河道内にあたり、珪藻化石が全く見られない。堆積速度などの関係で、化石が取り込まれにくかった可能性がある。

#### (b) 南半部西壁

試料番号24では珪藻化石が少ないが、試料番号25では多くの珪藻化石が認められた。試料番号25で検出された*Pinnularia gibba* は、好酸性（最適 pH 6 附近）、富栄養から貧栄養種、湧泉・小川等にみられる着生種とされる（中島ほか、1978）。*Pinnularia viridis* は、広範囲に分布するが、*Pinnularia* 属の他の種に比べて鉱物成分の多い水域に認められるとされる（Patrick and Reimer, 1966）。*Fragilaria virescens* は、貧塩不定、好酸性、好止水性であり、湿地あるいは沼沢地等に普通に認められる。Asai and Watanabe (1995) は、広適応性種としている。*Eunotia praeerupta var. bidens*、*Hantzschia amphioxys* 等の陸生珪藻は、一般の珪藻が水中や水底等の水に浸った状態で生育するのに対して、コケを含めた陸上植物の表面や岩石

の表面、土壌の表層部など大気に接触した環境に生育する一群（小杉、1986）の総称である。特に、本試料から産出した *Hantzschia amphioxys* は、離水した場所の中で乾燥に耐えうることのできる群集とされる（伊藤・堀内、1991）。また、堆積物の分析結果で、これらの種群が優占した場合、その試料が堆積した場所は空気中に曝されて乾燥した環境であったことが推定できる（伊藤・堀内、1991）。以上のような多産種の特徴から、試料番号25堆積時にはおおむね湿地のような状態であったと考えられるが、全体が冠水することはなく、部分的に乾燥した場所も存在したと考えられる。

#### (c) 北半部西壁・南壁

分析対象とした層準では、珪藻化石がほとんど検出されない。また、花粉化石もほとんど見られない。花粉化石は、好気的な環境下では風化に弱く、分解・消失すると考えられている（徳永・山内、1976）。また、珪藻の主成分と同じ珪酸質をもつ植物珪酸体も、早い段階で風化を受け、粘土化や植物への再吸収などが起こっていると考えられている（近藤、1988）。化石の保存が全体的に悪いのは、好気的で風化をうけやすかったのが、原因と考えられる。

#### 引用文献

- Asai,K. and Watanabe,T.(1995) Statistic Classification of Epilithic Diatom Species into Three Ecological Groups relating to Organic Water Pollution (2) Saprolious and saproxylic taxa. *Diatom*,10,35-47.
- 安藤一男(1990) 淡水珪藻による環境指標種群の設定と古環境復原への応用. 東北地理, 42, p.73-88.
- 伊藤良木・堀内誠示(1991) 陸生珪藻の現在における分布と古環境解説への応用. 環境学会誌, 6, p.23-45.
- Jouse,A.P. and Mukhina,V.V.(1978) Diatoms units and the paleogeography of the Black Sea in the late Cenozoic(DSDP Leg.42B)in Ross,Neprochnov et al.Initial reports of the Deep Sea Drilling Project,42,Washington(U.S.Govt.Printing Office),903-950.
- 加藤君雄・小杉 弘・南澤 保(1978) 八郎潟調整池のケイノウ藻・八郎潟調整池の生物相調査報告. 八郎潟調整池生物相調査会,秋田県,63-137.
- 小杉正人(1986) 陸生珪藻による古環境の解説とその意義—わが国への導入とその展開—.植物 史研究, 1, 9-44.
- 小杉正人(1988) 硅藻の環境指標種群の設定と古環境復原への応用. 第四紀研究, 27, p.1-20.

近藤誠三 (1988) 植物珪藻体 (Opal Phyloid) からみた土壤と年代、ペトロジスト、32, p.189-202.

Krammer,K. und Lange-Bertalot,H. (1986) Bacillariophyceae, Teil 1, Naviculacean Band 2/1 von Die Süßwasserflora von Mitteleuropa, 876p., Gustav Fischer Verlag.

Krammer,K. und Lange-Bertalot,H. (1988) Bacillariophyceae, Teil 2, Epithematae, Bacillariaceae, Sarioellaceae, Band 2/2 von Die Süßwasserflora von Mitteleuropa, 536p., Gustav Fischer Verlag.

Krammer,K. und Lange-Bertalot,H. (1991a) Bacillariophyceae, Teil 3, Centrales, Fragilariaceae, Eunotaceae, Band 2/3 von Die Süßwasserflora von Mitteleuropa, 290p., Gustav Fischer Verlag.

Krammer,K. und Lange-Bertalot,H. (1991b) Bacillariophyceae, Teil 4, Achmatianaceae, Kritische Ergänzungen zu Navicula/Linckia und Gomphonema, Band 2/4 von Die Süßwasserflora von Mitteleuropa, 248p., Gustav Fischer Verlag.

Krammer,K. (1992) PINNULARIA, eine Monographie der europäischen Taxa. BIBLIOTHECA DIATOMOLOGICA BAND 26, p. 1-355. BERLIN-STUTTGART.

松井 寛・崎嶋桃五 (1971) 三重県北牟田付近の珪藻带群、「中部地方の新鮮地および既成地」竹原平 教授紀念論文集, p.39-53.

Mori,S.(1974) Diatom succession in a core from Lake Biwa.Paleolimnology of Lake Biwa and the Japanese Pleistocene,2nd.S.Horie,247-254.

中島信治・田中宏之・吉田武雄・服部幸彦 (1978) 奥利根地帯の珪藻類.群馬県奥利根地域学系 調査報告書 (3), 146-165.

桜井健一郎 (1960) 犀川溝の珪藻 (第1報).陸水学雑誌,200-220.

Patrick,R. and Reimer,C.W.(1966) The diatoms of the United States exclusive of Alaska and Hawaii,I,pp.688. Monographs of Acad. Nat. Sci. Philadelphia 13, MIE, MITTEL-JAPAN.Ecological review,15,p.9-12.

Tanaka,M.,Matsuoka,K. and Takagi,Y.(1984) The Genus Melosira(Bacillariophyceae) from the pliocene Iga Formation of the Koiwakawa Group in Mie Prefecture, Central Japan. Bulletin of the Mizunami Fossil Museum,11,55-68.

田中正明・松岡敬二 (1985) 滋賀県甲賀・河山地域の新鮮な淡水生珪藻化石層.滋賀古生物館 研究報告,12,57-70.

## 4. 花粉分析

### (1) 試料

試料は、4カ所の断面（南半部南壁・南半部西壁・北半部西壁・北半部南壁）から採取された土壤28点（試料番号1～28）である。これらについて、花粉分析を実施する。試料の詳細は、表1に示した。

### (2) 方法

試料約10gについて、水酸化カリウムによる泥化、篩別、重液（臭化亜鉛：比重2.2）による有機物の分離、フッ化水素酸による鉱物質の除去、アセトトリ

シス処理の順に物理・化学的処理を施し、花粉化石を濃集する。残渣をクリセリンで封入してプレパラートを作製し、光学顕微鏡下でプレパラート全面を操作し、出現する全ての種類について同定・計数する。

結果は、木本花粉は木本花粉総数、草本花粉・シダ類胞子は絶花粉・胞子数から不明花粉を除いたものを基数とした百分率で出現率を算出し図示する。図表中で複数の種類をハイフンで結んだものは、種類間の区別が困難なものである。

### (3) 結果

花粉化石群集は、大きく3つに分類される。1つは、花粉化石の保存が悪くてほとんど検出されない試料で、試料番号23、26、27、28がこれに相当する。次は、木本花粉ではアカガシ亜属とコナラ亜属が、草本花粉ではイネ科とヨモギ属が多い試料で、試料番号22、24、25がこれに相当する。残りの試料は、いずれも木本花粉の割合が高く、クマシデ属ーアサダ属、ブナ属、コナラ亜属、ニレ属ーケヤキ属、サルスベリ属などがみられるが、特に優占する種類はみられない。

### (4) 花粉化石からみた古植生変遷

#### (a) 南半部南壁 9-10・14-15

花粉化石群集の特徴は、木本花粉を主体とするが、際だって多い種類が認められることである。新宮

表1 分析試料一覧

採取地點	番号	土 質
南半部 南壁断面	9-10	緑色砂混じり粘土
	1	オリーブ色粘土
	2	オリーブ色砂粘土
	3	灰オリーブ色粘土
	4	灰オリーブ色砂粘土
	5	オリーブ色粘土
	6	オリーブ色砂粘土
	7	オリーブ色粘土
	8	灰オリーブ色粘土
	9	灰オリーブ色粘土
	10	オリーブ色粘土
	11	灰オリーブ色粘土
	12	暗オリーブ色粘土
	13	オリーブ色粘土
	14	オリーブ色粘土
	15	灰オリーブ色粘土
	16	灰色粘土
	17	灰オリーブ色粘土
	18	灰オリーブ色粘土
	19	緑灰色シルト質粘土
	20	オリーブ色粘土
	21	オリーブ色砂混じり粘土
	22	灰オリーブ色粘土
4-5	23	黒褐色粘土
西壁断面	24	黒褐色粘土
	25	黒色粘土
北半部 西壁	26	黒褐色砂混じり粘土
南壁	27	黒褐色砂混じり粘土
	28	黒色粘土シルト

\*土質は当社にて記載した。

市でおこなわれた花粉分析結果（松下ほか、1988）を参考にすれば、伊勢湾沿岸部においても繩文海進時にはシイ・カシ類の花粉化石が多産すると思われる。しかし、今回得られた群集では、落葉樹が主体であるが、フウ属、ベカン属、スマミズキ属、メタセコイア属など第三紀の消滅種を含む。津市周辺に分布する奄芸層群の花粉分析結果はいくつかあるが（松井・島崎、1971；Souma, 1959；島倉、1964など）、今回の結果はこれらと類似する。このことから、花粉化石も大部分が奄芸層群からの二次堆積であると考えられる。おそらく、今回の花粉化石群集は、奄芸層群からの二次堆積に加え、集水域に生育していた河畔林に由来するものが含まれていると思われる。ニレ属・ケヤキ属、クマシデ属・アサダ属、ハンノキ属などがやや多いのは、このためであると考えられる。

(b) 南半部南壁断面17-18・南半部西壁断面

花粉化石群集の特徴は、アカガシ亜属の多産と、イネ科花粉を中心とした草本類の種類数・個体数が増加することである。アカガシ亜属の多産は、周辺植生を反映していると思われる。シノキ属の花粉化石も伴うことから、丘陵などを中心にシイ・カシ林が分布していたと考えられる。また、これらの試料では、第三紀の消滅種などの二次化石がほとんど見られなくなることから、碎屑物の流入が少なくなってきたものと考えられる。一方、草本類は、泥質干潟とされる南半部南壁断面17-18でやや多くなり、湿地となる南半部西壁断面ではイネ科を中心に急増する。おそらく、海退に転じたために生じた湿地に、イネ科を中心とする草本類が生育するようになったと考えられる。

(c) 南半部南壁断面4-5・北半部西壁・北半部南壁

これらの試料では、花粉化石がほとんど検出されなかった。その理由に関しては、不明な点も多いが、南壁断面4-5では堆積速度が早く花粉が取り込まれなかつた可能性があり、北半部西壁と南壁では好気的環境下で分解した可能性がある。

### 引用文献

- 松下まり子・前田保夫・松本英二・松島義章（1988）新宮（紀伊半島）および奈戸町の完新世地層・生歴とくにシイ林の成立について。日本生態学会誌、38, p. 1-8.
- 松井 寛・成崎純五（1971）三重県北勢町付近の奄芸層群、[中部地方の絶滅後およよび最新統] 竹原平 教授記念論文集上, p.39-53.
- 島倉巳三郎（1961）本邦新生代層の花粉解剖学的研究VIII 奄芸・省留・郡介野の各層群、奈良 学芸大学（自然）、12, p.37-49.
- Selma Kunkisch (1959) EINE POLLENANALYTISCHE UNTERSUCHUNG VON BRAUNKOHLE IN DER PROVINZ MIE, MITTEL-JAPAN. Isotological review, 15, p. 9-12.
- 池水重光・山内群子（1971）花粉・孢子、『化石の研究法』、化石研究会編、p.59-73. 奥立出版。

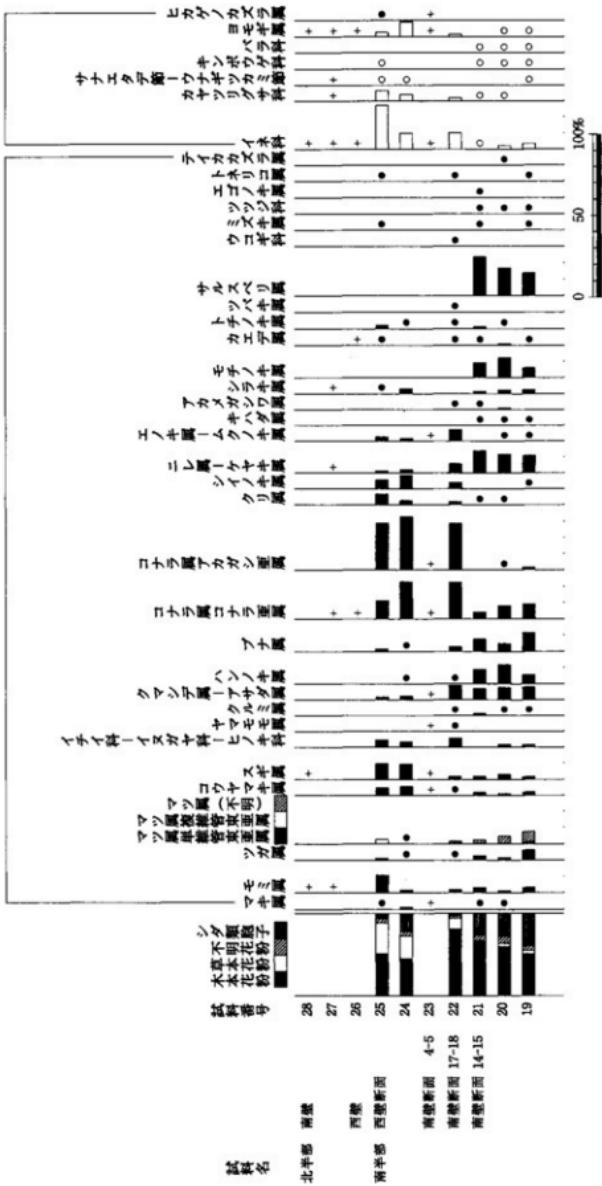


図1 主要花粉化石群集の層位分布（1）  
出現在は、木本花粉は木本花粉化石数、草本花粉・シダ類孢子は総数より不明花粉を除く数を基準として百分率  
で算出した。なお、○は1%未満、○は木本花粉100個体未満の試料について検出した種類を示す。

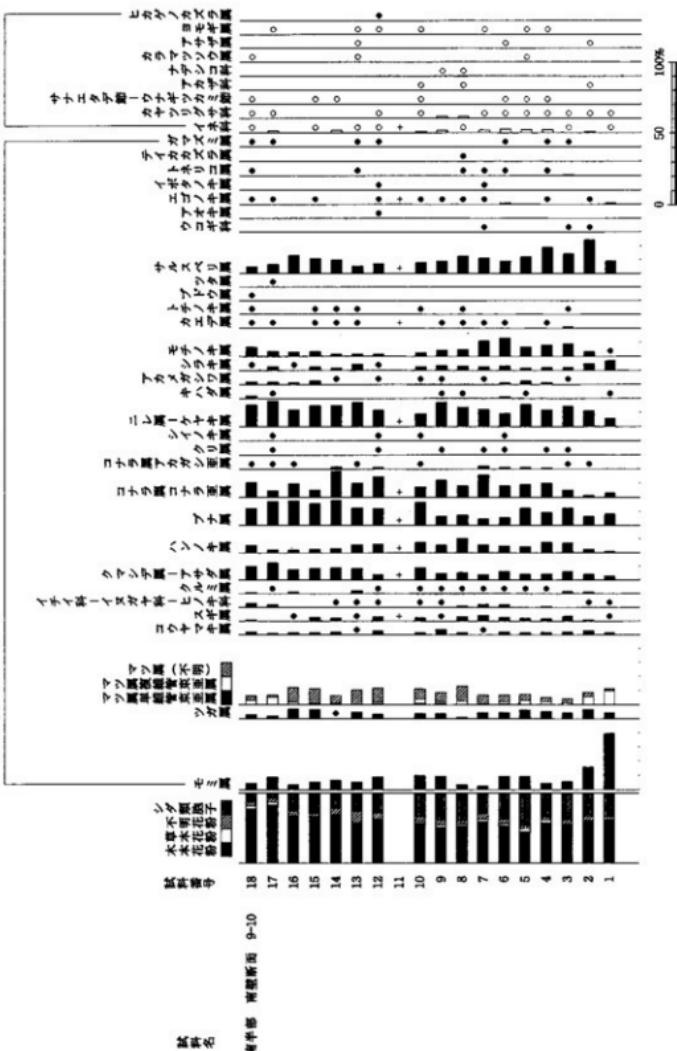


図1 主要花粉化石群集の層位分布(2)  
出現在率は木本花粉は木本花粉化石総数、草本花粉・シダ類胞子は総数より不明花粉を除く数を基数として百分率で算出した。なお、○●は1%未満、+は木本花粉100個体未満の試料について検出した種類を示す。

表2 花粉分析結果(1)

種類	試料番号	北半球										南半球																		
		海藻	西洋	雨季断面	西壁	雨季断面	4-5	17-18	14-15	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
木本花粉 モキ属	-	-	2	3	1	-	2	1	-	3	2	2	-	2	3	-	2	-	2	1	-	25	21	9	11	39	89			
ツガ属	1	2	-	23	5	-	9	9	4	8	16	32	8	13	14	7	20	-	23	21	8	3	10	12	14	10	8	16	10	
トウヒ属	-	-	3	1	-	1	1	7	4	15	10	7	16	16	2	6	-	1	1	2	1	-	1	1	2	1	-	-	-	
トガサワラ属-カラマツ属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
マツ属植物東亜属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
マツ属植物東亜属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
マツ属植物東亜属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
コリヤマ属	-	-	10	2	2	1	5	3	5	4	4	4	4	4	4	4	4	1	6	4	4	2	6	4	4	4	4	8	4	
スギ属	1	-	21	14	2	7	5	4	4	2	7	5	4	1	7	2	6	1	7	2	6	1	8	5	4	7	3	2	2	
イチイ科-イヌガヤ科-ヒノキ科	-	-	10	9	-	25	-	5	4	10	7	-	2	1	1	-	1	2	3	5	-	2	-	1	1	-	-	-	-	
オオウキ属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
ヤマモモ属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
サワグルミ属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
クルミ属(オニグルミ属)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
クマシデ属-アザダ属	-	-	4	6	1	39	19	20	19	36	46	18	21	19	11	9	2	21	11	13	9	17	10	9	12	11	7	-	-	
ハンハミ属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
カバノキ属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
ハンノキ属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
ブナ属	-	-	4	1	-	14	21	13	28	43	62	41	38	37	16	26	3	38	14	17	10	15	27	18	23	16	19	-	-	
コナラ属-コナラ属	-	-	3	24	58	3	98	11	21	22	36	17	23	13	39	13	32	2	17	27	19	35	20	20	10	4	7	-	-	
コナラ属アカガシ属	-	-	61	83	-	6	125	-	2	4	2	2	-	3	1	3	-	1	-	5	4	3	2	1	2	-	-	-	-	
クリ属	-	-	14	7	-	9	2	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
シイノキ属	-	-	12	21	-	17	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
ニレ属-ムクノキ属	-	2	3	5	-	25	37	31	26	53	66	28	36	31	22	25	6	21	38	32	27	24	34	23	27	13	-	-		
ヤドリギ属	-	-	6	5	1	32	-	1	1	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-		
イスノキ属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
イスサンショウウキ属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
コクサギ属近似種	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
キダマ属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
センドウ属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
ユズリハ属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
アブラギリ属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
アカメガシ属	-	-	2	1	8	-	2	4	-	6	6	6	10	2	6	4	-	6	1	-	2	1	-	1	3	5	3	1	-	
シラギ属	-	1	-	1	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	12	16	-	-
ツゲ属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ウルシ属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

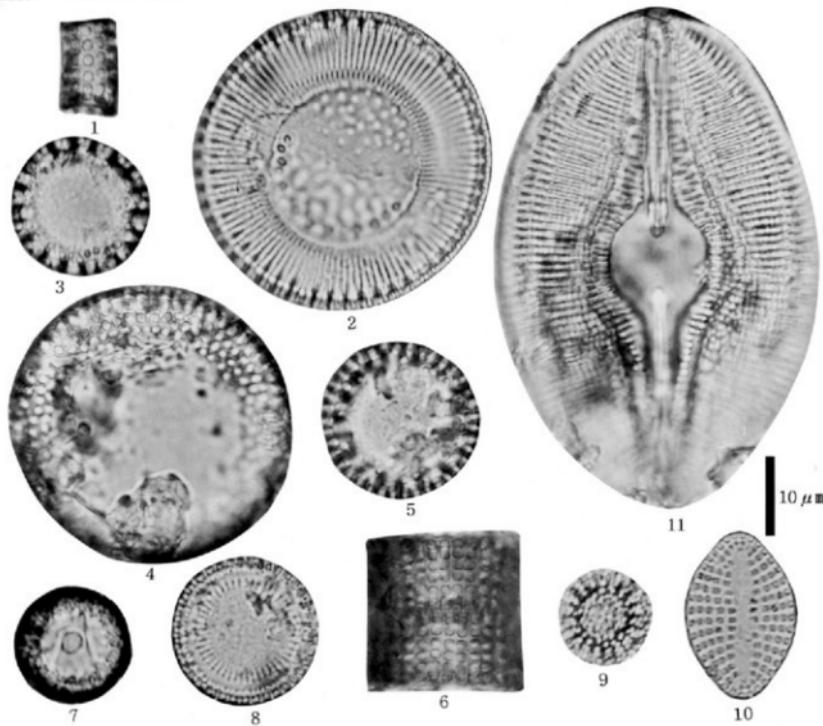
表2 花粉分析結果(2)

種類	試料番号	北半部										南半部										南半部 南壁断面												
		西壁	西壁	西壁	西壁	西壁	西壁	西壁	西壁	西壁	西壁	西壁	西壁	西壁	西壁	西壁	西壁	西壁	西壁	西壁	西壁	西壁	西壁	西壁	西壁	西壁	西壁	西壁	西壁	西壁	西壁			
モチノキ属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
カエデ属	-	1	1	1	1	2	1	3	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
トチノキ属	-	-	5	1	-	3	1	-	2	-	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クロウメモドキ科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ブドウ属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ツタ属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
シナノキ属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ツバキ属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
グリ属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
サルスベリ属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ウコギ科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
アオキ属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ミスキ属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ツツジ科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ハイノキ属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
エコノキ属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
イイダノキ属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヒイラギ属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヒヨコ属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ティカカズラ属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ガマズミ属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
スイカズラ属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
アミガサキ属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
アオギリ属近似種	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クサギ属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
草本植物	2	4	6	108	52	12	53	3	8	15	4	5	-	2	5	1	3	1	4	6	3	7	11	11	7	2	4	1	1	1	1	1		
イネ科	-	1	-	27	22	-	12	2	3	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
カヤツリグサ科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クワ科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
サクランボ科	-	1	-	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
サクランボ科-ウナギツカミ物	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
アカザ科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ナシココ科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
カラマツソク属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
キンポウゲ科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
バラ科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マメ科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ミツハギ属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
アセナ科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表2 花粉分析結果(3)

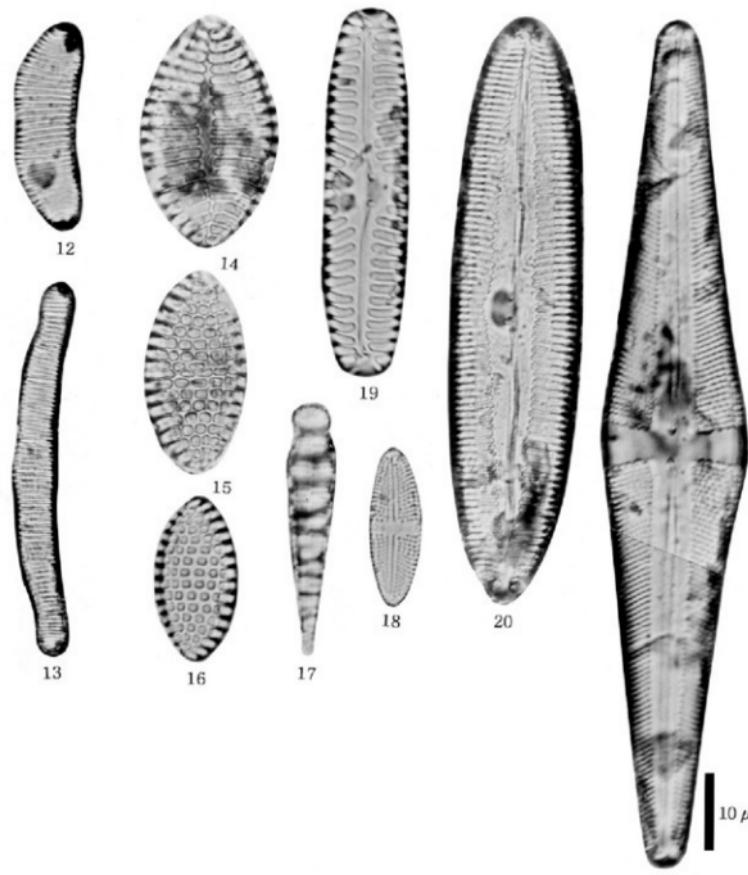
種類	試料番号	北半球				南半球				南半球				南半球				南半球											
		雨季	乾季	雨季	乾季	4-5	7-8	14-15	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1					
シソ科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ゴキヅル属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヨモギ属	2	3	2	11	47	1	8	-	1	1	-	2	-	-	1	1	-	1	-	2	1	-	-						
キク亜科	-	-	-	15	1	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-						
タンボボ科亜科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
不明花粉	-	20	29	3	17	27	36	25	23	24	25	16	28	39	32	1	25	32	24	28	30	19	14	23					
シダ植物子	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヒカゲノカズラ属	-	-	6	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
イワヒバ属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ゼンマイ属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
イノモトイソウ属	3	3	-	17	118	21	13	93	111	156	50	23	74	95	63	59	91	8	121	153	148	100	153	192	103				
他のシダ植物子	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
その他	礫片	多	多	多	多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
海綿藻類	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
微有孔虫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
再発育花粉化石	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
メタセコイア属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
カリアグルミ属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
ツワブキ属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
スマミズキ属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
合計	木本花粉	2	8	2	212	253	17	436	267	260	239	351	361	225	243	239	129	220	25	231	222	233	223	225	222	196	189	249	226
	草本花粉	4	9	9	10	155	147	16	74	8	15	21	18	14	2	5	7	1	12	16	12	14	20	22	11	4	9	2	
	不明花粉	0	0	0	20	29	3	17	27	36	25	23	24	25	16	28	39	32	1	25	32	24	28	30	19	14	23	26	18
	シダ植物・コケ植物花粉	3	3	0	26	120	22	13	106	119	118	57	31	85	107	95	61	99	13	134	165	169	109	182	227	113	130	136	122
	統計(不明花粉を除く)	9	20	12	383	520	55	523	381	394	441	426	406	322	355	281	196	326	39	377	403	414	346	467	471	320	323	394	350

图版1 珪藻化石 (1)



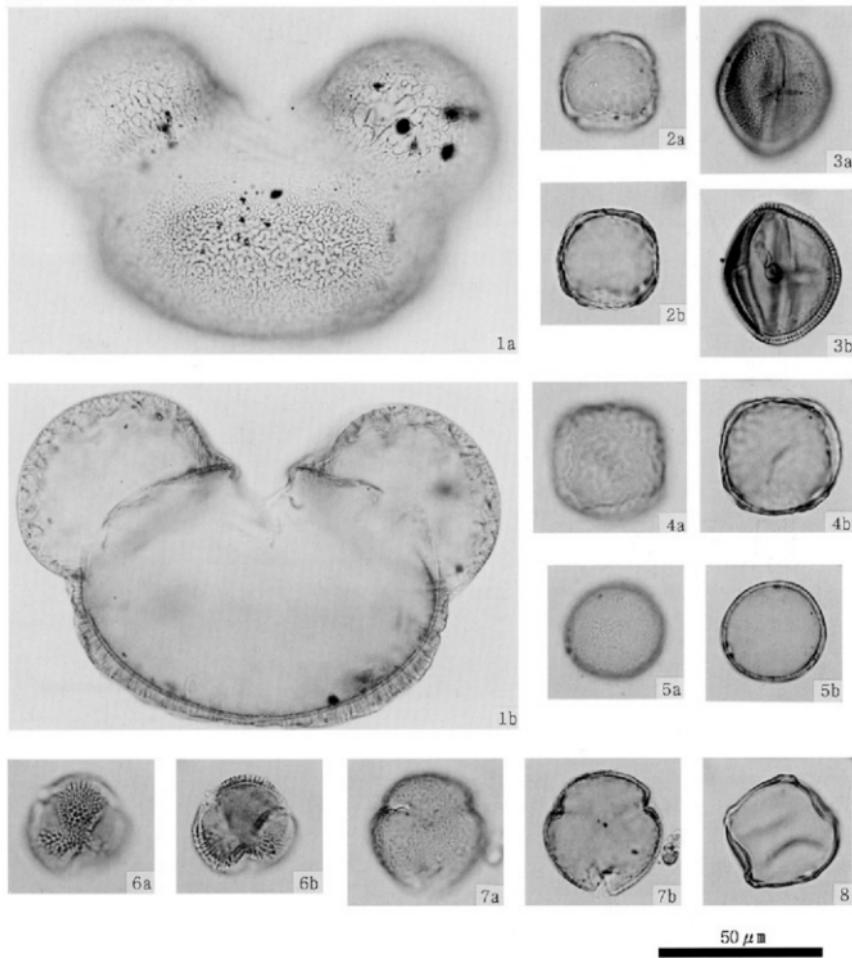
1. *Aulacosira granulata* (Ehr.) Simonsen (南半部; 南壁断面9-10:1)
2. *Cyclotella striata* (Kutz.) Grunow (南半部; 南壁断面9-10:3)
3. *Aulacoseira praesislandica* (Jousé) Sim (南半部; 南壁断面9-10:1)
4. *Aulacoseira praesislandica* (Jousé) Sim (南半部; 南壁断面9-10:1)
5. *Aulacoseira praesislandica* (Jousé) Sim (南半部; 南壁断面9-10:1)
6. *Aulacoseira praesislandica* (Jousé) Sim (南半部; 南壁断面9-10:1)
7. *Pseudopodosira kosugii* Tanimura et Sato (南半部; 南壁断面:22)
8. *Paralia sulcata* (Ehr.) Cleve (南半部; 南壁断面9-10:3)
9. *Stephanodiscus carconeneis* Grunow (南半部; 南壁断面9-10:1)
10. *Delphineis sirirella* (Ehr.) Andrews (南半部; 南壁断面17-1:22)
11. *Diploneis yatukaensis* Horikawa & Okuno (南半部; 西壁断面:25)

图版2 硅藻化石 (2)



12. *Eunotia praerupta* var. *bidens* Grunow (南半部; 西壁断面: 25)
13. *Eunotia pectinalis* var. *undulata* (Ralfs) Rabenhorst (南半部; 西壁断面: 25)
14. *Nitzschia coccineiformis* Grunow (南半部; 南壁断面 9-10: 2)
15. *Nitzschia granulata* Grunow (南半部; 南壁断面 9-10: 2)
16. *Nitzschia granulata* Grunow (南半部; 南壁断面: 22)
17. *Meridion circulae* var. *constrictum* (Ralfs) V. Heurck (南半部; 西壁断面: 25)
18. *Navicula mutica* Kuetzing (南半部; 西壁断面: 25)
19. *Pinnularia borealis* Ehrenberg (南半部; 西壁断面: 24)
20. *Pinnularia rupestris* Hantzsch (南半部; 西壁断面: 25)
21. *Stauroneis acuta* W. Smith (南半部; 西壁断面: 25)

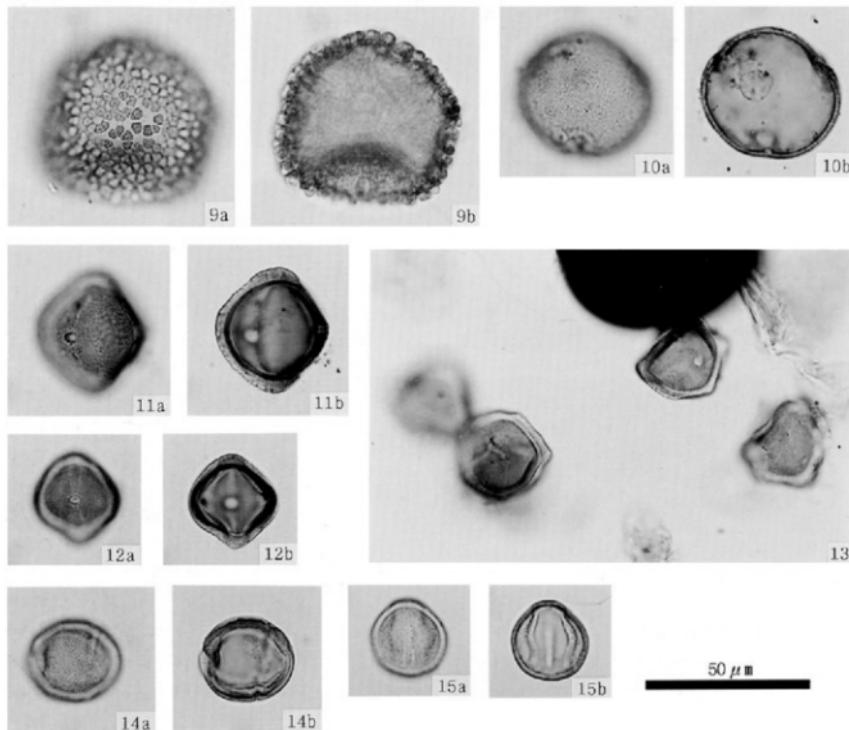
図版 I 花粉化石 (1)



1. モミ属 (南半部; 南壁断面9-10:1)
3. シラキ属 (南半部; 南壁断面9-10:1)
5. エノキ属-ムクノキ属 (南半部; 南壁断面17-18:22)
7. コナラ亜属 (南半部; 南壁断面17-18:22)

2. ニレ属-ケヤキ属 (南半部; 南壁断面9-10:2)
4. ニレ属-ケヤキ属 (南半部; 南壁断面17-18:22)
6. モチノキ属 (南半部; 南壁断面14-15:21)
8. クマシデ属 (南半部; 南壁断面9-10:17)

図版2 花粉化石(2)



9. アブラギリ属 (南半部; 南壁断面9-10:17)  
 11. サルスベリ属 (南半部; 南壁断面9-10:2)  
 13. サルスベリ属 (南半部; 南壁断面14-15:21)  
 15. アカガシ亜属 (南半部; 南壁断面17-18:22)

10. ブナ属 (南半部; 南壁断面9-10:2)  
 12. サルスベリ属 (南半部; 南壁断面9-10:17)  
 14. アカメガシワ属 (南半部; 南壁断面14-15:21)

## VI 考 察

### 1 遺跡の動態

里前遺跡においては、縄文時代中期以降の遺物が確認され、それ以降近隣で生活が営まれていたと考えられる。特に、その痕跡が顕著になるのは、中世前期以降のことである。具体的には、大きく中世前期までのⅠ期と中世後期のⅡ期に分けることができ、更にⅠ期は出土遺物により時期を細分することができる（第78図参照）。Ⅰa期は積極的に地形を改変した痕跡が認められないが、出土遺物は使用痕の認められる遺物の割合がとりわけ高く、88%を占める。一方Ⅰb・Ⅰc期には、狭い面積の空間に複数カ所の井戸が掘削されるが、使用痕の認められない遺物の割合が高くなる。また、大半の出土遺物はこの時期に帰属する遺物であり、段丘面や井戸ではなく、落ち込み部分などから出土している。Ⅱ期には、井戸が継続的に掘削されている。

### 2 井戸にみられる地下水位の変動

里前遺跡においては、調査面積が狭いにもかかわらず、11基の井戸が確認された。

これらの井戸は、時期的に見ると中世前期と中世後期の2時期に分かれる。また立地的には、段丘面には両時期にわたり、現氾濫原には中世前期に掘削されている。

ところで、井戸は水を確保するために掘削される遺構である。このことを前提に踏まえると、少なくとも井戸の底には地下水脈が通っており、地下水位

は井戸の底より高い位置になければ用をなさない。

井戸底の標高をまとめた第28表・第79図によると、その分布にいくつかの傾向がみられる。立地と底の標高からa～dに分類した。

a群は段丘面に立地し、底の標高は1.0～1.22mである。

b群は現氾濫原面に立地し、1.26～1.5mである。

c群は段丘面に立地し、1.7～1.9mである。

d群は段丘面に立地し、-0.6～-0.2mである。

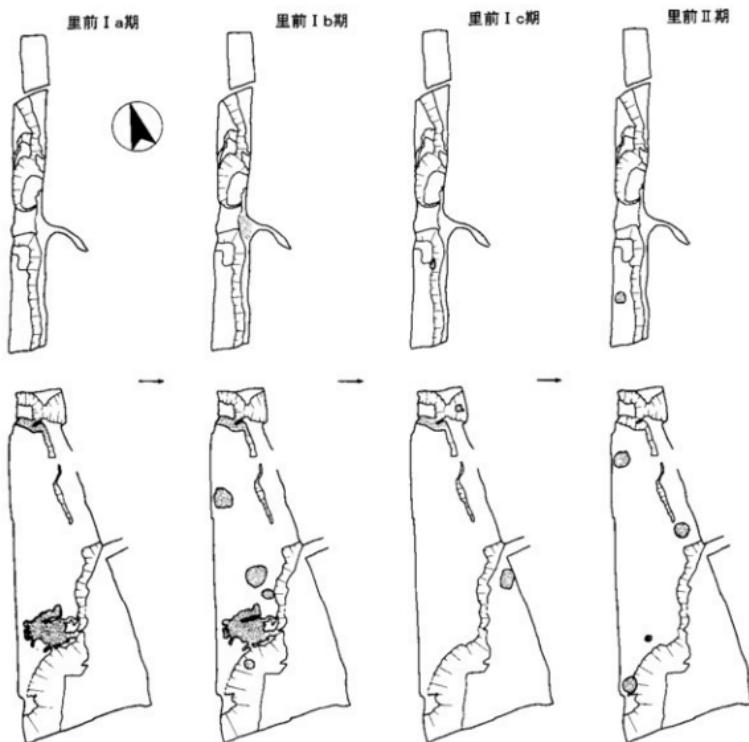
段丘面に立地する井戸のうち、a群は中世前期の遺物を含む井戸であり、c群はSE3以外は中世後期の遺物を含む井戸である。c群はa群と同じ立地であるにもかかわらず、底部の標高が高く推移していることから、段丘面では、中世前期と比較して中世後期の方が地下水位が上昇している可能性がある。

d群は中世前期と後期の両者がある。極端に深度が深いが、時期や立地からこの2者に共通する点は、傾斜面に立地することである。

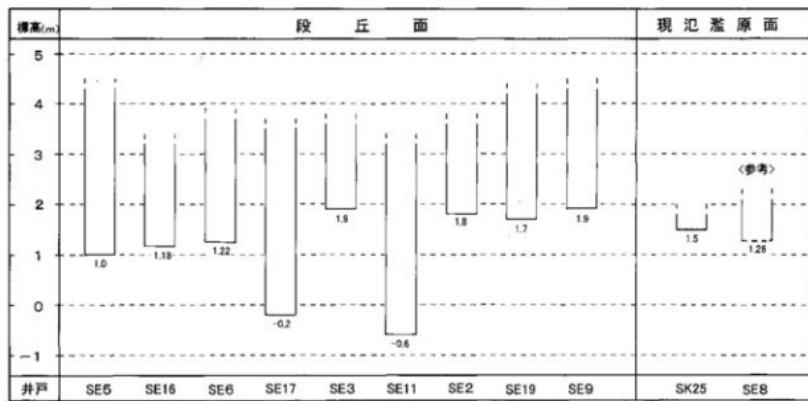
現氾濫原に立地する井戸はb群と分類したが、中世前期と考えられる井戸がある。同時に共存する可能性のあるa群よりも、底部の標高が高い特徴がある。地質の差により、段丘面よりも現氾濫原面の方が、地下水位が高かったことになる。なお、SE8はさらに底が下がると推定されるが、SE8の立地する位置そのものが人工的に改変された流路上にある可能性もあり、分類資料としては不適切のため参考資料として挙げておく。

遺構番号	分類	立 地	底の標高	出 土 遺 物 の 時 期	井筒等	小地区	備 考
SE 5	a	段丘面	底1.0m	12世紀末～13世紀初頭	素堀	K22	
SE 16	a	段丘面	底1.18m	12世紀末～13世紀初頭	素堀	L29	
SE 6	a	段丘面	底1.22m	12世紀末～13世紀前葉	素堀	L25～M26	S K23を切る
SE 25	b	現氾濫原面	底1.5m	13世紀中葉～13世紀後葉にかかる時期	底に敷石	N25～26	S E24の井筒
SE 8	b	現氾濫原面	底1.26m	前身遺構が13世紀後葉以前	木組	L19	前身遺構あり
SE 3	c	段丘面	底1.9m	13世紀初頭～13世紀前葉	素堀	K13	遺物細片のみ
SE 2	c	段丘面	底1.8m	15世紀末	素堀	K14～15	
SE 19	c	段丘面	底1.7m	16世紀後半	石組？	K30	
SE 9	c	段丘面	底1.9m	17世紀前半	石組	K21	
SE 17	d	段丘傾斜面	底-0.2m	12世紀末～13世紀初頭	素堀	M26	
SE 11	d	段丘傾斜面	底-0.6m	15世紀後半	素堀	M24	

第28表 井戸一覧表



第78図 造構変遷図



第79図 井戸底標高グラフ

### 3 陶器供膳具の計測分析

**出土量（第29表）** 調査区内からは多量の陶器碗と小皿が出土したが、図化し報告することができたのは遺構出土遺物を中心にして、一部の土器である。そこで、全体量を把握することを目的として、個体数計測を試みた。

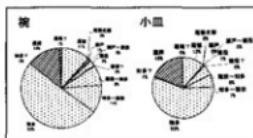
陶器碗はその形状から底部の残存状況が最も良好であり、抽出が容易である。また、実測遺物について重量計測<sup>④</sup>、口縁部残存計測・底部残存計測<sup>⑤</sup>の3種類を行ったが、この中で実測点数に最も近い数値が出たのは、底部残存計測である。重量計測では実測遺物に破片が多く含まれていることから、実数よりも遙かに少ない数値が出た。この方法は未抽出遺物を全て計測すればおそらく実数により近い数値に修正されると推定できる。次に口縁部残存計測であるが、実測遺物は墨書き土器を多く抽出していることから、墨書の記されている底部の抽出が必然的に多くなり、口縁部が少なくなった可能性が考えられる。この方法も未抽出遺物の計測により実数に近い数値に修正される可能性がある。しかし、重量計測のための細片までを全て抽出する作業は難易度が高い。

また、口縁部計測も底部計測ほどは容易でない。従って、実測を行わなかった未抽出遺物については、底部計測により概数の把握に努めた。

**産地** 陶器供膳具の産地別の割合（第30表）と一部の遺構の器種組成（第31表）の計測を試みた。

陶器供膳具の産地別の割合（第30表・第80図）は、図化を行った個体数の割合を計測した。器種ごとに計測したが類似する結果が得られた。過半数が知多産であり、十数%を渥美産の陶器供膳具が占めている。

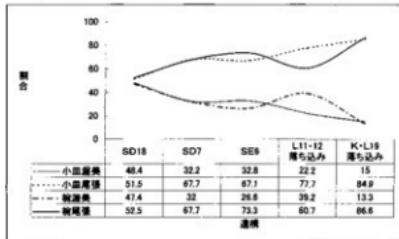
また第81図では、遺構単位で陶器供膳具の産地別



第80図 陶器供膳具産地別割合グラフ

の割合を計測した。ここでは、図化されていない未抽出遺物を含めた底部計測を行った。従って、細片を含むことから尾張産の細分は行わず、尾張産と渥美産の割合を提示するに留めた。器種間に差が生じたのはL11・12落ち込みのみであり、その他は第80図と同様に類似する傾向にある。産地別の割合は、遺構および全体の間に相当の差が見られる。渥美産の割合の高いSD18は山茶挽櫻年3段階4型式から5型式に相当し、低くなるKL19落ち込みは3段階5型式から7型式に相当する。従って、遺構間に時期差があることから、それと対応すると考えられる。また、周辺の遺跡の状況<sup>⑥</sup>と比較すると、3段階4型式から6型式にかけて渥美産の占める割合が高い特徴がある。

**器種組成（第31表）** は未抽出遺物を含めて計測した。陶器供膳具以外は口縁部計測を行った。土器器



第81図 陶器供膳具遺構別割合グラフ

器種	実測点数	実測分				未抽出分	合計
		個体数	重量計測	完存個体の重量	口縁部計測		
碗	590	355(96535/272)		272 g	234(2812/12)	478(5736/12)	1058(12701/12)
小皿	163	139(9296/66.8)		66.8 g	116(1396/12)	148(1778/12)	1536

第29表 陶器供膳具計測表

	尾張	尾張北部	瀬戸	瀬戸～猿投	猿投	猿投？	猿投～知多	知多～猿投	知多	知多？	渥美	渥美？	計
碗	67	1	6	1	13	1	47	67	296	1	80	6	586
小皿	19	0	0	0	1	0	9	11	90	1	30	0	161

第30表 陶器供膳具産地別計測表

種類	基準	分類・底地等	S D 18	S D 7	S E 6	L 11 - 12	K + L 19
上部器	小皿	a	81	23			
		b	14	13			
		c	3	12			
		d	3	1			
上部器	皿	a	13	10			
		b	7	0			
		c	1	0			
		d	1	3			
陶器	小皿	源美	48	19	24	39	65
		尾張	51	40	49	136	367
	碗	源美	284	90	56	264	211
		尾張	314	191	154	408	1370
上部器	片口鉢	片口鉢	5	2	0	15	5
		尾張	5	2	0	0	0
	鍋	鍋	15	22	13	29	117
		羽釜	0	0	0	1	0

第31表 遺構別器種組成表

供膳具は形式分類に従ったが、計測は一括性の高い S D 18 - S D 7 のみに留めた。

使用度（第32表） 陶器碗および小皿の使用痕の有無を見込み部内面の摩耗状況により判断した。分類は有無と不明瞭なものおよび不明瞭ながらも有無の可能性が考えられるものの5段階とした。また、墨書の記されている個体の使用痕が他の個体のそれと異なるのかを検討するために、墨書の有無ごとに合わせて検討した。その結果、墨書の有無によって使用割合の異なり、墨書を記している個体については、全体よりも使用痕のあるものが多いことが明らかとなった。文字のはか、量的に多く規則性の認められる記号も C (95%)、D (91%)、E (80%)、G (81%) など高率である。このような記号類は、集積時の仕分けに伴う記号の可能性があるという指摘<sup>6</sup>を検証する目的で分析したが、墨書のないものよりも高率で使用痕を確認することになった。

#### 4 墨書土器について

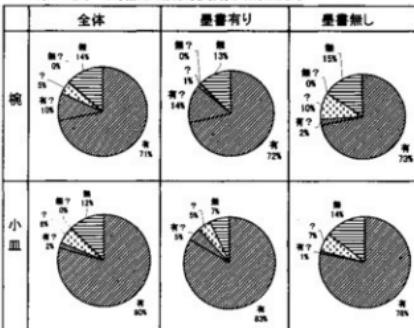
墨書の記されている土器は大半が、中世前期の陶器供膳具である。調査区内からの陶器碗の総出土量は約1058点（底部計測による）であり、その内の360点（個体数）に墨書痕跡を確認した。全体量からみた割合は、約34%である。なお、整理段階で墨書を確認した土器については全点を抽出し報告した。

ここでは、墨書の記されている位置と墨書の種類（第33表参照）などについて整理しておく。

墨書の記されている位置は、底部外面と側面の2

	有	有?	?	無?	無	計
網	417	57	26	1	78	574
墨書あり	258	52	4	1	45	360
墨書なし	154	5	22	0	33	214
小皿	128	3	10	0	20	161
墨書あり	96	2	2	0	3	43
墨書なし	32	1	8	0	17	118

第32表 陶器供膳具使用痕計測表



第32図 陶器供膳具使用痕割合グラフ

種類が認められる。底部外面にのみ記す個体が圧倒的大多数であり、側面にのみ記す個体および底部外面と側面の2カ所に記す個体も若干存在する。時期的には「大」の場合、側面に記入されているものは7型式以降の個体にみられ、墨書き土器全体の中では新しい時期のものである。側面に記す場合には、器形に対して水平方向に記す場合と左手で口縁部を持ち、右手で墨書きを記す場合がある。また、2カ所に記載のある場合は、D 1とG 6またはG 7を組み合わせるものや同じ記号（F 3）もしくは類似する記号（J 1とJ 2）を組み合わせせるものがみられる。これらのことから、側面に記す個体や2カ所に記す個体は数量的には少ないが、個々に一定の傾向が存在する。

墨書きの種類は文字のはかに、花押や記号的なものを確認した。

文字は場所の機能を示すもの、納税に関わると考えられるもの、地形に関わると考えられるものなどがある。「寺」・「政所」からは権力の介在が伺われ、土器を使用する場所の機能を示している可能性が考えられる。「寺」は5型式、「政所」は6型式の土器に記されており、生産地での編年によると時期差があると考えられる。「政所」の文字は筆跡が全て異なる。

分類	墨書	数量	分類	墨書	数量	分類	墨書	数量	分類	墨書	数量	分類	墨書	数量
A1	寺	2	C2	𠂔	2	E7	𠂔	1	G5	𠂔	1	K5	𠂔	1
A2	𠂔	3	C3	𠂔	1	E8	𠂔	1	G6	𠂔	12	K6	𠂔	2
A3	善	1	C4	𠂔	4	E9	𠂔	3	G7	𠂔	17	K7	𠂔	8
A4	上	3	C5	𠂔	2	E10	𠂔	6	H1	𠂔	2	K8	𠂔	1
A5	手	1	D1	𠂔	13	E11	𠂔	8	H2	𠂔	1	K9	𠂔	1
A6	𠂔	1	D2	𠂔	1	E12	𠂔	1	H3	𠂔	1	K10	𠂔	4
A7	𠂔	4	D3	𠂔	6	E13	𠂔	12	H4	𠂔	1	K11	𠂔	1
A8	𠂔	1	D4	𠂔	4	E14	𠂔	1	H5	𠂔	1	K12	𠂔	1
A9	𠂔	1	D5	𠂔	1	E15	𠂔	1	I1	𠂔	1	K13	𠂔	1
A10	𠂔	1	D6	𠂔	6	E16	𠂔	1	I2	𠂔	1	K14	𠂔	1
A11	𠂔	1	D7	𠂔	1	E17	𠂔	1	I3	𠂔	2	K15	𠂔	1
A12	𠂔	1	D8	𠂔	2	F1	𠂔	2	J1	𠂔	1	K16	𠂔	1
A13	大	20	D9	𠂔	1	F2	𠂔	1	J2	𠂔	1	K17	𠂔	1
A14	𠂔	2	E1	𠂔	2	F3	𠂔	3	J3	𠂔	1	K18	𠂔	1
A15	𠂔	1	E2	𠂔	25	F4	𠂔	1	J4	𠂔	1	K19	𠂔	1
A16	𠂔	1	E3	𠂔	5	G1	𠂔	7	K1	𠂔	8	K20	𠂔	3
B1	𠂔	2	E4	𠂔	3	G2	𠂔	1	K2	𠂔	4			
B2	𠂔	2	E5	𠂔	1	G3	𠂔	34	K3	𠂔	1			
C1	𠂔	11	E6	𠂔	3	G4	𠂔	1	K4	𠂔	2			

第33表 墨書分類表

政所とは一般的に経済の中心を担う場であり、「よね」は米と考えられる。すなわち、当時の経済の中心を担う場を示す墨書と年賀などの経済の中心的要素と推定される米を示す墨書が同時に複数個体確認されるということは偶然とは見なしがたい。このような視点で他の文字を検討すると、「年」・「加」はそれぞれ年賀・加地子を示している可能性が挙げられる。年賀および加地子の内容の一例が米であった可能性も考えられよう。また、加地子<sup>9</sup>という用語からは、この段階は領主層ではなく中間押取層による納税に関連していることも推定される。

「みのる」は実ると考えられ、作物の豊穣を示している可能性が挙げられる。

「上」は墨書土器全体の中では古い傾向があり、その全てが渥美産の土器である。

「大」は同一人物による墨書の可能性が高いものを2種類確認した。墨書文字の中では、使用痕の見られない個体が存在するのは「大」のみである。墨書土器全体の中で比較しても使用痕が67%ととりわけ低いが、土器そのものが新しい傾向と対応すると考えられる。(図版26)

花押は公家様<sup>10</sup>の411がある。411は縱方向の筆遣いをしており、B類は411からB類へと略している可能性も考えられる。

C類には「ドーマン」と呼ばれ、現在でも志摩地方を中心とする民俗事例<sup>11</sup>と共に通する記号を分類した。線の本数は縦5本横4本が本来であるが略している可能性があり、個別分類はその本数ごとに細分した。C類は筆跡が類似する共通点があり、少人数の人により記されていると考えられる。また、記号の中では例外的に文字や花押と同様に筆遣いが洗練されている。

D類には円形を呈するものを分類した。

E類には円形と直線を組み合わせるものを分類した。直線の本数や方向から細分した。量的にまとまっているが、筆跡の類似するものは少ない。E13では3種類の同一人物による墨書の可能性が高いものが確認された。

F類には「米」に類似する形の記号を分類した。形は類似するが、筆遣いは全く文字と異なり、文字として認識されているか定かではない。

G類には直線を呈するものを分類した。E類と並んで、量的にまとまっている。

H類には円形を並記するものを分類した。

I類には花形を呈するものを分類した。

J類には点を複数並記するものを分類した。

K類にはその他を分類した。

これらの記号の中では、C・D・E・G類が量的に多く規則性が認められる。

ところで、可児光生氏は古文書に見られる略押に類似する土器に記されている記号類を略押状記号として整理され、古文書に見られるものと同様に使われていたのではないかと指摘されている。<sup>12</sup> 里前遺跡出土の墨書記号類は、その筆跡から多くの人物がかかわっている点や同記号は同一人物による筆跡と考えられる個体が複数存在する点、さらには、文字・花押・C類とは全く筆遣いが異なり、決して筆遣いが洗練されているとは言い難い点から、百姓レベルの人物が記している可能性も高く、略押状記号に相当する事例が含まれていると考えられる。

## 5 総括

里前遺跡のI b・c期には、膨大な数の陶器供膳具が投棄されていた。また、構造としても段丘線の狭い空間に井戸が數多く掘削されていたことから、人の活発な行動の場の痕跡を見なすことができる。また、これらの井戸には、陶器供膳具を投棄した痕跡を顯著に見いだすことはできない。したがって、井戸は同時共存で機能していた可能性が高い。すなわち、川に挟まれ水には事欠かないはずの立地にもかかわらず、複数の井戸が必要な場であったと捉えることができよう。

ところで、陶器供膳具の使用痕と墨書土器の分析からは、予想外の結果を得ることになった。具体的には、墨書文字では「大」を例外としてすべてに使用痕が見られ、量的に多く規則性の認められる記号類についても、高確率で使用痕を確認することになったのである。

まず、これらの墨書がどの時点で書かれたものかを検討したい。陶器供膳具は尾張および渥美産であり、当遺跡に至るには伊勢湾を横断し、まず安濃津に1次集積されると考える<sup>13</sup>のが妥当であろう。里

前遺跡では34%の陶器供膳具に墨書きが認められたが、1次集散地である安濃津では、4点という微量の遺物にしか認められなかった。よって、1次集散地である安濃津を経た以降の段階で記されていることは明らかである。

では、どのような意図をもって記されたのかであるが、墨書きからは中間押取層による年貢集配に関連する使われ方をしていることが伺われ、陶器供膳具としての流通に関わる意を汲み取ることは困難である。同時に、これらの土器に使用痕がみられることもこの状況に反しない。つまり、墨書き文字の見られる陶器供膳具は容器として消費されているのであり、消費地としてのあり方を示すものと解釈できよう。

それでは、ここで出土したおびただしい量の陶器供膳具が消費地の状況を示すものかというと、単純に割り切ることはできない。全体量の15%程度は使用痕が確認できないし、欠損品も若干は含まれている。1次集積地である安濃津においては、欠損品が数多く確認できるということから、1次集積地において1次選別が行われたと考えられている<sup>\*</sup>。その作業を経た個体が運ばれてくるのであるから、欠損品の比率が突出することは想定しにくい。すると、仮にこの場において2次集積されていたとしても、商品としての性能を満たすものであれば、消費地に向けてさらに運ばれているはずであり、この場には遺物として痕跡が残りにくい。生産地特有の遺物とされる陶丸の出土は、数少ない痕跡の一例に挙げることができる。

そこで、再び検討候補に挙げられるのが、量的に多く規則性が認められる墨書き記号D・E・Gである。通常の集落遺跡の調査においては、量的にまとまって出土することもないことから、集積時の仕分けに伴う記号の候補に挙げることはできる。しかし、これらにも高確率で使用痕が認められる点では即肯定するわけにはいかない。すなわち、墨書きと使用痕には相関関係が認められるのであるから、同じ工程(用途)の痕跡を示しているといえないであろうか。仮にこの二者を一連の工程の痕跡と見なした場合には、下記の2パターンが想定できよう。

a案：消費地として使用に伴って記された。この場

合は、墨書き文字と同列の使用方法と考えられる。通常の集落遺跡(居住空間)からは出土していないとも消費方法が異なれば、当然あり得ることであろう。b案：この場で墨書きし、内面に摩耗痕を施した。この場合は、これまで使用痕と見なしてきた内面の摩耗痕を使用痕ではなく、商品としての仕上げ工程と見なすことになる。1次集積地である安濃津では全く見られない現象であることから、2次集散地で書いたことになる。安濃津でこの作業が行われたと想定した場合、里前遺跡において投棄される状況は説明しがたい。

以上、里前遺跡の位置づけに関する基礎作業として、位置・土器・墨書きの三点から検討を行った。

陶器供膳具の分析や欠損した陶器供膳具や生産地に特有の遺物が出土したことからは、陶器供膳具の流通については調査時以来注目されてきたように、1次集積地である安濃津から輸送され、2次集積した場であった可能性を考えられる。しかし、予想外にその痕跡の抽出は困難であった。

陶器供膳具の使用痕と墨書き土器の分析からは、年貢集配に関わっている可能性を挙げることができた。

そして、遺跡の立地が河川際に位置することからは、河川がその物流の輸送経路として役割を担っていたと考えられる。

これらのことから、里前遺跡では年貢集配に関わる作業が行われただけでなく、同時に陶器供膳具の流通の一環を担っていたことを指摘でき、地域における物資集配機能を果たしていたといえよう。

墨書き記号と使用痕の関わりに関しては、今後の周辺遺跡との比較検討が待たれる。なお、「指物の木箱」(報1455)については、博多および新安沖沈没船調査例では、木箱のコンテナに陶磁器類を詰めて運搬されていた<sup>\*</sup>ことが知られている。無造作に投棄された膨大な数の陶器供膳具と共に出土したこの木箱はコンテナであった可能性もあることを記して、今後の検討材料としたい。

## 註

- ①完存の土器を任意に抽出し、1個体あたりの平均重量を割り出し、総重量を1個体あたりの重量で割って計算した。なお、サンプルとした完存の上唇は、瓶

齊美に記している。

②「隣庭・底部とともに1/12単位で計画した。これは、他の遺跡において行われて  
いる計画分析と合わせて検討できるように対応している。

③前川義宏『三重県における山茶楓の出土状況』（『研究紀要』第3号 三重県  
蔵文化財センター 1994年）

④伊藤裕作「中社における集散地遺跡の分析」（『考古学ジャーナル』478 2001  
年）

⑤「加地子」（『国史大事典』3 古川弘文館 1983年）

⑥横村寛之氏の御教示による。

⑦野村史隆「伊勢・志摩海民の漁獲と信仰」（『伊勢と那智の海』海と列島文化  
第8巻 1992年）

⑧町田光生「中世の墨書き器～駿河県を中心に～」（『文字の登場、そして広まりー  
古代中世の人と文字をめぐってー』美濃加茂市民ミュージアム 2001年）

⑨伊藤裕作「安濃津の成立とその中世的展開」（『日本史研究』448 1999年）

⑩前掲⑨

⑪大庭康時「集散地としての博多」（『日本史研究』448 1999年）



里前遺跡周辺航空写真（1964年撮影）



調査区全景（北から）



調査区全景（西から）



調査区北半部全景（北から）



調査区南半部全景（北から）

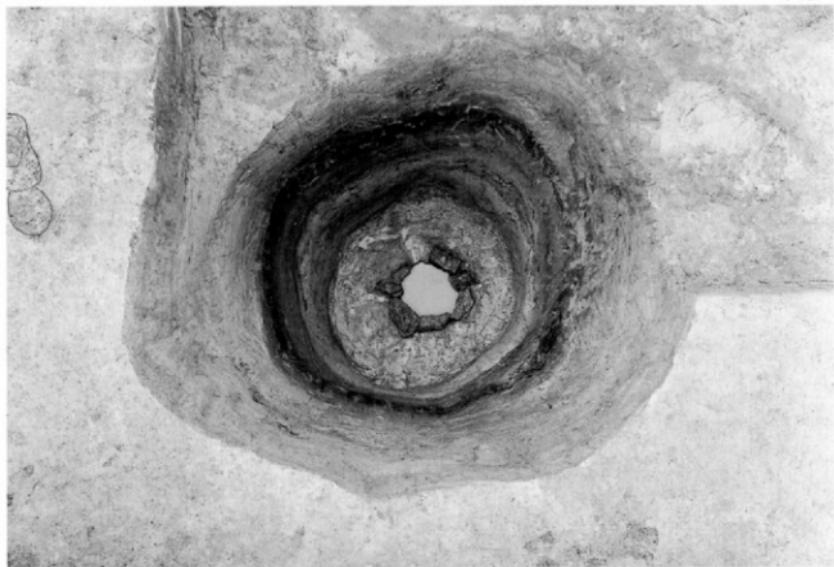
図版 4



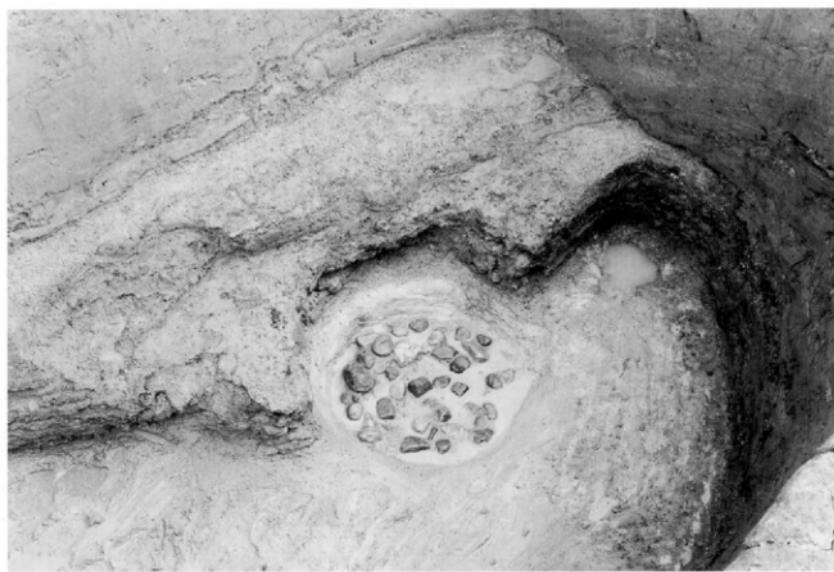
調査区南半部南端断面（北から）



調査区南半部南端下層断面（北西から）

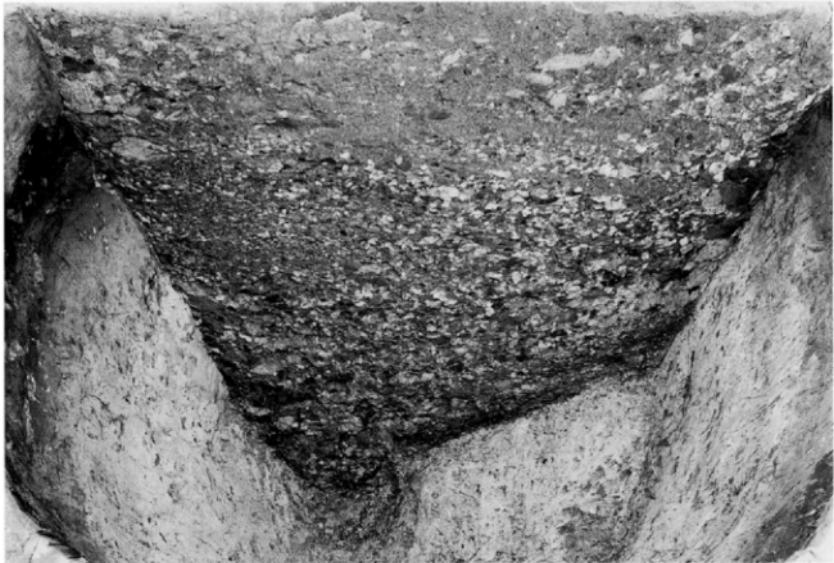


S E 5 全景（北から）



S E 24・25 全景（北から）

図版 6



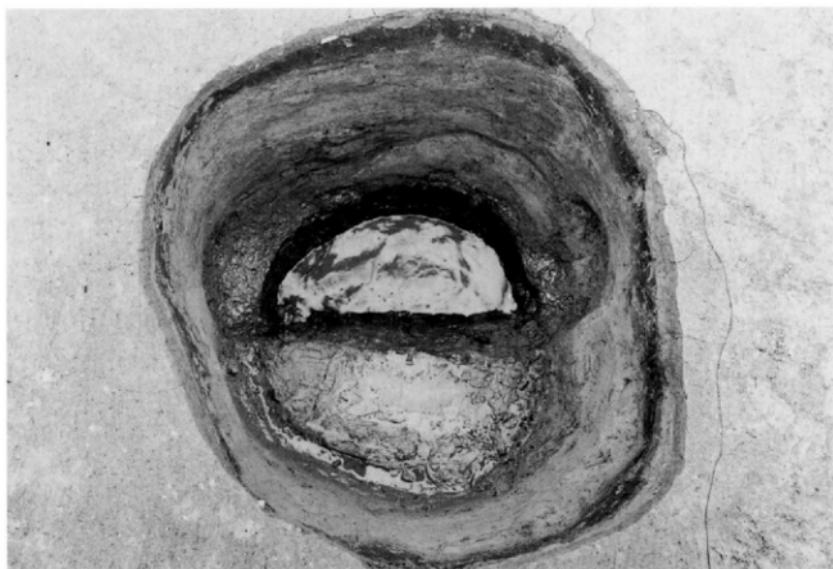
S E 6 埋土断面（南から）



S E 6 全景（北から）



S E 3 全景（西から）



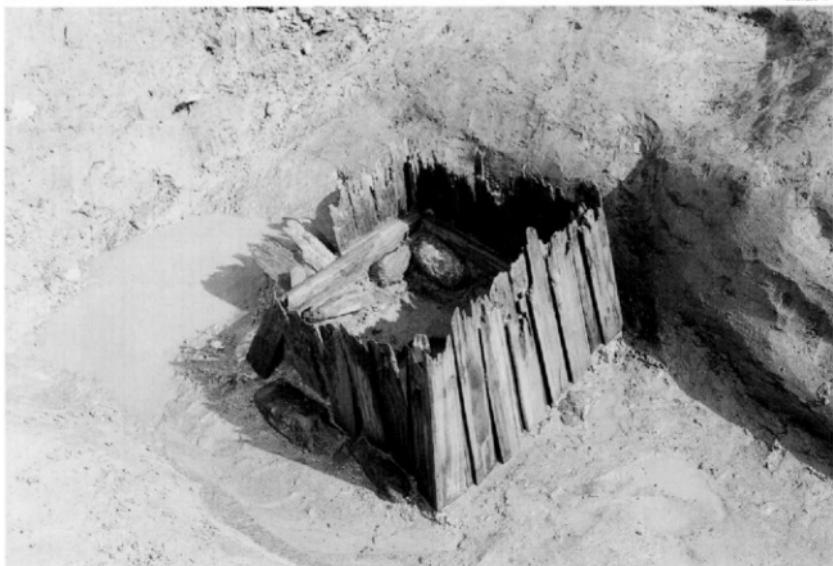
S E 2 全景（西から）



S E 19 石組（東から）



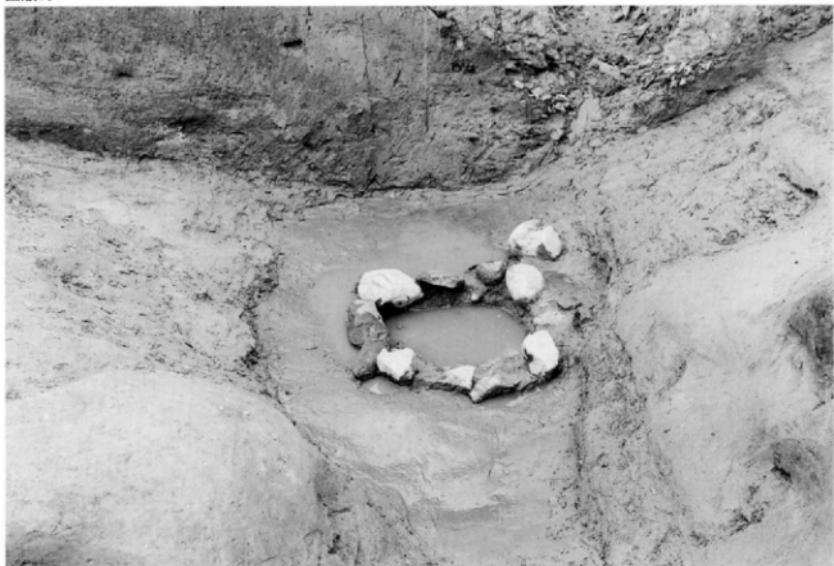
S E 19 石組（北西から）



S E 8 柵（北西から）



S E 8 柵（西から）



S E 8 配石（西から）



S E 8 下 曲物出土状況（北西から）



30列東西トレンチ遺物出土状況（北東から）



N31グリッド 木箱出土状況（東から）

図版12



S D 7 遺物出土状況（東から）



S D 18 遺物出土状況（東から）



K・L 19 落ち込み検出状況（東から）



K・L 19 落ち込み遺物出土状況（南東から）



L11・12 落ち込み遺物出土状況（北西から）

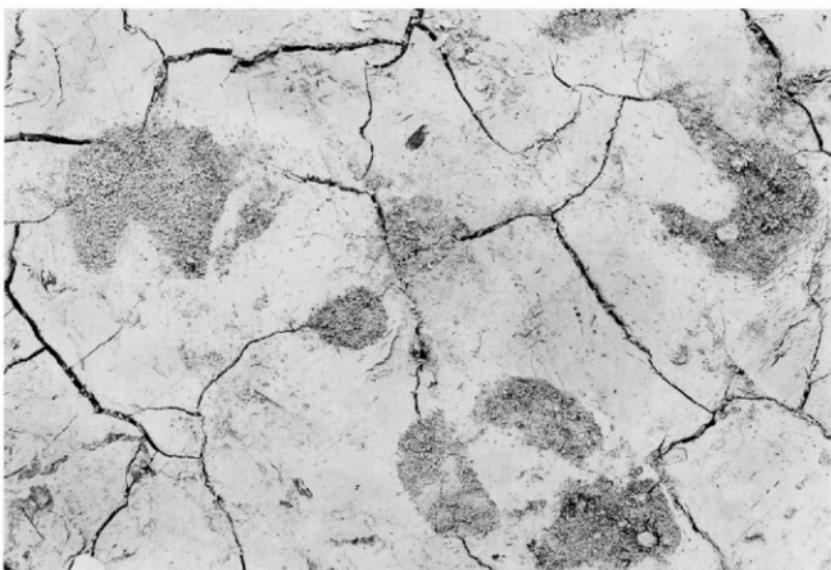


調査区南半部南端 杭列（北東から）

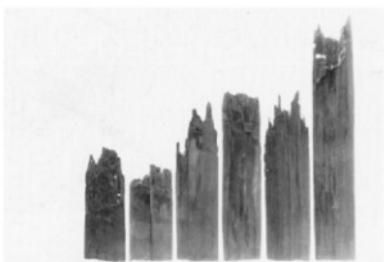
図版14



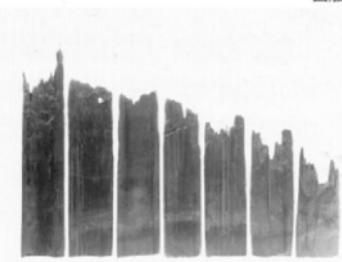
足跡完堀状況（北から）



足跡検出状況（北から）



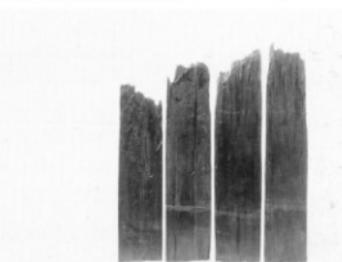
S E 8 側枠北部外列外面



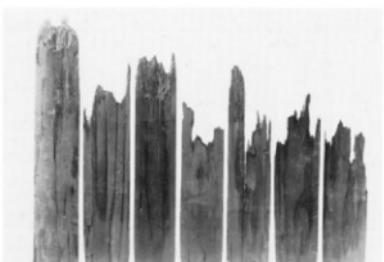
S E 8 側枠北部内列内面



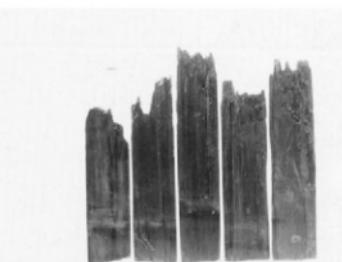
S E 8 側枠西部外列外面



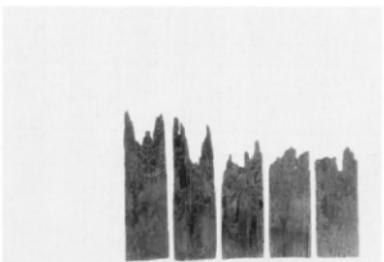
S E 8 側枠西部内列内面



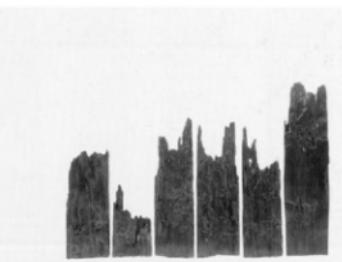
S E 8 側枠南部外列外面



S E 8 側枠南部内列内面



S E 8 側枠東部外列外面



S E 8 側枠東部内列内面

图版16



S E 8 井桁



1427



1429



1451



1449



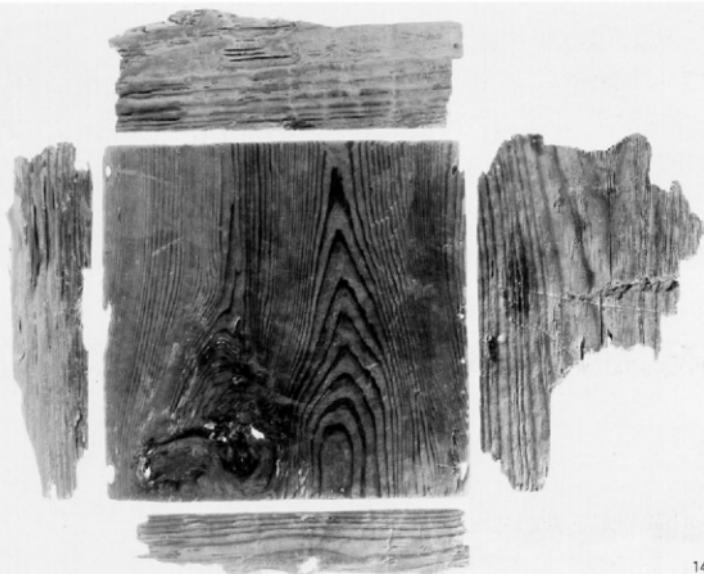
1454



S E 8 側枠補助材



L 11・12 落ち込み杭

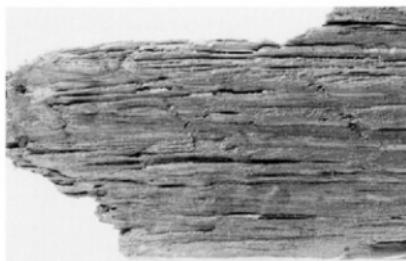


1455

木箱（底面から）



木箱（側板内面）



木箱（側板外側）



木箱（底板底面）

图版18



出土遗物（1）



101



104



275



918



967



943



225



237

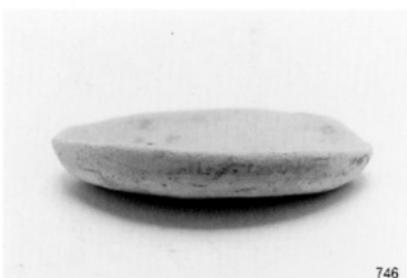
出土遗物（2）



736



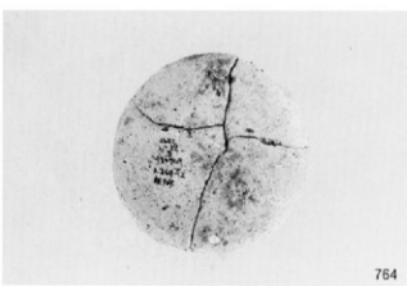
217



746



790



764



797



775



803

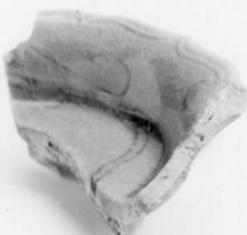
出土遗物 (3)



757



806



709



151



79



1265



1267



656外面



656里面

出土遗物（4）

图版22



1275



1279



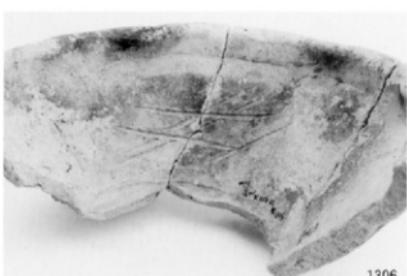
1214



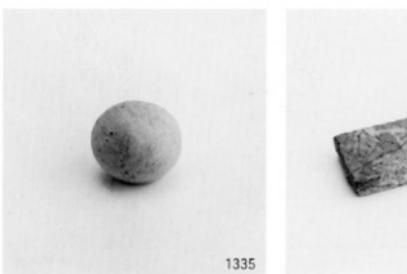
1222



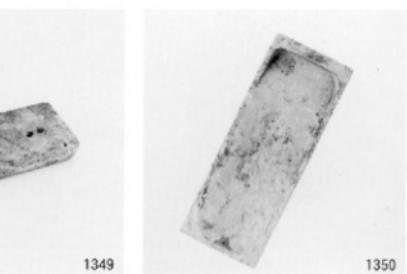
1295



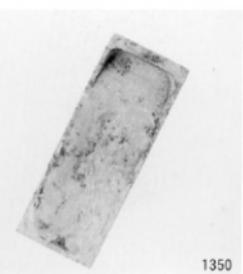
1306



1335



1349



1350

出土遗物（5）



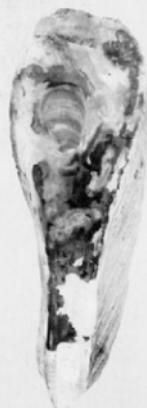
力キ 1 外面



力キ 1 侧面



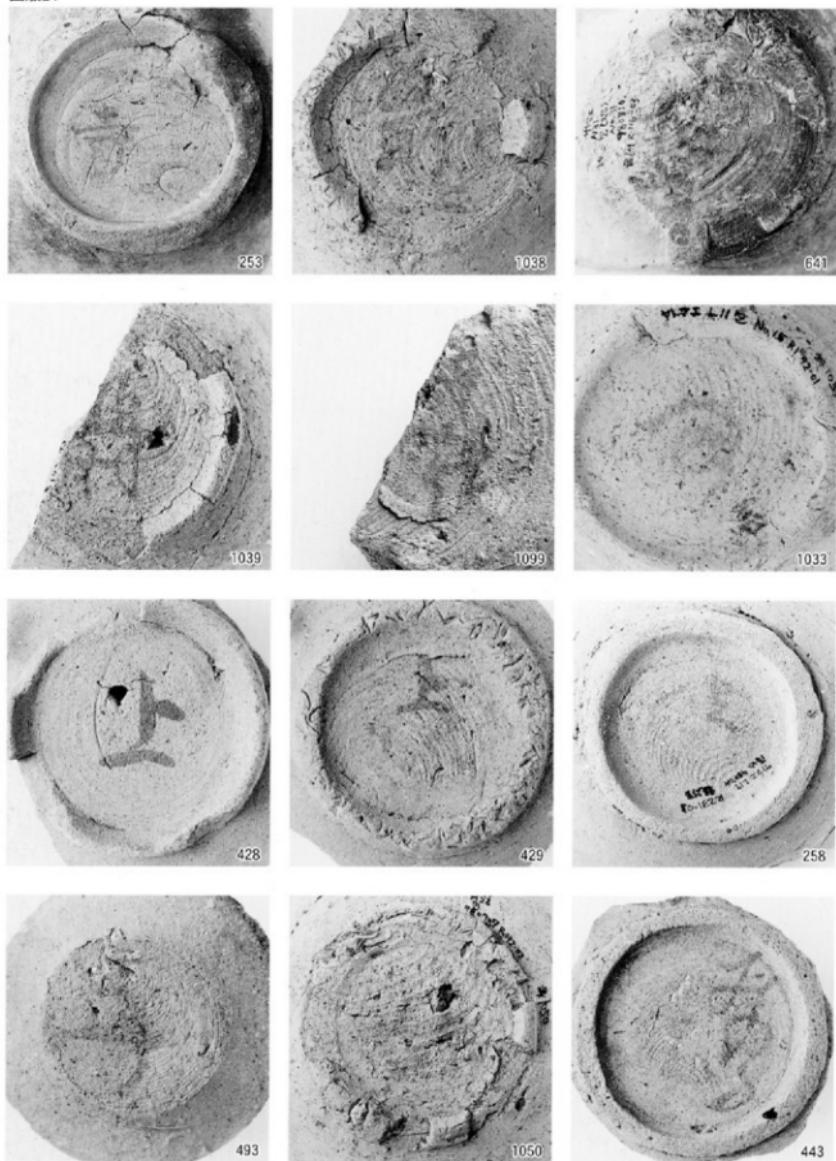
力キ 2 外面



力キ 2 内面

出土遺物 (6)

图版24



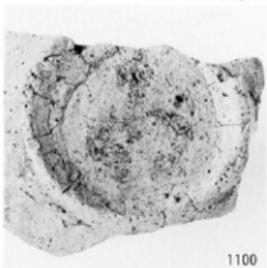
出土遗物（7）



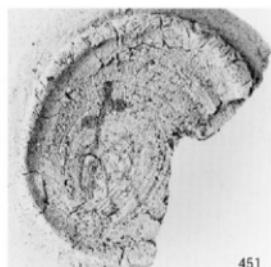
385



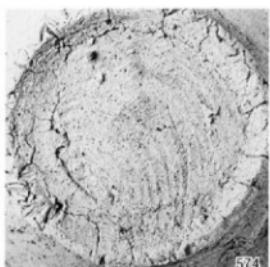
595



1100



451



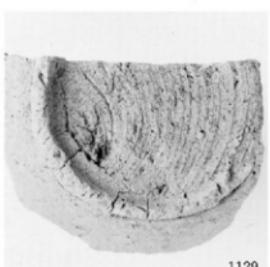
574



963



515



1129



1108



1132



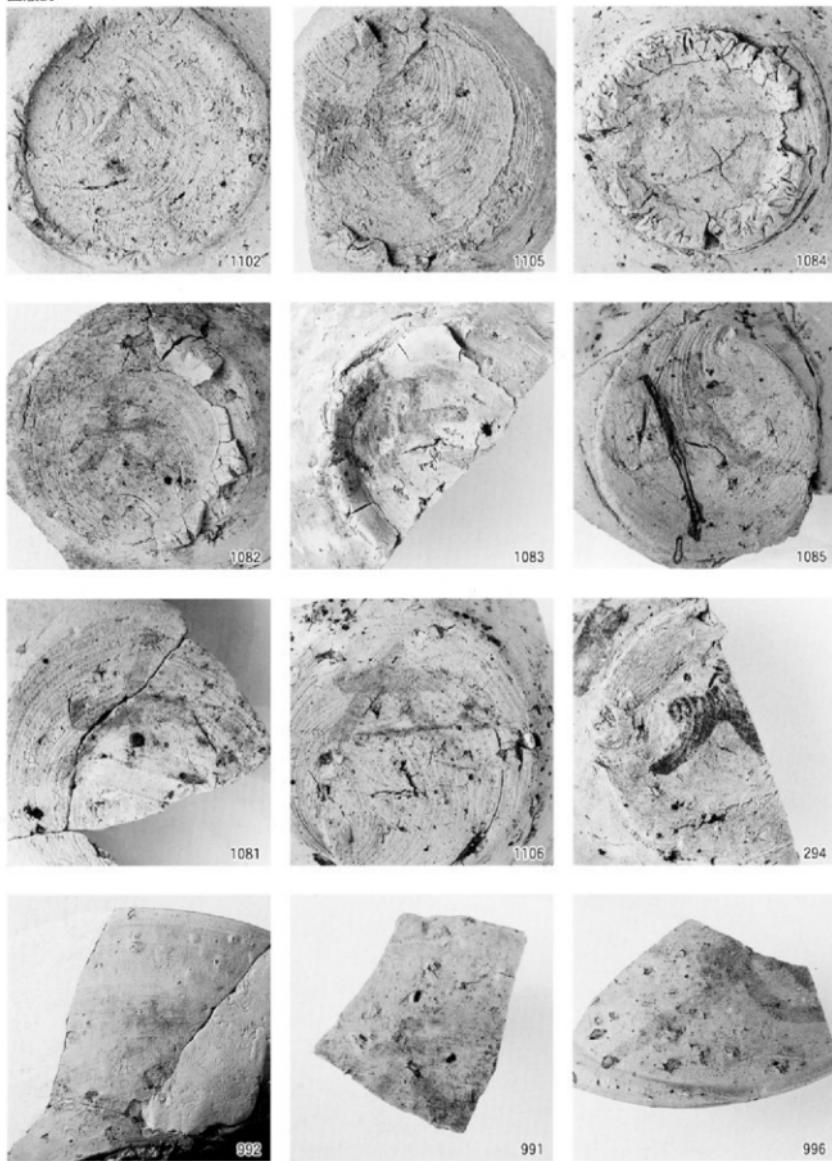
1107



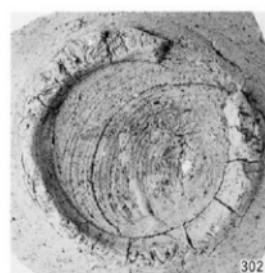
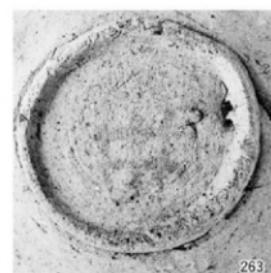
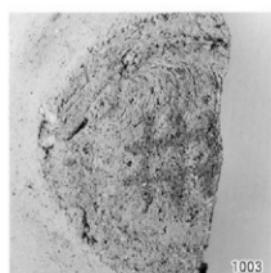
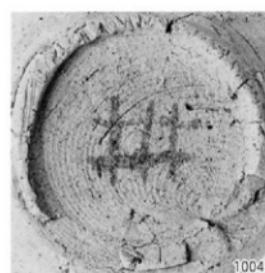
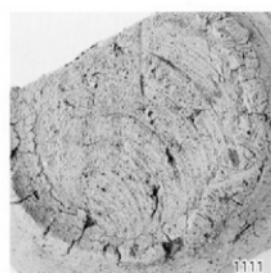
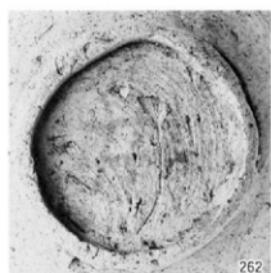
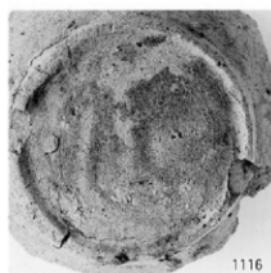
1101

出土遺物（8）

图版26

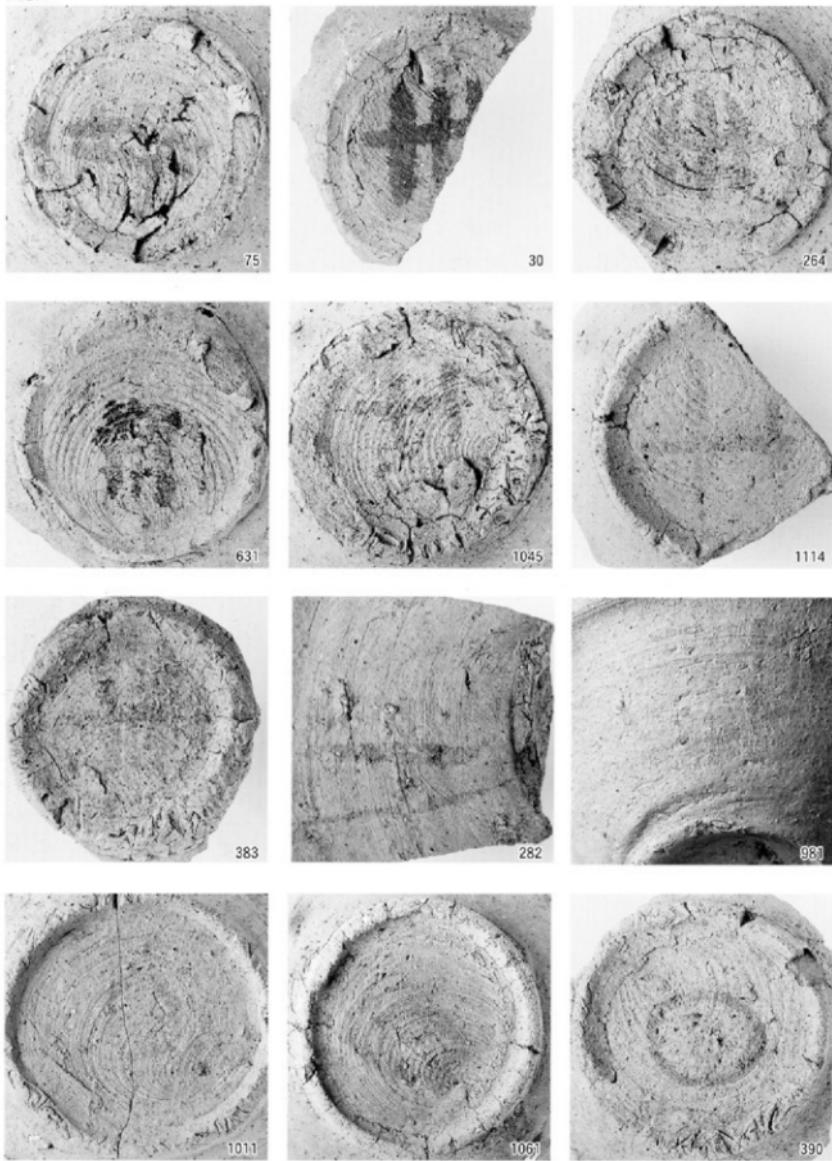


出土遗物 (9)

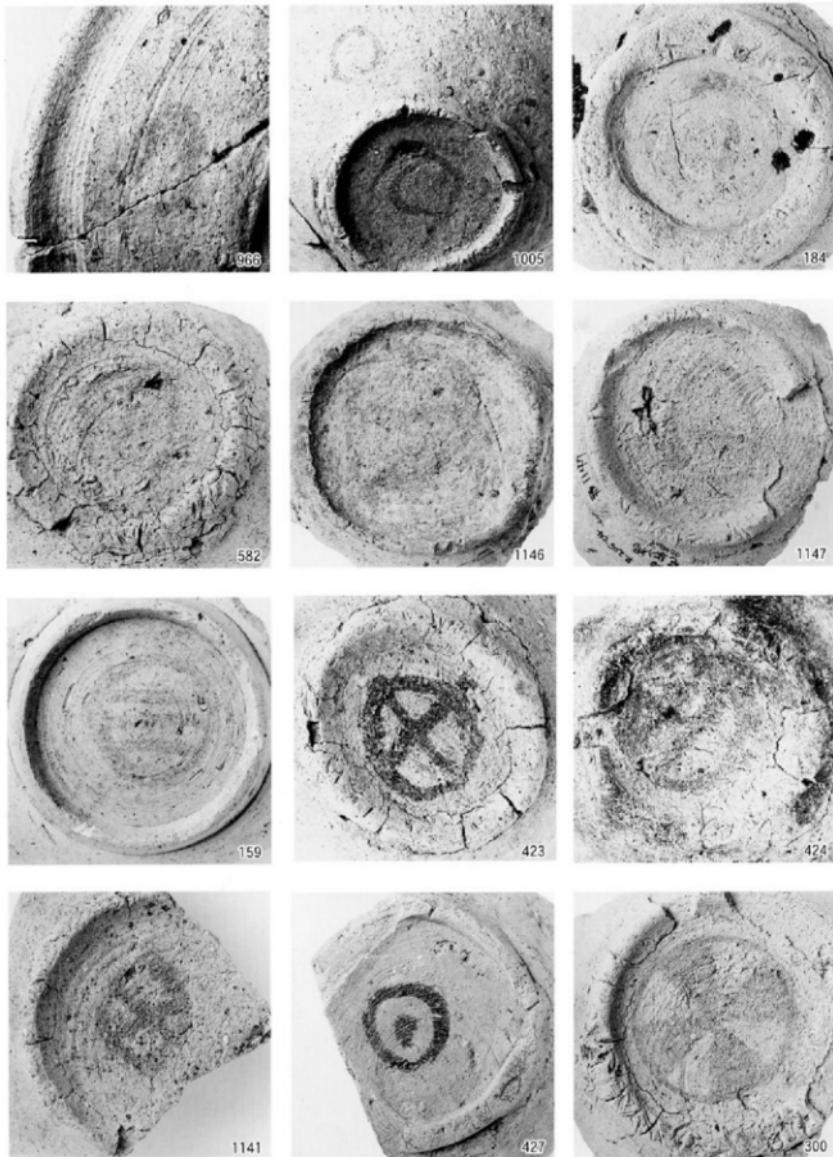


出土遺物 (10)

图版28

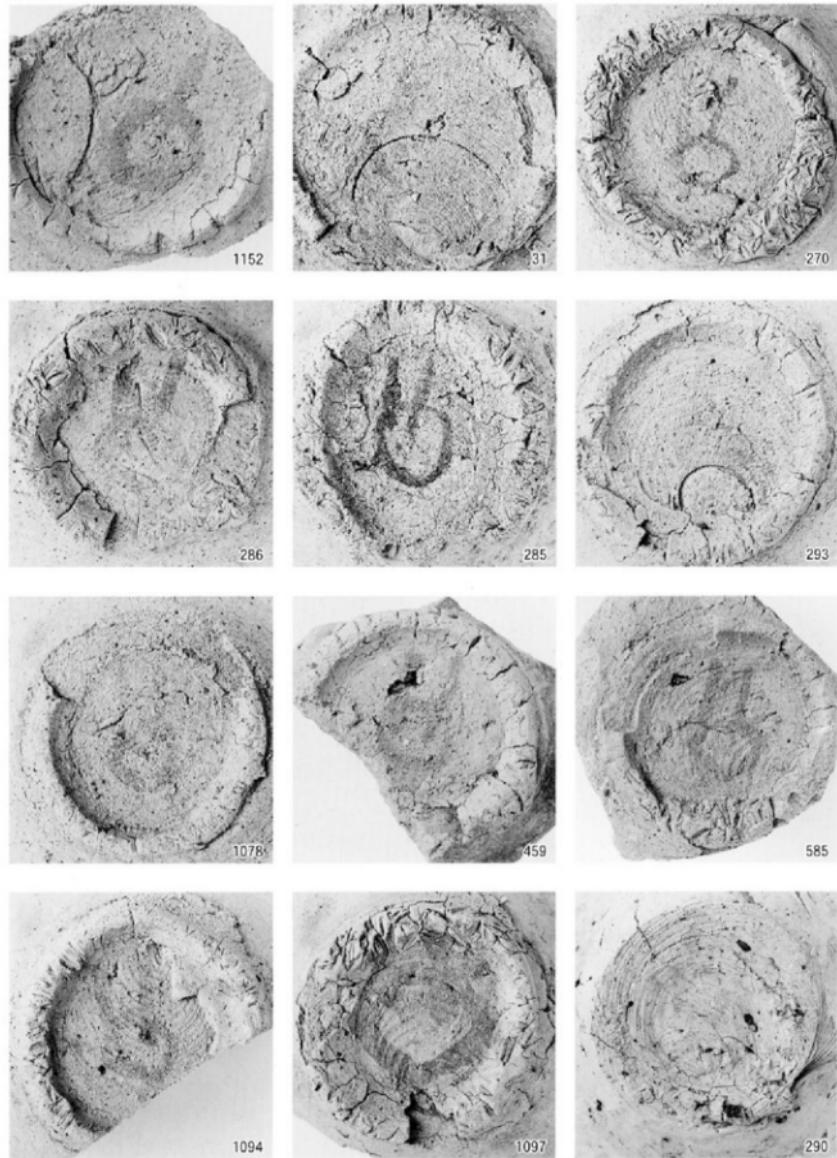


出土遗物 (11)

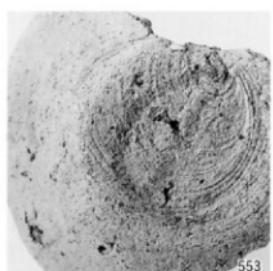
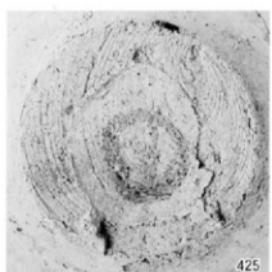
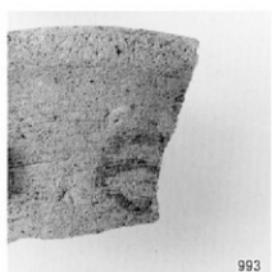
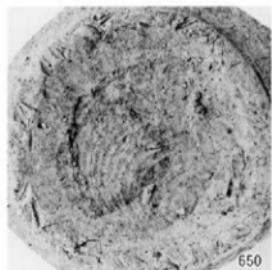


出土遺物 (12)

図版30

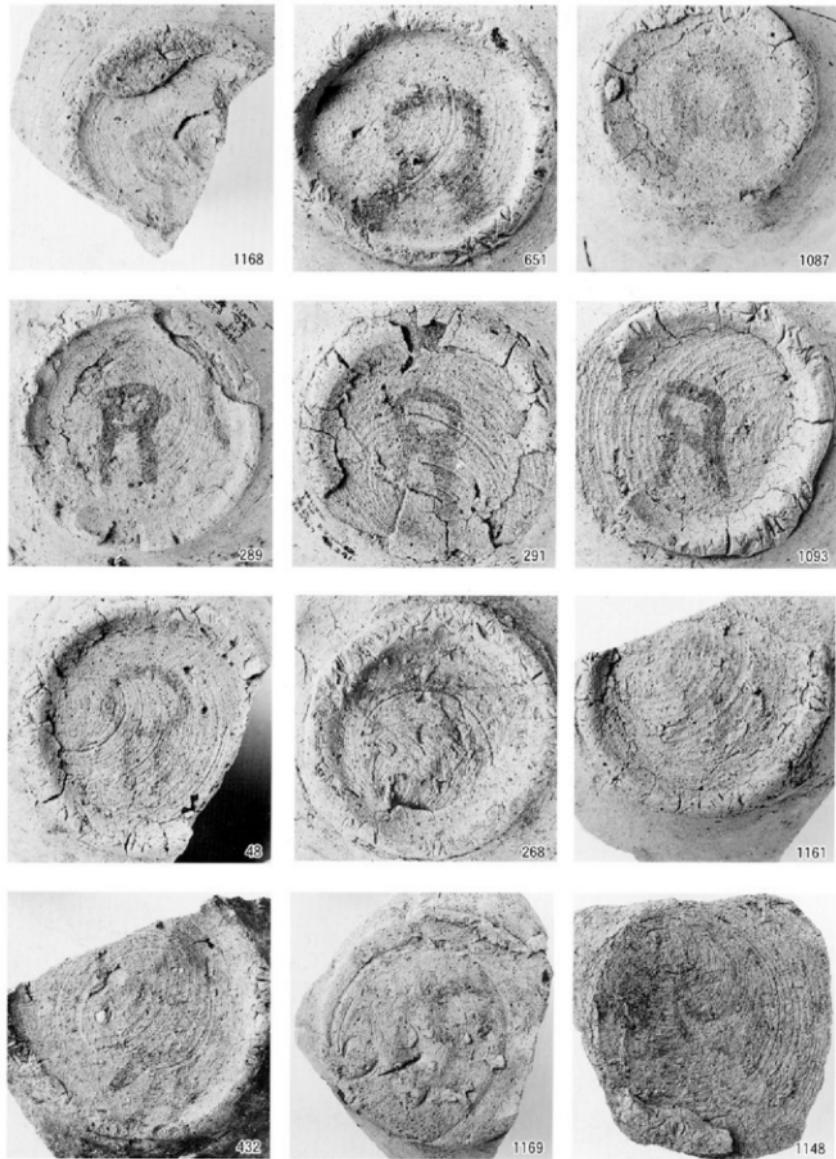


出土遺物 (13)

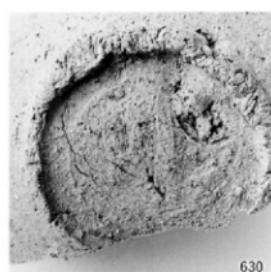
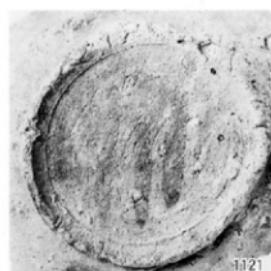
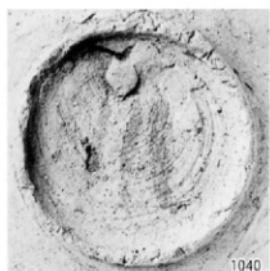
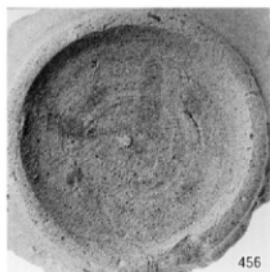


出土遺物 (14)

图版32

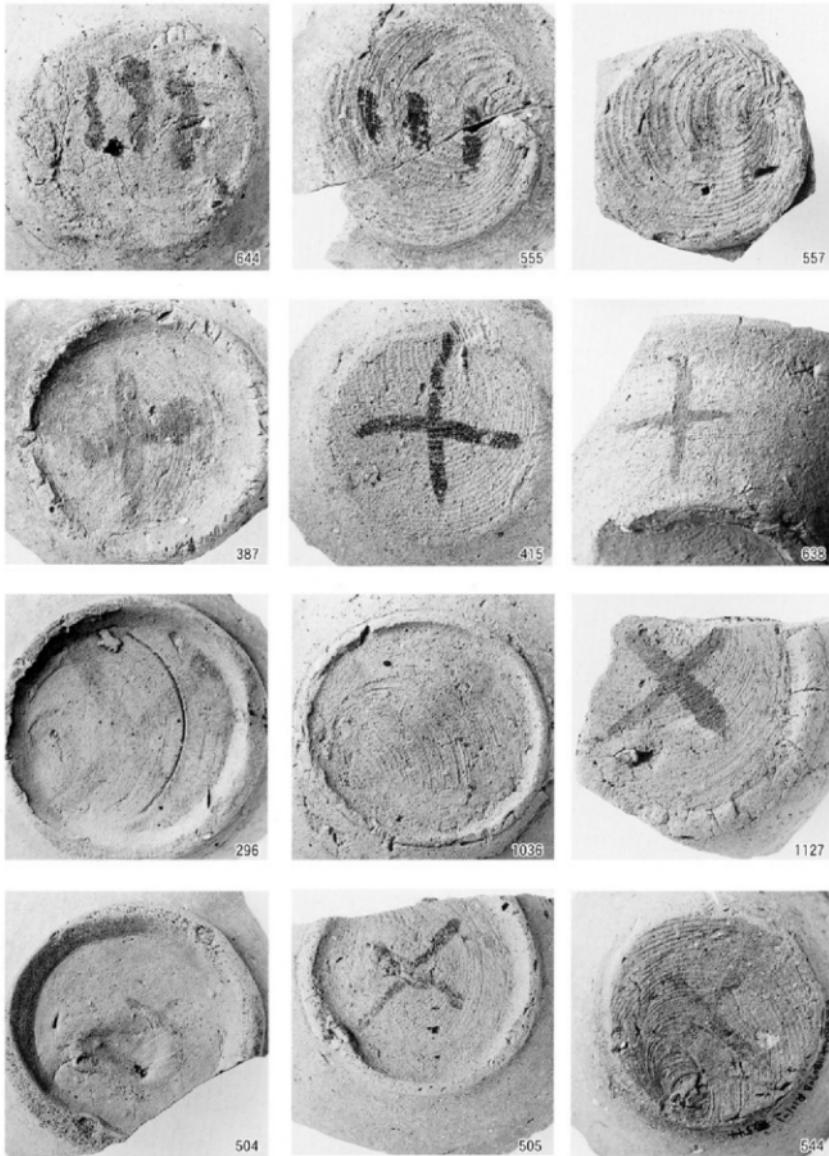


出土遗物 (15)

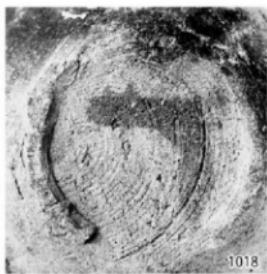
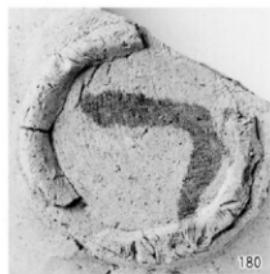
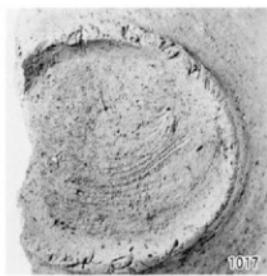
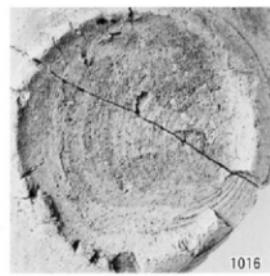
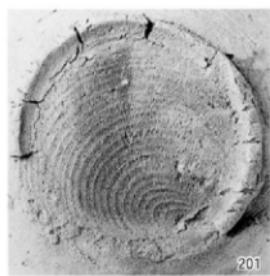
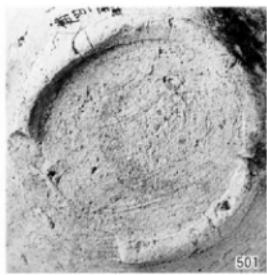
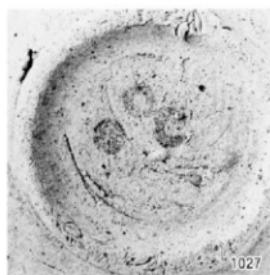


出土遺物 (16)

図版34

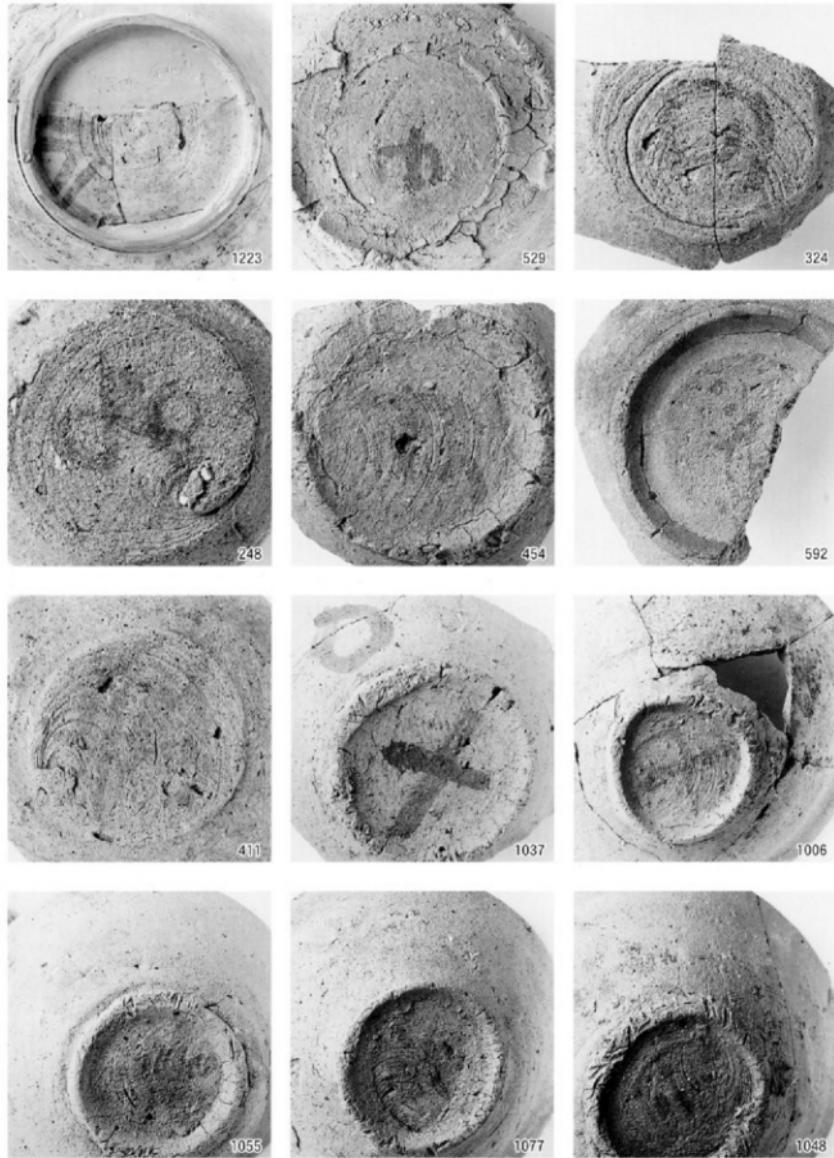


出土遺物 (17)



出土遺物 (18)

图版36



出土遗物 (19)

## 報 告 書 抄 錄

ふりがな	いっぽんごくどうにじゅうさんごうちゅうせいどうろ（じっこうく）けんせつじょうにともなう さとまえいせきはつくつちょうきはうこく							
書名	一般国道23号中勢道路（10工区）建設事業に伴う 里前遺跡発掘調査報告							
副書名								
卷次								
シリーズ名	三重県埋蔵文化財調査報告							
シリーズ番号	115-18							
編著者名	川崎志乃							
編集機関	三重県埋蔵文化財センター							
所在地	〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川503 TEL 0596(52)1732							
発行年月日	2002年3月31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村 遺跡番号	北緯 ° ° °	東經 ° ° °	調査期間	調査面積 m <sup>2</sup>	調査原因	
さとまえいせき 里前遺跡	つしのだあざさとまえ 津市野田字里前	24201	761	136度 29分 30秒	34度 42分 49秒	19980525 19981020	1280 下層 280	一般国道23号 中勢道路建設 事業
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物	特記事項		
里前遺跡	集落跡	古墳時代 平安時代 中世～ 近世	井戸・溝		須恵器・土師器 石帶（巡方） 多量の陶器碗（山茶碗）・ 陶丸・土製支脚	「政所」の墨書き		

平成14(2002)年3月に刊行されたものとともに  
平成19(2007)年5月にデジタル化しました。

---

三重県埋蔵文化財調査報告115-18

一般国道23号中勢道路(10工区)建設事業に伴う  
里前遺跡発掘調査報告

2002年3月

編 集 発 行 三重県埋蔵文化財センター

印 刷 (株)第一プリント社

---